



Vegetables of the Tropical and Sub-tropical Regions
南方園有用植物圖説

Vol. 2 Edible Plants
第貳編食用植物

(一般圖は縮尺二分の一)

昭南植物園

Butane Garden

南方圈有用植物圖説

第貳編食用植物

(一般圖は縮尺二分の一)

857

昭 南 植 物 園

THE UNIVERSITY OF CHICAGO
LIBRARY
540 EAST 57TH STREET
CHICAGO, ILL. 60637

正誤及び補明表

頁	行		頁	行	
1	1	スマダイコン	394	1	ハカマカツラ屬
7	1	カヅサキコウゾリナ	396	1	キマメ
10	2	ウラム-ラジャ	414	1	シヨクヨウヌスビトハギ
57	4	發育→生育	422	1	ギンゴウクワン
81	4	赤汁スープ	440		圖は上から (1) (2) (3)
94	6	94	457	1	カラナ
101	6	101	494	2	ブーゲンビル(馬)→ ブンガクルタス(馬)
111	5	花は密に混じ			蔓→莖
133	5	葉は→葉は	549	4	オオシヨウガヒドキ
149	2	ジョンゲ	564	1	と云ひ
152	4	ミヤマシキミ	568	6	ナンキョウ
215	5	野菜とする	573	1	シヨクヨウニガガシウ
227	2	カプール	582	1	(カシウイモ)
246	6	アフリカ人			ヒラトゲドコロ
248	4	花黄→花紅	587	1	幹に残る
258	6	長さん→長さ	635	4	
265	2	カチーブ.ブリーウ	索I		
267	5	素→索	4	左21	Homalomena
270	1	ツナソ		左28	Hyptis
305	1	イボモモ		左35	Isoptera
355	2	ブチンゲ			(以上三者は訂正済の版 もある)
356	2	ブア.プラー			
	5	鹽漬にする	索II		
350	2	バクワン	3	右4	ボンデックワ
351	1	ジュラン屬	6	左2	クロエハマクサギ
355	6	書物の防虫	18	右5	(580-588)
356	5	搾汁は皮膚病			

目 次

合 瓣 花 類	
キク科	1-29
クサトベラ科	30
キキョウ科	31-33
ウリ科	34-50
アカネ科	51-76
オオバコ科	77
キツネノマゴ科	78-81
イワタバコ科	82
ゴマ科	83
ノウピンカウラ科	84
ゴマノハグサ科	85-87
ナス科	88-101
唇形科	102-111
クマツヅラ科	112-119
ムラサキ科	120-122
ハビリサウ科	123
ヒルガホ科	124-133
ガガイモ科	134-136
キョウチクトウ科	137-139
エゴノキ科	140
カキ科	141-142
アカテツ科	143-150
ヤブコウジ科	151-155
シヤクナゲ科	156-157
離 瓣 花 類	
ミヅキ科	158-159
セリ科	160-165

ウコギ科	166-169
アカバナ科	170-172
ノボタン科	173-179
テンニンクソ科	180-198
シクンシ科	199-200
ヒルギ科	201-206
サガリバナ科	207
ザクロ科	208
ミソハギ科	209-210
ヤブシキ科	211-213
ウボテン科	214
ババヤ科	215
トケイサウ科	216-218
イイギリ科	219-221
スマレ科	222
ベニノキ科	223-225
フタバガキ科	226-229
オトギリサウ科	230-240
ツバキ科	241-243
ビワモドキ科	244-245
アオギリ科	246-253
バンヤ科	254-256
アフヒ科	257-268
シナノキ科	269-274
ホルトノキ科	275-276
ブドウ科	277-282
クロウメモドキ科	283-285
ホウセンクス科	286

ムクロジ科.....	287-297
ニシキギ科.....	298-300
ウルシ科.....	301-317
大戟科.....	318-350
センダン科.....	351-356
カンラン科.....	357-360
ミカン科.....	361-381
カタバミ科.....	382-387
マメ科.....	388-450
バラ科.....	451-452
マンサク科.....	453
ソサビノキ科.....	454
十字科.....	455-463
フウチヨウサウ科.....	464-469
クス科.....	470-474
ニクヅク科.....	475-477
バンレイシ科.....	478-484
ヒツジグサ科.....	485-486
ツルムラサキ科.....	487
スバリヒユ科.....	488-489
ツルナ科.....	490-492
オシロイバナ科.....	493-495
ヒユ科.....	496-506
アカザ科.....	507
タデ科.....	508-510
カナビキボク科.....	511
オラクス科.....	512-516
カルヂオブレリス科.....	517
イラクサ科.....	518-520
クワ科.....	521-541

ニレ科.....	542
ブナ科.....	543-546
チャラン科.....	547-548
コヤウ科.....	549-555
單子葉類	
ラン科.....	556-557
クズウコン科.....	558
カンナ科.....	559-561
シウガ科.....	562-577
バセウ科.....	578-579
ヤマノイモ科.....	580-588
タシロイモ科.....	589
ヒガンバナ科.....	590-591
ユリ科.....	592-601
ミツアフヒ科.....	602-604
ツユタサ科.....	605-611
アナナス科.....	612
テンナンショウ科.....	613-630
ヤシ科.....	631-653
キャツリグサ科.....	654-655
禾本科.....	656-677
ドチカガミ科.....	671-679
オモダカ科.....	680-681
イバラモ科.....	682-683
タコノキ科.....	684-685
裸子類	
ソテツ科.....	686
グネツム科.....	687-690
羊齒類	
	691-700

金	馬								

金馬油銅肥吉藤
鐵箱材新可觀

配置例



Handwritten signature or mark.

Adenastemma laevenia KUNTZE
= *A. viscosum* FORST.

メマダイコン

(キク科)

地方名 ルムブ・タイ・パビ (馬) リンランチャウ(支)
産地 温熱帯各地
性状用途 雑草・濕地を好む。花白、葉は少でて食用とするが劣し、苦味質は配糖體なるべし。民間では各種の包布薬に用よ
キク科植物の若葉は殆ど皆食用になる。但し花部は有毒のものもあるから注意を要す



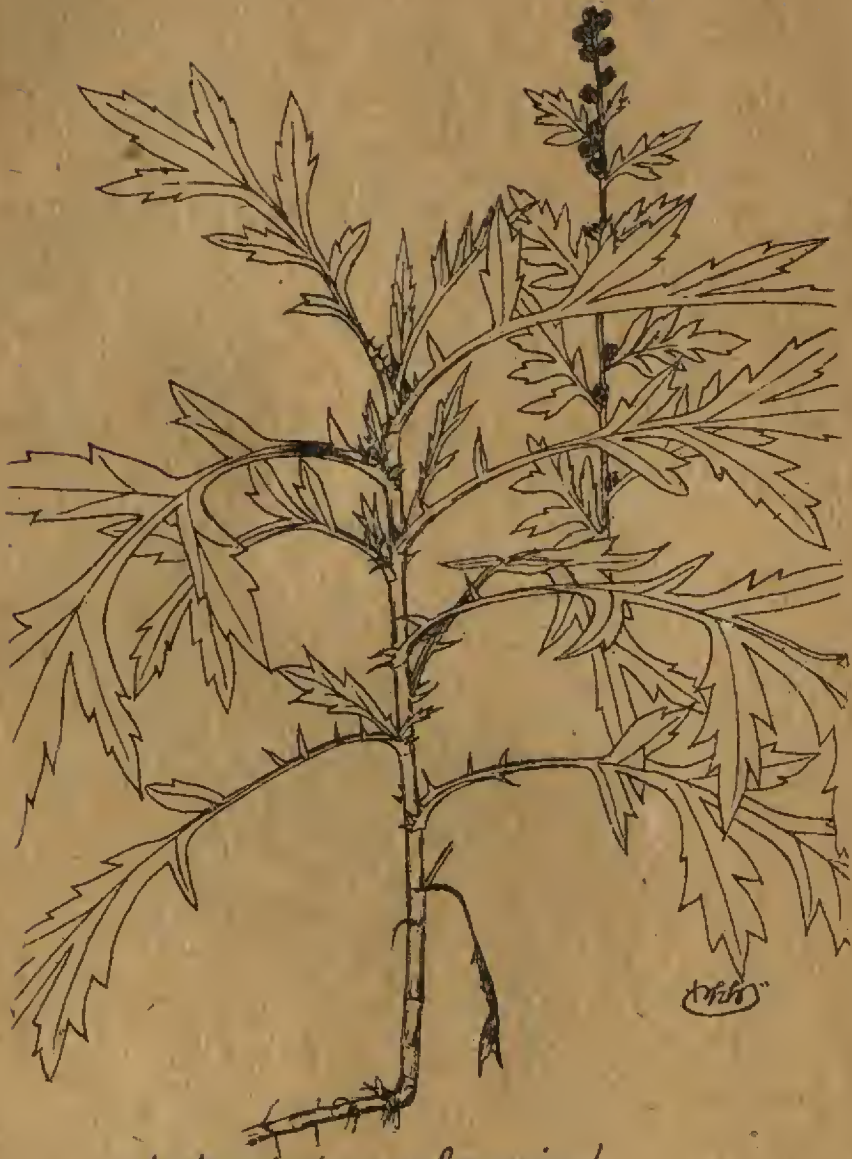
Artemisia laetiflora WALL.

ミツバヨモギ

(キク科)

地方名 アキヨガイ(支)
 産地 マライ(栽培) (原産支那?)
 性状用途 草本、葉は初め根出葉のみで楸形科、特にウマン ミツバの如し、
 花は白黄色小形、全草ヨモギと同じ香あり、葉を食用とする

食	薬	性	味	効	用	部	位



Artemisia vulgaris L

ヨモギ

(キク科)

地方名 ルムブ・ロマン (馬) コナチユ・ララムバ (泰)
 産地 温帯アジア (野生) マライ半群島 (栽培、野化)
 性状用途 草本、ジャワ。マライの高地では野化。葉を香味野菜として食す。葉はシネオールを含み、樹、皮膚病に忌布。莖は乾して索状にして蚊除に點火す。葉は乾してヨグナに作る。葉は阿片の代用に喫煙す

食	藥						



Bidens pilosa L

シロバナセンダングサ(コセンダングサ) (キク科)

地方名 産地
 性狀用途 カンチング・バジユ(馬)
 世界各地(野化)
 雑草、果は針状で衣類に付着、若い莖葉は食用、葉は茶に代用、
 全草飼料になる、葉はタンニンを含み浸液は咳に内用、葉及花は
 齒痛に、葉の汁は眼薬に用ひ、根は毒消に内用

食	藥						



ワタシ

Blumea chinensis DC.
= *Vernonia scandens* RIDL

ツルハグマ

(キク科)

地方名
産地
性状用途

トンバ・トンバ(馬) ララン・カバン(馬)

熱帯アジア

大形の草で他の草の上特にチガヤの上に擴がる、葉は粗剛であるが若葉はゆでて野菜として食す、全草の煎汁は咳、脚氣に内用し根の煎汁は疝痛に内用す

食	葉								

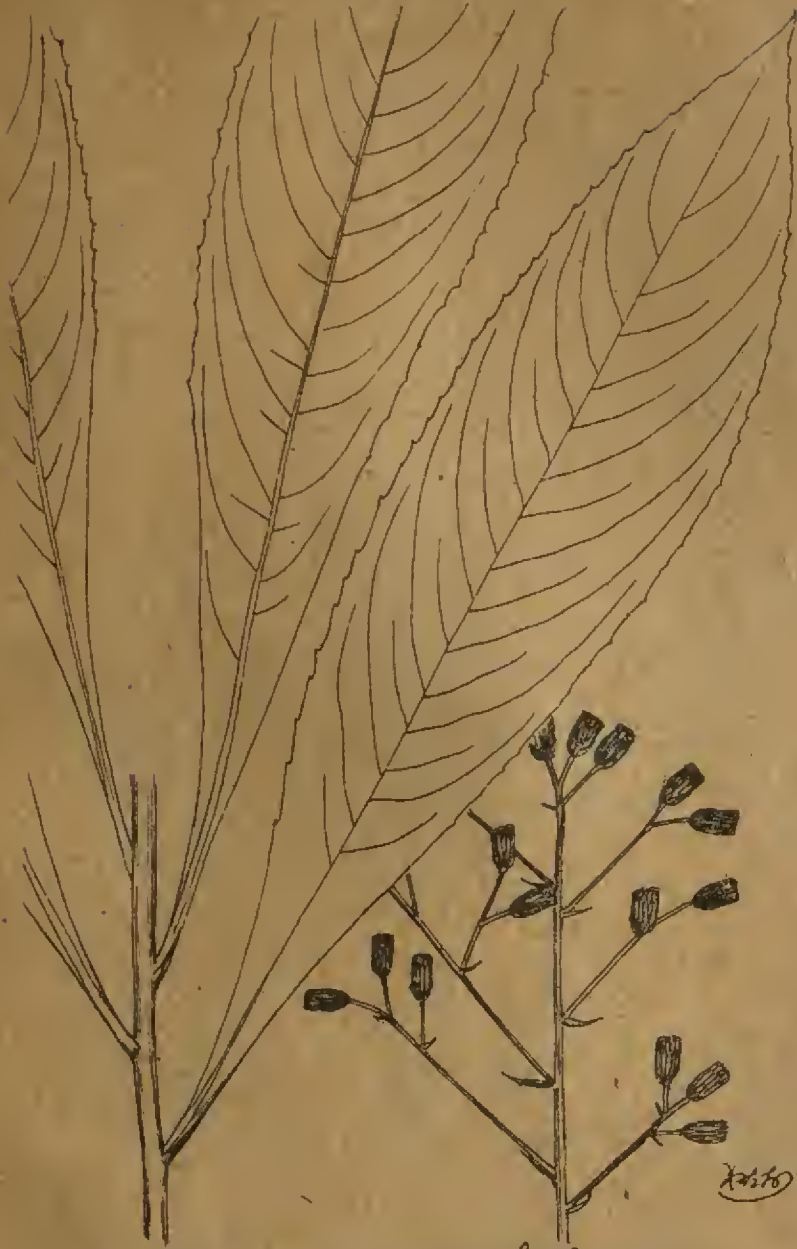


Blumea lacera DC.

ヤヘヤマコウゾリナ

(キク科)

地方名 ルマイ・ウタン(馬)
 産地 熱帯アジア
 性状用途 草本、高さ四尺、全株短毛、花黄、若葉はゆでて食用、全株龍腦を含み香氣強く、除虫劑を作り得べし、又古葉は驅虫に内用



Blumea myriocephala DC

リウゼツナモドキ(カツザキコウゾリナ) (キク科)

地方名 チヤバ(馬) クビジ(馬)
産地 イント、ビルマ、タイ、インドシナ、マライ(インドシナでは栽培)
性狀用途 雑草、高さ八尺、葉は食用、

食									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Chrysanthemum coronarium L

シユンギク

(キク科)

地方名
産地
性状用途

ツン・ハオ(支)
 温熱帯各地(栽培)
 草本、本来温帯植物であるから、マライ低地では生育不良、高地
 ではやや良好で、開花もするが良し種子を得難い、支那人の好む
 野菜で、南方ではインドシナ方面に多い

食	藥				
				製	



ククワ

*Chrysanthemum
sinense* SAB.

キ ク

(キク科)

地方名 ククワ(菊花)(支)
 産地 温熱帯各地(栽培)
 性状用途 草本、観賞用、マライには適應した黄色品種が栽培され常に開花する。花葉は食用、全草芳香あり、咳、頭痛に内用、傷、皮膚炎に醫用

食							
---	--	--	--	--	--	--	--



Cosmos caudatus H.B. & K.

ヤサイコスモス

(キク科)

地方名 ウツム・ソジヤ(馬)
 産地 温熱帯各地(栽培)(原産アメリカ)
 性状用途 草本、花紅、全草芳香、野菜として食す、美味、特にアエモノに
 良し

食					
用					



Cosmos sulphureus Cav.

キバナコスモス

(キク科)

地方名 ウラム・ラジャ・クニン(馬)
 産地 温熱帯各地(栽培)(原産アメリカ)
 性状用途 草本、観賞用、花は黄又は橙色、全草食用、花よりは黄色染料を採る



Eclipta alba HASSK

x3

タカサブロウ

(キク科)

地方名
地産性
用途

ウラン・アリン (馬) カメング (泰)

温熱帯各地

雑草、花白、葉はゆでて食用、根及び葉の煎汁は吐下劑又便秘に用ふ、葉は皮膚病に塗布、ユコナト油と混じて外用すれば毛髮を伸すと云ふ、花は碎いて齒痛に用ふ。

食	藥						
---	---	--	--	--	--	--	--

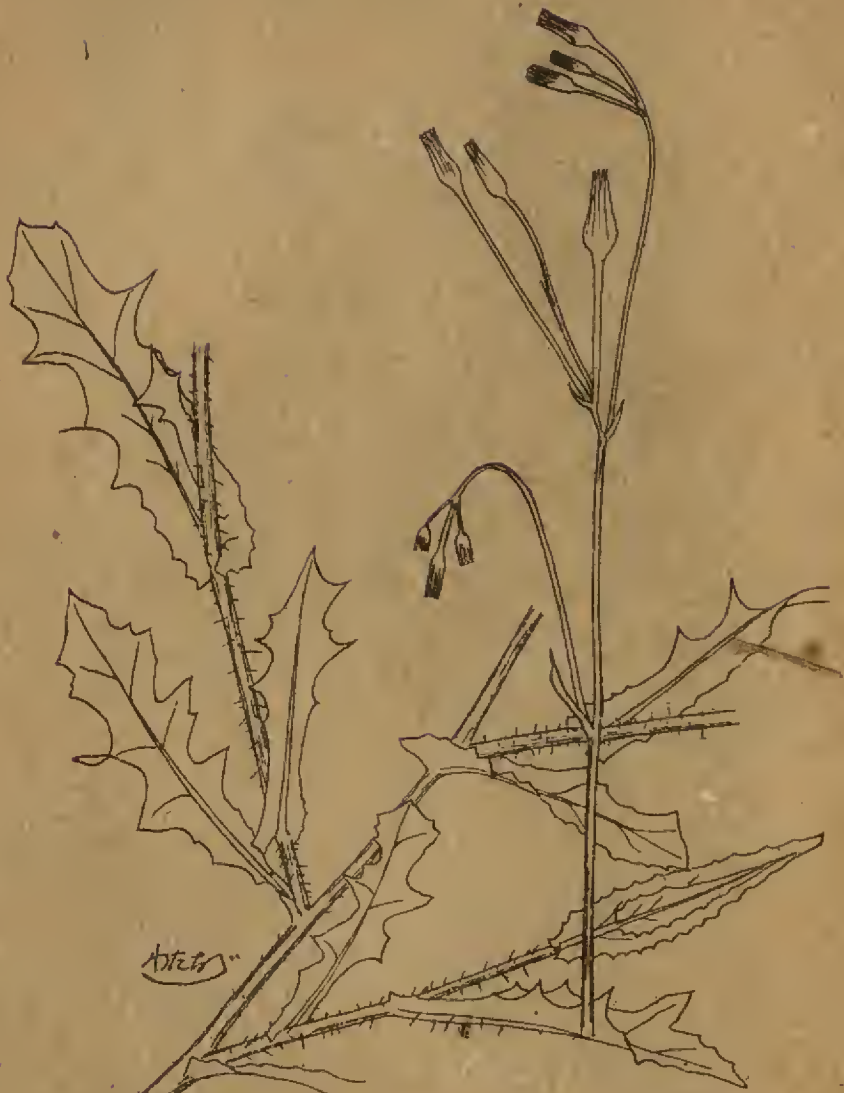
Elephantopus scaber L.



ミスミグサ

(キク科)

地方名 ツト・ブミ (馬)
 産地 熱帯各地
 性状用途 草本、下葉は地に密着す、花は淡紫色、葉根食用、飼料、葉及び根は利尿、驅虫に用ひ、根はマライ人が好んで産後に服用する



Emilia sonchifolia DC.

ウスベニニガナ

(キク科)

地方名
地産性

タンバ・タンバ・メラ(馬)
熱帯各地
花序は下垂、花は紅紫色、花後上向となる、葉は藍綠色、芳香、
白乳を出す、莖葉はサラダとして生食、美味、葉は熱、咳に内用、
根は下痢止、葉の搾汁は眼疾、耳疾に外用

食	薬								



Enhydra fluctuans LOUR

ヌマキクナ

(キク科)

地方名 チュンクルウ(馬) カンコン・ケルバウ(馬)
 産地 アフリカ、熱帯アジア(マライでは歸化植物)
 性状用途 沼地の雑草、若部は生食、煮食、全草やや苦く下劑

12

食									



ワタ

Erechites hieracifolia RAFIN.

ナンヨウシユンギク

(キク科)

地方名 ナシ
 産地 熱帯各地(野化)(原産アメリカ)
 性状用途 全株 シユンギクの香あり、花序は下向に垂下し花は橙赤色、全株
 野菜として美味

食									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



1026

Erigeron linifolius WILLD
= *E. sumatrensis* RETZ.

アレチノギク

(キク科)

地方名 サウイ・ブーラン (馬)
産地 世界各地 (歸化) (原産アメリカ)
性状用途 雑草、花白黄色、葉は食用となし得

13

食							



Eupatorium odoratum L.
= *E. conyzoides* VAHL

ヒマワリヒヨドリ

(キク科)

地方名
産地
性状用途

ナシ
ビルマ、タイ、北マライ、スマトラ (歸化) (原産アメリカ)
雑草、路傍に群生し、雨期には花なくキクイモに似た葉を對生し
若芽は赤色を帯ぶ、乾期に淡紫色の花を開く、葉は強香あり、若
葉をゆでて食用とし得

食	薬	飼			



Galinsoga parviflora CAV.

ガリンソガ

(キク科)

地方名 ブリビル(爪)
 産地 熱帯各地(野化) (原産ペルー)
 性状用途 雑草、インド、ジャワに多し、マライではタイピンヒルにあり、
 花は黄色で小、全草食用、飼料、殺虫力ありと云ふが疑はしい

食									



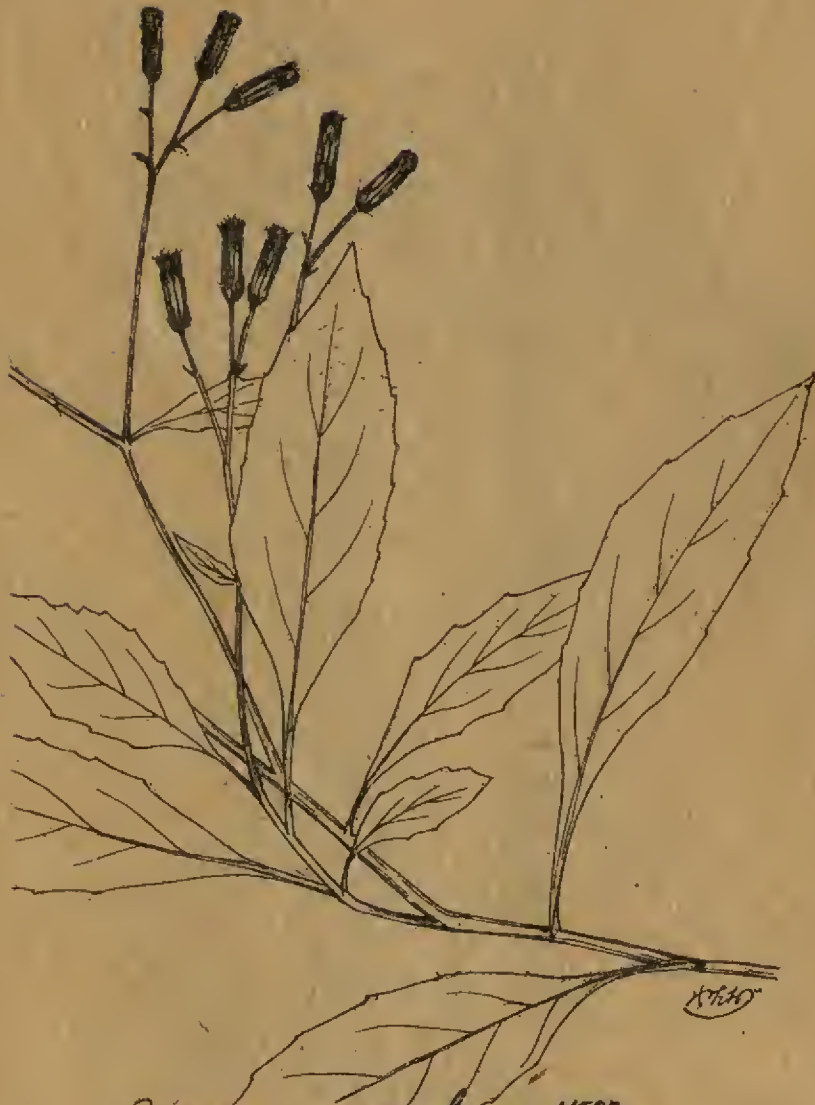
Gynura bicolor DC.

スイゼンジナ

(キク科)

地方名 ナシ
 産地 南支、インドシナ(栽培)
 性状用途 草本、葉裏紫色、葉は食用、挿木で繁殖する

食									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Gynura procumbens MERR
= *G. sarmentosa* DC.

ツルダチスイゼンジナ

(キク科)

地方名
産地
性状用途

アカール・スピア(馬) クルマイ・ノラ(馬)
マライ半群島
やや匍匐する大形の草本、葉は食用、時に各種の薬用にするが効
果は疑はしい

Helianthus tuberosus L



キクイモ

(キク科)

地方名 エルサレムアーテチヨーク (英)
 産地 温熱帯(栽培) (原産アメリカ)
 性狀用途 草本、高さ一丈、温帯の方が熱帯よりも適地である、花實、根莖は芋状でイヌリンを含み熱帯では單に野菜として食用するのみ

食	飼						



わたの...

Lactuca indica L
v. *dracoglossa* KIT

リウゼツナ

(キク科)

地方名 サヨル・タマカウ (馬)
 産地 東洋温熱帯(栽培) (原産南支)
 性状用途 草本、葉は粉白、タバコに似て居る、内地ではニハトリの飼料であるが南方では人の食用として生食、煮食す

食							
---	--	--	--	--	--	--	--



わかさ

Lactuca sativa L.

チシヤ

(キク科)

地方名 ダウン・サラダ (馬)
 産地 温熱帯 (栽培) (原産小アジア)
 性状用途 草本、マライ低地では圖の様な長葉の支那種はよく生育し採種も容易である、生食する

食	藥						



わらわら

Pluchea indica LESS

ヒラギギク

(キク科)

地方名
産地
性状用途

ブルンタス・バヤ(馬) クールー(泰)

熱帯アジア

灌木、海岸の沼地に群落をなす、又垣根としても作る、葉はやや
辛く野菜として食用、又茶として飲む、葉は収斂、解熱、發汗
薬とし、又赤痢にも内用、皮膚病に外用、

食									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



17-15

Sonchus oleraceus L

ハルノノゲシ

(キク科)

地方名
産地
性状用途

ナシ
ジャワ、スマトラ、インドシナ、フィリピン、支那、台湾日本本土
雑草、切ると白乳を出す、野菜として良好、生食も可、内地では
俗に有毒と云ふが誤である

食	藥						



Spilanthes acmella
MURR.

センニチモドキ

(キク科)

地方名 ドコ・グダング(馬) バラクレス(英)
 産地 熱帯各地(野化)(原産アメリカ)
 性状用途 草本。花黄。舌状花は極く小。少く出して食用。ピレトリンの一種スピラントールを全株に含み口中を碾碎さす故血痛、頭痛、喉頭痛、口内痛に用ふ。煎汁は利尿、膀胱結石を溶すに内用。根の煎汁は下劑。ピレトリンは刺激消化性あり。飼料にもなる

18

食	藥								



わたなげ

Vernonia cinerea
LESS

ムラサキムカシヨモギ (キク科)

地方名 ルンブ・タイ・バビ(馬)
 産地 熱帯各地
 性状用途 雑草、花紫、全草食用、飼料、葉は傷、クムシに外用、其の煎汁は下痢、痲痛に内用、根の汁は咳止に用ふ



Wedelia biflora DC

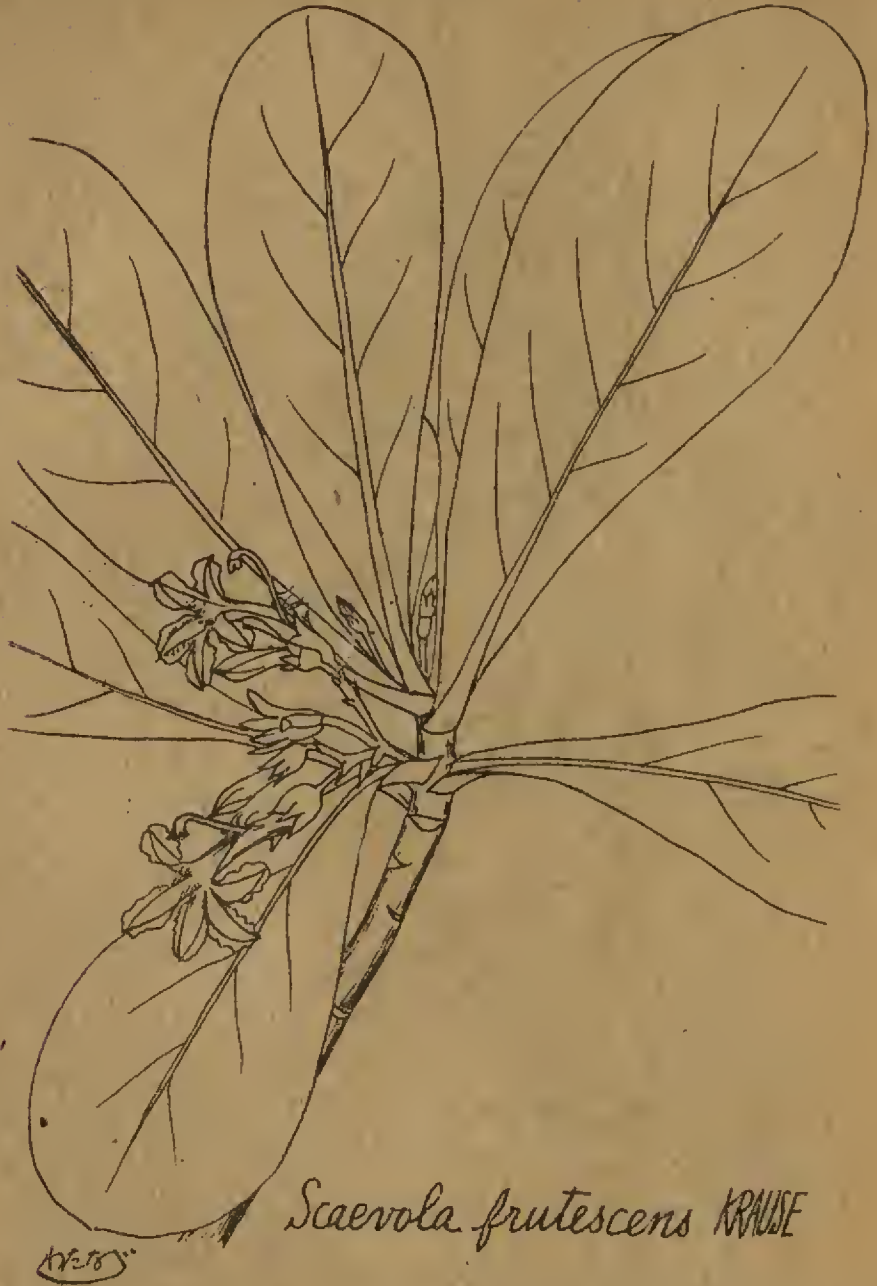
シマハマゲルマ

(キク科)

地方名
地産性
用途

スルナイ・ラウ(馬)
インド洋、南太平洋岸
海岸の雑草、花黄、若葉の少量はゆで出して食用とするが老葉葉
を多量に山羊に與へると吐瀉して死す、葉は傷、虫咬、腫物、皮膚
病に外用、煎汁は利尿性あり血尿に内用、花は酸下劑、根は淋濁
に用る

食	藥					種



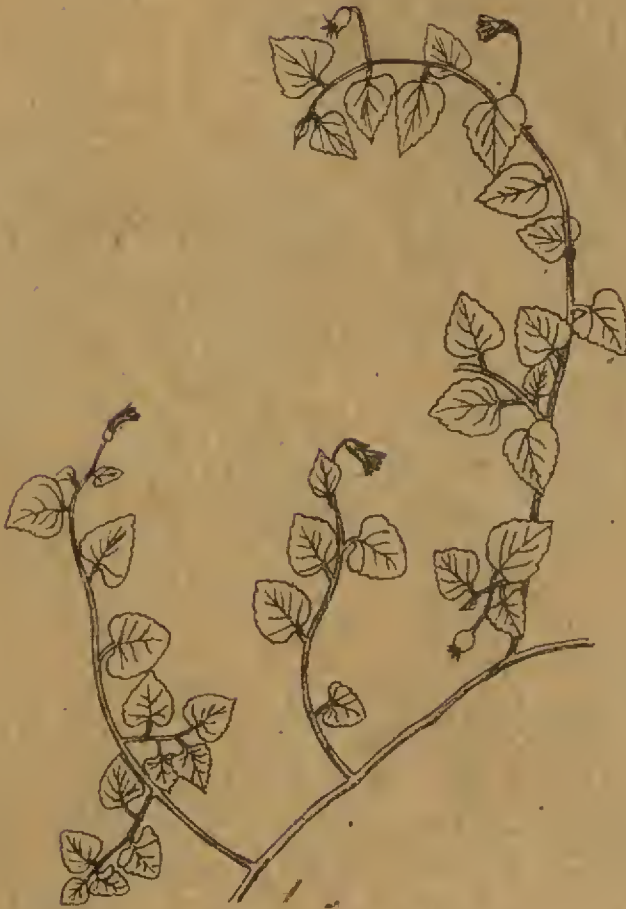
Scaevola frutescens KRAUSE

クサトベラ

(クサトベラ科)

地方名 アンボン・アンボン(馬) ボンボン(鳥)
 産地 インド洋岸、西太平洋岸
 性狀用途 海岸の灌木。葉は淡緑で肉質光澤あり、花は白黄色、葉は半ば香味消化薬として水で出して食用、糖は下痢止、葉、樹皮の煎汁は脚氣に内用、葉は足の浮腫に外用、果汁は眼疾に點眼、全株スクロランなるグルコシドを含む、糖は造花に用ふ

名									



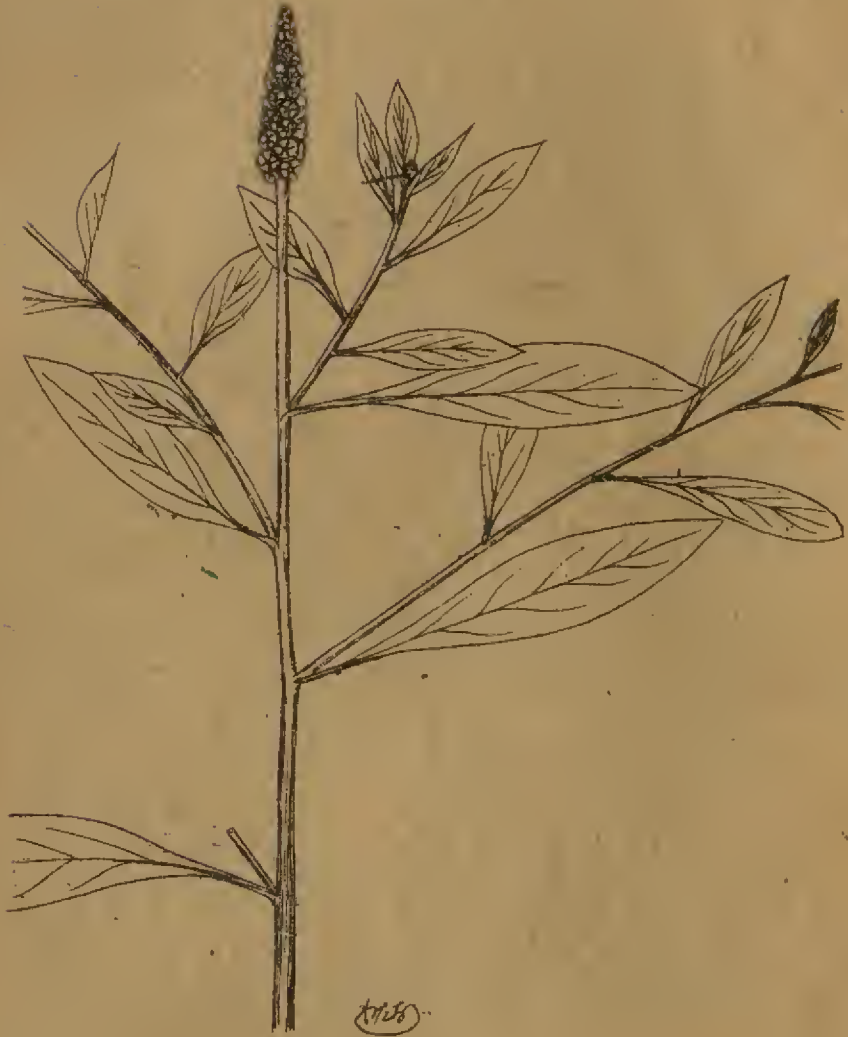
Lobelia succulenta BL

アツバミヅカクシ

(キキョウ科)

地方名
地産性
状用途

ランチ・ジアジア(瓜)
熱帯各地 (マライには無い)
水邊 匍匐雑草、葉は多肉、花は五裂片の筒状花を一方で開いた
形、淡紫色、若葉を生食煮食す
キキョウ科には無毒のものと有毒のものもあり



Sphenoclea zeylanica GAERTN.

ナガボノウルシ

(キキョウ科)

地方名 グンダ(瓜)

産地 熱帯アジア

性状用途 水邊の雑草、高さ四尺、全草少しく苦いが野菜として食す

養							



*Pentaphragma
begoniifolium* WALL.

ユガミウチハ

(キキョウ科)

地方名
産地
性状用途

サラング・スワング(馬)

マライ半島

草本、森林に生じ、葉はやや厚く軟、花白、北マライでは葉を煮て食すと云ふが他地方では之事を聞かぬ、森林に多い草故實否研究の要あり

種名									
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Benincasa cerifera SAVI.
= *B. hispida* COGN.

トウガ

(ウリ科)

地方名 タンヅウル(馬)フアキオ(赤)
 地産地産 温熱帯(栽培)(原産マライ群島、例ジャマ)
 性用途 蔓草、花黄、果は終迄有毛のもの(南方種)と熟期には無毛粉白になるもの(支那種)とあり、乾地を好む。果、若葉、蕾は食用、種子は白色で油を含み炒つて食用、葉の汁は打身に塗つて熱取に用ふ。野生品には果の球形で小形のものあり。ウリ科は少しく有毒のものがある。特に熟果が有毒になるものがある

食	薬						



Coccinia indica W.A.
= *Cephalandra indica* NAUD

わたあめ

ヤサイバカラスウリ (ウリ科)

地方名 ブバサン(馬)、タム・ルング(泰)
産地 インド、ビルマ、タイ、マライ、スマトラ、ジャワ(栽培、野生)
性状用途 蔓草、葉はやや厚く軟、花白、若果は白色縦條あり、熟果は全體赤色、若葉、果は煮て食用、葉莖は皮膚病に外用、糖尿病、淋病に内用、根は解熱薬

22



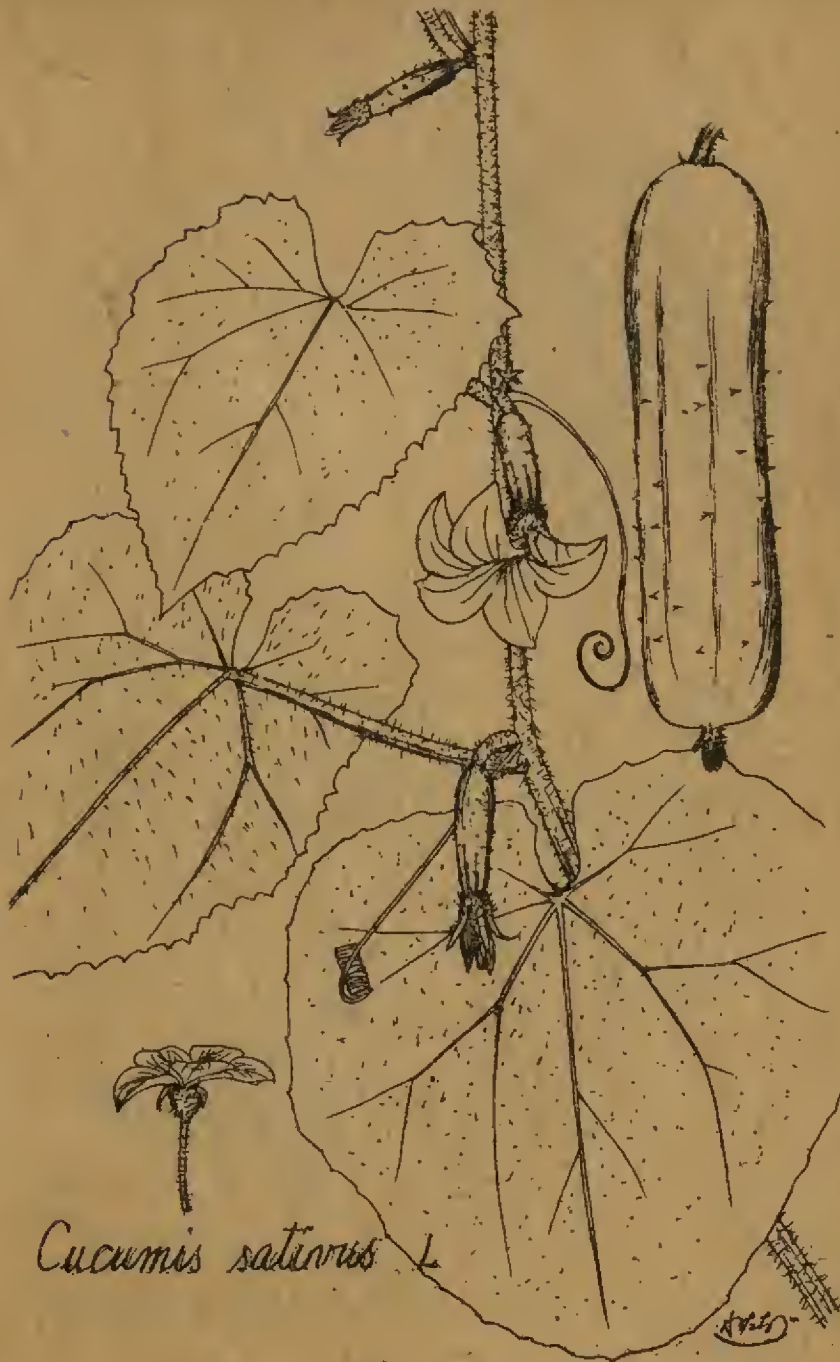
Citrullas vulgaris L.

スイクワ

(ウリ科)

地方名 ツミカイ(馬)
 産地 温熱帯(栽培) (原産アフリカ)
 性状用途 蔓草、乾地を好む、花黄、果色は品種により種種、果は野菜又は果物として食用、種子は油と蛋白を含み有毒成分なき故、色々にして食用、種子の油は半乾性、油粕は飼料、南支に多し

食	藥								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



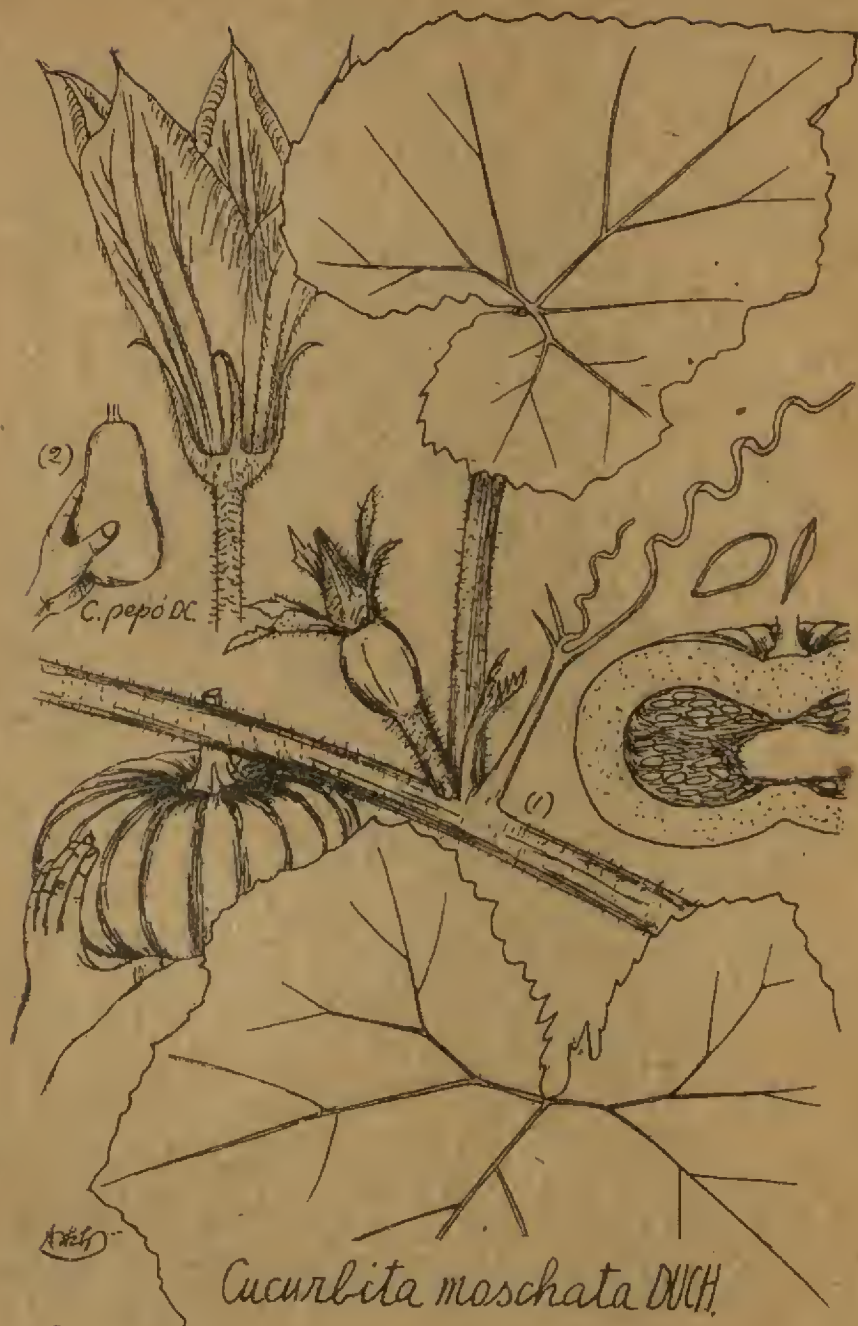
Cucumis sativus L.

キウリ

(ウリ科)

地方名 チムン(馬)チーンウーン(菜)
 産地 温熱帯各地(栽培) (原産インド?アフリカ?)
 性状用途 蔓草。古代エジプト、マシヤ、ローマ時代にも作物であつたが支那には後に輸入された。果、若菜は共に生食も可なり。熟種子中にはヒポキサンチンなるアルカロイド(餘り有毒ではない)と干燥性油とチボニンを含み、驅虫薬となし得。食用にはならぬ

23



Cucurbita moschata DUCH.

カボチャ

(ウリ科)

地方名 ラブ・マニス (馬) フアネオ (泰)

産地 温熱帯(栽培) (原産アメリカ)

性状用途 蔓草。花黄。果は扁球形と長形のものあり。果、若葉、若莖は食用。果は保存可能なるを長所とする。種子は油を含み食用可なり。又燈用。新鮮種子は驅虫薬に用よるが其効を否定する人もある。(2) 果の長形ものをセイヨウカボチャと呼ぶ人もあり

食									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Gymnopetalum cochinchinense KURZ
= *G. quinquelobum* MIQ

モミチバカラスウリ

(ウリ科)

地方名
産地
性状用途

ブチムン・チクス (馬) カダウン (泰)

南支よりマライ半群島迄

蔓草、花白、果赤熟、若葉及果はゆでてから煮食す、果は有毒なりと云ふ地方あれ共誤なるべし

食									



Gymnopetalum integrifolium KURZ

アオイバカラスウリ

(ウリ科)

地方名 ナシ
 産地 ニコバル、タイ、マライ、ジャワ、インドシナ
 性状用途 海岸の蔓草、地を匍ふ、葉は粗毛あり剛し、花白、果は径八分、
 縦條あり、黄橙色に熟す、マクワウリ様の芳香あり、食用

食	油						



Hodgsonia macrocarpa COGN
= *H. capnicarpa* RIDL.

オオダネカボチャ

(ウリ科)

地方名 アカール・クバヤン(馬) カーバーエー(泰)
 産地 タイ、マライ、スマトラ、ジャワ、ボルネオ
 性状用途 蔓植物、川邊に多し。種子は焼いて食用、種子はクバヤンのそれに似て居るが毒はなく、但し生では苦し、種子の油も食用となし得



Lagenaria leucantha RUSBY
= *L. vulgaris* SER.

ヒヨウタン

(ウリ科)

地方名 ヲブ・アヤ(馬) ナムタオ(泰)
産地 東洋各地(栽培) (原産アフリカ)
性状用途 莖草。花白。果壁は硬化する。特に水入用と食用との品種があるが前者其若果を食用とす。
種子の周りの組織及び莖は下剤。種子はサポニンを含む。果はヒヨウタンとして(クビ
レの少く、上で大口に切る)ヤシ酒採取具に用ふ

食	薬								



Saffia acutangula ROXB

トカドヘチマ

(ウリ科)

地方名 フトラ・チダ (馬) プア・リム (泰)
 産地 熱帯 (栽培) (原産インド)
 性状用途 蔓草、花は純黄色、未熟果は食用、熟果、根、莖葉は苦味あり下劑、葉の煎汁は月經閉止に用ふ、葉の搾汁は結膜炎に外用、熟果はコロンチン類似の配糖體を含むと推定さる

食	油						
地							

Luffa cylindrica ROEM
= *L. aegyptica* ROXB



ヘチマ

(ウリ科)

地方名 アトラ・マニス(馬) ノーア・コム(泰)
 産地 温熱帯(栽培)(原産インド?アフリカ?)
 性状用途 蔓草。花黄。若果、若葉、花は食用、種子中にはコッシンチンを含み、熟果は下痢、葉の汁及種子は吐劑、熟果の纖維は靴底用、種子には多量の半乾性油を含む

食									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



マライスズメウリ (ウリ科)

地方名 チムン・チクス (馬) ゲンゾールチクス (馬) テーンヌー (泰)
 産地 タイ、マライ、ボルネオ
 性状用途 蔓草、果は食用

27

食									



Melothria heterophylla COEN.

テングスズメウリ

(ウリ科)

地方名 チムンチクス (馬) ポンガーレン (泰)
 産地 熱帯アジア
 性狀用途 蔓草、果は食用、根は下劑



Momordica charantia L

ニガウリ

(ウリ科)

地方名 フライマ(馬)マラ(毒)
 産地 東洋温熱帯(栽培)(原産インド?)
 性状用途 蔓草、花黄、若果は皮で食用、苦味あり若葉、花も食用全草苦味配糖體モルデシンを含む。莖葉は皮膚病、火傷、湯傷に乾布。葉の汁は吐下劑(但過量は毒)又腸虫にも用ひ得。花は喉患に挿は痔に外用、墮胎用にも用ひる



Momordica cochinchinensis SPRENG.

モケベツシ

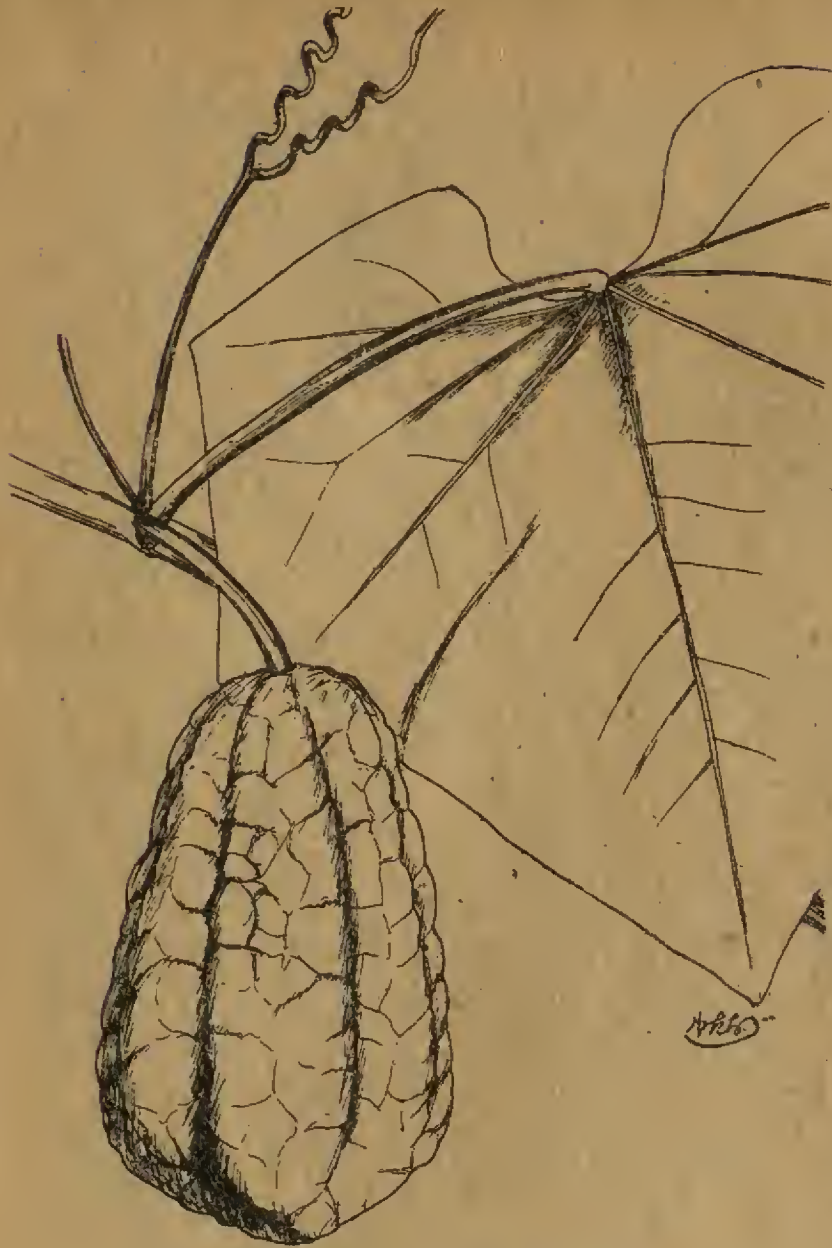
(ウリ科)

地方名 ヲルア(馬) フアカオ(春) 木魔子(支)

産地 インド、南支、マライ半群島間

性狀用途 蔓性植物。花瓣淡黄で基部黒點。果は赤熟。果、若葉は食用。種子は悪性腫瘍、癌に用ひる。種子油は熱すると半乾性油となりベイントに用ひ得。種子中にはアルカロイドを含みず無毒。此油は燈用、化粧クリームにも用ふ。根は石鹼代用

食	飼						



Sechium edule SWARTZ

ハヤトウリ

(ウリ科)

地方名 ヲブ・シキム (馬) チヤヨチ (英) チョコ (英)

産地 温熱帯 (栽培) (原産メキシコ)

性状用途 蔓植物、熱帯では高地を好む、多年生 (八年位) 果は貯蔵輸送に耐え野菜として美味、若草はウド様に生食、塊根は澱粉を含み一年生のものは煮食、老根は澱粉原料 (二貫以上になる) 種子も食用、葉は飼料、果のまま植る (種子を取出して植るのでない)

29

食									



ヘビウリ

(ウリ科)

地方名 クトラ・ウラー (馬) プア・ング (泰) スネークゴード (英)
 産地 東洋熱帯 (栽培) (原産不明)
 性状用途 蔓植物、花白、果は長く、恐らくインドに發育する *T. Accumerina* の栽培品種なるべし。果は先端に重晶石 (小石) を糸で結び下げ屈曲を防ぐ。未熟果は炎で食用、熟果は管脈發達と苦味にて食用ならぬ



アラゲム

Anotis hirsuta MIQ
= *Oldenlandia hirsuta* L.f

アラゲムグラモドキ (アカネ科)

地名 万地 産性 用途
 リンゲータン (瓜) スムボカンルマ (瓜)
 ジャワ
 雑草。匍匐性、花黄白、葉は悪臭あり、全草ゆでて食す
 アカネ科は大體無毒、アルカロイドを含み有毒のものもあるが有
 毒者は大抵有名な薬用植物である

30



Anthocephalus cadamba MIQ
 = *A. indicus* A. RICH
 = *Nauclea cadamba* ROXB.

クビナガタマバナノキ

(アカネ科)

地方名 ムンゴヤン(馬) カラムナム(薬) ガダム(印)
 産地 インド、ビルマ、タイ、インドネシア、マライ半群島
 性狀用途 喬木。球状に集合した果は肉質となり食用。若葉は不伏臭があるが老葉は酸く飼料に
 なる。樹皮は解熱強壯劑、葉の煎汁は含漱に用ふ。材は製紙用



Borreria articularis WILLIAMS.
= *B. hispida* HOOK. f.

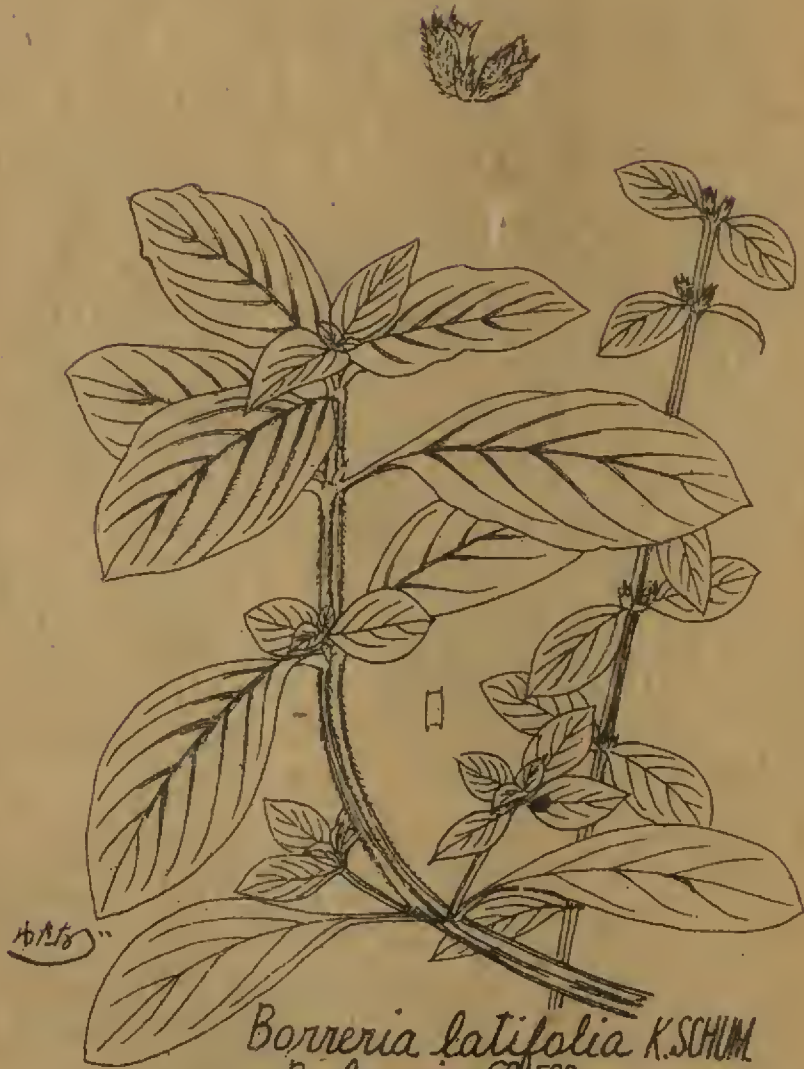
(アカネ科)

ツルフトバムグラ

地方名 ルムブ・スヌール (馬) ルムブ・スタワ (馬)
 地産 熱帯アジア
 性状用途 葉は食用、根の煎汁はサルチパトラの代用、葉は頭痛、胃痛等に延布するが効は疑はしい、次の近親種も食用とし得
 (2) ハグロムグラ、畑の雑草、葉の表は先端の近くは暗紫色、花白、莖は直立
 (3) プクハコベ、地、ルムブ、スタワ、或はクマング・ジャンクン或はチヨル・バビ (馬) 畑の雑草、葉は淡緑色

31

食	飼						



Borreria latifolia K. SCHUM.
= *B. laevis* GRÆSB.

ヒロフタバムグラ

(アカネ科)

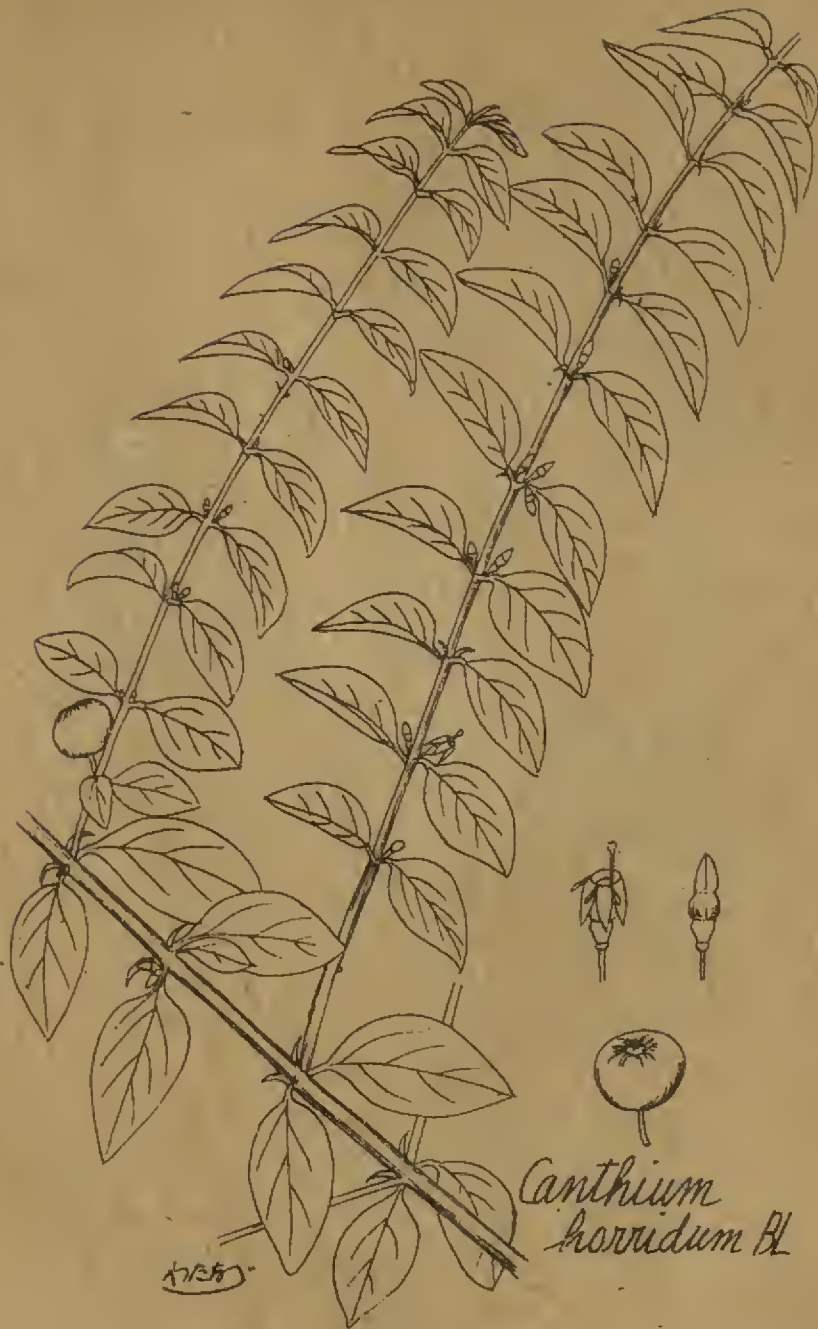
地方名
産地
性状用途

マラス・ムラタ(馬)

熱帯各地

柵の雑草、花は四合瓣、淡紫色、莖は四角、有毛、生食又は煮食
又飼料

原	標						



Canthium horridum Bl

ネコノツメ

ネコノツメ

(アカネ科)

地方名 アランガン(馬) シラウ(女)
 産地 インドよりマライ半群島迄
 性状用途 灌木。有刺。葉は絹毛あり。花冠白緑色。果は黄熟して酸味強く、食用とす。又糖果とする。葉は碎くと精油を生じ、之をゼリーとして食す。葉は眼病、傷に外用。熱病に内用。樹皮及若草は赤痢に用ふ。

32

科	属	種							
---	---	---	--	--	--	--	--	--	--

*Coffea
liberica* BILL



リベリヤコーヒー

(アカネ科)

地方名 本コックビー (略)
 産地 熱帯各地 (栽培) (原産西アフリカ)
 性状用途 灌木、枝は上向き。コーヒー中最も低地に適する種。葉は厚く濃緑、花径一寸五分、白色、果は赤熟、種子はコンゴコーヒーより大、種子を炒つて粉末にし飲用。葉及び枝の皮は乾して炒りコーヒー茶として飲用種子は製糖、利尿に内用、其の粉末は火傷、湯傷に散布して効あり

食	藥						
---	---	--	--	--	--	--	--

Coffea robusta LINDEN

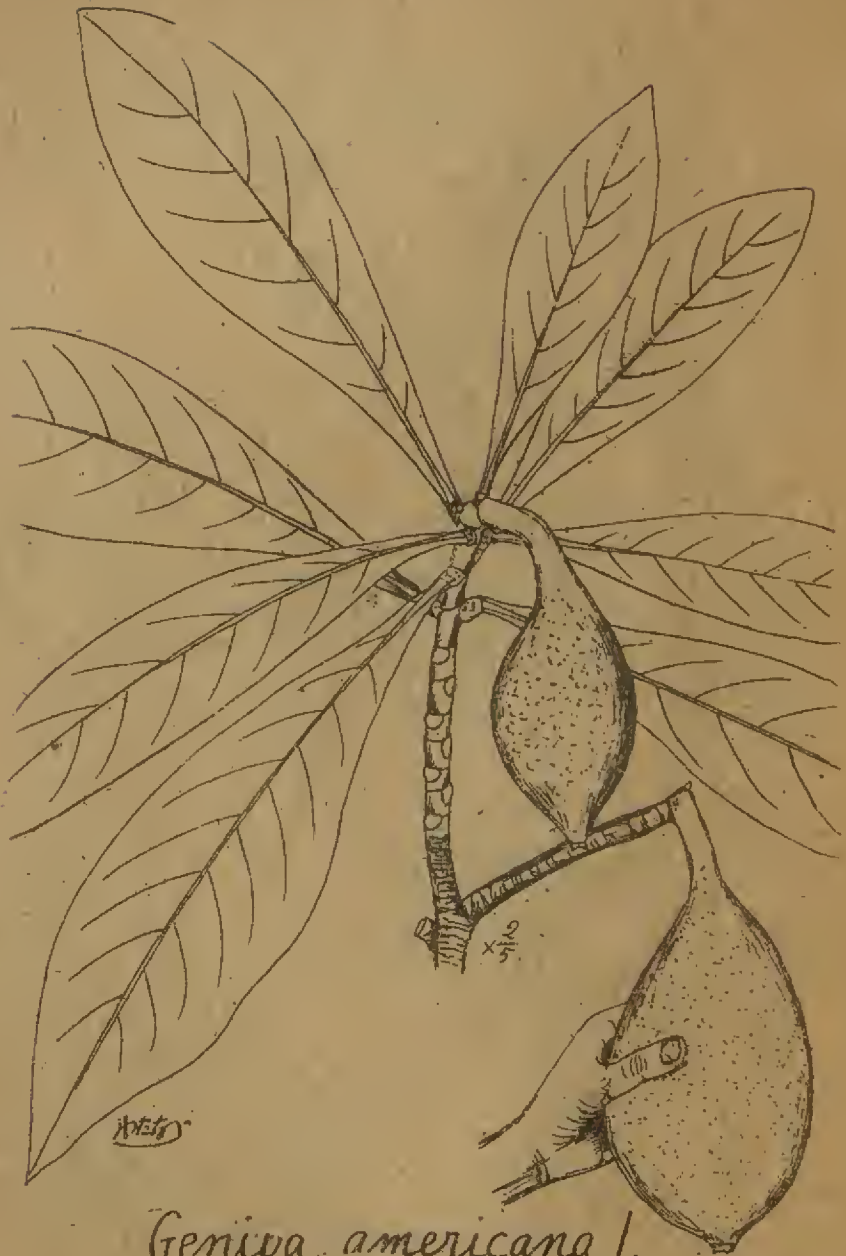


コンゴコーヒー

(アカネ科)

地方名 ボココツビー(島)
 産地 熱帯各地(栽培)(原産コンゴ)
 性状用途 灌木、枝は垂下性、葉は薄く淡緑、波縁、花及び種子はリベリヤ
 コーヒーより小なれ共用途は同じ

食				
藥				



Genipa americana L

デブサノキ

(アカネ科)

地方名 ナシ
 産地 熱帯(栽培)(原産南米)
 性状用途 小喬木、果樹、果を豊産す、果は淡褐色、過熟した頃生食す、腐つたリンゴの香あり、果には黄色色素あり文身用とする

食	藥						



Hedyotis auricularia L

ケダキニホヒグサ

(アカネ科)

- 地方名 クルカーボツ (馬)
 産地 ヒマラヤより暹羅迄
 性状用途 雑草や畑作物の花小、白、花冠四裂。葉を食用、葉は皮膚のヒビに塗布
 尖の近似種も食用とし得べし
- (2) ナガクビニホヒグサ 地、トロン・ブル (馬) 産、熱帯アロア
 (3) ホンバニホヒグサ 地、ルムプ・スプエ (馬) 産、マライ、インド、ビルマ
 (4) アカダキニホヒグサ 地、ラダ・ネオン (馬) 産、インド、南支、マライ半島等

食	薬								



Hedyotis capitellata WALL

スクタンニホヒグサ

(アカネ科)

地方名 スクタン (馬) ヲウソ・ヘンク (毒)
 産地 インド、南支、マライ半群島間
 性状用途 蔓草。葉は厚く表面白緑色。花は肉色。葉はナラゲとして生食又煮食。傷毒薬の主なもので蛇咬、骨折、クナミ、ヲウマナ、腰痛、オコラ等に外用。胃腸炎、消化不良、ムネヤク、赤痢等に生薬を食す

食	藥								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--

Hedyotis philippensis MERR
= *H. congesta* WALL



セイタカニホヒグサ

(アカネ科)

地方名
産地
性状用途

リダ・ジン (馬)

東洋熱帯

草本、莖は強剛、高さ四尺、花白、全草食用、根の煎汁は赤痢、
胃病、淋病に内用、諸痛部に莖布



Ixora coccinea L.

ベニデマリ

(アカネ科)

地方名 ラタンバラ(印)
 産地 熱帯一般(栽培) (原産インド)
 性状用途 灌木、花赤、観賞用、花は食用、花及び根を赤痢に内用、葉を傷、潰瘍に外用

食	藥						
品							



オオマツカサノキ(ヤエヤマアオキ) (アカネ科)

地方名
産地
性状用途

ムンクド・ブツナル(馬) ヤアウ(泰)
東南アジア(栽培野化) (原産モルツカ)

30
小木。花白。果は黄緑色に熟し酸味あり鹽を付けて食し得。又碎きて砂糖を混じ緩下
飲料とする。若葉は食用。但し苦し。根及幹の材は黄色染料となる。果は月經促進。利尿。
糖尿病、療腫肥大、肝臓病、脚氣、出血、咳嗽に内用。樹皮の煎汁は透くオコラに内用

食	薬						
	飲						



Morinda elliptica
RIDL

マツカサノキ

(アカネ科)

地方地 ムンクド・キチ(馬)
産地 マライ

性状用途 灌木。花白、果はオヨマツカサノキより水氣少く且つ小。若葉は煮て野菜として食用、葉は飯に混じて食欲増進に食し、又コレラ、下痢、熱病等に内用。傷に外用。樹皮は朝、帆布の染色

食	薬				
域	性				



Morinda umbellata L

ツルマツカサノキ

(アカネ科)

地方名 ムンラド・アカール(馬) ヤアク・ヤアン(泰)

産地 インドより南洋迄

性状用途 蔓性灌木、花白、果は褐色に熟す、葉裏の葉脈は赤し、若果は料理に用ひ、熟果は生食、葉も食可ならべし、根は黄色染料を供す、葉は驅虫に根の煎汁は水腫に内用、(根は腫下劑なりと云ふ人あれ其疑はし) 蔓は索となる

37

R							



ヤタネ

Mussaenda frondosa L.

ケコンロンクワ

(アカネ科)

地方名 ナシ
 産地 インド、ビルマ、クイ
 性状用途 灌木、花橙色、肥大萼は白色、葉は有毛、花及び若葉は食用



Mussaenda glabra Vahl

ヒメコンロンクワ (アカネ科)

地方名
地産性
状用途

バレ・アダブ(馬)
東南アジア
灌木、葉は無毛、若葉は裏面紫、花は筒部綠色弁の内面美橙黄色、
肥大萼は白色、若葉、花は生食又は煮食、葉は茶としても用ふ、
葉根は咳に用ふ。

38

食									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Mussaenda villosa WALL.

ナガガクコンロンクワ

(アカネ科)

地方名 バレ・アダブ (馬) バーレ・アーダ (泰)
 産地 タイ、マライ、ボルネオ
 性状用途 蔓性灌木、花内面美橙黄色、肥大萼白、他の萼は細長し、花、若葉は食用、他の近似種も同様に食用となし得べし

頁									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Nauclea maingayi HOOK. f.
= *Sarcocephalus maingayi* HAV.

オオタマバナノキ

(アカネ科)

地方名 ムンカール (馬) ブラサン・ウタン (馬)
産地 マライ、ボルネオ
性状用途 喬木、果は甘く食用、若葉も食用し得べし

39

食									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Nauclea subdita MERR
 = ~~*Sarcocephalus subditus*~~ PIQ

クダンバタマバナノキ

(アカネ科)

地方名 ムンカイ(馬) マキ(馬) クダンバ(馬)
 産地 マライ、スマトラ、ジャワ
 性状用途 小木、果は食用、垣根にも作る、若葉も食用し得べし



ナンヨウヘクソカツラ

(アカネ科)

地方名
地
性狀用途

アカール・マクント(馬)

東洋熱帯
草の強い蔓草。花は邊縁淡紅色、筒部内面淡赤紫色。葉はインドールの惡臭あり。葉は
生食も可なるが萎れは惡臭なく美味。葉は粥に混じて整腸又は病後回復期の養食。葉の
皮は催吐性ありと云ふ。葉の浸出液はソウマチに内用。葉の纖維は強く絹糸光澤あり

40



Pavetta indica L.

コブハデマリ

(アカネ科)

地方名 ジヤルム・ジヤルム (馬) ケムバ (泰)
 産地 インド、南支、濠洲間
 性状用途 灌木、花白、葉の臍上所々にバクテリア瘡あり、熟果は食用、根は下劑、利尿劑、窒素同化をなすと云はれ綠肥に用ひられる



木本

Petunga microcarpa DC

コツブガチンノキ

(アカネ科)

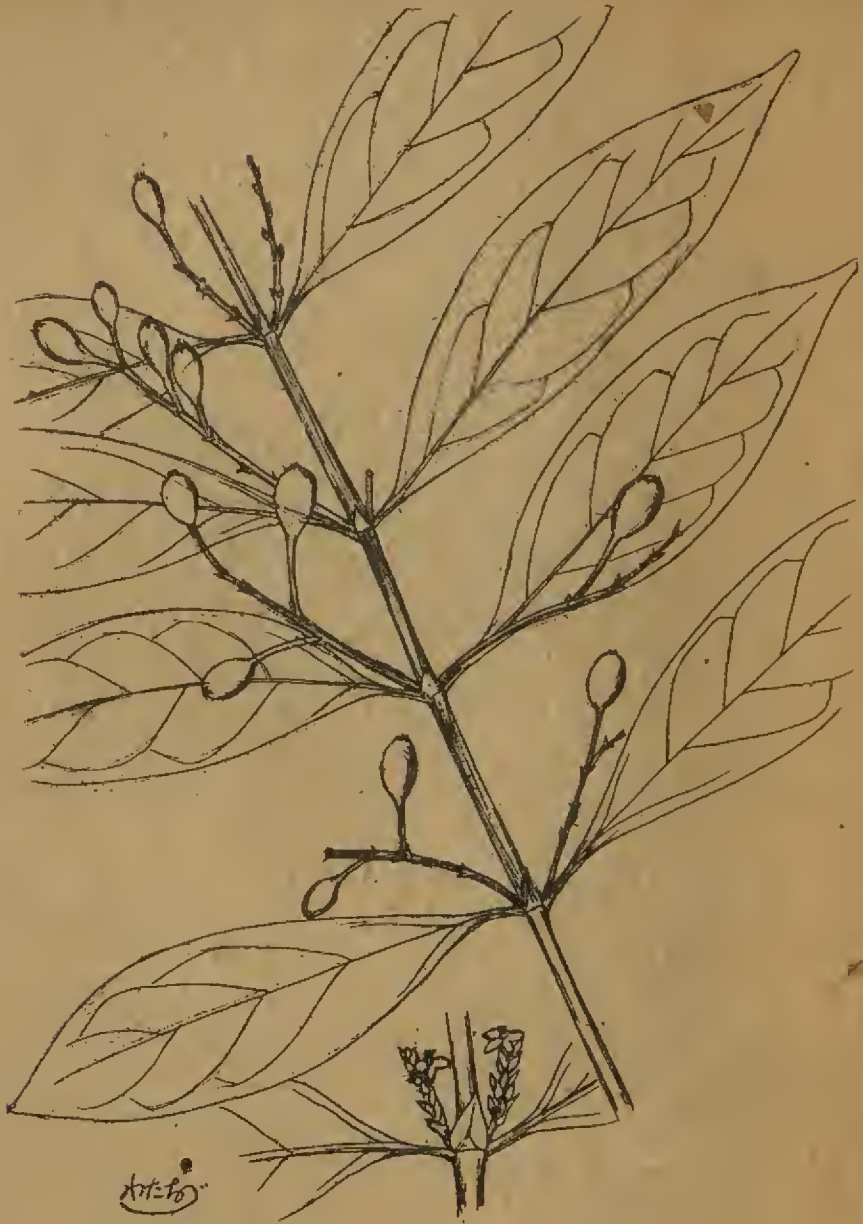
地方名 アビ(瓜) ババラン(瓜)

産地 ジヤワ

性状用途 小木、若葉、若芽はサラダとして生食す

41

食	藥								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



Petungia venulosa HOOK. f.

ガチンノキ

(アカネ科)

地方名 カユ・ガチン(馬)
 産地 マライ、ボルネオ
 性状用途 灌木、若葉、若芽は生で飯に混じて食す、少しく織し、果も料理
 に用ふ、根の煎汁はリウマチ、胃痛に内用

森							
林							
示							



Rubia cordifolia L

アカネ

アカネ科

地方名 ナシ
 産地 インド、ビルマ、タイ、スマタラ、支那、日本
 性狀用途 草本、若部を皮で食用。根は橙黄色を呈しツウカサに會へば紅色となる色素アリゲリン(一名マダー)を含み染色に用ひられた。ソウキム(インド)、ネグロス(ジャバ)キナボ(ボルネオ)等の産は葉にも又同一色素を含む
 根は又收斂薬としても用ひられる

大	葉	草	科				
---	---	---	---	--	--	--	--



Plantago major L

オ、オバコ

(オオバコ科)

地方名
産地
性状用途

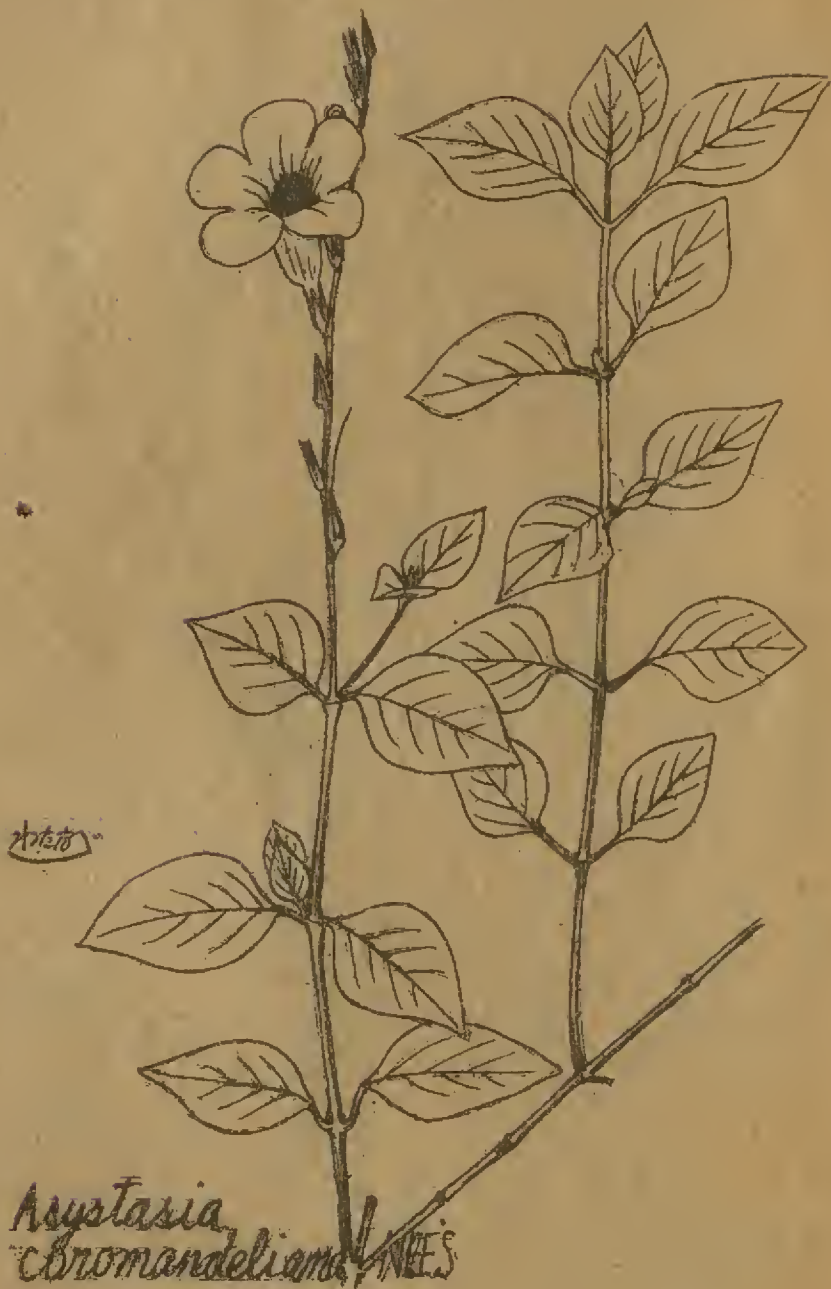
エタール・アンジエン(馬)車前(支)

温帯アジア(マライ栽培)

草本、葉は食用、種子はワケリーとして食用、種子は砕いて煮れば飼料として良好、種子は
スクシニン酸、プランチノリク酸、アデニン、コラーゲン、アウキユビンを含み下痢、赤痢に
内用、又利尿薬とする。葉はアウキユビン及び加里を含み其の煎汁は赤痢、淋病に内用。
其他藥用、腫物の括布にも用ふ、根もアウキユビンを含み嘔止

43

食									
								観	



*Asystasia
bromandelioides* NEES

コロマンサウ

(キツネノマゴ科)

地方名
地産
性状用途

アカル・ルアス・ルアス(馬)

熱帯 (栽培、野化)

草本、花はクロム黄色と淡紫色とあり、觀賞用、葉は食用として

美味

キツネノマゴ科のものは猛毒のものはない。

頁							
---	--	--	--	--	--	--	--



Dicliptera chinensis NEES.

ヤンバルハダロサウ

(キツネノマゴ科)

地方名 ナシ
 産地 南支、マライ半群島
 性狀用途 草本、花紅、若葉は食用

44



Hygrophila salicifolia NEES
 = *H. angustifolia* RBR

ナンヨウオギノツメ(ヤナギハグロ) (キツネノマゴ科)

地方名 クルマ・バツ(馬)
 産地 熱帯アジア
 性状用途 沼地の雑草、花は淡紫色で下唇先端のみ濃紫色、若葉は野菜として食用し得べし、葉は外傷、腫瘍、水腫等に膏布

食							
採							



Peristrophe
bivalvis MERR.
= *P. tinctoria* NEES.

ベニゾメハグロ

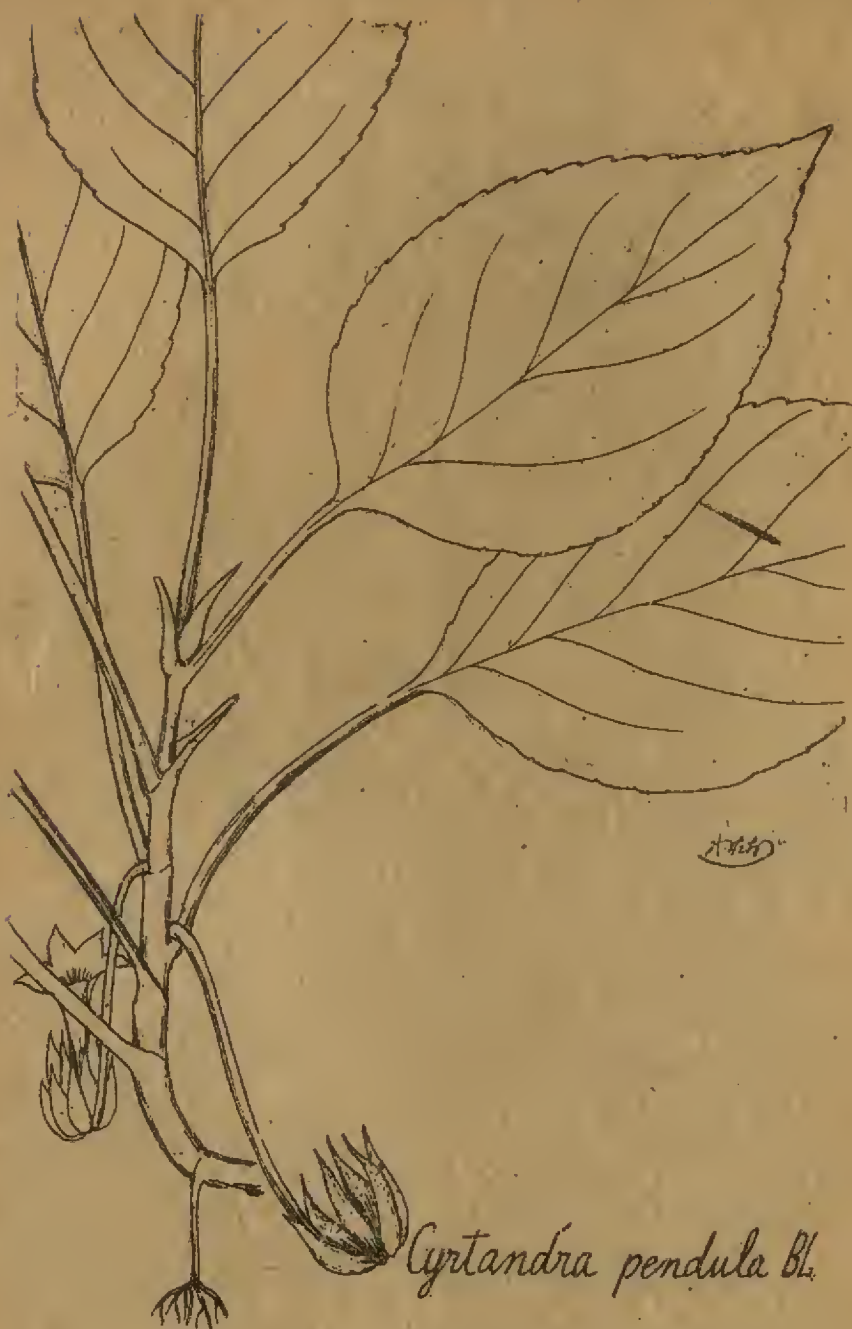
(キツネノマゴ科)

地方名 ムラブツ (馬) ノシヤ、馬

産地 熱帯アジア (栽培、野生)

性状用途 草本。花は紅紫色。葉は肉を煮て赤汁スープを食す、花は卵の料理に着色するに用ふ。全草赤紫色染料を含み葉は碎いて布に染ると少時にして赤紫色に變る

1									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Cyrtandra pendula Bl.

カガリビイワタバコ

(イワタバコ科)

地方名 アサム・バツ (馬)
 産地 マライ、スマトラ、ジャワ
 性状用途 草本、森林の下草、葉裏短毛密布、花淡黄色紫斑、葉は調味料として用ひ得べし



Sesamum orientale L

ゴマ

ゴマ科

地方名 ビジヤン(馬)ワルタラ(印)
 産地 各地(栽培) (原産インド)
 性状用途 種子及其の油ヲ食用、油粕は牛の食料、ゴマ油は傷面保護、月経促進、葉は碎いて炭に
 包布、胃腸病に内用(粘液ある爲)
 本圖の品種はマライ野生種にして花は淡紅紫色、多枝、種子黒色にして殻あり、採油用
 としては良好に非ず、種子に殻のなき栽培ゴマを食しとする

食	藥								
味									



Oroxylum indicum VENT

ソリザヤタラノキ

(ノウゼンカヅラ科)

地方名
地産性
用途

ムルツライ(馬)ベカ(毒)
インド、暹支、マライ半群島間
小喬木、葉はタラノキの如く、樹梢より基の曲つた果を垂下す。花は夜開き早朝落下、淡
茶色で辨部のみ濃黄。果は裂けるとスキーの如し。若葉、花、樹皮はゆで出して食用。
葉及び樹皮は鞣皮用。染色用。根皮及び樹皮は舌く赤痢、下痢、ラウマチに、葉は胃痛、
食欲不振に内用。種子はラウマチに内用、根皮、樹皮はコレラ、熱病に寄注

食									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



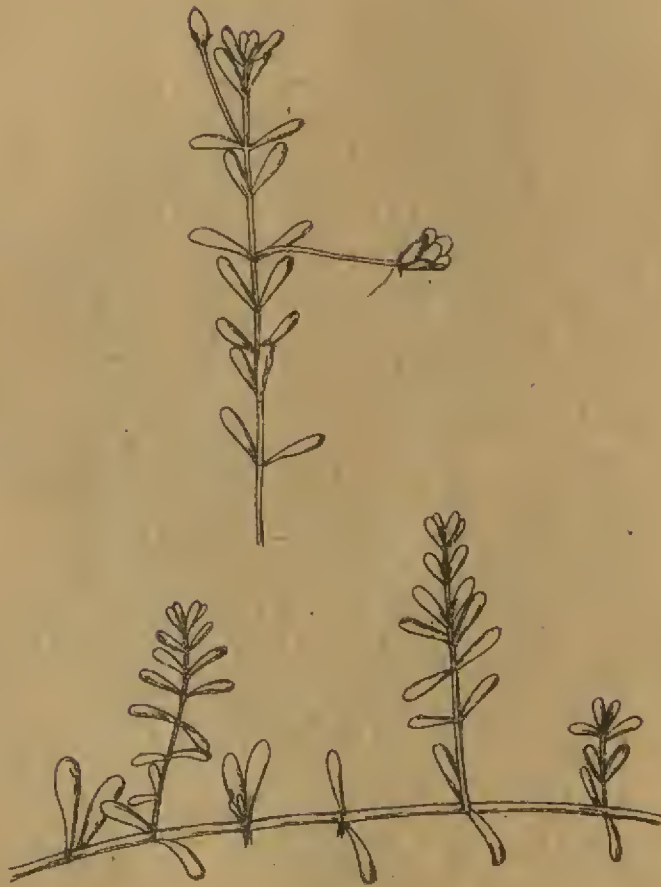
Artanema angustifolium BENTH.
= *A. sesamoides* BENTH.

ゴマモドキ (ゴマノハグサ科)

地方名 セサウイ・ハシア (馬) ククル・ガジャ (馬)
産地 東洋熱帯
性状用途 沼地の草本、花葉、アフリカでは野菜として食すと云ふ故東洋でも食用とし得べし
ゴマノハグサ科には有毒のものはない

47

食	藥								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



Herpestis

Herpestis monniera H.B. & K.
= *Bacopa monniera* WETTST.

オトメアゼナ (ゴマノハグサ科)

地方名 プレミ (馬) ブラミ (印) バクミ (泰)
産地 熱帯各地
性状用途 海岸等の沼地に生ずる匍匐草、花は淡紫色、萼は大片三、小片二
全草食用として美味、又緩下、利尿、糸状虫、(象皮病)の驅除に
用ふ



シソクサ (ゴマノハグサ科)

地方名 ブルミ
 産地 インド、南支、済洲間
 性状用途 葉翠、芳香あり、全草生食又は美食、葉は傷に疳布、葉、根の煎汁は熱病に用ひ 又去痰
 次の近似種も同様用ふ
 (2) ミガクエシソクサ
 (3) ケダキシソクサ(ホウライソクサ)



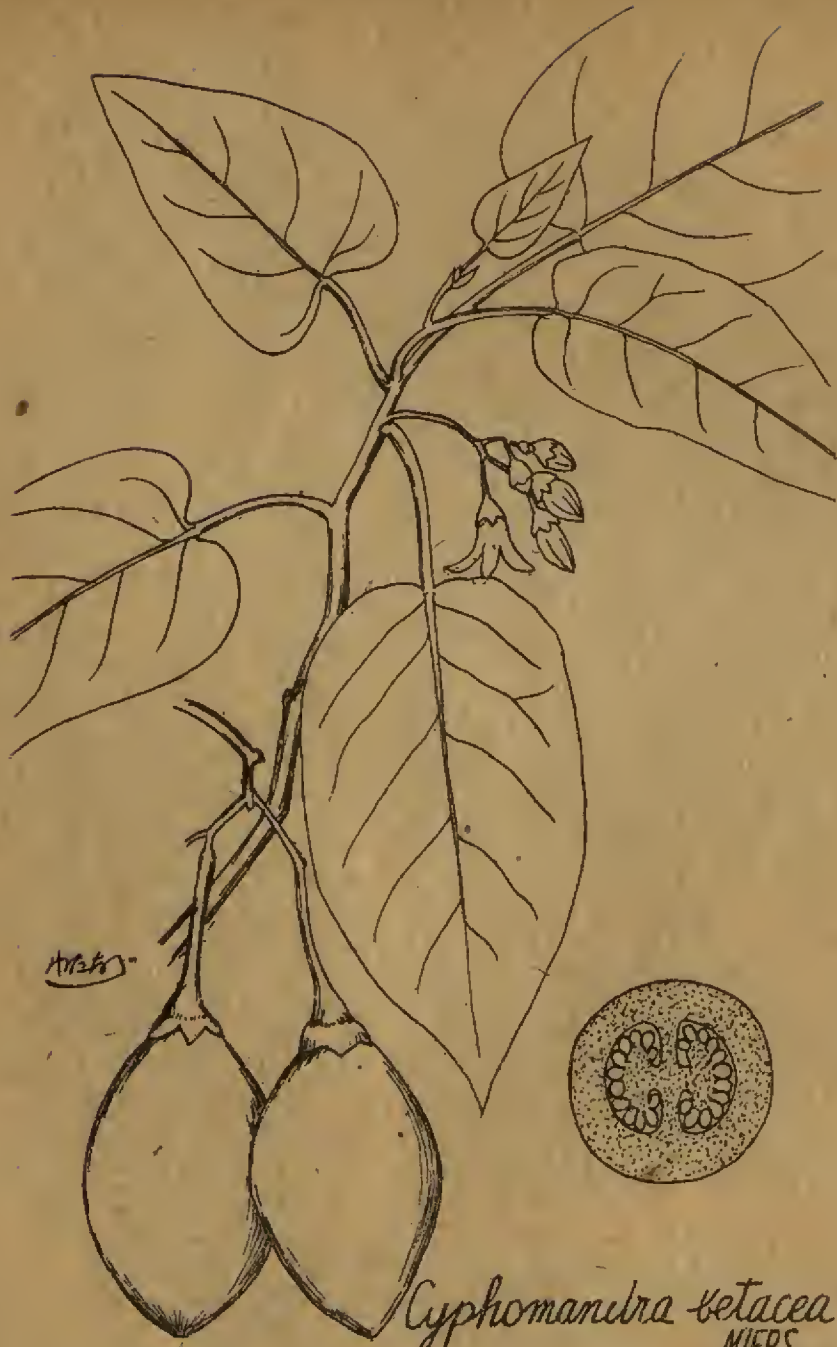
Capsicum annuum L.

トウガラシ

(ナス科)

地方名 チヤバイ(馬)ブラーマイ(泰)トタ(英)
 産地 温熱帯(栽培)(原産南米ナリ)
 性状用途 草本、花白、果の形、色辛さは種々あり、一般に果の種子の附着點に揮發性アルカロイド
 カプサイシンあり冷水に不溶温水他の溶劑(アルコール酢酸)に溶ける、溶液は皮膚を惹
 起は粘膜を刺激する、果は香氣と辛味あり、生食、葉は野菜、果は引赤劑として外用、
 食慾不振、下痢コレラに内用、根は麻病藥として内用
 (2)キダチトウガラシ
 チヤバイ、ブーロン(馬)産、熱帯各地(栽培野化)(原産南米)やや灌木状、山地に野化、花
 淡緑、萼淡紫色、果上向、用途トウガラシに同じ

食									



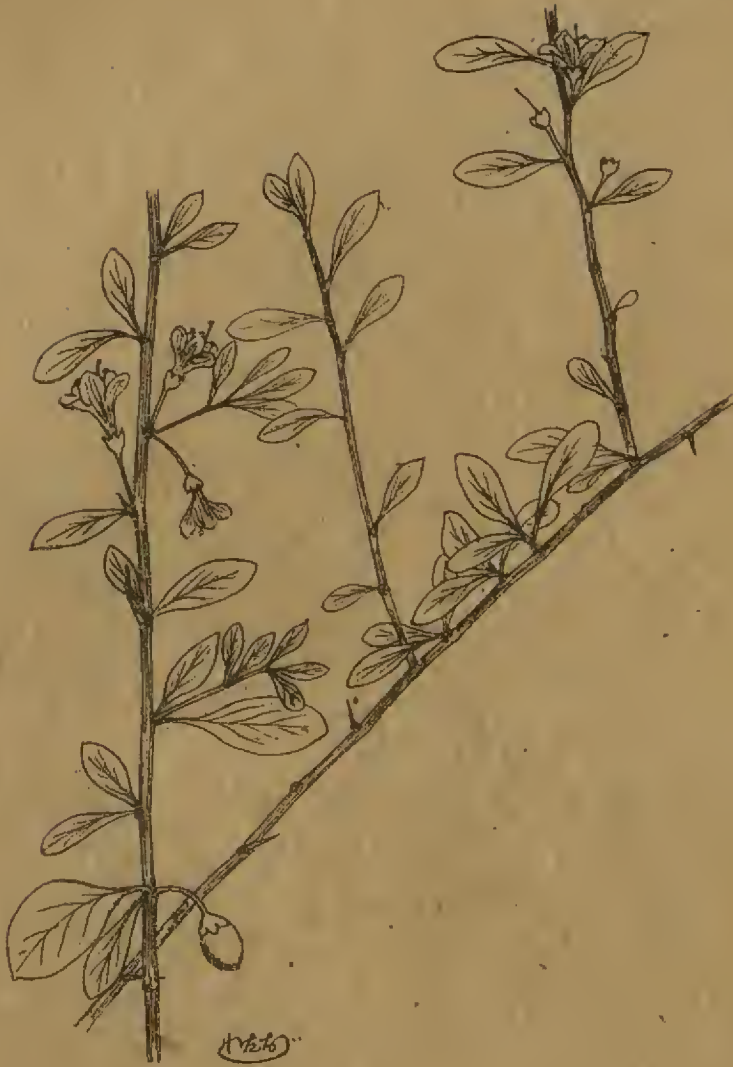
Cyphomandra betacea
MIERS

トマトノキ

(ナス科)

地方名 ツリートマト(英)
産地 熱帯各地(栽培)(原産アメリカ)
性状用途 灌木、熱帯高地に適す、花は肉色、果は紫色、果は生食、煮食又はジャムとする

食	藥								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



Lycium chinense L

ク コ (ナス科)

地方名 ダウン・コキ (馬) クーキツエ (支) カウゲーチエ (支)
 産地 日本、支那 (熱帯アジア栽培)
 性状用途 灌木、花は紅紫色、果赤熟、葉は野菜として食用、果根は熱、リウマチに内用、又強壯剤とする、葉の煎汁は齒痛に含漱する

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----



Lycopersicon esculentum MILL

トマト

(ナス科)

地方名 フロン・ブランド(馬)フアンゲー(番葡)(支)
 産地 温熱帯(栽培)(原産南米アンデス地方)
 性状用途 草本。熱帯特にマライ半島では菌病の爲成育困難。但焼しを用ひ鉢植とすればやや良好
 熱帯高地によく成育し特に台木を他のナス科或は原始的トマトにして接木すれば成績良
 し。種子挿木により繁殖、果菜類を食用。葉にはクラニン及びバナボニンを含むがれて食
 すれば害はない。東アフリカ及マデイラ、セネバス等では野化

食	藥						



Physalis minima L

センナリホホツキ

(ナス科)

地方名 ルツルツ (馬) ルイルイチャウ (支)

産地 熱帯各地

性状用途 雑草、花黄、果はサラダとし又は煮て食す、葉もゆで出せば食用し得べし、葉果は利尿薬、根は驅虫、解熱に、葉は傷薬とする

夜	薬								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



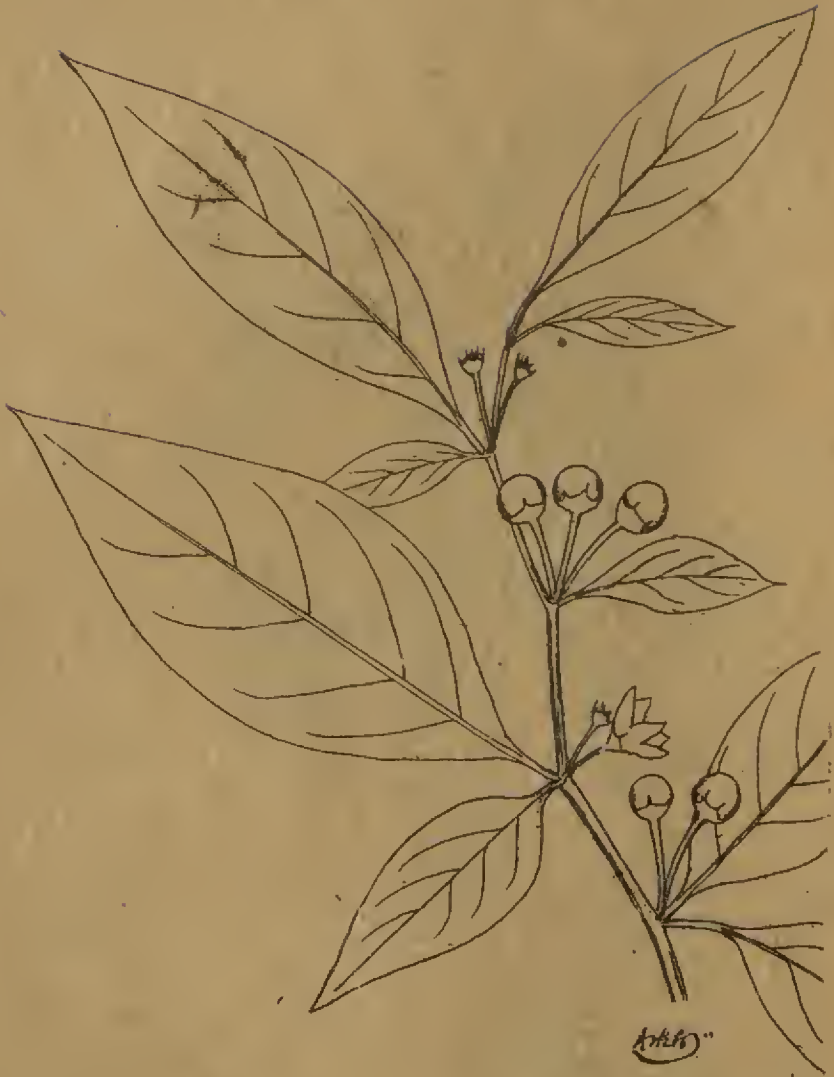
Solanum aculeatissimum JACO.

ヒロバトゲトゲナスビ

(ナス科)

地方名 フロン・ブラ(馬)
 産地 タイ・マライ・スマトラ・ジャワ
 性状用途 灌木状草本、多刺。葉は多毛。果は橙赤色。果は焼き又は煮て食用。果は皮膚病に外用。根は歯痛に詰める。全株ソラニンを含み馬が食べば中毒す
 (2) *ソバトゲトゲナスビ地、エラボワ(印)カンダシカスリカイ(印)ネイロド(1)に類似し葉に毛なし。果を食用、全草喘息、扁桃腺炎に用ふ

食									



Solanum blumei NEES

ナガバズメナスビ

(ナス科)

地方名 ツロン、チャートル(馬)
 産地 マライ、スマトラ、ジャワ
 性状用途 小灌木、山地に生ず、花紫色、果は赤熟、葉は野菜として食し、果は甘く食用

良薬	ハ				
----	---	--	--	--	--



Solanum ferox L

スイミナスビ

(ナス科)

地方名
産地
性味用途

フロン・アヤム (馬) ムウ・ムウ (象)
 熱帯アジア (栽培野化)
 雑木。多刺。葉は紫藍。花白。果は異熟し多毛。果は熟するに従ひ酸味を増す。熟果は
 皮を去り以て酸味野菜として食す。種子は腐痛虫としてバナナの葉に巻いて喰喰し、後に
 虫卵でウガヒする。根の煎汁は身體の痛み止として内用。又微毒に内服。根は外傷に
 世術

32

食	藥								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



ヤシロ

Solanum indicum L.

シロスズメナスビ

(ナス科)

地方名 ツロン・ビビ・プテ(馬)
 産地 インド、マライ
 性状用途 小灌木、若果を割つて煮食、根を気管支炎、喘息に用ひ、又根の煎汁を利尿薬とする

食									



Solanum macrocarpon L

テリハナスビ

(ナス科)

地方名
地産性
用途

ツロン・アンコール(馬)
熱帯各地(栽培)(原産アフリカ)
草本、外見ナスに似て居る、花は淡紫色、葉は軟く無毛で光澤あり、莖は紫黑色、果は白緑色、萼が著しく大、主として葉を食用にする

食	類								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



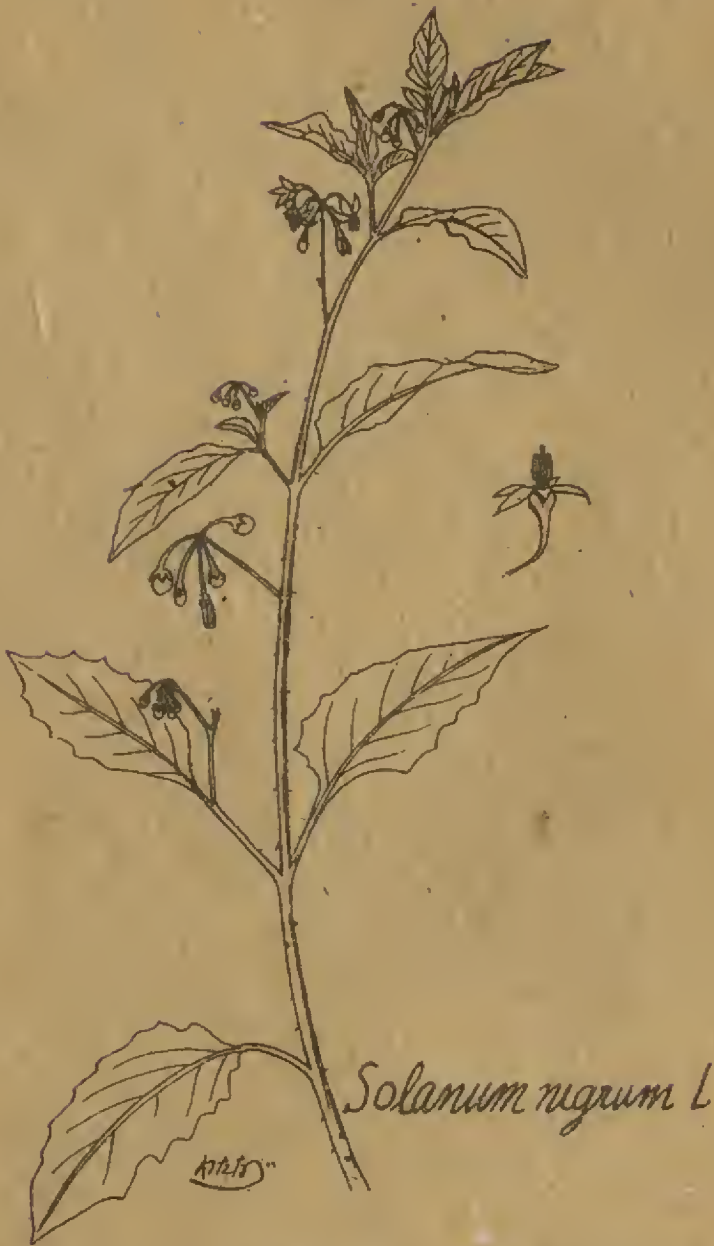
Solanum melongena L
= *S. esculentum* DONAL

ナス

(ナス科)

地方名 ツロン(馬) ナリン(泰) / ランジャル(英)
 産地 温熱帯(栽培)(原産インド)
 性状用途 草本、刺の多少。果の色(紫、黄、緑) 果の形(長球)等は種々、時に野化したものには果の黄色のもの多し。果を食す。炭水化物6%、蛋白1%。を食ひ、莖はクウマナに、葉、根は種物、皮膚病に用ひる。全草食物の毒消しに役立つと信じられて居る

食	藥								



イヌホトツキ

(ナス科)

地方名
産地
性状用途

ランチ(馬)カルカンウエリヤ(印)

温熱帯

雑草、花白く葯のみ黄、果は黒熟。温帯では毒草とされて居るが熱帯では野菜として食用、全草利尿、下剤、傷薬とする

54

食									



Solanum torvum SWARTZ

スズメナスビ

(ナス科)

地方名
産地
性狀

フロノ・ビビ(馬)

熱帯

草本様灌木、花白く葯のみ黄、葉裏短毛、葉縁はやや長毛、果は黄熟すると未熟時に採る割目を作つてゆでて煮食す

(シロズメナスビとの區別)

スズメナスビ 葉大、葉裏刺少し、花白

シロズメナスビ 葉小、葉裏刺多し、花紫



Solanum trilobatum L.

ツルダチスズメナスビ

(ナス科)

地方名 ツロン・バイ (馬) ツツベライ (印)
 産地 東南アジア (マライでは栽培)
 性状用途 半蔓草、花淡紫色、果は白緑色、果は苦いが生食又は煮食、
 根 (苦味あり) 及若葉の煎汁又は粉末を結核に内用す

食	藥								



Calceus amboinicus LOUR.
= *C. aromaticus* BENTH.

アンボンジソ

(唇形科)

地方名
地産
性狀用途

ムレバングン(島、カブラワリヤ(即)
東南アジア(栽培)(原産不明)
草本、葉は緑色厚質多毛芳香、葉を風味料として食す、葉は氣管
支炎、喘息、咳、消化不良、胃痛に内用、虫刺、褥瘡に外用
唇形科は香氣強いものはあるが有毒のものはない

食	薬						



ムラサキサヤバナ(ニシキジツ)

(唇形科)

地方名
地産
性状用途

アチアチノラ(馬)
タイ、マライ半群島(栽培)
本、葉は多くは赤又は赤と黄の斑を有し觀賞用、莖葉を食用、
草搾汁又は煎汁は消化不良、胃痛に内用、葉を磨り胃心臓部の
痛み、腺の腫脹に碇布



Coleus tuberosus

BENTH

イモジソ

(脛形科)

地方名 クンビヲ(馬)クミリ(馬)
 産地 インド、マライ半群島(栽培)(原産アフリカ?)
 性状用途 乾地を好む匍匐草、地下の芋は色、味共にジャガイモの代用食品
 但形やや小形、葉も食用、挿木により繁殖す、成熟四月



Hyptis brevipes POIT

ナントウイガニガクサ

(唇形科)

地方名 サウイ・ウンガン(馬)

産地 マライ半群島(歸化) (原産アメリカ)

5才 性状用途 雑草、葉は粗毛あり、劣等な野菜として食す



Hyptis capitata

イガニガクサ

(唇形科)

地方名
地産性
用途

ナシ
熱帯アジア (歸化) (原産アメリカ)
雑草、此類の他種 *H. pectinata* よりは苦味質シブトリデなるラ
クトンが證明された、本種も同じであらう
葉はゆで出せば食用し得べし

食	分								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



Hyptis suaveolens POIT

ニホヒニガクサ

(唇形科)

地方名 セサウイ、ウクン (馬)
 産地 熱帯各地
 性状用途 雑草、芳香、若葉は香料として食物に混じて用ふ、發汗、刺戟薬として内用、皮膚病に外用、バチヨリに混用

食	藥								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



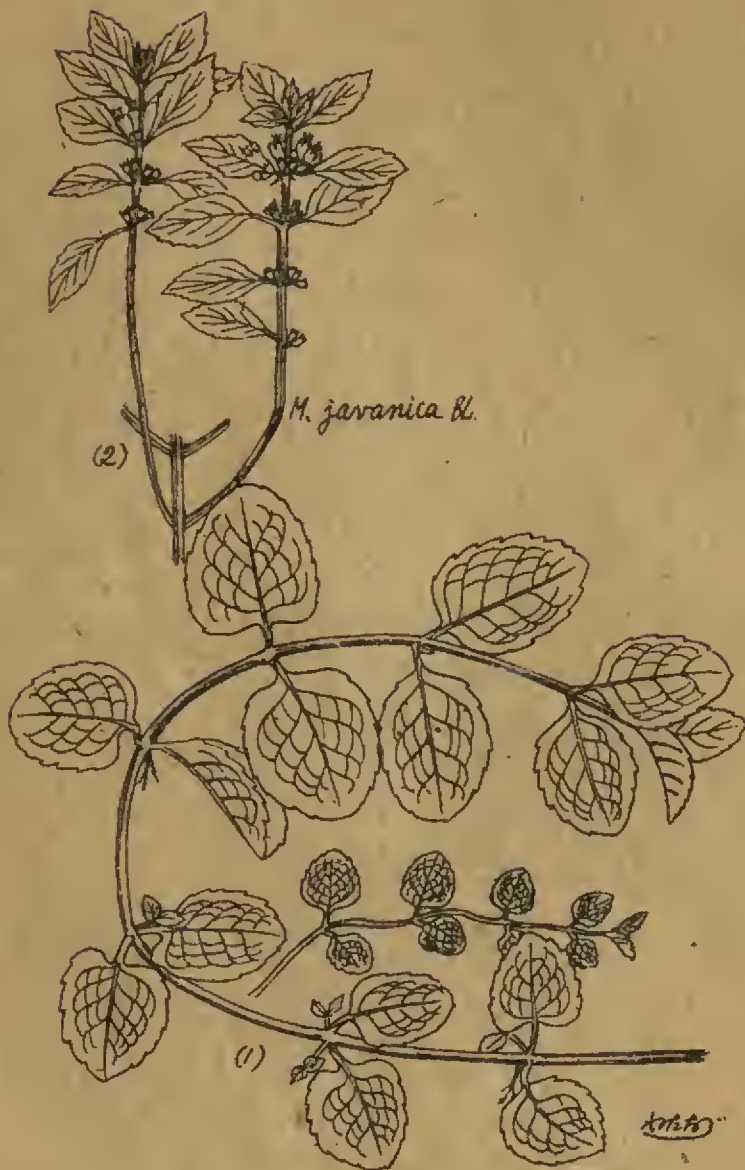
L. larandulifolia SMITH
= *L. linifolia* SPRENG.

Leucas zeylanica R.Br.

セイロンハツカ (唇形科)

地方名 クツンバ (馬) ゲタ・ツンバ (印)
 産地 インド・マライ半羣島
 性状用途 雑草、芳香、花白、葉を香料として食す、葉は腫物、傷に醫布
 驢虫に内又は外用 (腹部に醫布)
 (2) ホソバセイロンハツカ 地、産、用 (1) に同じ、葉はやや細い

食	藥								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



Mentha arvensis L.

ハクカ

(唇形科)

地方名 プアナ (馬) ボホ (香花草) (支)
 産地 温熱帯 (栽培) (原産温帯アジア)
 性状用途 匍匐草、葉赤色、葉は毛多く、芳香、熱帯では開花せず、鉢植を可とす、香味野菜、又乾して茶として飲用
 咳止薬、熱帯では薄荷油を採る程成育良からず
 (2) ジャワハクカ 葉、薬、用 (1) と同じ、直立草本、熱帯でも開花す、

有	葉								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--

Ocimum basilicum L.



メボウキ

(唇形科)

地方名 スラロ・ジャンセン(馬) マンククルク(泰)
 産地 東洋熱帯(栽培野生)
 性狀用途 草本、高三尺、毛少く、單葉、花淡紫、上部のみ有毛、葉はシツクに代用して食す、蒸汁を喉に内用、ヤヤ縮腫性、種子は暖水して粘質化するを以て下痢に内用、又腰の麻を除くに用ふ、葉は衣類の防虫用
 (2)ヒメボウキ地、クマシバ産はルクルク(馬)産用(1)に同じ、但葉をややく緊強、主として葉を乾燥食品とする



Ocimum sanctum L

カミボウキ

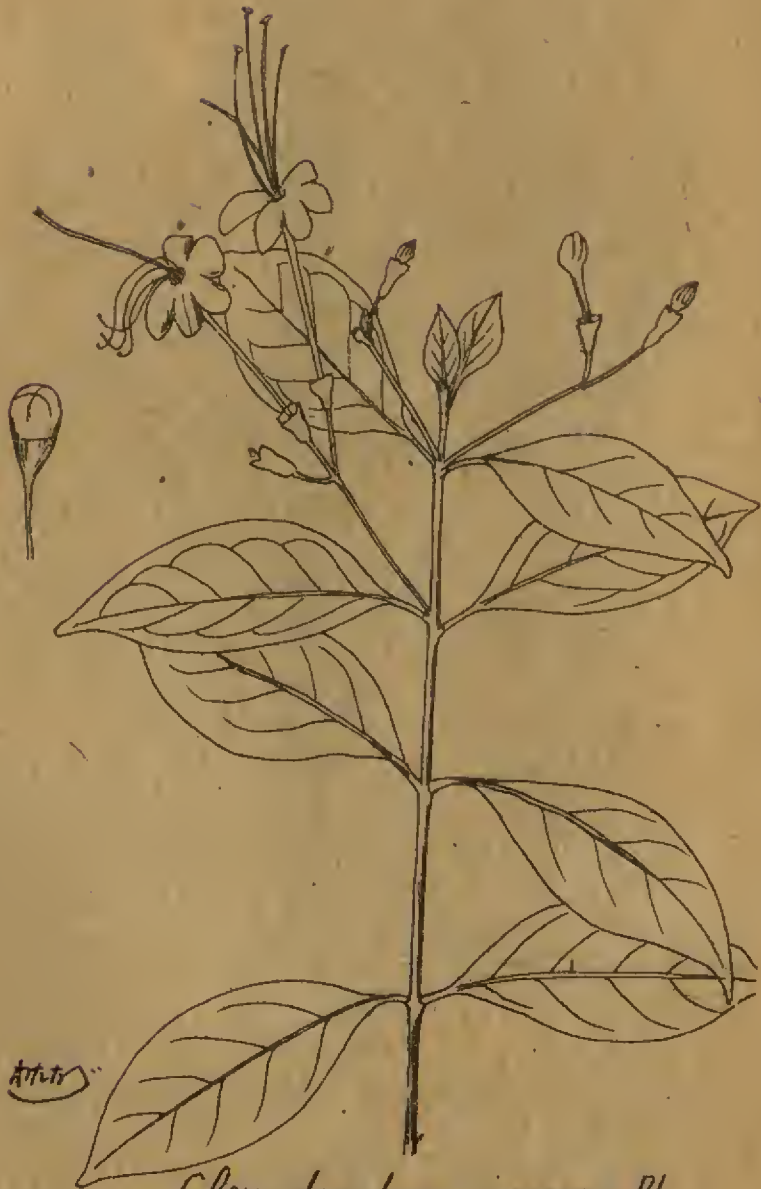
唇形科

地方名
地産性
用途

スラセ (馬)
アラビヤ以東マライ半群島迄 (栽培、野生)
灌木状草本、多数の枝を分つ、多毛芳香、葉を香味食品とす、根の煎汁は解熱、葉の汁は下剤、花は蜜に視じて咳に用ふ、葉の汁はリウマチにも塗布、種子は眼の膜を除くことノボウキと同じ、インド教後の聖草の一つ

60

食	藥								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



イボクサギ

Clerodendron inerme BL.

イボクサギ (クマツヅラ科)

地方名 フンダ・パワン (馬)
 産地 インド洋岸、太平洋岸 (馬)
 性状用途 海岸の灌木、葉は厚くオカイボクの如し、花白くやや紫を帯び、雄蕊は紫、果は緑紫色
 若葉はゆでて食慾増進に飯に混じて食す若し、碎いた種子の煎汁は魚、カメの中毒に内用
 果は赤痢に用ふ、根、時に材、葉も解熱薬

食	藥								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--

Clerodendron serratum SPRENG



ウスギクサギ (クマツヅラ科)

地方名 チンデヤールタセ (馬)
 産地 インド、ビルマ、タイ、マライ、ジャワ、セレベス
 性状用途 61 灌木、花は黄緑色。唇弁のみ淡紫色。若葉、若花序は生食又は煮食、苦し、葉は又飼料。葉は嘔止に噴み。葉の煎汁は疝痛に内用。加里多く利尿にも用ふ。葉はタムシ。麻痺。熱病に懸布



Lantana aculeata
L

シチヘンゲ

(クマツヅラ科)

地方名
産地
性状用途

ブンガ・タイ・アヤム (馬)
熱帯 (野化) (原産アメリカ)
灌木状草、刺あり、強臭、花は黄、紅等あり変色する、果は黒熟し、調味料として用ひ又生食す、葉は防腐性あり外傷、腫物に膏布、腹痛にも外部から膏布す

凡葉							
----	--	--	--	--	--	--	--



Lippia nodiflora MICH.

— イワダレサウ (クマツヅラ科)

地方名 ナシ
 産地 インド洋岸、太平洋岸
 性状用途 海岸砂地の匍匐草、花紅紫色、少しく苦く葉を茶として飲む、又消化不良の刺戟薬に用ふ

62

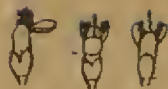
分	葉						



Premna divaricata WALL

クロエハマクサギ (クマツヅラ科)

地方名 ブアス・ブアス (馬)
 産地 ビルマ、タイ、マラヤ
 性状用途 灌木、花は緑色で下唇基部のみ黄、花序部の萼は黒色、果は有毒と云はれるが葉は食用、材は黄白色、質中等、一般用



ヒメマライハマクサギ (クマツヅラ科)

地方名 アンボン・アンボン・ラク (馬) ノアス・ノアス (馬)
 産地 マライ
 性状用途 大灌木、海岸近くに多し、垣根にも植る、若葉は食用、老葉又は根の煎汁は 解熱、根は
 又瘧疾に用ふ。
 (2) マライハマクサギ地、ノアス (馬) ナアラウド (馬) (1) より少く葉が狭いのみ、他は (1) に
 用じ

食	薬						
---	---	--	--	--	--	--	--



ヤマト

Stachytalpheta indica VAHL

ミツイロナガボサウ (クマツヅラ科)

地方名 スラセ・ダンジ (馬)
 産地 熱帯アジア
 性状用途 草、花は淡紫色、葉は皺がない、葉はゆでて食用、葉の煎汁は赤痢に、根は淋病に内用

食	材				

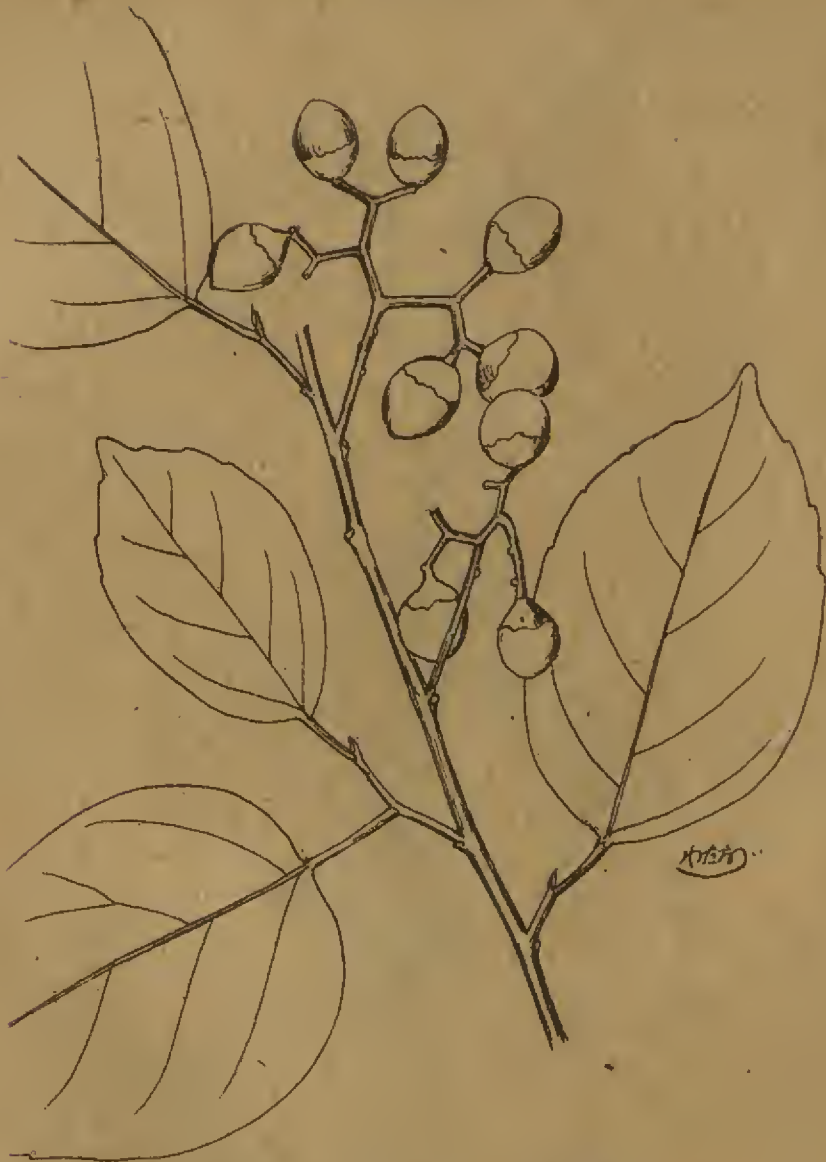
Stachytarpheta
jamaicensis Vahl.



シワバナガボサウ (クマツヅラ科)

地方名 スラセ・タンヂ (馬)
 産地 熱帯アジア (歸化) (原産アメリカ)
 性状用途 草、花は濃紫色 葉は鞣質、若芽はゆでて食用、葉は飼料、全草
 鹽鹼に用ふ

64



Cordia dichotoma FORST. f.
 = *C. obliqua* WILLD = *C. myxa* ROXB.

ノナブロン (ムラサキ科)

地方名 ノナ・ブーロン (馬) スクンダル (馬) バウマン (泰)
 産地 インド、南支、濠洲間
 性状用途 喬木。果は紅色で粘質。糊に用ふ。又食用。樹皮の煎汁は解熱、
 消化、赤痢、口内炎に用ふ。樹皮の繊維は薬。材はやや強靱。葉は
 飼料

食	薬						



わんげん

Ehretia microphylla LAM.

サンザシチヤノキ (フクマンギ) (ムラサキ科)

地方名 ナシ
 産地 東南アジア
 性状用途 灌木。マライでは垣根に植る。葉は濃緑でサンザシの如く花白。葉は茶として飲用するが又其の煎汁は胃病、咳、熱に内用

65

食									



Tournefortia argentea L

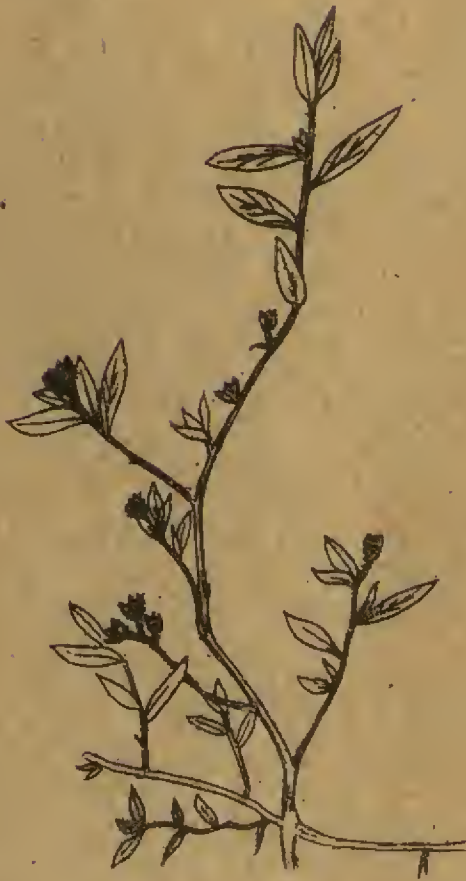
モンパノキ

(ムラサキ科)

地方名
産地
性狀用途

ナシ
インド洋岸、南太平洋岸
海岸の小木、枝は平開、葉は毛を密生し灰白色のピロウドの如し
葉は生食

食	薬						



ナシ

Hydrolea zeylanica VAHL

セイロンハコベ

(ハゼリサウ科)

地方名 ナシ

産地 インドより台湾迄

性状用途 沼地の草、食用、葉は殺菌性あり、漬場に散布

66

食									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Aniseia martinicensis CHOISY

シタバヒルガホ

(ヒルガホ科)

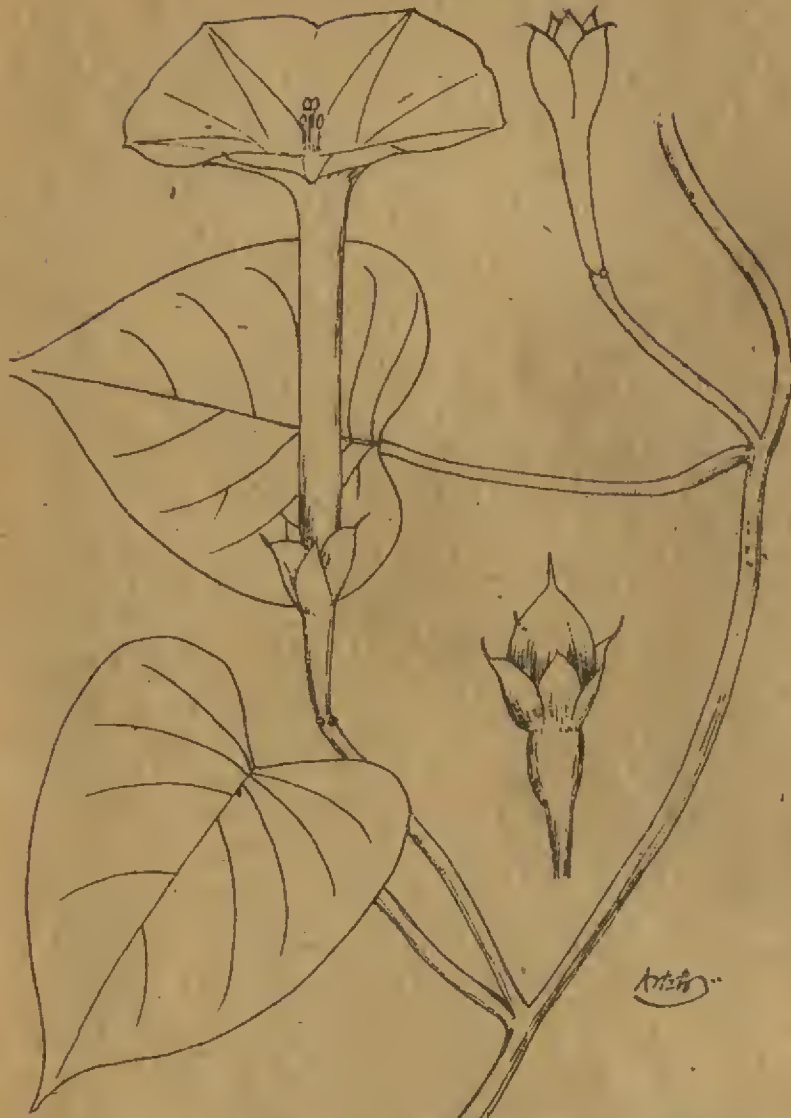
地方名 ウラン・ブテ (馬) リダ・バトン (馬)

産地 熱帯

性状用途 蔓草、花白、葉は食用

ヒルガホ科は一般に下剤性のみで毒はない

6									
									67



Calonyction aculeatum HOUSE
 = *C. bona-nox* BOJ.
 = *Ipomoea bona-nox* L.

ヨルガホ (ユウガホ)

(ヒルガホ科)

地方名 ツルラ(瓜) ムーンフラリ(英)

産地 湿熱帯(栽培、野化)(原産アメリカ)

性状用途 蔓草、花白、夜開、観賞用、若葉及花を食用す、但種子は食せざるを可とす(下劑となるべし)

67



Ipomoea batatas LAM.

サツマイモ

(ヒルガホ科)

地方名
産地
性状用途

ウビ・クシチ(馬)

温帯(栽培)(原産アメリカ)

蔓草、葉、芋は品種により種々。芋の2/3は澱粉、芋、葉、莖は食用、飼料。成熟四月、芋の形成は長日を好み赤道附近は開花の条件には達するが芋の形成は良好ならず



Ipomoea pes-caprae ROTH.

ダンバイヒルガホ (ヒルガホ科)

地名	タバ・クダ (馬)	パ・ブン・ターレイ (泰)
産地	熱帯	
性状用途	海岸の匍匐草、花紅紫色、厚葉。葉はゆで出して食用、葉は又豚の飼料。根はゆで出して利尿に (煎汁に非ず) 食し、種子は胃痛に用ふ、全草下剤性あり	

良	藥	綱							
---	---	---	--	--	--	--	--	--	--



Ipomoea reptans POIR

ヨウサイ

(ヒルガキ科)

地方名 カンコン(馬) バ・ブング(泰)
 産地 熱帯アジア(栽培、野生)
 性状用途 匍匐草、莖は中空、赤莖紫花種は湿地を好み、緑莖白花種は多葉でやや乾地にも作られる
 莖葉をゆでて食す。やや下劑性あり、不眠症に内用す

カ	コ	ン	ブ	ル



ホシアサガホ

(ヒルガホ科)

地方名 カンコン・ブル (馬)
 産地 熱帯 (歸化) (原産アメリカ)
 性状用途 蔓草、ザツマイモに近縁で葉は三裂の傾あり、花淡紅紫色、星形、
 芋は出来ぬ、葉はゆでて食用可、又牛豚の飼料

頁	冊				



4768

Merremia hederacea HALL. f.
= *M. convolvulacea* DENNST.

ツタノハヒルガネ

(ヒルガネ科)

地方名 ウラン・ブランド (馬)

産地 熱帯アジア

性状用途 蔓草、地画を細ふ。花黄、小。飼料として良好なる故食用とし得べし

70

食	藥								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



Merremia peltata MERR.
= *M. nymphaefolia* HALL. f.

ハスノハヒルガホ

(ヒルカホ科)

地方名
産地
性状用途

アカール・ウラン・ガヂヤ(馬)

熱帯アジア、太平洋諸島

太形蔓草。花黄。(白花種を *M. nymphaefolia* と云ふ)根は肥大し食用可なりと云ふが下劑性あり。莖の搾汁は咳、下痢、蛔虫、傷、タダレ目にも用ゐ、莖は索に用ひ得

食	藥								



Merremia umbellata HALL. f.

ミミバフサアサガホ (ヒルガホ科)
 地方名 ウラン・タバ・ブランド(馬)アカール・ブンガ・クニン(馬)
 産地 熱帯アジア
 性状用途 蔓草、葉有毛、花黄、若葉をゆでて食す、
 薬は火傷、湯傷、外傷に湿布、



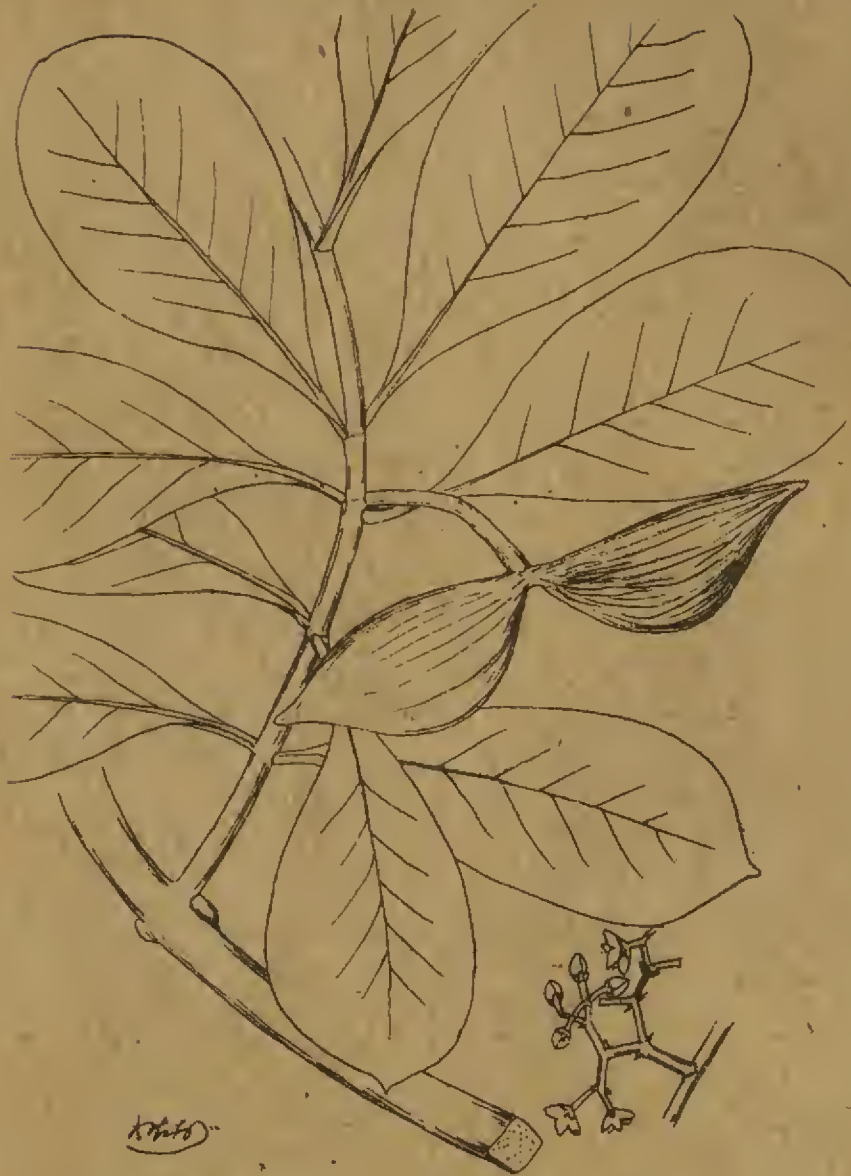
Dregea volubilis
 = *Wattakaka volubilis* HASSK

ワタカカ

(ガガイモ科)

地方名 キリアングナ (印)
 産地 インド、ビルマ、北マライ
 性状用途 蔓木、葉を食す

食							



Finlaysonia obovata WALL

ワミベガガイモ

(ガガイモ科)

地方名
産地
性状用途

カラ・カムビン(瓜)
インド、マライ、スマトラ、ジャワ
蔓本、海岸河口に多し、莖赤褐色四角、葉は厚質、モルツカ地方
では葉を主食す、キョウチクトウ科のものには之に似た果で有毒
のものあり要注意

食				香
				観



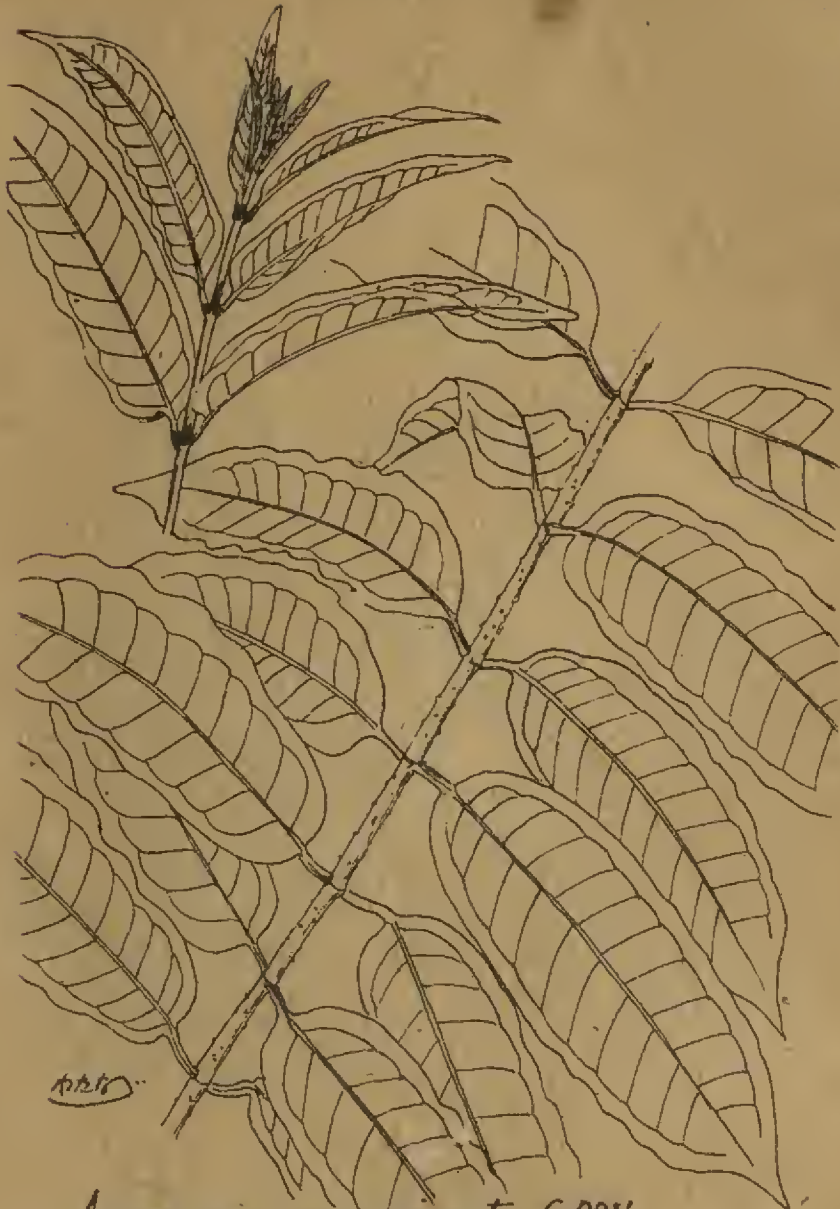
Telasma cordata MERR
 = *T. odoratissima* COVILLE
 = *Pergularia minor* ANDERS.

トンキンカツラ

(ガガイモ科)

地方名 プンガ・トンキン(馬)
 産地 マライ半群島(栽培)(原産インドよりインドシナ迄)
 性状用途 蔓木、花淡緑、内面黄(或は橙)芳香、花、葉は食用、根は砂糖液として食す、但莖は豚を中毒す、花は香水原料

食	示				
			コ	ク	



ヤシ

Aganosma marginata G. DON.

スカチリマ (キョウチクトウ科)

地名
産地
性状用途

スカチ・リマ (馬) マイ・ピット (泰) トウリン (泰)
 東洋熱帯
 蔓木。葉縁波状。若葉は赤く上面光澤。白乳あり。若葉若芽はの
 でて食用。美味。根の煎汁は月経促進。解熱。利尿に内用。乳液
 よりゴムを採り得

73



Carissa carandas L

カ リ ツ サ (キョウチクトウ科)

地方名 クランダン (屬) ナーム・ブロム (泰)

産地 東洋熱帯 (栽培) (原産インド)

性状用途 灌木、果樹、刺あり、花は筒部淺紅、瓣部白、果は赤白、多漿で酸く料理用 (ウメボシ代用) ジヤムに作る、乳液は刺激性、根は苦味健胃薬

實	葉								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



チチカツラ (キョウチクトウ科)

地方名 アカーカダリ、イタム(瓜)

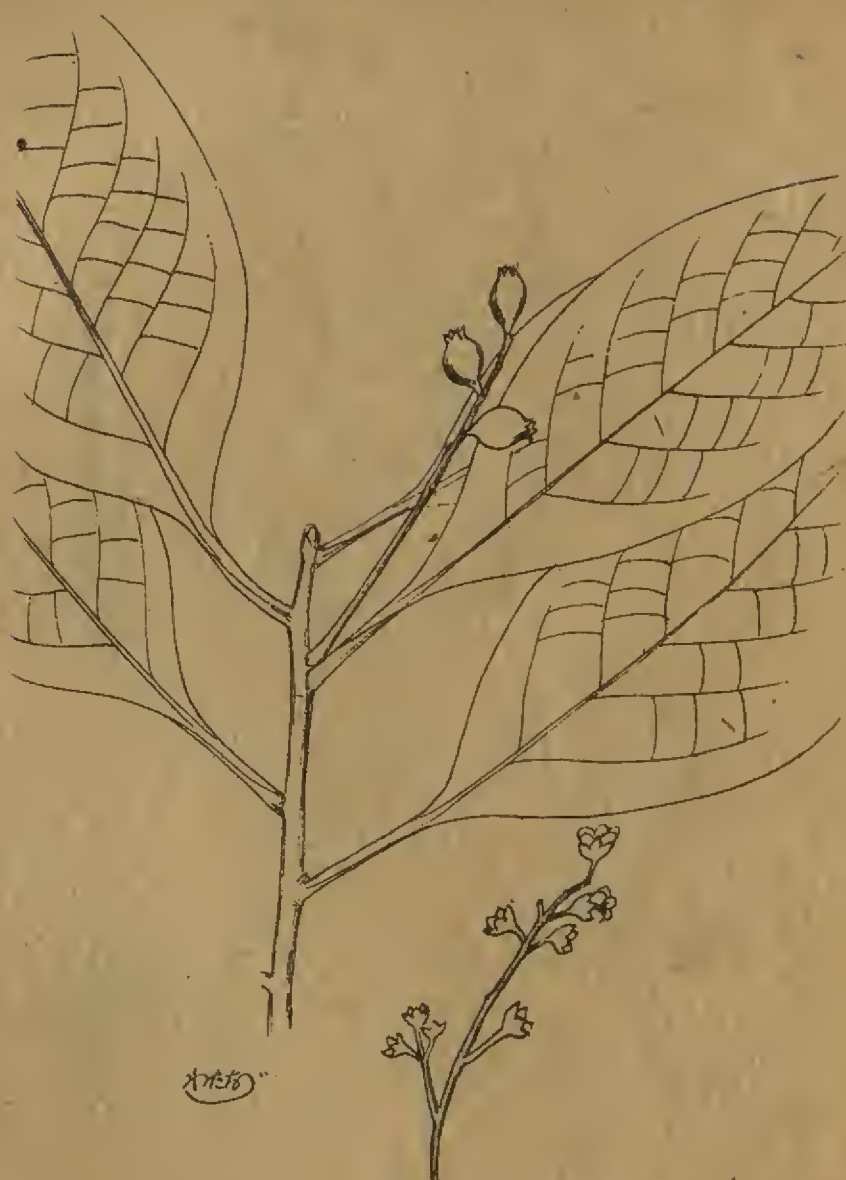
産地 マライ

性状用途 木、葉はイズセンラックの如き質で堅く、葉は薄、乳液多量、之はトロマチに作る、果は甘く食用

樹の近傍共に、根をマクワマの黄直に内用、乳液をコブレに外用

(2) マルミチチカツラ地、アデー(海)産、インドよりマライ産、(1)に類似す果を食用

金	葉								



Symplocos odoratissima CHOISY

ニホヒハイノキ (ハイノキ科) (エゴノキ科)

地方名 キ・サリアワン (スンダ)
 産地 マライ半群島
 性状用途 喬木、若葉を食用、樹皮、葉は口内炎に塗布、

5							
		材					



Diospyros discolor WILLD.

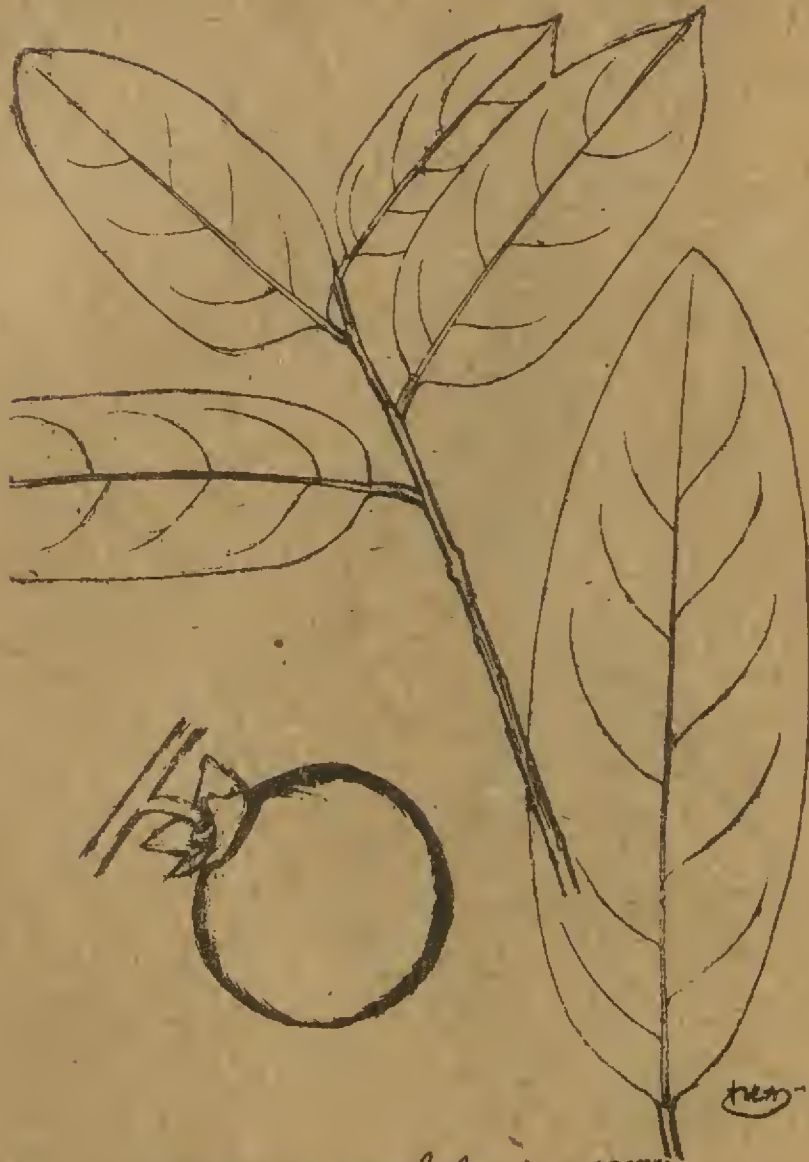
ケガキ

(カキ科)

地方名 プア・ムアンテガ (馬)
 産地 マライ半嶺島 (栽培) (原産フィリピン、台湾)
 性状用途 喬木、葉はインドゴムの如し、花白、果は褐毛、熟果は容易に落
 毛し赤色のカキの様になる、果肉は橙色、種子褐、果は甘く生食
 心材黒くクロガキ様

75

食									
法									



Diaspyras malabarica ADSTEL
 = *D. embryopteris* PERS.

ナンヨウガキ

(カキ科)

地方名 マンデス・ウタン(馬) タコースウアン(泰)
 産地 インド、マライ半島(栽培、野生)
 性状用途 喬木、葉厚く光澤、葉はウキと同じ、無葉食用
 布を染す

本葉は遠く朝、

食	藥				
類	類		5	A	



チケ

Achras zapota L.

チケ

(アカテツ科)

地方名 エタ(馬)ナゴド(英)
 産地 熱帯(及南米)
 性状用途 小木・花黄白・分枝毛、果はシヤガイモの如く見、甘く生食す。本樹皮はタンニンを含み下痢止、種子は利尿(多量は有毒)、樹皮は良い下痢止、キナ代用解熱劑、乳樹はニコインガム原料、樹皮はタンニンを含み綱、帆布の染色用。

36

食									



*Chrysophyllum
cainito L.*

カイニツト

(アカテツ科)

地方名 チクル・ドリアン (馬) スターアツプル (英)
 産地 熱帯 (栽培) (原産アメリカ)
 性状用途 小木、葉はオオバヤドリギの如く裏面金褐色密布、光澤、花瓣白
 緑、萼筒、果はリンゴに似て緑紫色光澤、汁液く生食す

食	油			
			云	



Madhuca latifolia MCCR
= *Bassia latifolia* ROXB

イ リ ツ ベ (アカテツ科)

地方名 油
産地 性
用途

ナレ
熱帯(英州)(原産インド)
喬木、花と岩類は同時に用で、葉は初め綿毛、後無毛、種子は褐色紡錘形、萼花を葉の
甘味料とし又砂糖を探り灰を作も、種子の煎は食用、カカオ煎に用、(マーダリン、石ケ
ン、ローンダ、アマコレート)種子中のサゴニンは血管に注入すれば有毒でもが食用と
しては毒にならぬ、種子の煎は肥料、乳液は劣等のダックペルカを供す



Chrysophyllum roxburghii G. DON

ヒメカイニツト

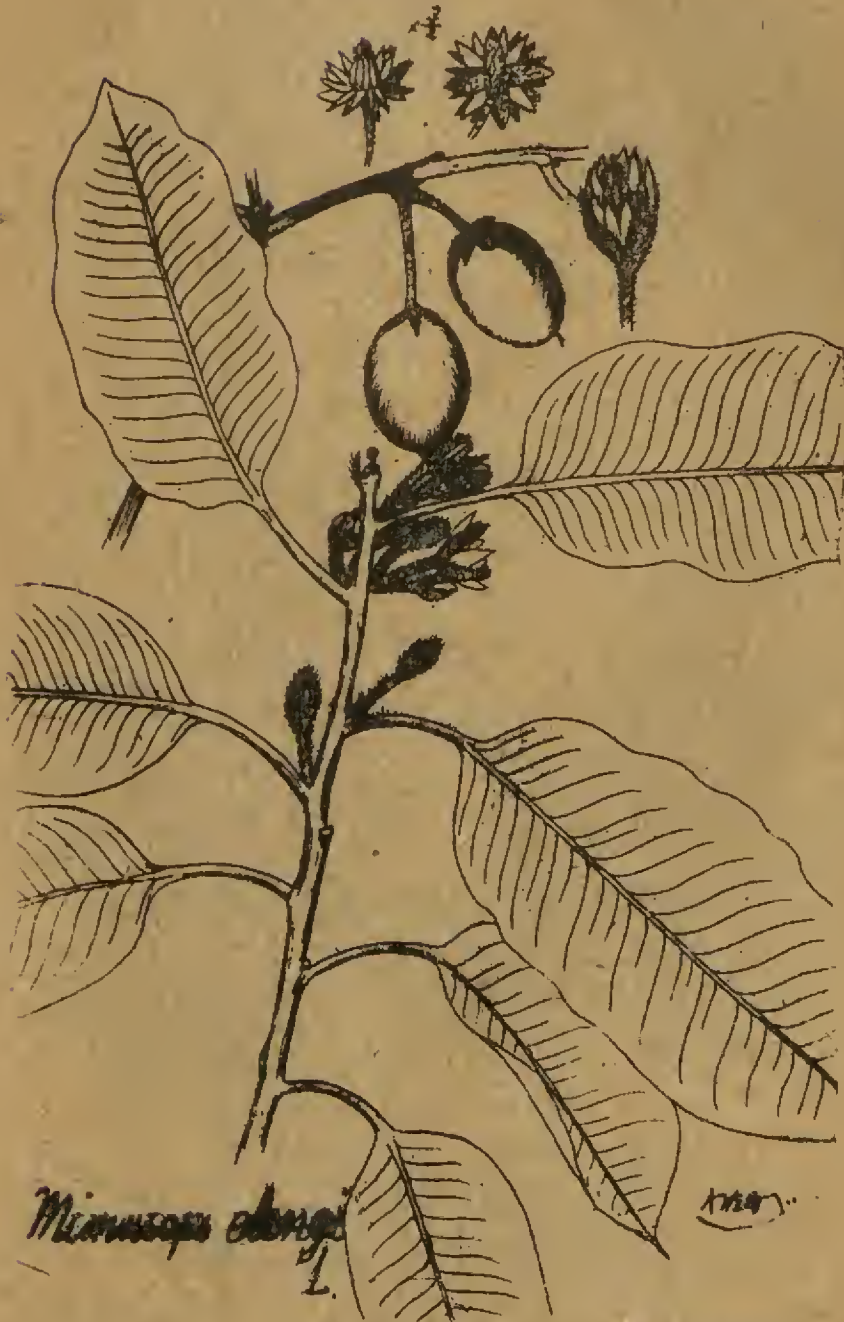
(アカテツ科)

地方名 ポコ・ブル・ブル(馬)

産地 東洋熱帯

性状用途 喬木、葉面光澤、果食用、但無味、材は有用

天	藥								
治	付								



Mimusops elengi
L.

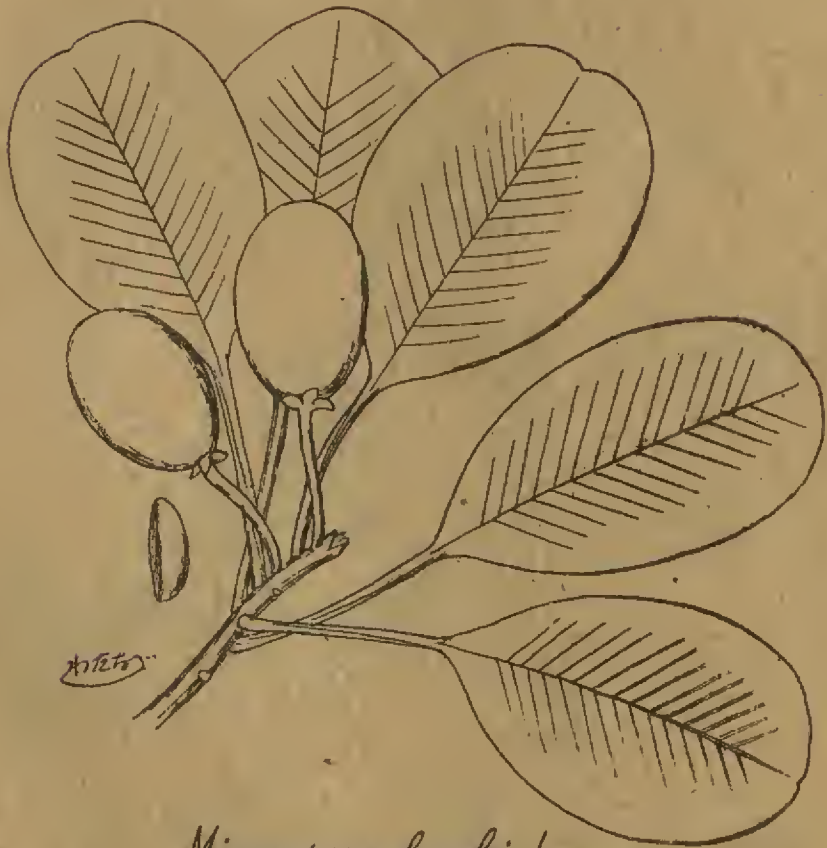
ミサキノハナ

(アカテツ科)

地方名 プンガ・タンジョン (邦) ビイ・タン (英)
 薬用 (殺菌) (原産インド、ビルマ)
 性味 熱性。葉は毛澤。花白。萼毛。熟果は橙赤で生食用、薬用。若葉も食用。洋花は首飾、香料、香水原料。樹皮は皮膚病、熱、下痢に。苦果。根は腫口瘡、喉嚨炎に。花は下痢に。種子は便秘の老藥に用い、心材暗赤。根(車軸)に用い。樹皮のタンニンは殺菌。

38

食				
	材	ア		

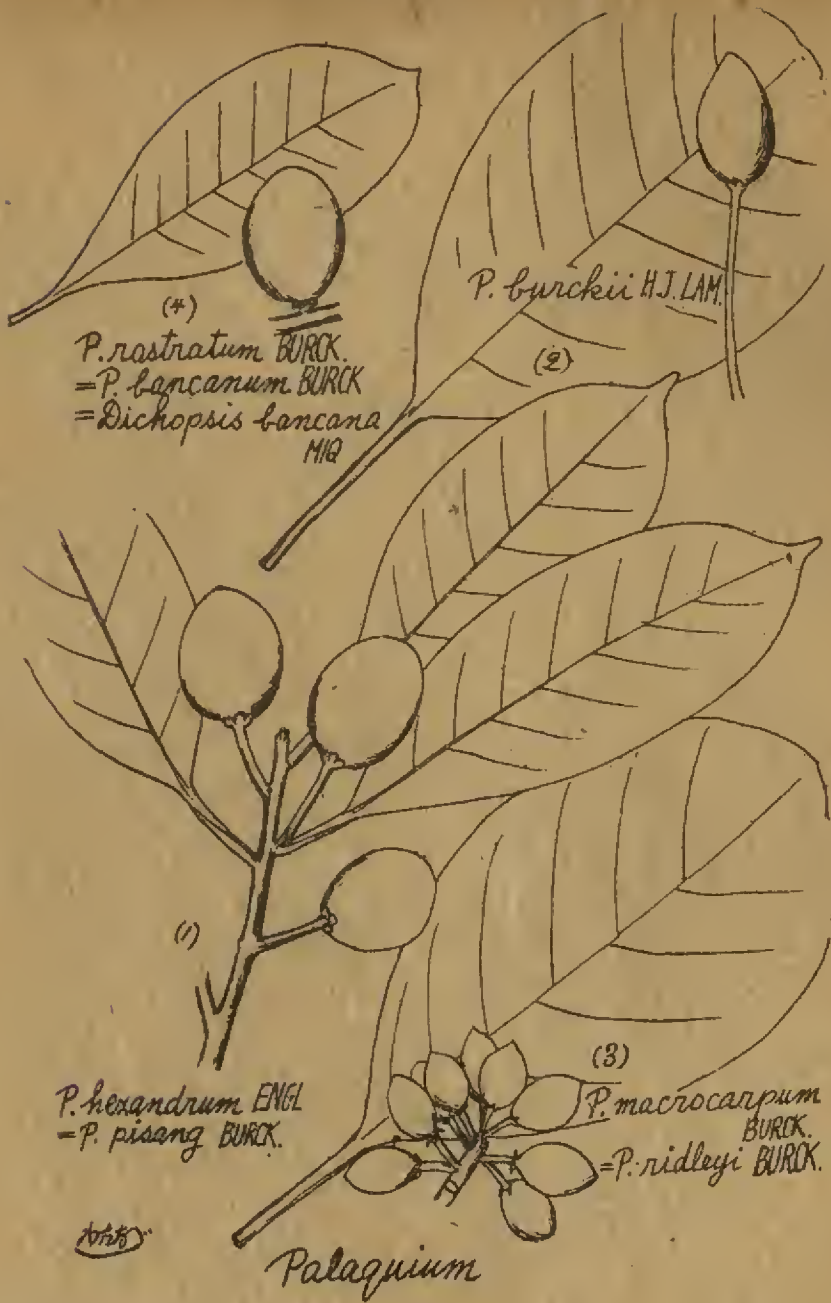


Mimusops kauki L.
= *Manilkara kauki* DUBARD

サワノキ (アカテツ科)

地方名 産地 性狀用途
 プア・サワ (馬) ラムド・タイ (泰)
 東洋熱帯(栽培)
 海岸の喬木、葉厚し、果は橙色、味はチクの如く生食煮食、種子にはサボニンあり、材は堅く鉄に代用、バラタ原料の一つ、チクの台木とす

頁					
			74		



グツタノキ属

(アカテツ科)

地方名 エコ・ジリンツ(馬)
 産地 マライ半群島
 性状 喬木。葉裏褐色、幹の乳液及葉よりグツタノキを採る。果は食用、但種子は胎を含む
 食用にはせぬ、材は味く有用、果を食用とするもの肉厚の如し

- (2) 葉裏褐色
- (3) 地方名 エマトウ・イタム (馬) 葉裏褐色
- (4) 地方名 エマトウ・ノキト (馬) 葉裏褐色

79

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10



Payena leerii KURZ

スンデノキ

(アカテツ科)

地方名
産地
性状用途

グク・スンデ (馬) グク・プリンギン (馬)

マライ半群島
喬木、森林にあり、葉裏側、果は食用、チクの如し。種子及び葉
はやや有毒、グツタノキに次でグツタベルカを多産す、材は堅く
有用



Ardisia cruspa A. DC.
= *A. crenata* ROXB.

マンリョウ

(ヤブコウジ科)

地方名
産地
性状用途

マタ・ブランド (馬)

東亞全域

灌木、花桃色、果は赤色で甘く食用、若葉は生食、葉は介癩、耳痛に外用、根は熱、下痢、咳に内用

80

木	葉								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



Ardisia littoralis ANDR.

ウミベマンリヨウ

(ヤブコウジ科)

地方名
地産性
用途

ルンブナイ(馬)チャム(泰)
熱帯アジア
灌木、海岸に多し、分枝性、葉はミヤマシキミの如く厚し、花紅紫、果暗赤、若葉食用、果も食し得べし、葉、根の煎汁は心臓病に内用



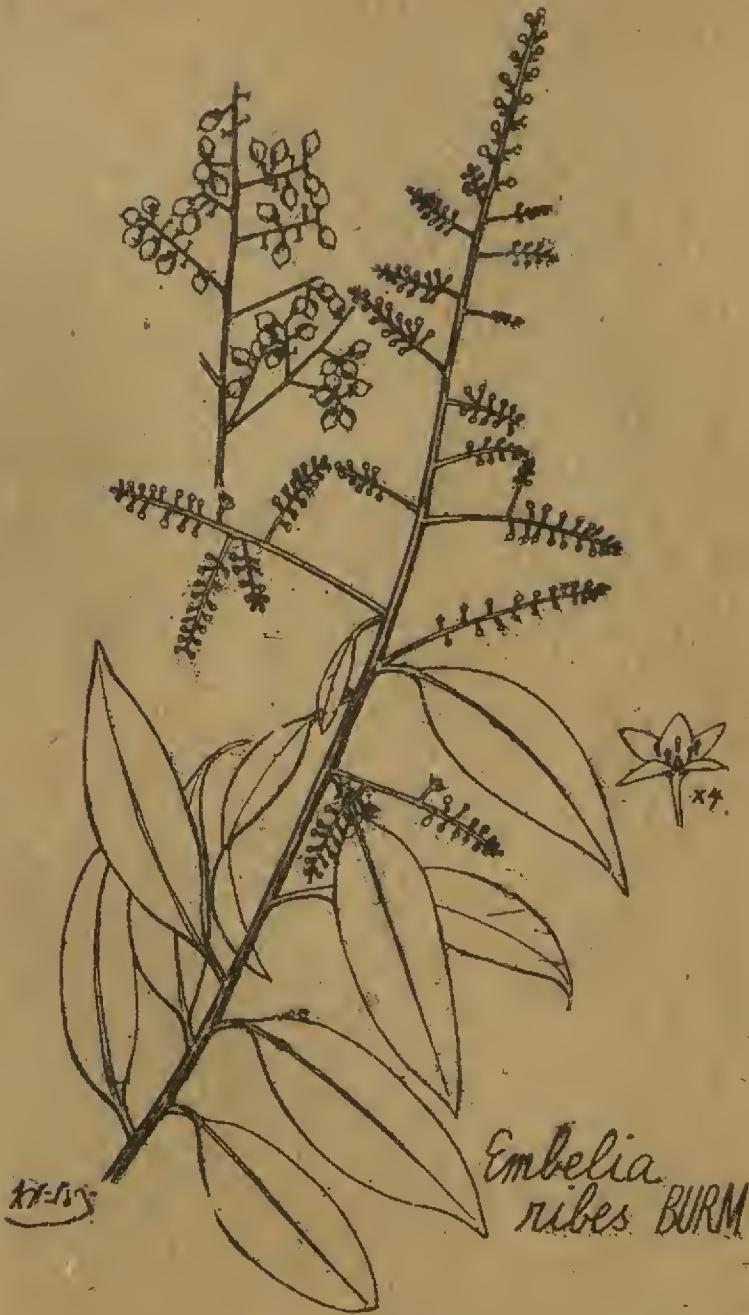
Ardisia lurida
Bl.

クロミマンリ実ウ

(ヤブコウジ科)

地方名 マタ・クタム・ガジャ (馬)
 産地 マライ、スマトラ、ジャワ
 性状用途 小木、花中央桃色、他は紫黒点あり、萼、花梗紫黑色、果は尖る、
 果は黒熟し甘く食用、蔕葉も食用し得べし

食	薬								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



エンベリヤ (ヤブコウジ科)
 アカール・スルル・クラング (馬)
 インド・マライ半群島
 蔓灌木、葉紫黑色、葉はソヨゴの如し、花白、若葉、若果は煮食、
 葉は生食も可、葉汁は砂糖を加へて飲用、果はエンベリンなる黄
 色ヒノンを含み織虫駆除に、根は咳、下痢に内用



ヤシ

Maesa blumei DON

ジャワイズセンリョウ

(ヤブコウジ科)

地方名 ケーペー(瓜)

産地 ジャワ

性状用途 灌木、若葉は生食

食	藥						



Gaultheria malayana KING
 = *G. fragrantissima* WALL.

ニホヒシラタマ

(シヤクナグ科)

地方名 ナシ
 産地 インド、マライ半羣島
 性状用途 灌木、葉は芳香、葉を茶として薬用的に飲む、果は食用、葉を蒸溜して精油を得
 (2) ナンヨウシラタマ種、ゴンドブラ(瓜)産、マライ半群島、用、(1)と同じ

1							



Vaccinium hasseltii MIQ

バダンシヤシヤンボ (シヤクナゲ科)

地方名 バダン (馬)

産地 マライ

性状用途 灌木、果は食用

(2) マタクリシヤシヤンボ地、クラム・バダン(馬)、マタクリ(馬)イン・ナ
(春)産、マライ、果は食用



Alangium salviifolium WANGERIN
 = *A. lamarckii* THWAITES

アンコタノキ

(ミヅキ科)

地方名 アンコタ (印)

産地 インド、マライ半群島

性状用途 小木、果及核を食用、根皮は苦く催吐性、ライ病、皮膚病に用ふ

8									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Nyssa javanica WANGERIN.
= *N. sessiliflora* HOOK. f.

ジャワミツキ

(ミツキ科)

地方名 ウル・ガザン(瓜)
産地 マライ、スマトラ、ジャワ
性状用途 喬木、山地高所にあり、果は食用

84



コエンドロ

(セリ科)

地方名 クツンバー(馬) パ・チー(タイ) コリアンダー(英)
 産地 インド・マライ半羣島(栽培)(原産地中渾方面)
 性状用途 草、熱帯低地では結實困難、インドに多産す、若葉は香氣食品、
 果は糖製造に混ず、又矯臭刺戟薬 (2)セロリ (3)パセリは成育す
 が稀増せず



Eryngium foetidum L.

オオバコエンドロ (セリ科)

地方名 クツンバ・ジャワ(馬)バ・チー・フアラン(タイ)

産地 熱帯(栽培)(原産アメリカ)

性状用途 草、全草強香あり、葉を飯に混じ健胃食品とする

85

食	藥						



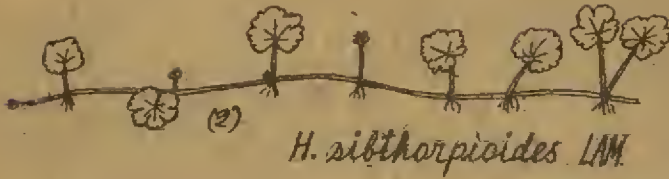
Foeniculum vulgare MILL

ウイキヨウ

(セリ科)

地方名 アダス・ブダス (馬) イーラー (薬) フェンネル (英)
 産地 温熱帯 (栽培) (原産地中海方面)
 性狀用途 草、熱帯では高地に作る。葉は生食、煮食。種子も調味料、種子はアネトール、フェン
 コーンを含み嬌臭薬。アヌ子(ジクタン・マニス)クミン子(ジクタン・ブテ)は本種で
 はない

食	歴								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



H. sibthorpioides LAM.



Hydrocotyle asiatica L.

ツボクサ

(セリ科)

地方名 ブガガ(馬)ブーア・ボツク(タイ)
 産地 温熱帯
 性状用途 匍ふ雑草、芳香あり生食、煮食、利尿、下痢止、気管支炎、喘息
 に内用、傷、皮膚病に醫布
 (2) チドメグサ地、ブガガ・ウンブン(馬)バ・ナ・チャン(タイ)用、(1)に同じ

86



Oenanthe javanica DC.

ジャワゼリ (セリ科)

地方名 シエラム(馬)スロム(馬)パチーラウム(タイ)
産地 インドシナ、タイ、マライ、スマトラ、ジャワ(栽培、野生)
性状用途 水邊の草、芳香、生食、煮食

食	二	番



Pimpinella anisum L.

ア ニ ス

(セリ科)

地方名 ジンタン・マニス(馬)

産地 ベルシヤ・南歐(栽培)

性状用途 草、芳香、インド、マライ地方は種子を輸入して調味料とす

87

食									
									観



Nothopanax ficifolia

ホソバナソウウコギ

(ウコギ科)

地方名 クク・グルダ(馬)

産地 マライ半群島

性状用途 灌木、観賞用、葉は黄緑色、葉柄紫黑色のもの多し、垣根に作る、若葉を煮食す

食									
				観					



Nathopanax
fruticosum WIG
 = *Polyceras fruticosum*
 HARMS

ナンヨウウコギ(台湾ンモミチ) (ウコギ科)

地方名 シク・クルアン(馬)レブ・クルウト(タイ)
 産地 マライ半群島(栽培)
 性状用途 灌木。観賞用。葉はバセリの香あり、若葉は食用。特に肉魚と煮
 る。葉、根は利尿薬

食	藥				
				觀	



オウバンノキ

Nothopanax scutellarium MERR.

オウバンノキ

(ウコギ科)

地方名 ダウン・マンコ(馬)

産地 東南アジア(栽培)(原産ジャワ)

性状用途 灌木、観賞用、葉柄紫黒色のもの多し。若葉は 煮食す美味、葉に飯を盛るので此名あり

根は利尿薬、葉は潰瘍に巻布

食	藥						



*Trevesia
cheiran-
tha RIDG.*

ナンヨウヤツデ

(ウコギ科)

地方名 ポコ・タバ・リマウ (馬)

産地 マライ、タイ、スマトラ、ジャワ

性状用途 灌木、若葉、花はゆでて食す、葉は解熱、根皮煎汁は強精に用ふ

89



Jussiaea repens L.

ミツキンバイ

(アカバナ科)

地方名 バンブーイ(泰)
 産地 温熱帯
 性狀用途 水中の雑草、花白、中央黄色、氣囊状根を有す、全草食用、皮膚病に有効

食	藥								



Jussiaea suffruticosa L.

キダチキンバイ

(アカバナ科)

地方名 ラコム・アエル(馬) テエン・ナム(泰)

産地 熱帯

性状用途 水邊の雑草、花黄、葉を茶として利尿、下劑、驅虫、整腸に飲用す、葉を食用も可なるべし

90

会							



*Ludwigia
prostrata* ROXB

チヨウジタテ

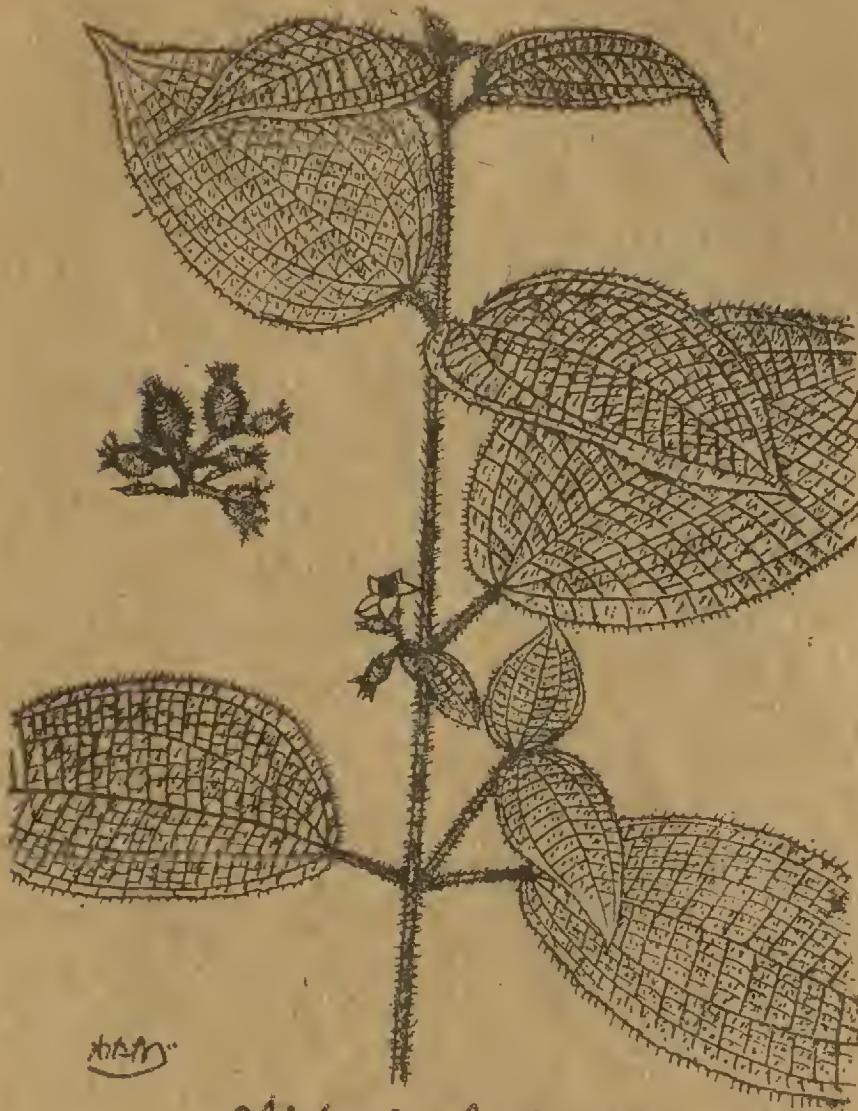
(アカバナ科)

地方名 ナシ

産地 温熱帯

性状用途 濕地の雑草、花黄、ゆて出し食用

頁									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Clidemia hirta DON

シロバナクサノボタン

(ノボタン科)

地方名 ナシ
 産地 熱帯(野化)(原産アメリカ)
 性状用途 草状灌木、高二尺、莖やや赤、花白、果は紫熟、果は少しく甘く食用



Ochthocharis borneensis Bl.

カワベヒメノボタン

(ノボタン科)

地方名 スクラウ(馬)

産地 インドシナ、タイ、マライ半群島

性状用途 灌木、河口に多し、葉は酸味あり、葉及果は食用、



Maramia nemorosa Bl

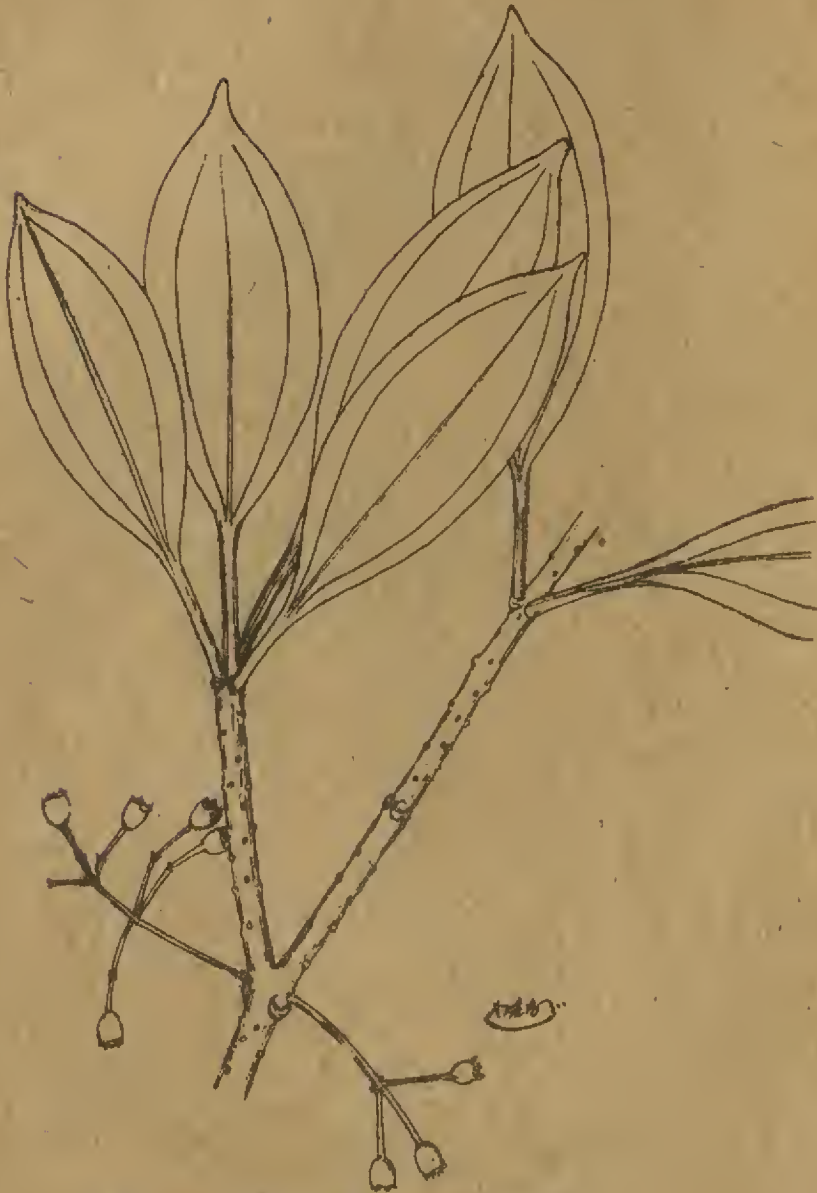
マライツルノボタン

(ノボタン科)

地方名
産地
性状用途

アカル、スンブド(馬)
マライ、スマトラ、ボルネオ
蔓木、花は桃色、葉裏淡粉末密布、果は赤紅色、果及び若葉を食用

92



Medinilla hasseltii Bl

ヤドリギノボタン

(ノボタン科)

地方名
産地
性状用途

アカル・ロカン(馬)

マライ半群島

樹上着生灌木、低地の森林にあり、葉は厚く裏面褐毛、果は酸味あり、果及び若葉は食用、特に魚と煮る

支那					
雲南					



Melastoma decemfidum ROXB

オオナンヨウノボタン

(ノボタン科)

地方名 スンヅド・ガヂヤ(馬)
 産地 支那よりマライ半群島迄
 性狀用途 灌木、マラバリンボタンより丈高く、花も大、花紅紫色森林にあり、果若葉食用、他の用途もマラバリンボタンに同じ

食	藥								
	榮								

Melastoma malabathricum L



マラバルノボタン(ナンヨウノボタン) (ノボタン科)

地方名 スンブド(馬) マンタレ(兼)
 産地 インド、マライ半群島
 性狀用途 灌木。叢地にあり、花紅紫色でツツゲの如し、葉及若葉を食用。全株タンニンを含み、葉、根は下痢に、根の搾汁は瘡癤に用ひる、果は藍色染料、葉根は他の染料と混用、葉はカーキ染料代用、但し水溶性少し、灰はヤニヤマアオキ染色の色止

全									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Memecylon coeruleum JACK.

コメツブノホタン

(ノボタン科)

地方名 ツレ・ジャンプー・ブテ(馬)プロム(泰)

産地 マライ、タイ、アンダマン

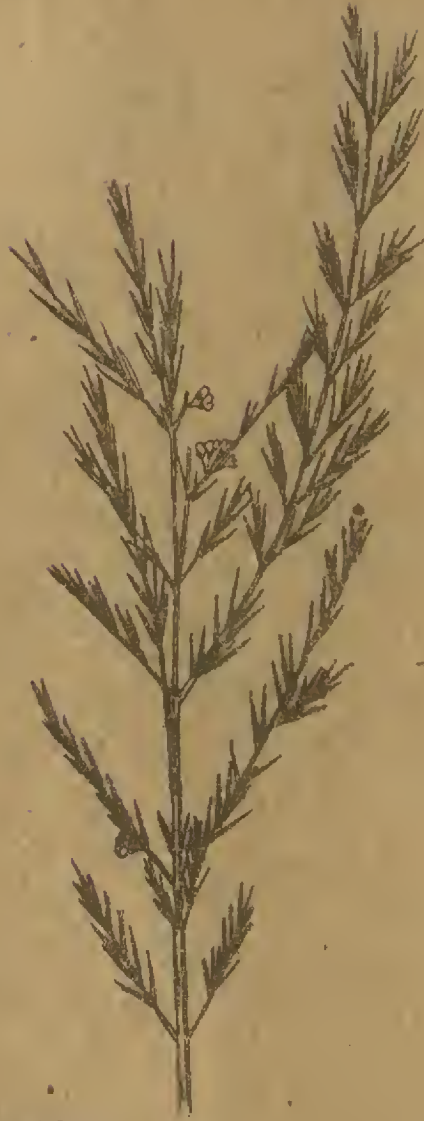
性狀用途 灌木、海岸に多し、花梗は紫色、葉及び果は食用可

(2) ツメモノコメツブノボタン 地ツレブテ(馬)ムダン・ナシナシ(馬)ブラ

ウン・ダム(泰)産インド、マライ、スマトラ、性、海鷲の小木、

果は食用、葉は黄色染料

食	藥						
---	---	--	--	--	--	--	--



4456

Baeckea frutescens L

ピヤラシンモドキ (テンニンクワ科)

地方名 チコチユ・アタブ(馬)
 産地 マライ、スマトラ、タイ、インドシナ南支、潑洲
 性狀用處 灌木、山頂、海岸等の乾地にあり、枝は垂下、花葉を茶として飲
 用し、又特に熱病患者に與へるに適す

食	藥								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



Decaspermum fruticosum FORST

コウシユンツゲ (テンニンクワ科)

地方名 クリンテ・クリン(馬)キータイ(泰)
 産地 ビルマ、タイ、インドシナ、南支、マライ半群島
 性状用途 小木、葉はネヅミモチの如し、花白、果は黒熟、若葉、花序は調味食品(多量を用ると便秘す)、葉は油く赤痢に用ふ、材は堅くカケヤ等を作る

95

食	藥						



Eugenia aromatica KUNTZE

チヨウジ、(テンニクワ科)

地方名 チンケイ(馬支)
 地産性 熱帯アジア(栽培)(原産モルツカ)
 性状用途 小木、葉は光澤、芳香、花瓣淡緑、早落、萼赤褐、乾花は香料
 として食用、葉から丁香油を採り香料、醃漬醃物物の透明劑、
 刀創油とす、乾花は芳香薬で齒痛、強精に用ひ、花、果、樹皮を
 痲痺、食慾不振に内用。

食	果								



Eugenia aquea BURM.

ミツフトモモ (テンニンクワ科)

地方名 ジャンプ・アエル(馬)ジャンプ・ブルテ(馬)
 産地 インド、マライ、スマトラ、ジャワ(栽培野生)
 性状用途 小木、海岸に多し。果は白又は赤、扁壓、芳香汁味、生食す、樹皮は濃く船口瘡に用ふ

96



Eugenia javanica LAM.

ジャワフトモモ (テンニンクワ科)

地方名 ジャンプ・アエル(馬)レンブ(連霧)(支)
 産地 東南アジア(栽培)(原産アンダマン、マライ)
 性状用途 喬木、花白、葉は光澤なく薄質、果は白緑又は赤、やや長い、芳香、生食す

食	藥								



Eugenia malaccensis L.

マライフトモモ (テンニンクワ科)

地方名 ジャンプ・メラ(馬)
 産地 マライ半群島(栽培野生)
 性状用途 喬木、花赤、葉は厚く濃緑光澤、葉柄褐、果赤、種子一個、生食す甘し、葉、樹皮は口内炎に、葉、種子は熱に、根は利尿に用ふ

74



Eugenia jambos A.

フトモモ

(テンニクワ科)

地方名 ジャンプ・ワング(馬)
 産地 マライ半群島(檳榔)(原産インド)
 性状用途 小木、葉は硬質でクヌギの如し、花白、果は黄白色、葉、果共にバラの香あり、果は生食又は料理用、葉、花は熱病者に外用又は内用して冷感を興へる、種子は下痢に用よ、根は有毒(青酸か?)と云ふ、樹皮はタンニンを含む

食									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Eugenia grandis WRIGHT

セイタカフトモモ (テンニンクワ科)

地方名 ジャンプ・ラウ(馬) クリヤン・バツ(馬) マアオ(泰)
 産地 マライ、タイ、ボルネオ
 性用途 喬木、海岸に多し、又街路樹、防火に良し、葉は厚く光る、花白、
 花梗黄、果は多量に生じ、淡黄色に熟し果肉は薄いガ甘く食用、
 種子は一割で大、若葉も食し得

食	療						
法							



Eugenia cumini DRUCE.
= *E. jambolana* LAM.

ジャンブル(ムラサキフトモモ) (テンニクワ科)

地方名 クリヤン・アチャイ(馬)ワーバー(泰)
産地 インド、マライ半群島
性状用途 喬木、果は紫黒色に熟し生食又は酒、酢を作る。種子は下痢、糖尿
尿病に、樹皮はタンニンを含み下痢に用ひ又鞣皮料

名					
集材					

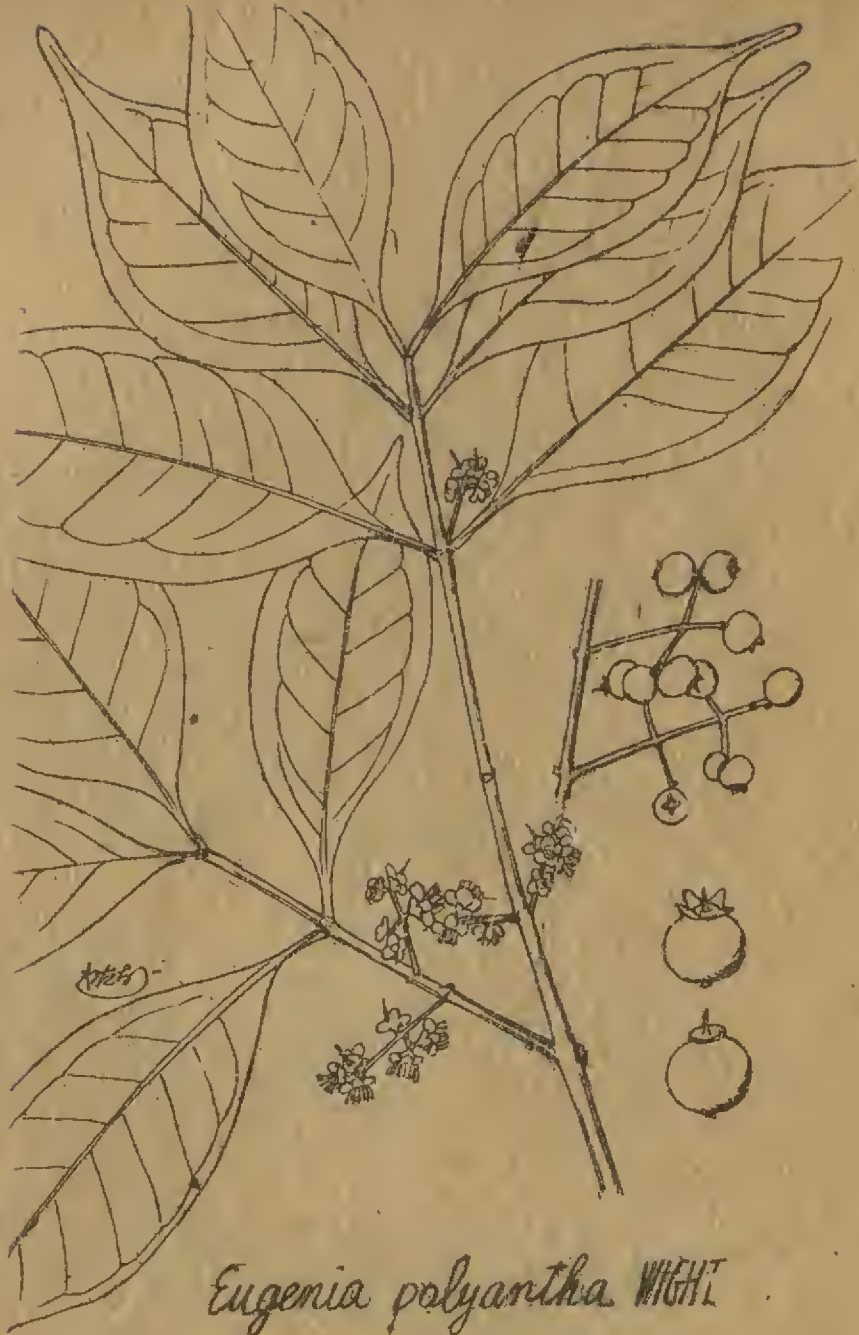


Eugenia longiflora FISCH
 - *E. lineata* DUTRUE

ナガバナアデク (テンミンクワ科)

地方名 クラ・ブテ(馬) デーング(タイ)
 産地 マライ・ジャワ
 性状用途 99 香木、若芽を食用、樹皮はクニンを含み綱染用、材は黄白やや強し

食	藥						
材	材						



Eugenia polyantha WIGHT

マメアデク

(テンニンクワ科)

地方名 クラ・プテ(馬)ペー(タイ)
 産地 ビルマ、タイ、マライ、スマトラ、ジャワ
 性状用途 喬木、果、若葉は食用、樹皮、葉の汁は下痢に内用、樹皮、葉、根はカコミ止に嚥布、樹皮はタンニンを含み綱染用



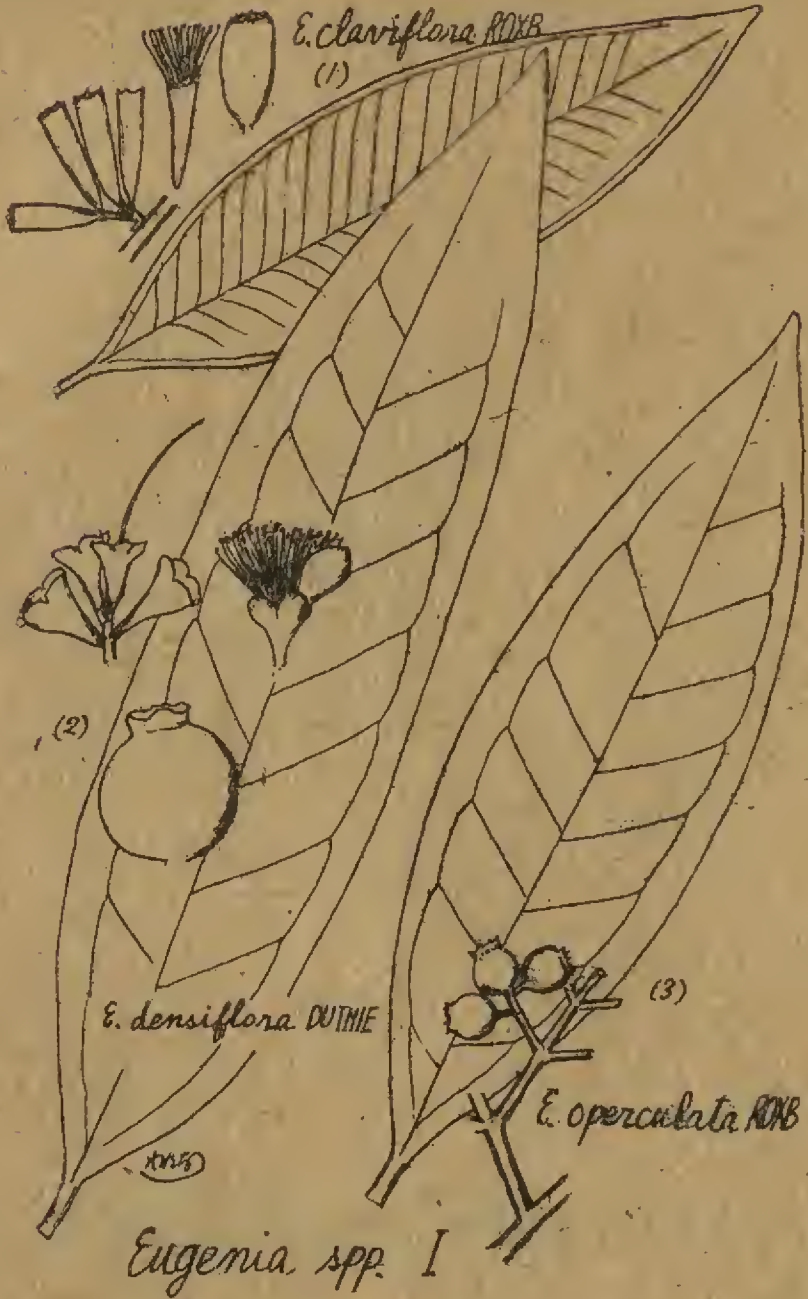
Eugenia pseudosubtilis KING

ミザクラアデク (テンニンクワ科)

地名名 クリヤン・ラダ(馬)
 産地 マライ
 性状用途 喬木、葉は厚し、花は三個接着、白、花梗肉黄色、果は赤より紫に熟す、サクランボの如し、食用

100

食							
	葉						



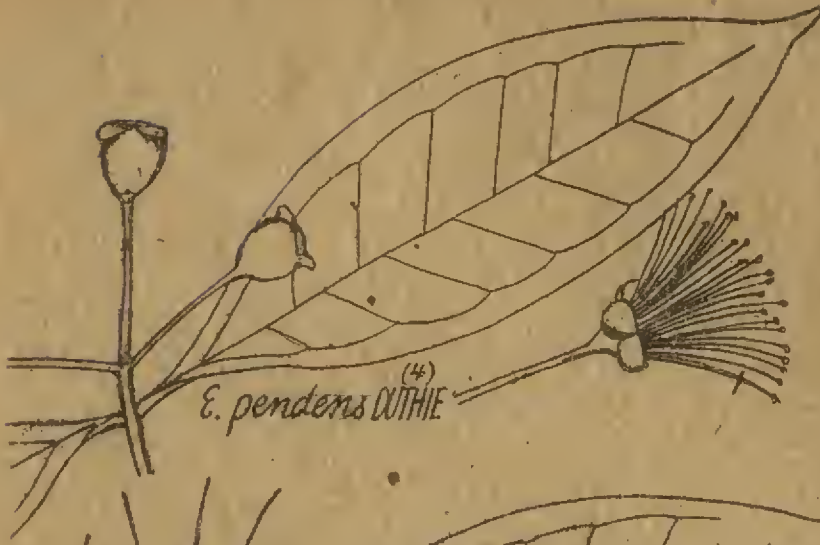
アデク属数種 (1)

(テシニクワ科)

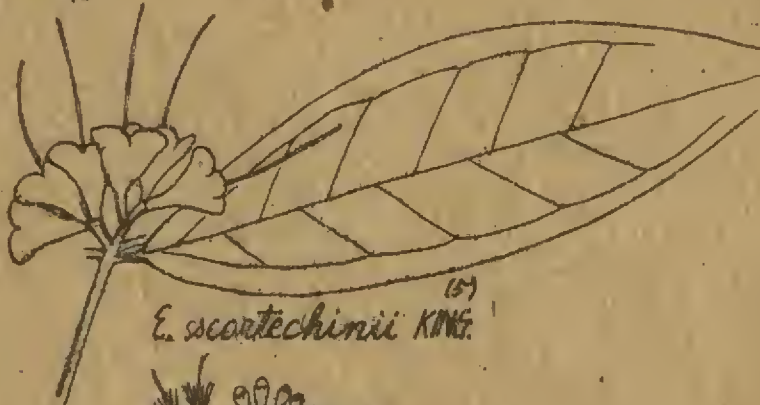
マライ半群島に産する食用アデク属次の如し

- (1) 地、バンコー (馬) 果食用
- (2) 地、クラ・アサム (馬) 果、若葉食用、樹皮は褐染料
- (3) 地、ジャムボン (爪) 果食用、葉は茶とす (インドシナ)

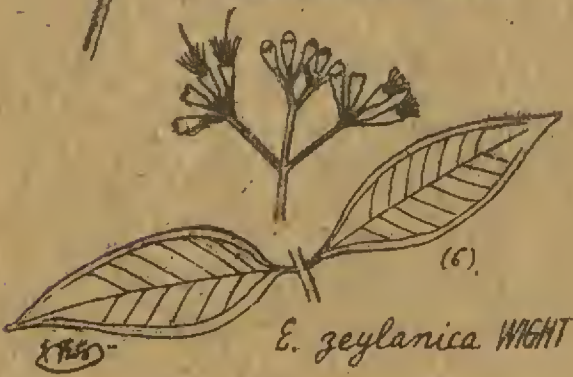
食									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



E. pendens (4) DUTHIE



E. scortechnikii (5) KING

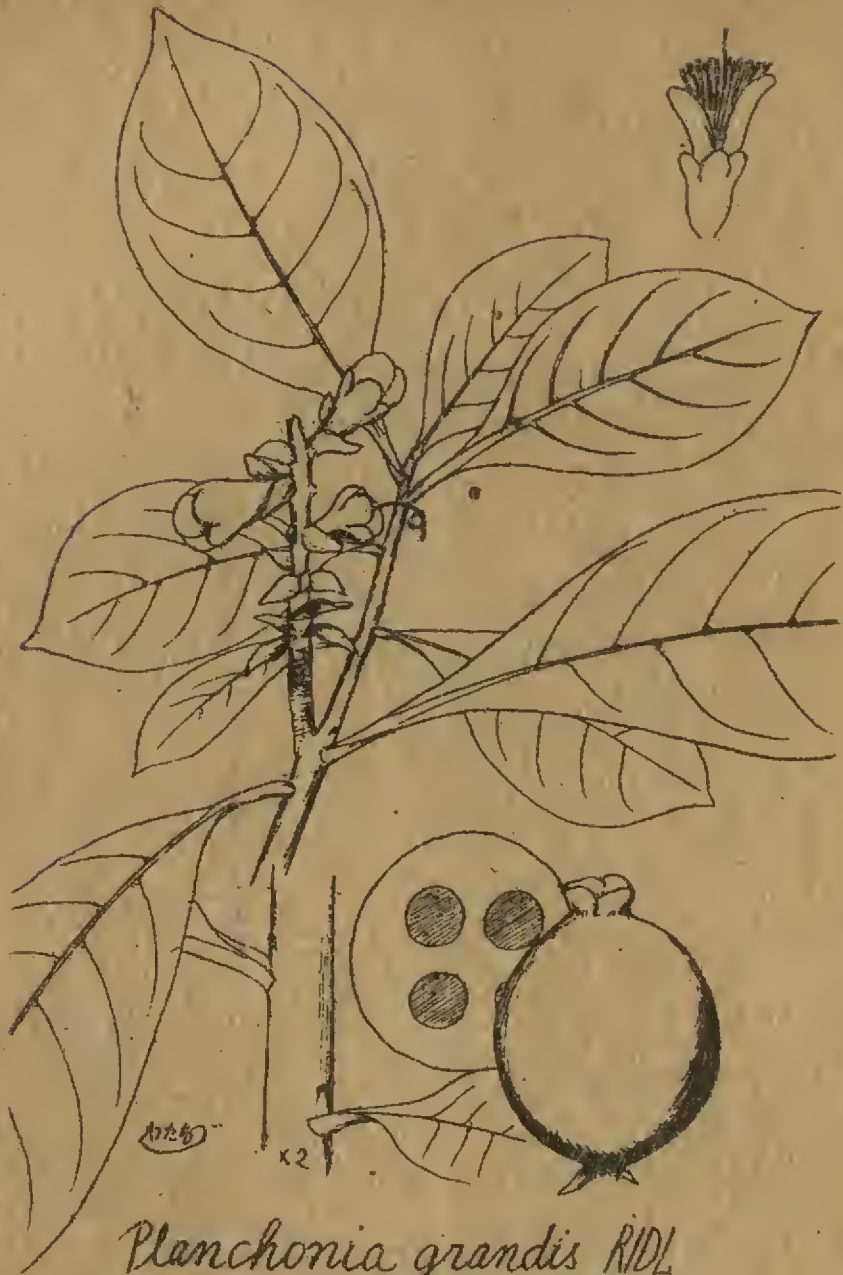


E. zeylanica (6) WIGHT

Eugenia spp. II

アデク属数種 (11) (テンエンクワ科)

- (4) 地ジャムブ・ブナワル・ブネト (馬) 果食用
- (5) 地ジャムブ・アエル・ウタン (馬) 果食用、沼地に産す
- (6) 地クラ、ナシナシ (馬) 果食用芳香



Planchonia grandis RIDL

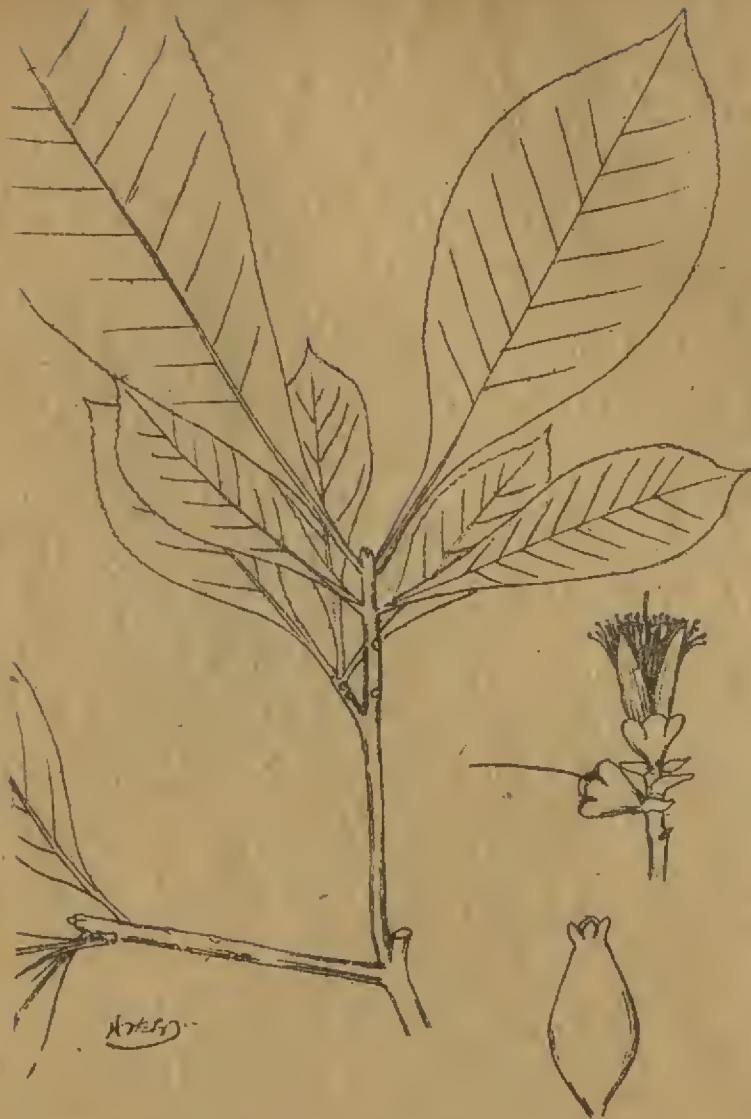
オオアガリバナ (テンニンクワ科)

地方名 ブタ・ナシ(馬)

産地 マライ

性状用途 喬木、幹赤褐、花、果はサガリバナに似て居るが花序は下垂せぬ、葉腋の少し上方に芽あり、葉柄有翼、側脈分岐點に腺點あり、若葉は赤味あり、若葉を生食す、濃し

食							



Planchonia valida BL

アガリバナ

(テンニンクワ科)

地方名 ツタ・クボ (馬)

産地 マライ、スマトラ、ジャワ、チモール

性状用途 喬木、葉に鋸歯あり、サガリバナに似て花序下垂せず、若葉を食用、之に類似の種はボルネオ、フィリピンにもあり、何れも同様に食し得べし



Psidium guajava L.

バンジロウ

(チンニクワ科)

地方名 ジャンプ・ピシ (馬) フアラング (馬)
 産地 熱帯 (栽培、野生) (原産アメリカ)
 植物用途 小木。幹はアサミソウの如し。花白。葉裏短毛あり灰色。果は圓形、やや甘く芳香。生食又はジャムにする。葉は茶に代用。葉は下痢、胃痛、蛔虫に、樹皮は胎盤産出。月經促進に用ひる。葉はタンニンを含み染色料

食	藥						
性	味						



1075

*Rhodamnia
trinervia* Bl

ロダムノキ (テンニクワ科)

地方名 ムンボヤン (馬) ブラウン・キ・タイ(タイ)
 産地 マライより濠洲迄
 性状用途 小木、果は赤より紫黒色に熟す、食用
 根は胃痛に、若枝は火傷に巻布、樹皮は黒色染料又網染

食	藥								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



Rhodomyrtus tomentosa WIGHT.

テンニンケワ (テンニンケワ科)

地名
地方
地産
性状

クムンティン(馬)ト・カムーティン(泰)
熱帯アジア
灌木、原野に多し、葉は厚く裏面灰白短毛密布、花紅紫色、果は甘く生食又はジャムにする、果、葉、根の煎汁を下痢、胃痛に内用、葉は傷に瘡布、材のタールはココヤシ殻の炭と混じりオヘグロ及びマユズミとする。



シクンシ

(シクンシ科)

地方名 シラ(馬)シ・ムナーン(泰)水君子(支)
 産地 ビルマ、南支、マライヤ群島間(栽培、野生)
 性狀用途 蔓木。觀賞用。花赤。垂下。果は使君子と云ふ、熟果の種子は種皮を去つて(種皮は有毒)
 食す、但多食す可らず(20個?)、若葉(褐色の硬つて居る程度のもの)はゆでて食用、
 未熟果、熟果の種子、根、葉は痢虫驅除に内用。マライでは結實困難

食	藥				
		材		觀	



Terminalia catappa L.

コバテイシ

(ミクンシ科)

地方名 クダバン(馬)フウ・クワ(泰)

産地 マライ半群島、太平洋諸島

性状用途 海岸に野生、内陸は栽培。葉はカツノキに似て紅葉を交る。果は赤紫色扁球形、中に舟形の核あり、核中の胚を食用、胚の油は扁桃油代用、樹皮はタンニンを含み赤痢、鶏口瘡に用ひ、葉は發汗性ありリウマチに外用、漆病に内用材は堅く車等を作る、街路樹

食	藥				
染	材				



Bruguiera
conjugata MERR.
 = *B. gymnorhiza* LAM.

ベニガクヒルギ

(ヒルギ科)

地方名 ツムス(馬)バナ(毒)

産地 インド洋、南太平洋岸

性狀用途 喬木、海岸紅樹林の一要素。号赤、果状の若植物は皮を剥ぎ灰水で二回位ゆでて食用、又砂糖漬とする、若葉も食用、樹皮の少量は魚と煮て食す(多量に食すと便秘す)樹皮の内層はタンニンを含みカワナの原料、綱染、樹皮にはプロバフェニン色素もあり黒色、橙色の染料、樹皮のタンニンは 下痢止、マラリヤ薬、材は建築用、木炭用

食							
			材				



Bruguiera cylindrica Bl.
 = *B. caryophylloides* Bl.

シロバナヒルギ

(ヒルギ科)

地方名
 産地
 性状用途

バカオ・ブルス(馬)バサカーオ(寮)

インド、マライ半島

喬木、紅樹林の一要素、沼地の陸側にあり、葉はシキミの如く濃緑、花白黄、果は萼部淡緑、幼根濃緑、幼根はゆでて食す但しふし(201と同様に)樹皮のタンニンは量多からず、材は柱、炭

食							
	料						



Bruguiera parviflora W. & A.

ヒメヒルギ

(ヒルギ科)

地方名
産地
性状用途

ルンガダイ(馬) ツーアタレー(泰)
インド、マライ半群島

喬木、紅樹林の一要素、新しく伐開した所に生ず、果は食用し得(201と同様に) 材は水上家屋の柱、杭、薪炭料、樹皮はタンニン少くタンニン原料としては適せず

106

食							
染材							



Ceriops tagal C.B. ROBINSON

コヒルギ

(ヒルギ科)

地方名 ツンガール(馬)ブロング(泰)
 産地 インド洋、太平洋岸
 性狀用途 灌木、紅樹林の一要素、葉はシキミの如し、果は食用し得(201の
 様にして)樹皮はタンニンを含み釣糸の染色、褐色染料、心材は
 黄褐色、耐久性あり

種	名								
示									



ヤシ

フタゴヒルギ

(ビルギ科)

地方名
産地
性状用途

バカオ・アキ(馬)

インド洋、西太平洋岸

喬木、紅樹林の一要素、海面より奥地にあり、若芽は赤く、花は
 橙色二個接着す、果は食用可なるべし(20)と同様にして) 樹皮は
 タンニン原料、下痢止

食	藥						
染	材						



Rhizophora mucronata LAM

オオバヒルギ

(ヒルギ科)

地方名
産地
性状用途

バカオ・ブルカブ(馬)ラーン(泰)
インド洋、太平洋岸

喬木、紅樹林の一要素、葉はインドゴムの如し、果は食用(201のと同様にして)とするがしぶし。樹皮のタンニンをカツチとし、鞣皮、染色、收斂劑、下痢止、皮膚藥とする、葉も褐色染料、材は柱、木炭として重要

食									
果									



Barringtonia
racemosa ROXB

サガリバナ

(サガリバナ科)

地方名 フタ(馬)
産地 インドより太平洋諸島迄
性状用途 灌木、海岸近の湿地に多し、花桃色。雄蕊早落、若葉は赤くゆで出して食用、果は少しく有毒であるが生食する地方あり、種子は油物を含み、砕きて水洗して煮食。但し果は脈を中毒すと云はれる。樹皮はタンニンを含み殺菌用
此類に果の少しく長いもの、山にあるもの、帯帽々あり

108

食	藥						
染							



Punica granatum L

ザク ロ

(ザクロ科)

地方名 プリマ (馬)
 産 地 温熱帯 (栽培) (原産ペルシア)
 性状用途 灌木、花赤、果は酸甘滋味あり生食、料理用、果皮は收斂性でウガに用とし又赤痢、下痢に、花は胃痛、下痢に、根皮は蟻虫驅除に内用、葉は酢に浸してインクを作る、樹皮はタンニン性染料

食							
	材						



ブコイノキ

(ミソハギ科)

地方名 ブコイ(馬)マイ・ケサイ(タイ)
 産地 ビルマ、タイ、マライ、ジャワ、フィリピン
 性状用途 喬木、若葉は食用、心材は赤褐色で堅く耐久性あり建築用



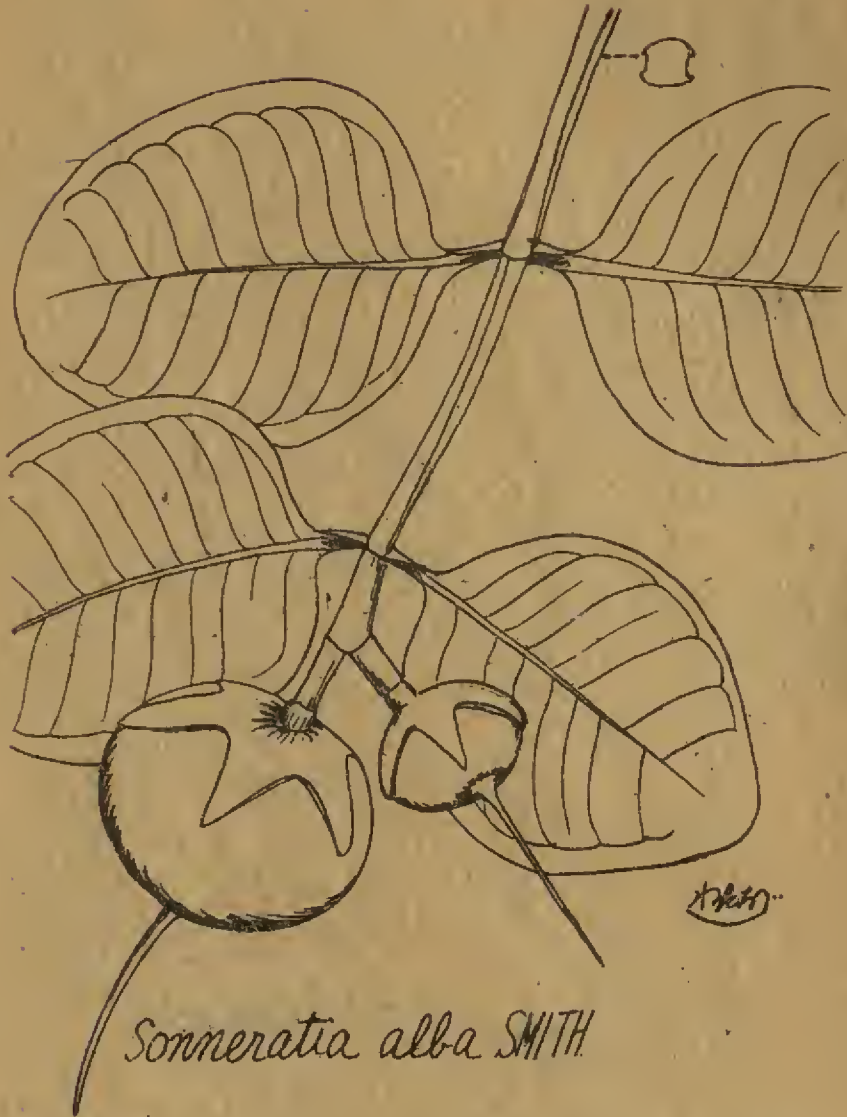
Duabanga sonneratioides BUCH-HAM K.W.

シダレオオサルスベリ

(ミゾハギ科)

地方名 クダダ・ブキツト(馬)ラムベーン(泰)
 産地 インド、ビルマ、タイ、マライ
 性状用途 喬木、枝は垂下、花白、果は酸味あり食用、材は軟で箱を作る

食					
薬	材				



Sonneratia alba SMITH

マルバカリグチガキ(ヤマブシキ) (ミソハギ科) (ヤマブシキ科)
 地方名 グダル(馬)ブレンバン(馬)ラムベーン(タイ)
 産地 インドよりマライ半群島迄
 性状用途 喬木、紅樹林の陸側にあり、小さな呼吸根を生ず、葉は光澤あり
 葉柄赤色、若葉及熟果は煮食す
 樹皮はタンニンを含むが餘り利用されぬ、材は小しく利用さる



Sonneratia caseolaris ENGL.
= *S. acida* L.f.

ホソバカワグチガキ (ミソハギ科) (ヤマブシキ科)

地方名 フルボン(馬) ブロムボン(馬) ラムブー(泰)
 産地 インド、マライ半群島
 性状用途 喬木、河川にあり、泥表から呼吸根を上向に發す
 若果は料理用・酢の代用。落果はチーズの味あり生食、煮食、若葉も食し得べし。若果
 の汁は咳止に、果汁を傾解させて止血に用ふ。呼吸根はカユガツス或はジュンゴン、ブ
 ヲグと云ひコルク代用。樹のウキ、造花用、樹皮はタンニンを含むがセルゲ類に比して
 少し

食	薬						
	染	材					

Sonneratia griffithii KURZ
= *S. apetala*



カワチガキ (ミソハギ科) (ヤマブシキ科)

地方名 ブルバ(馬)ブダダ・ラウ(馬)ラムベーン(タイ)
 産地 アンダマン、南ビルマ、タイ、マライ
 性状用途 喬木、紅樹林の一要素、萼縁、内面基部紫、雄蕊白、果は極めて
 酸く時に酸に代用、葉、樹皮、材はタンニンを含み、皮ナメシ
 用、根はタムシに塗布、材はフナクヒムシに強しと云はれる

食					
				刺	

Peireskia grandifolia HOW.



わたあじ

パイレスキア

(サボテン科)

地方名 ナシ
 産地 熱帯(栽培)(原産アメリカ)
 性状用途 多肉灌木、多刺、葉は厚し、花桃色、果及葉を食用、(一見之に似て葉に白乳を含み刺の無いものはムカデダイグキで薬用となることが食用にはならぬ)

頁	編						
---	---	--	--	--	--	--	--



Carica papaya L

パ パ ヤ (パパイヤ科)

地方名 台湾(馬)
 地 熱帯(栽培)原産アメリカ
 性 灌木、分枝少し、雌雄異株(時に雄木に粘質す長柄で垂下)蒴果は果物とし、花、若果、
 用途 若果、葉(幹根)は材とする
 乳液は蛋白質ペパインを含み肉の消化薬、(故に果、葉は肉を軟化せしめる爲用ふ)
 種子、葉にはカルバインを含み、ネキタラン様の作用とアムール赤痢治療の作用あり。
 種子及乳液は驅虫、墮胎用

全									
長									



Passiflora foetida L.

クサトケイサウ

(トケイサウ科)

地方名 チムン・ツンダン(馬)ブア・ルト(馬)クラト・ロ(タイ)
 産地 熱帯(野化)(原産アメリカ)
 性状用途 蔓草、花瓣白、花盤突起紫、果はイガ状萼に包まれ橙熟し食用、
 葉は煮食、美味、青酸を含む故必ずゆで出し食すべし、莖は急に
 伸る故被覆植物として地面を被ふに適す



*Passiflora
laurifolia* L.

タマゴトケイ

(トケイサウ科)

地方名 プア・スス(馬)
 産地 熱帯(栽培、野化)(原産アメリカ)
 性状用途 蔓植物、花盤突起は紫、果は黄熟し、種子を包む粘質を食す甘し、
 種子も嚼んで食す、果皮は野菜として食す、若葉もゆでて食す

食									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Passiflora quadrangularis L

地方名 オオミトケイサウ (トケイサウ科)
 産地 チムン・ブランダ(馬) 熱帯(栽培)(原産アメリカ)
 性状用途 蔓木、花紫、未熟果を煮て野菜として食す、熟果は生食、葉と根は青酸多量故食ふ可らず
 尚クダモノトケイP. edulis SIMS. は果紫で生食するが熱帯では高地で栽培するのみ

食									

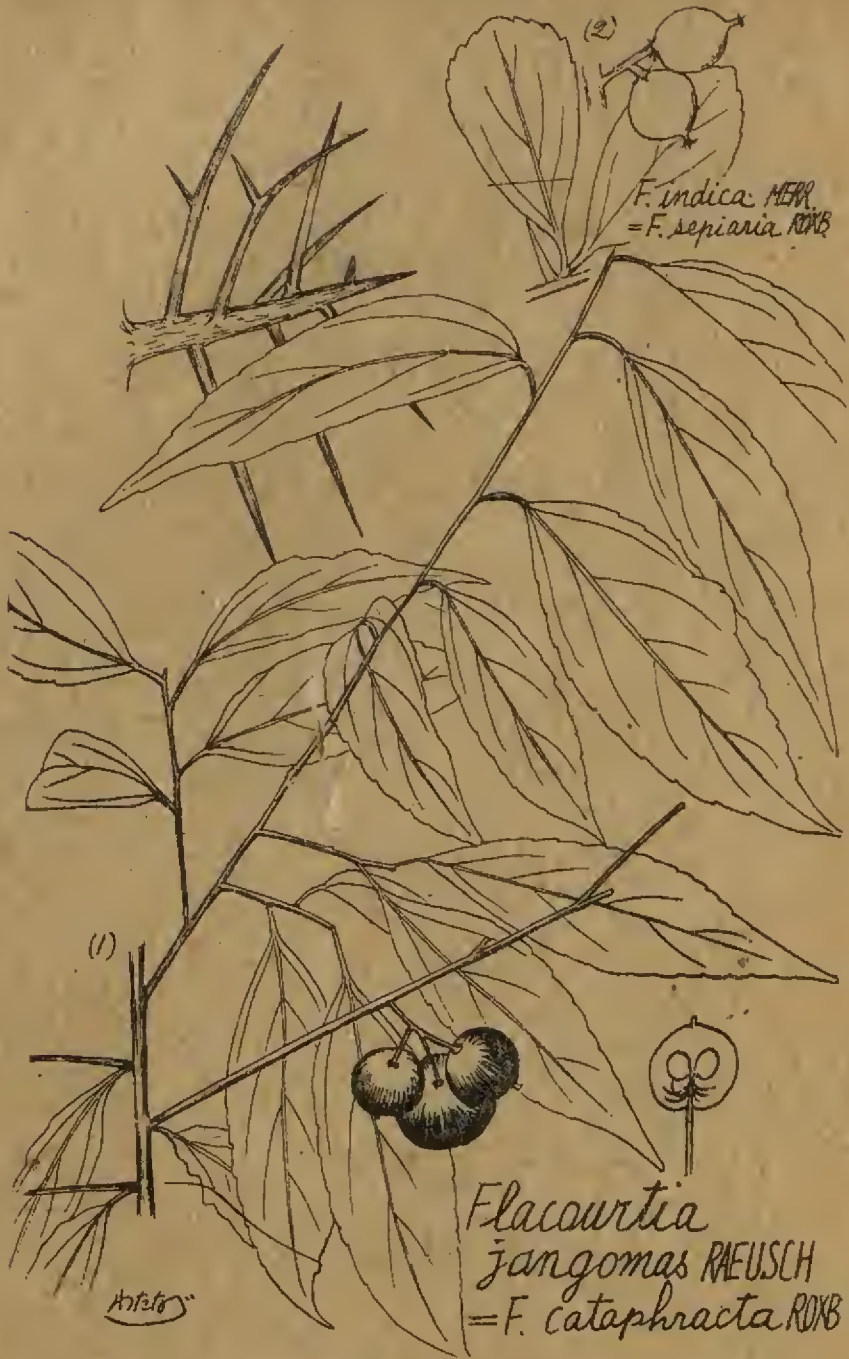


*Flacourtia
inermis* ROXB

トゲナシルカムモモ

(イイギリ科)

地方名 トミトミ(馬)
 産地 マライ、スマトラ、ジャワ(栽培)
 性状用途 大灌木、葉はバクチノキの如く花縁、果赤熟、種子は果の縦断面
 で二段にならび赤色、果は食用



F. indica MERR.
= *F. sepiaria* ROXB

Flacourtia
jangomas RAEUSCH
= *F. cataphracta* ROXB

ルカムモモ

(イイギリ科)

地方名 ルカム(馬)
産地 インド、マライ半群島(栽培)(原産インド?)
性状用途 大灌木、葉は光澤あり、幹多刺、果赤、果は初め酸味強けれ共少しく傷つけると甘くなる、生食、マーマレード用、マライでは北方に多し、葉の煎汁は下痢、根は傷、皮膚病、喉頭炎に外用
(2) インドルカムモモ總て(1)に同じ、但葉はやや廣きもの多し



Flacourtia rukam Zoll

マライ

ジャワルカムモモ

(イイギリ科)

地方名 ルカム(馬)
 産地 マライ半羣島(栽培、野化)(原産ジャワ?)
 性状用途 灌木、果は内外共に橙赤色、果は生食又は料理用、若葉、若枝も食用、若果の汁は赤痢、下痢に、葉の搾汁は洗眼用、傷の醫布用、マライでは南方に多し



Rinorea pachycarpa CRAIB
 = *Alsodeia pachycarpa* KING.

スミレノキ

(スミレ科)

地方名 ルカ(サカイ族)
 産地 マライ
 性状用途 小木、山地にあり、果壁は外部革質、内部は軟骨質、若果を食す

假	存	油			
製					

*Hydnocarpus
anthelmintica*
PIERRE



ダイフウシ (ペニノキ科) (イイギリ科)

地方名 クラマオ(泰)
産地 ビルマ、タイ、インドシナ
性状用途 中喬木、果は褐色、徑四寸、種子は白肉を被り本皮は褐色、此の白肉は多量食しても害はないが殆ど無味
種子は大風子油を含み瘧疾、皮膚病、驅虫に用ふ、種子は食す可らず、其油は燈用、樹皮の纖維は索用

食	藥						
域	米						

Bixa orellana L.



ベニノキ

(ベニノキ科)

地方名 クスム(馬)カムタイ(泰)アトメ(英)
 産地 熱帯(栽培)原産アマリカ
 性状用途 灌木、高六尺、クワの如し。花桃色、果暗赤。垣根に作る。種皮に赤色素ビキシンありアルカリ、酸に強いが日光に弱し。チョコレート、バター、チーズ等食品の着色、印肉、木綿染色には タマリンド果、尿等で定着強色する。石灰乳、ドリアン灰、スワク等と共同染色にも用ふ。根は肉の處理(色味を與へる)に用ふ。葉は解熱。種子の色素は浸下。樹皮の纖維は糸

食	藥								



Cochlospermum gossypium L

キバナワタモドキ

(ベニノキ科)

地方名
産地
性状用途

ブバル(馬)
インド、ビルマ、タイ。(マライでは栽培)
小木。花黄、花後花序は根の様になる。果中には毛あり、種子は不
乾性油15%あり、油を絞つた残は食用とし得べし
幹から粘液が出で之はトラガカンタゴム代用として販賣される



*Dryobalanops
aromatica* GAERTN.

リウノウ (フタバガキ科)

地方名 カソール(馬)
 産地 マライ、マモトラ、ボルネオ
 性状用途 大喬木。高さ二百尺。群落をなして居る。果は砂糖漬として食す。材の間葉に含む龍腦(右旋ボルネオール)を採り、又幹に孔をあけて龍腦を採る。龍腦は外用薬又は淋病、胃痛・頭痛に内用。龍腦油はナルペン及びビヤンを主とし塗料。材は堅さ重さ適度で建築に用ふ。赤味あり芳香

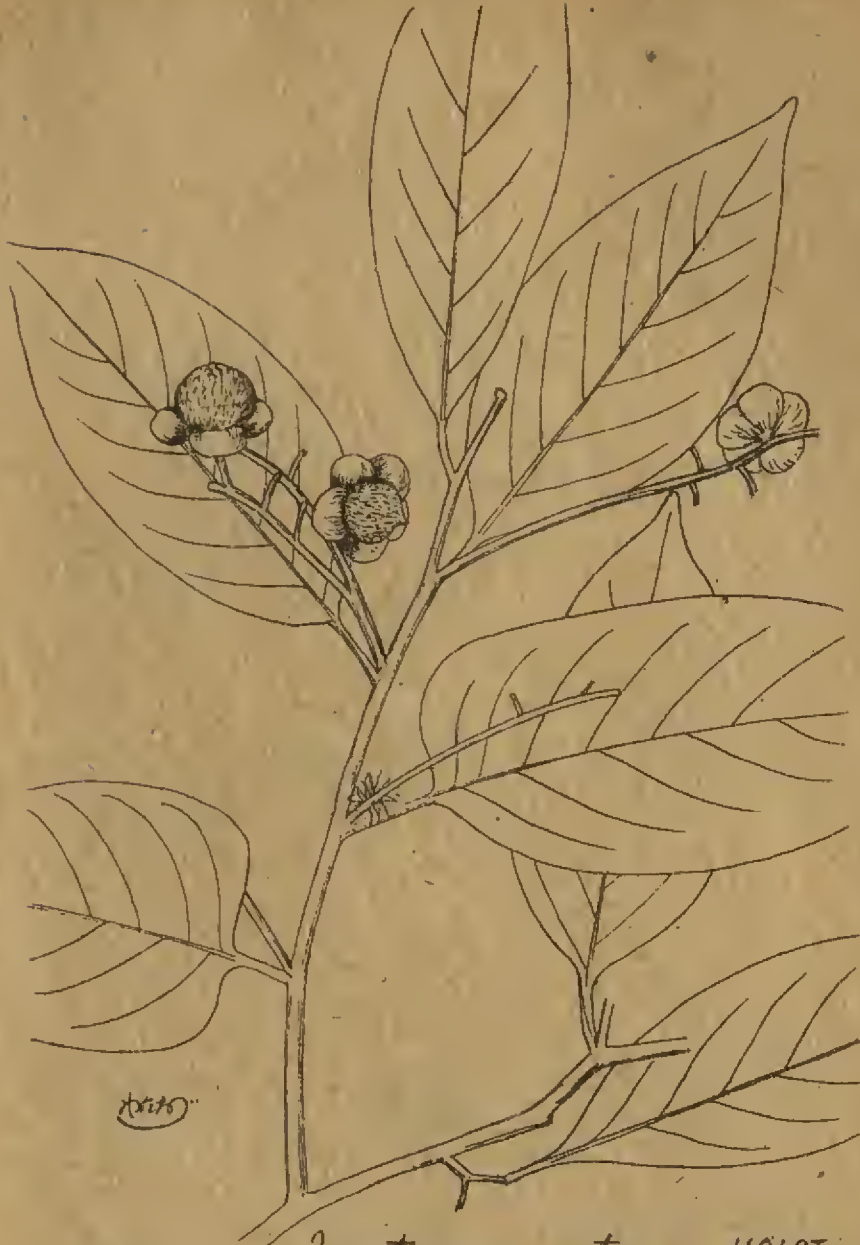
食							
	材						



Dryobalanops oblongifolia DYER.

ナガバリウノウ (フトバガキ科)
 クラダン(馬)カプル(馬)フナ、バシア(馬)
 地方名 マライ
 産地
 性状用途 喬木、リウノウより幹は短大。葉はソヨゴの如く厚く光澤、側脈多数平行、香はリウノウよりやや少し、平地の水濕地に多し。種子は食用し得。材は良質で リウノウと區別出來ぬが龍腦は採らぬ

食							
	材						



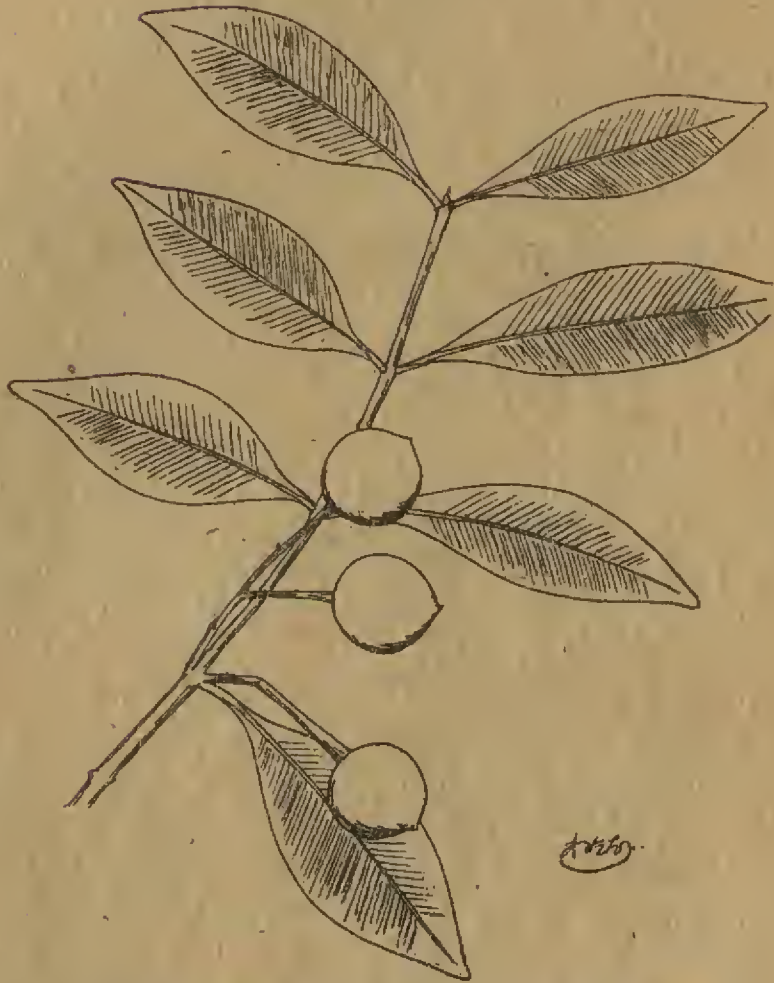
Isoptera sumatrana V. SLOOT

スンカワングノキ

(フタバガキ科)

地方名 スンカリング(馬)
 産地 マライ、スマトラ(ボルネオ?)
 性状用途 喬木。果の脂は食用し得、材はバルの一種として扱はれる、幹は樹脂を出す

頁									
			材						



Calophyllum pulcherrimum WALL.

ヒメテリハボケ

(オトギリサウ科)

地方名
産地
性状用途

ブントングール・バツ(馬)

インドシナ、タイ、マライ、スマトラ、ボルネオ

香木、葉は厚く光澤、幹から樹脂が出る、果は食し得、酸味あり

材は柱、板用

オトギリサウ科のものは餘り有毒者はなし、特にGarciniaは殆ど皆

根を食用し得

食									
薬									

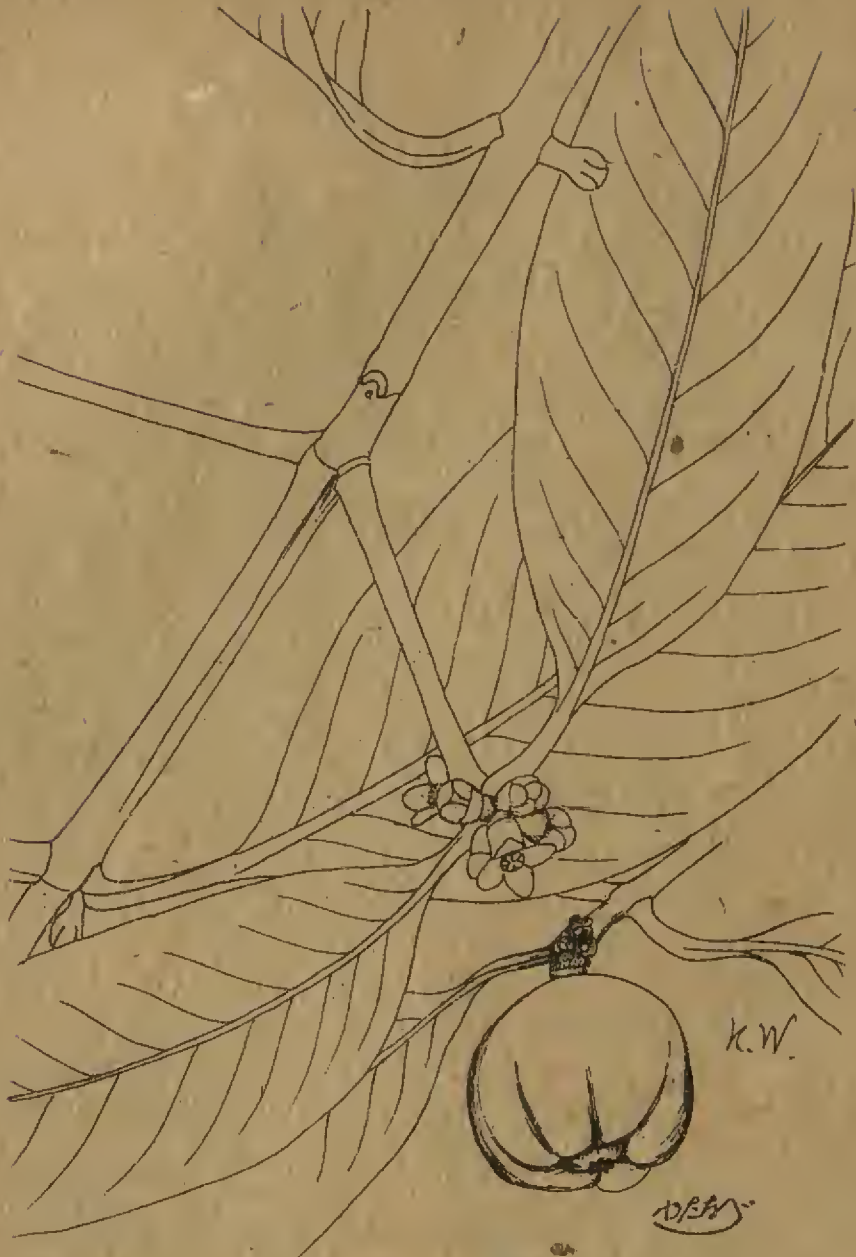
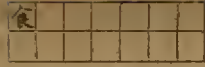


Garcinia atroviridis GRIFF.

グルゴノキ (オトギリサウ科)

地方名 アナム・ダムゴ(馬)ラム・マフオン(泰)
 産地 アナム・マライ(栽培,野生)
 性状用途 小木。枝は垂下、葉は厚く光澤。花は雌雄の別あり。萼は赤く花弁は淡赤、果面に縦溝あり、果實苦、酸味。切片として乾し料理用、砂糖漬。又果物としても食す。果はミョウバンと共に染料の固めに用ふ(ダランの皮で紫、ベニノキで黄、インゲンで青)

120



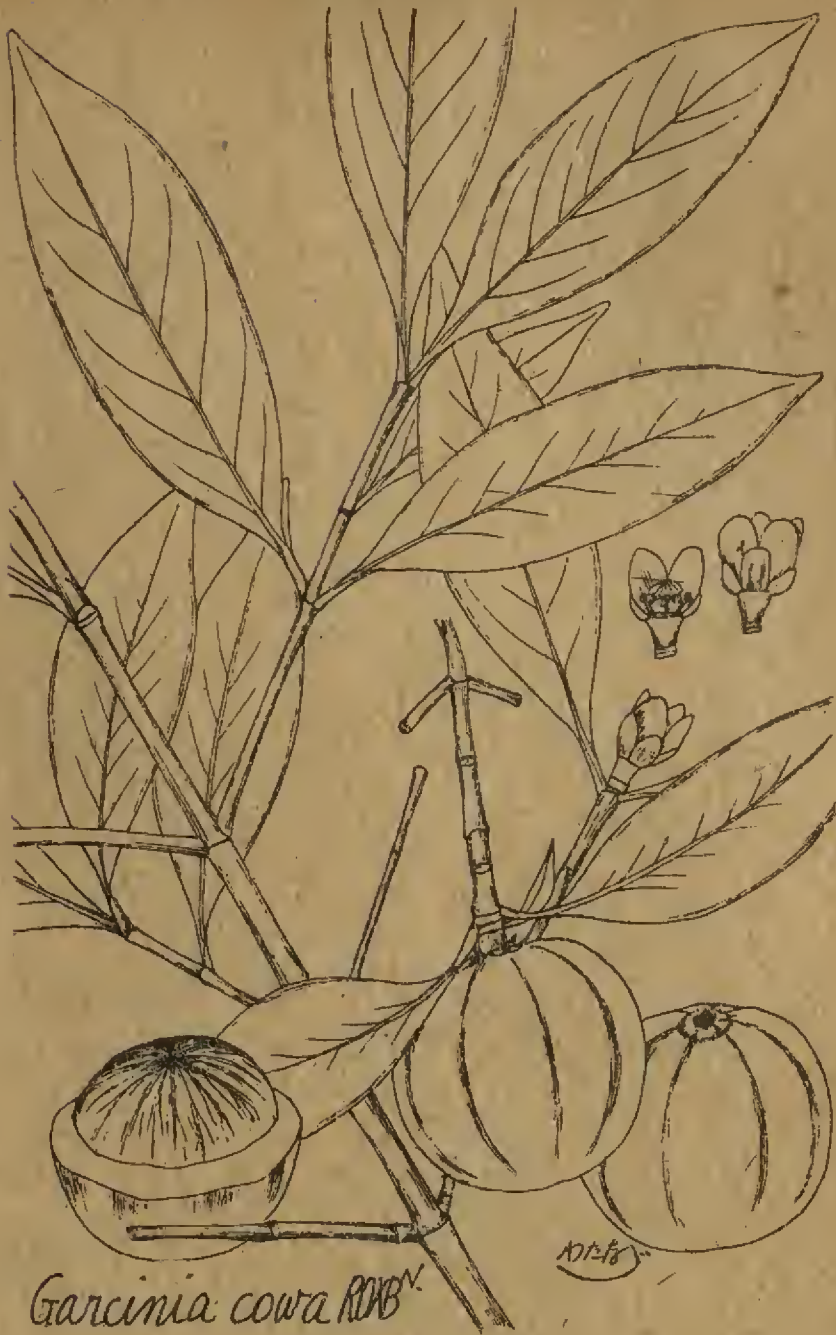
Garcinia bancana MIQ

バンカマンギス

(オトギリサウ科)

地方名 カツリ(馬)
産地 マライ、スマトラ
性状用途 喬木、海岸の沼地、花黄、果食用

食							
法							

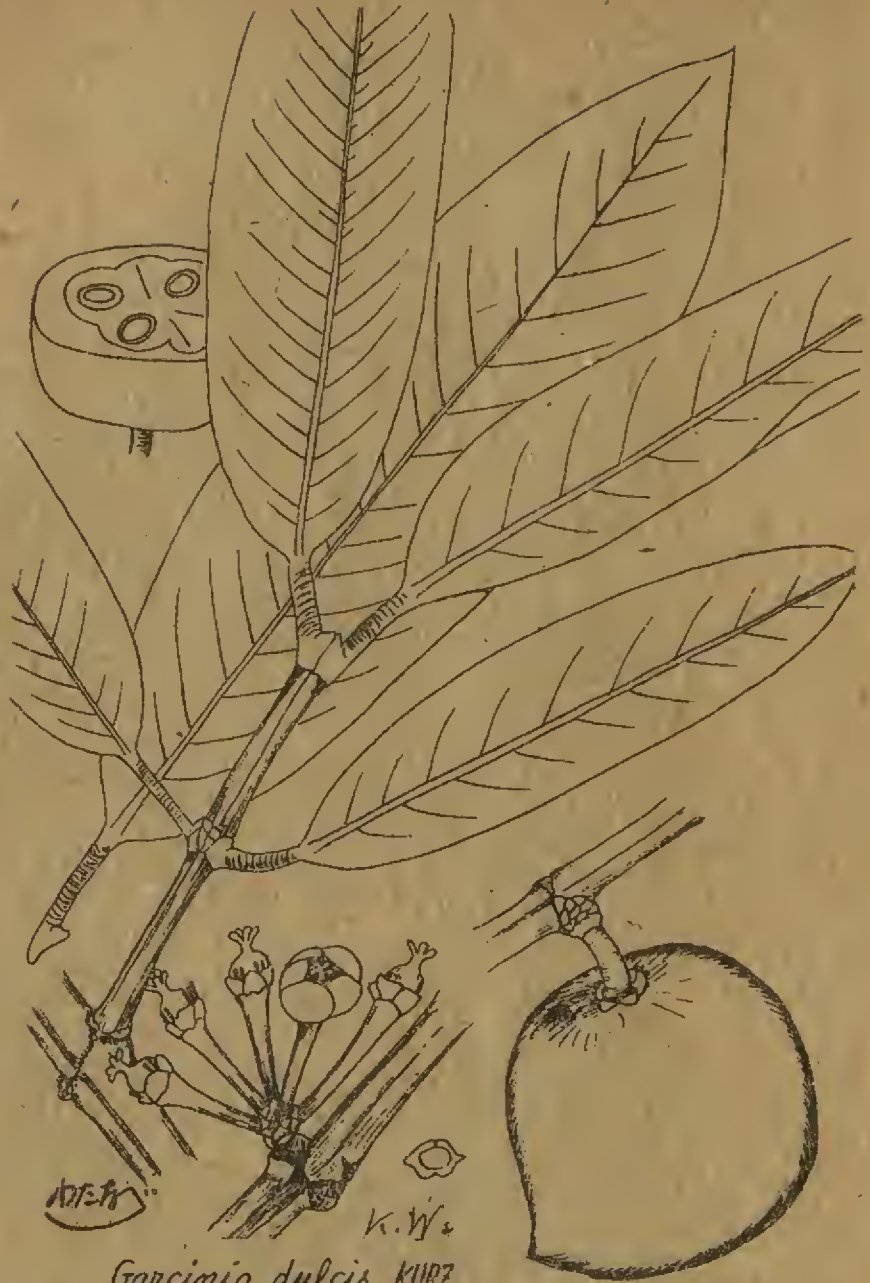


Garcinia cowa ROXB^N.

コーワガムボ子 (オトギリサウ科)

地方名 ?
 産地 インド、ビルマ、タイ、マライ(北)
 性状用途 喬木、葉は厚く光リサカキの如し、花黄白、果はやや多角、橙赤若葉、果は食用、樹皮のヤニは黄色で水に不溶、藤黄代用として着色ニスに用ふ、

食	藥						
法							

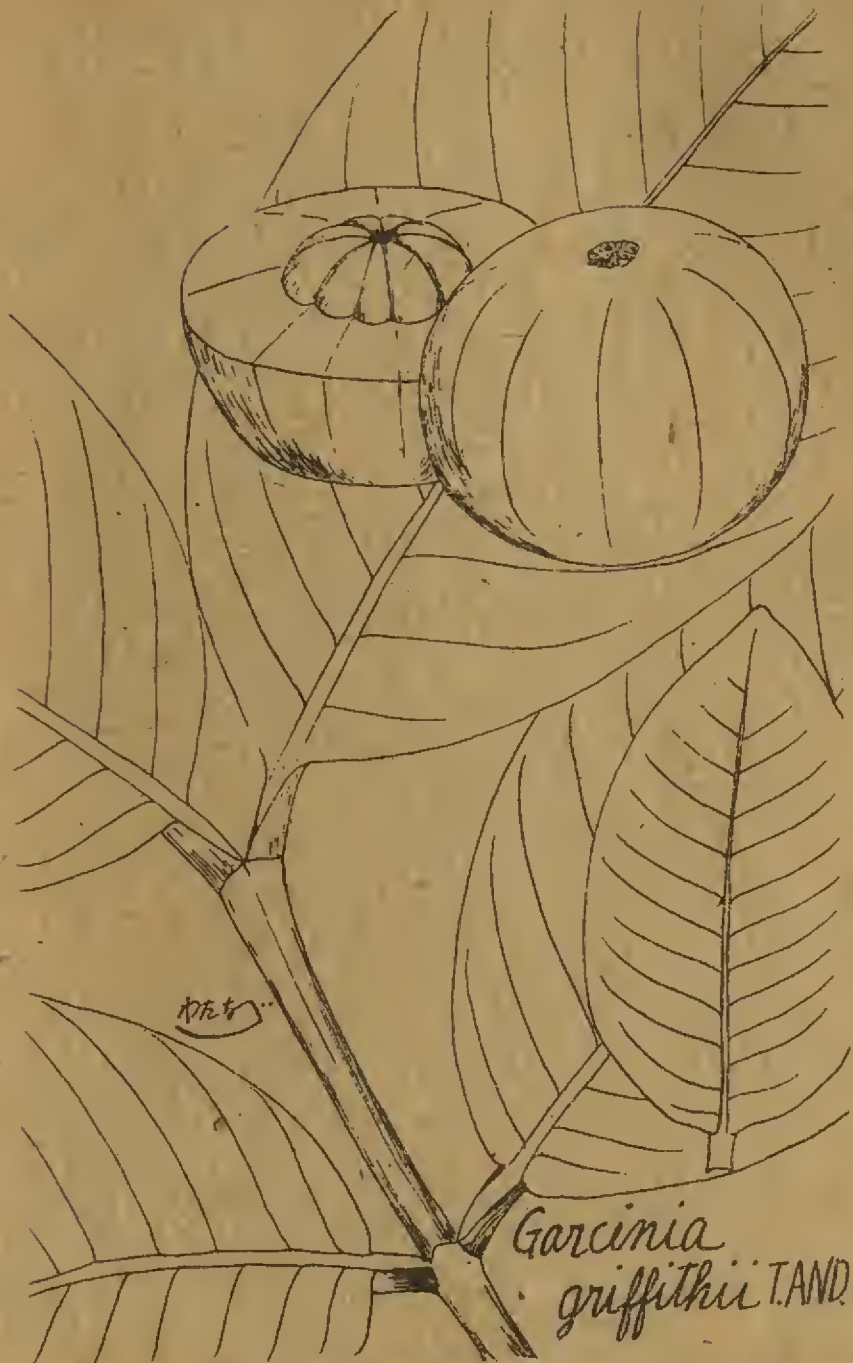


Garcinia dulcis KURZ
= *G. xanthochymus* HOOK.f.

キヤニモモ

(オトギリサウ科)

地方名 ムンツー(馬)マダ(泰)
産地 インド、ビルマ、マライ半群島(栽培)(原産ジャワ、フィリピン)
性状用途 喬木。莖縦溝。葉はインドゴムの如し、花白緑。果黄、黄ヤニを含む、クエン酸あり酸く、生食、料理用、ジャム用、種子は腫物に外用、樹皮は褐又は緑染料(他の染料と共同して)



Garcinia griffithii TAND

キミノヤママンギス (オトギリサウ科)

地方名 カンヂス・ガジヤ(馬)
産地 マライ
性状用途 喬木、葉光、果は黄リンゴに酷似し、種衣肉色で酸味強く料理に用ふ

127

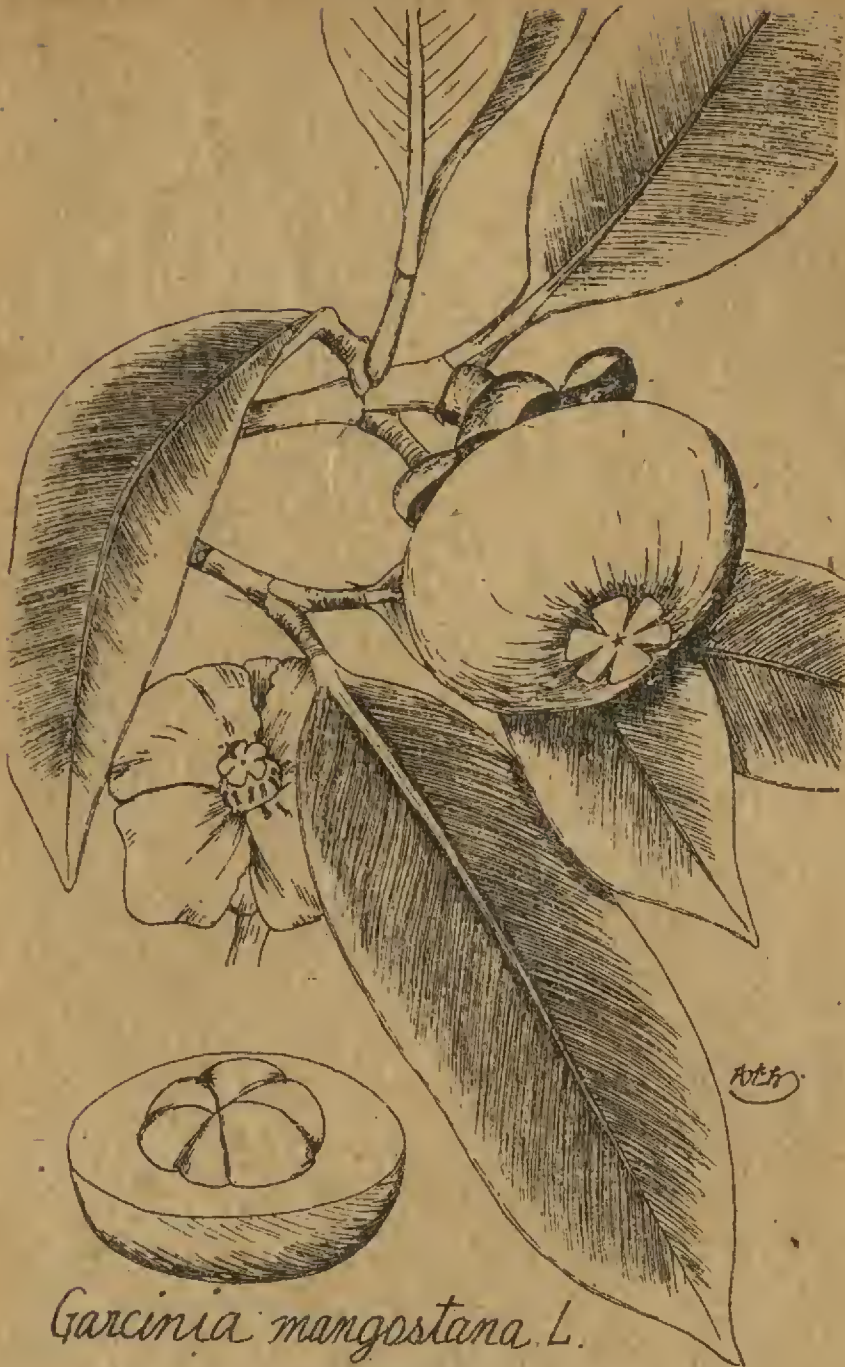
全									
長									



Garcinia hombroniana PIERRE

アカミヤママンギス (オトギリサウ科)

地方名 マンギス・ウタン(馬)
 産地 マライ、ニコバル
 性状用途 小木、海岸の林、果はマンゴスチンに酷似し、赤、種衣を食することマンゴスチンに同じ



Garcinia mangostana L.

マンゴスチン

(オトギリサウ科)

地方名 マンギス(馬)
 産地 タイ、マライ、スマトラ、ジャワ(栽培)
 性状用途 小木、雌雄異株、花白、果紫、果皮は厚く赤色、中に白肉種衣を被つた種子數個あり、此の白肉は甘酸美味、果皮はタンニン及び黄色素マンゴスチンを含み鞣皮、染色用、果皮は又下痢止、葉は傷藥

123

食							
---	--	--	--	--	--	--	--



Garcinia nigrolineata PLANCH.

オオミカンデス

(オトギリサウ科)

地方名 カンデス・ジャンタン(馬)

産地 ビルマ、タイ、マライ

性状用途 喬木、花黄。果は食用で果肉は酸く、種衣は甘し

食									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Garcinia sp.

ナガミカンチス

(オトギリサウ科)

地方名 ビリンビン・シヤム(馬)
 産地 タイ(?)北マライ(栽培)
 性状用途 小木、枝は紫黒色、花肉色、果は長く、種子も長く褐色、果は酸味強く料理用、学名不詳

124

A									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



カンヂス屬數種

(オトギリサウ科)

カンヂス屬は小木で果は有毒のものはない。次のものはマライ産で果を食用にする

- (1) グロブサ カンヂス 地。カンヂス(馬)産マライ
- (2) メルギーカンヂス 地。ルマ(馬)産インドシナよりマライ迄。幹より黄褐色のニス染料を採る
- (3) パルピフオリアカンヂス 地。カンヂス(馬)産マライ。スマトラ
- (4) プレインカンヂス 地。チュブ(馬)産マライ



Camellia sinensis KUNTZE
 = *C. thea* LINK. = *Thea sinensis* L.

チヤ(アツサムチヤ) (ツバキ科)

地方名 チヤ(日支)
 産地 インド、南支、日本、(野性栽培)マライ半群島(栽培)
 性状用途 本圖はアツサム系のもの。高30尺、花白、葉は製茶用、種子より油を採る、搾前は肥料田シナゴニンを含む故有毒で又洗髪用
 アツサムチヤは日本のチヤより実高いのみ、1825に発見利用され始めた

125

食							
	材						



Tetramerista glabra MIQ.

ブナノキ

(ツバキ科)

地方名 ブナー(馬)
 産地 マライ、スマトラ、ボルネオ
 性状用途 喬木、淡水沼地に生ず、果は酸味あり食用。材は心材邊材の區別なく黄色、強度中位、工作容易の爲接合以外の工作に用ふ



Caryocar nuciferum L

バタナツト

(ツバキ科)

地方名	スワリナツト(英)バタナツト(英)
産地	熱帯(栽培)(原産南米)
性状用途	喬木、葉大、花暗赤早落、果褐、種子中の白色胚乳はバタの如く食用



Dillenia indica

L

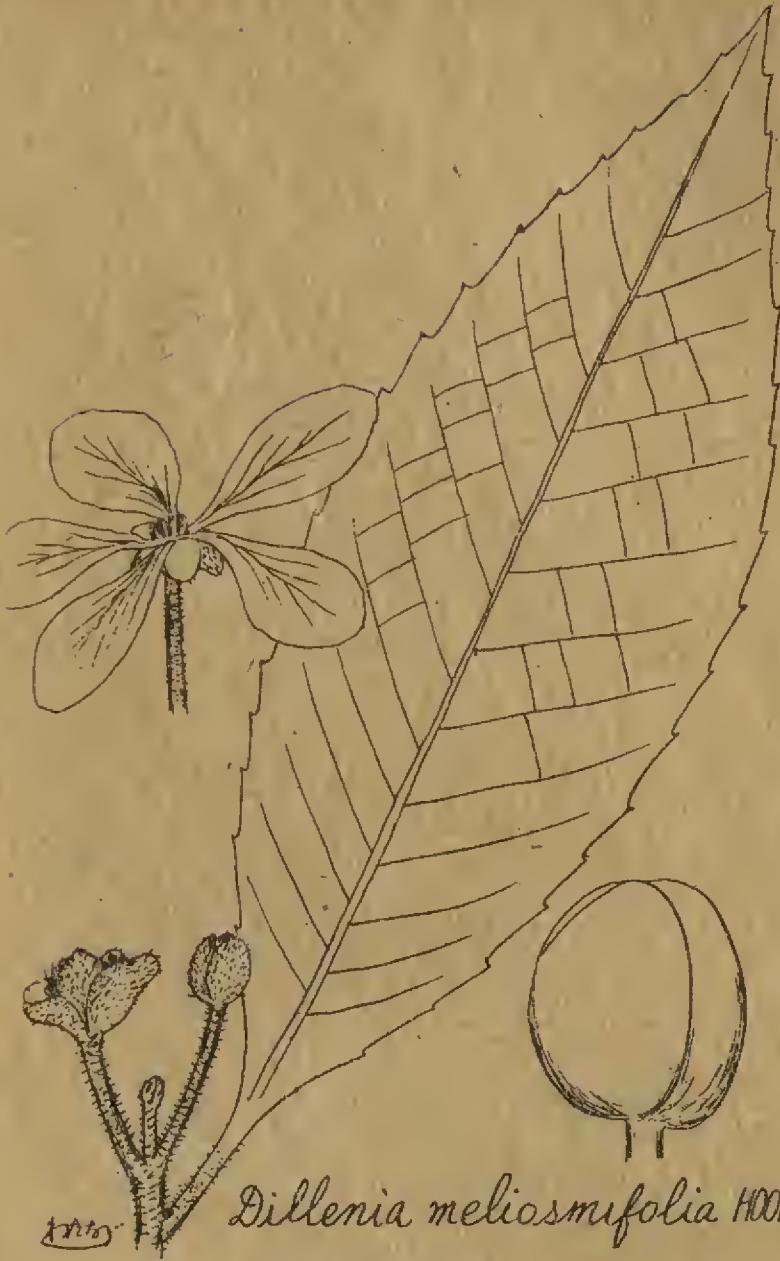


ビハモドキ

(ビハモドキ科)

地方名 シンポー(馬)マタート(泰)
 産地 インド、ビルマ、タイ、マライ、スマトラ、ジャワ
 性狀用途 小木、葉はビワの如く花大、白、果は大形であるが大部分は萼の
 肥大で、萼の肉質部は酸味ありジャム、飲料、料理用

食									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Dillenia meliosmifolia HOOK. f.

ヤマビハモドキ

(ビハモドキ科)

地方名 シンポー・ブギ(馬)

産地 マライ

性状用途 喬木、葉裏多毛、花黄、果を包む萼は酸汁、食用

食	藥								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



Cola nitida ACHEN

コ ラ

(アオギリ科)

地方名 ナシ
 産地 熱帯(栽培)(原産アフリカ)
 性狀用途 小木、枝は横に擴がる、花白黄で紫黒條、種衣白、種子桃色、種子はカフェイン、コラニン(配糖體)を含み咀嚼と興奮快感、アフリカ人の咀嚼料、又コラニン原料

食	藥						
	染	材					



Heritiera littoralis DRY.

サキシマスハフノキ

(アオギリ科)

地方名
地産性
状用途

ツンゲン(馬)ンガウン・カイ(泰)

インド洋、太平洋岸

低木、海岸湿地に多いが内陸にもある、葉裏銀白で褐点あり、果は堅く中空、柄、種子煮食、種子煎汁は赤痢、下痢に用ふ、樹皮はタンニンあり網染、材は暗褐、堅く弾力性マライ第一、長材あれば帆柱に良好、舟具を作る

食	藥								
場									



Melochia corchorifolia L.

ノチアフヒ

(アオギリ科)

地方名 ルマ・クタム (馬) プンプ・バダン (馬)
 産地 熱帯
 性状用途 雑草、花黄、葉は食用、根、葉の煮汁は赤痢及び吐氣止に用ふ、
 莖の繊維は良質であるが幹短きを欠點とする

食									
織									



Melochia umbellata STAPF
 = *M. velutina* BEDD.

ヒロハノチアフヒ (アオギリ科)

地方名 タムラー(馬) サーダム(泰)
 産地 インド、マライ半群島
 性状用途 小木、葉裏多毛、葉は食用、皮の繊維は索



ヒナカサウ

Pentapetes phoenicea L.

ヒナカサウ

(アオギリ科)

地方名 ブンガ・ナガハリ (馬) バウセング (泰)

産地 インド、ビルマ、タイ、マライ、ジャワ

性状用途 水田附近の雑草、高さ六尺、花赤、全草茶として飲用

食	料								
	材								



Scaphium affine PIERRE
 = *Sterculia scaphigera* WALL

ダイカイシ

(ノオケリ科)

地方名 クンバン・スマンコ(馬)大海子(支)

産地 マライ、タイ、インドシナ

性状用途 喬木、葉は硬質光澤、莖、葉柄褐毛、種皮はタラカントゴム類似のバツモンを有し吸水し膠状となる、之をミツマノ様に食す、之

食	藥	油			
織	材				



Sterculia foetida L

ヤツデアオギリ

(アオギリ科)

地方名 クルムパン (馬) サム (泰) ジヤバオラーブ (英)

産地 アフリカより済洲迄

性狀用途 喬木。花暗赤ヌカトール臭。果は赤色。種子はカカオに似て蛋白。油あり炒食す。美味。多量に食すると油の爲下痢。頭痛を起す。種子油は黄色不乾性。オラーブ油代用又燈用。種皮は炒つて淋病に用ふ。材は灰白。軟で筋にする。樹皮の纖維は索用

Theobroma cacao L



ワカウ

カカオ

(アオギリ科)

地方名 ポコ・シヨコラー (馬)
 産地 熱帯 (栽培) (原産中南米)
 性狀用途 小木、高一丈、果六寸、幹及小枝に着生、種子にはテオプロミン、
 カフェイン、脂肪あり、興奮劑とし、又チヨコレート及びカカオ
 脂を採る
 フオラステロ種 南米系 果皮滑硬、種子紫
 クリオロ種 中米系 果皮粗軟、種子白



Adansonia digitata L

バオバブ

木棉 (パンヤ科)

地方名 バオバブ (印)
 産地 熱帯 (栽培) (原産アフリカ)
 性状用途 大木、花白、垂下、葉は調味料、種子はアルモンドの味にて煮食、材はバルブ用、樹皮は紙料、内部樹皮は薬用

美	田			
織	材			



わたり

Bombax malabaricum DC.

ワタノキ

(パンヤ科)

地方名 シマム (印) ストパン (ビルマ) シンイ (泰) 斑芝樹(支)

産地 インドより、東南部

性状用途 喬木、花赤。幹は刺あり、落下した筈及び若樹皮は食用。種子の油はワタ油代用、薪は飼料、樹脂はトワカントゴム代用で赤痢、下痢に、根は利尿乾花は薬物、樹に外用、種子の毛は葯物、材はワチ、バルツ、製炭用炭



Ceiba pentandra GAERTN
= *Eriodendron anfractuosum* DC.

カボツク

(パンヤ科)

地方名 カブカブ、馬、ヌン(泰)
 産地 東洋熱帯(栽培)(原産インド?)
 性状用途 喬木、花白黄、種子、若果は食用、種子油はワタ油代用、粕は飼料、葉は咳、コエガレ、淋病に、根は赤痢に、樹皮は利尿に用ふ、種子の毛は布剛、救命具の詰物、材はパルプ用、醋酸乾溜用



Durio zibethinus L

ドリアン

(アフヒ科)

地方名
産地
性状用途

ドリアン(馬)

マライ、スマトラ、ジャワ(栽培)(原産ボネオ)

喬木、果は自然落下を待て食用、種衣を食す、悪臭汁味、種子も煮て食す、果皮は皮膚病に外用、果皮、葉はカイブシ用(果皮は自燃性良好)、果皮は媒染料

アフヒ科は有毒なし

植物									
種									



Gossypium brasiliense MACFAD.
 = *G. barbadense* L.
 var. *acuminatum* ROXB.

ブラジルワタ (アフリ科)

地方名 カバス(馬)
 産地 熱帯(栽培)(原産南米)
 性賦用途 灌木、高十尺、花黄、果長く三室、各室種子は一室、毛は脱着易し、種子平滑、葉、若果は食用可、葉、根は解熱用(マラリヤにも用ふ)葉は赤痢、根は有力な利尿、月經促進、墮胎薬にして麥角作用、種子の毛は良好な纖維、長さ1.5吋

食	油				
織					



Hibiscus cannabinus L.

アンバリアサ(ケナフ) (アフリ科)

地方名
産地
性状用途

アンバリヘンブ(英)
 温熱帯(栽培)(原産インド)
 草、高十尺、花白黄、中心赤。葉は酸く食用、種子の搾粕も食用。
 種子の油は乾性油にしてリノサム、ペイントを作る、莖の繊維
 は苧麻より上質、温帯より赤道地帯迄作り得て苧麻より適地が廣

頁							
紙							



Hibiscus eetveldeanus WILD.

シツアフヒ

(アフリカ科)

地方名 ガメツト(瓜)

産地 熱帯(栽培)(原産インド)

性状用途 草、高三尺、多枝、葉、草濃赤、花暗桃色、中心赤黒、葉は酸味強く老葉迄生食、鹽漬、煮食、シツ代用、葉の繊維は使用に耐ふ、

食	藥				
藥	性	寒	平	温	熱



Hibiscus esculentus L. *Abelmoschus esculentus* MEN

オケラ (アフリカ科)

地方名 カナヤン・ベンガイ(馬・カリーブ(泰))レディオフンガー(英)
 産地 温熱帯(栽培)(原産不明、アメリカは誤)
 性状用途 大草。花黄、中心赤、蒴果、若菜食用、種子は食用油を採り又コーヒー代用、葉は飼料、果は淋病の特効薬、別の品種は毒に用い、葉の纖維は製紙に耐ふ、又製紙原料、根及



アカバナトゲアフヒ

(アフヒ科)

地方名 ブラチュー(印)

産地 熱帯(英地)(原産インド、ビルマ、タイ)

性状用途 草、高さ五尺、刺あり、花大、赤、中心赤黒、種子に刺激性細刺あり、葉は酸味食用、葉の繊維は糸、索用、ブラジル麻とは本種及びアンバリアナなり

(2) マンキンアフヒ地、アナム、ヌメル(馬)東洋熱帯(1)に似て花青、中心赤黒、半蔓性、多毛多刺、用途(1)に同じ



Hibiscus rosa-sinensis L.

ブツサウゲ

(アフヒ科)

地方名 フンガ・ラヤ (馬) チャペー (泰)
 産地 熱帯 (栽培) (原産南支)
 性狀用途 灌木。觀賞用垣根用。花の色、形は種々、葉は食用、葉、根の煎汁は解熱に内用、腫物、
 眼病に外用、葉の滲出液は氣管支炎に内用、花は食物の着色に、葉茎の粘液は製紙糊料、
 樹皮の纖維は索、紙に用よ
 (2) フウランブツサウゲ地、フンガラヤ、タンダロン (馬) 總て(1)に同じ、(1)(2)の中間もあ
 る



Hibiscus sabdariffa L.

木花

ロゼル

(アフリカ科)

地方名 アナム・スズール(馬)・カチー・ローフ(泰)
 産地 熱帯(栽培) (原産不明)
 性状用途 高草、葉、花茎は赤いもの多し、花は黄、中心暗赤、果の筒は肉質赤色、茎葉アロン酸
 を含み酸く、未熟果の筒はワ、ルン代用、ジャム、シラブ(ワレム)を作り葉も食用全草
 より酒を作る、種子は油及び蛋白を含み食用、コーヒー代用、飼料、葉の乾燥にはアン
 バリアナより上質で糸、糸用、織物用種をニスクロベルと云ひ丈高し

名	種								
類									



Hibiscus tiliaceus L.

ヤマアサ

(アフリ科)

地方地
産地
性状用途

バル(馬)
熱帯(人類により分布)
小木、海岸に多いが内陸にもある、花黄、中心暗赤、若葉は食用、
飼料、枝、根の煎汁又は浸液は解熱に内用、但し催吐性ありと云
ふ、若葉は気管支炎に用ふ、樹皮の繊維は索として良好、糸、綱
にも作る

食	藥				
織	染	材			



Thespesia populnea SOLAND.

サキシマハマボウ (アフリ科)

地方名 パルー・ラク(馬)ポー・タレー(泰)
 産地 熱帯
 性状用途 小木、海岸、ヤマアサに似てゐるが葉は堅固なく滑、葉脈黄、花黄、若葉はゆでて食す。美味、葉、果の汁はカニ止、皮膚病に。樹皮は下痢、痔に用ふ。樹皮の繊維は索、釣糸、樹皮、材はタンニンを含む。材は堅く耐水、心材は暗赤で舟具、樂器、車輪、枕台、家具用、繊維はヤマアサに劣るか材は優る。果皮、花は染料



Urena lobata L.

オホボンデンクワ

(アフリ科)

地方名 プル・プル (馬) パウセンダ (泰)

産地 熱帯

性状用途 やや木性の草。葉縁に暗色のシミあり。花桃色。大群落をなす。葉は飼料となる故人も食し得へど、枯質あり。葉は厚肉、下側に、葉の筋の煎汁は労働による體のイタミ止に茶として飲用、葉の纖維は黄麻不適地(ブラジル、マライ)によし又製紙原料

食							
織							



Corchorus aestuans L.
= *C. acutangulus* LAM.

トガリバツナツ

(シナノキ科)

地方名 ルンブー・バヤム・ルサ (馬)

産地 熱帯

性状用途 雑草、高さ2—3尺、花黄、葉やや赤し、葉は食用、莖の繊維は使
用に耐えるが良好ではない

139

食	藥						
續							



Corchorus capsularis L

ツアソ (黄麻)

(シナノキ科)

地方名
産地
性状用途

カチン・バジュ(馬)・パウ・カチヤオ(素)

温熱帯(栽培、野化)

草、高さ六尺。茎は赤もあり。花黄、葉は食用、又茶として肝臓病に用ふ。葉の煎汁は赤痢、咳、肺結核に内用。葉にはカプスラン種子にはコルコリン(柯れも配糖體)あり。後者は心臓にゲキタリス様に作用す。茎の纖維は索・袋として有用、但日長12時間に近い赤道附近では三尺で分岐開花する故、長いものは得られぬ

種							
名							



わたし

Carchorus alitorius L

ナガミツナソ

(シナノキ科)

地方名 ナシ
 産地 熱帯(栽培野化)
 性状用途 草、外見ツナソに同じ、葉は古くより野菜として食用、種子は有毒、繊維用として栽培されるがツナソ程一般的でない

140

食	藥						



Grewia paniculata ROXB

ホザキウラトリギ

(シナノキ科)

地方名
産地
性状用途

チユンヅライ(馬)プラ(泰)

タイ、インドシナ、マライ半群島

小木、花淡黄、若葉は赤褐、莖、葉脈共に褐毛、熟果の果肉を食す、根の煎汁を解熱、鎮咳、其の搾汁は胃病に用ふ、葉、樹皮の浸液は骨折に外用、葉の汁は赤痢に用ふ



Muntingia calabura L

ナンヨウザクラ

(シナノキ科)

地方名 クルク・シヤム(馬)タコ・フアラン(泰)

産地 熱帯(栽培野化)(原産メキシコ)

性狀用途 低木、枝はカサの如く展開、花白くバラの如し、果赤熟、甘く生食、樹皮の繊維は索とする、日産用樹

[4]

食	材		
類			



Triumfetta bartramia L.
 = *T. rhomboidea* JACK = *T. angulata* L.

カチノハラセンサウ

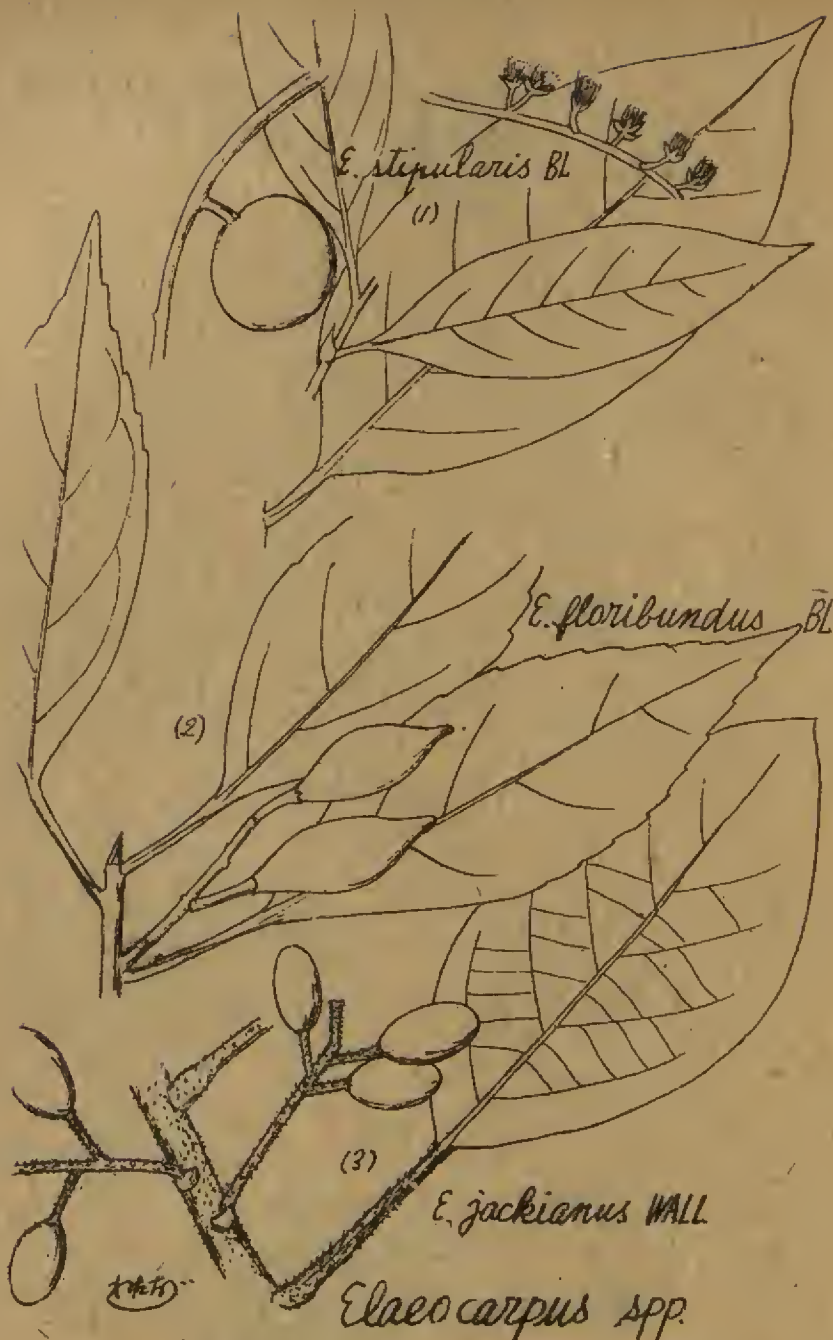
(シナノキ科)

地方名 プルプル(馬)セーン(泰)

産地 東洋熱帯

性状用途 雑草、やや木質、葉は食用、飼料、莖の繊維は索とし得

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---



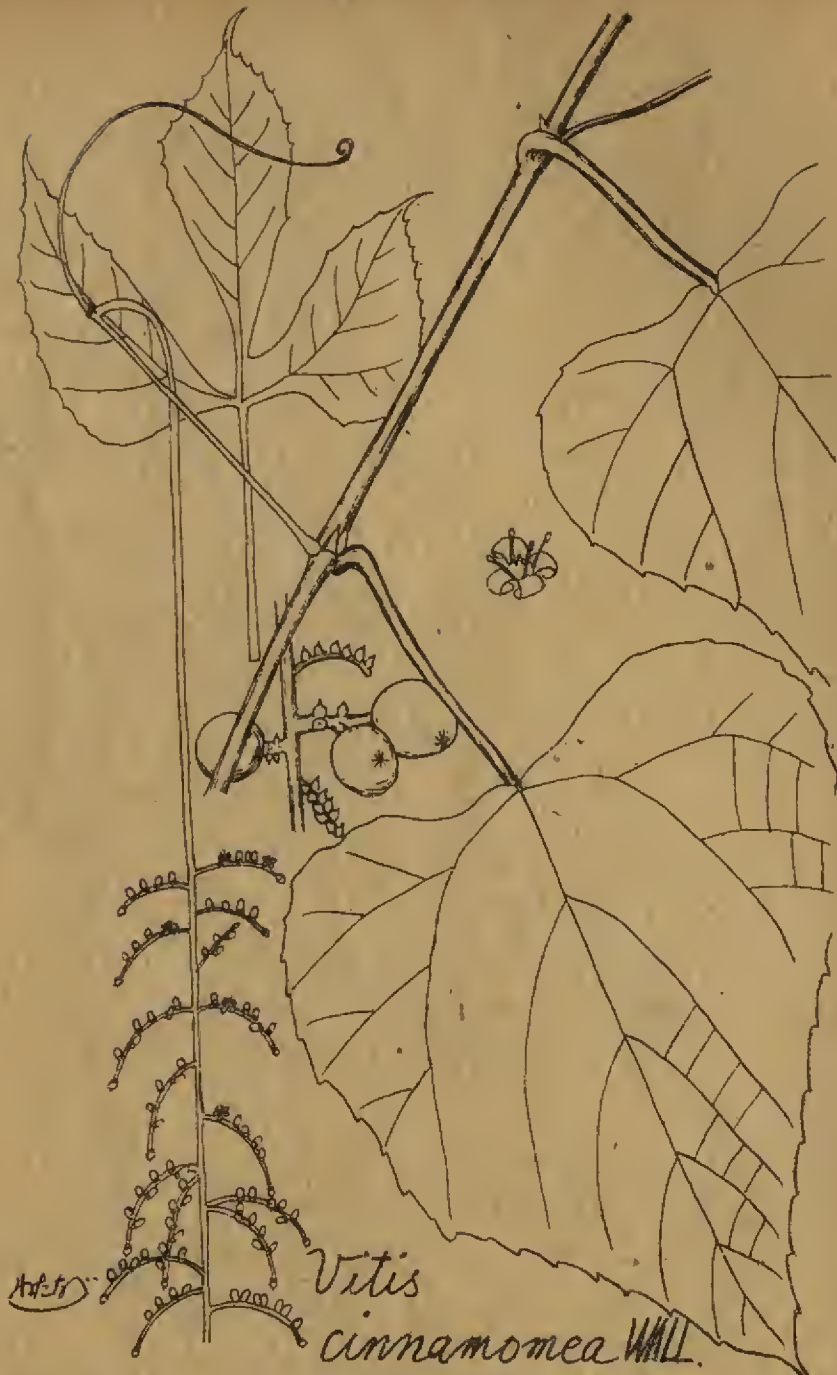
ホルトノキ樹數種

(ホルトノキ科)

ホルトノキ樹は喬木、果中に堅い核一つあり其外部の果肉は酸味あり食用、次のものは其の一例

- (1) アビホルトノキ樹、ムダン。アビ(馬)産マライ、スマトラ、ジャワ葉裏毛あり
- (2) ツロルホルトノキ樹、ムダン。ツロル(馬)産マライ、スマトラ、ジャワ
- (3) マニホルトノキ樹、ムダンマニ(馬)産マライ、ホルネオ葉は厚く裏に毛あり

頁	番	号					
1	4	3					



Vitis
cinnamomea WALL.

ナガホブドウ (ブドウ科)

地方名 アカール・ブダイン・ランムバ (馬)
 産地 マライ
 性状用途 茎、葉は白毛、葉裏樹毛。果集熟。若葉食用、葉の煎汁はコレラに内用。葉は織に用布。
 根は木綿のタンニン性染色料として用よ
 ブドウ科は有毒のものはない、若葉は大體食ひ得、但果はニグ酸の多いものが少くない
 葉の水は 飲用

143



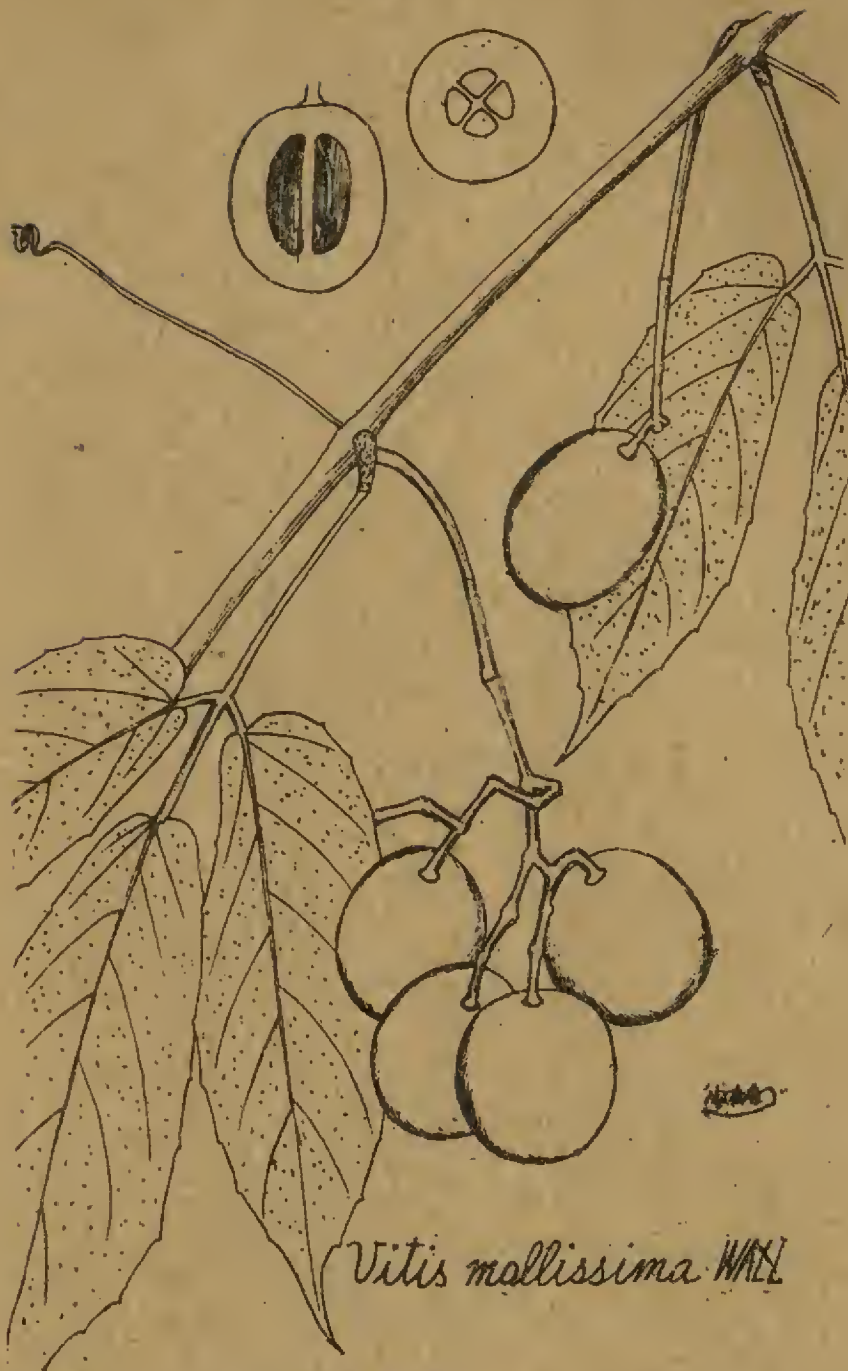
やたけ

Vitis lanceolaria WALL

ヒラダキブドウ

(ブドウ科)

地方名 アカール・チャパン・リマー(馬)カンコン・ガチャー(馬)
 産地 インド、ビルマ、タイ、マライ、ジャワ
 性状用途 蔓、老莖扁平、葉は厚く裂片はアオキの如し。果白緑、若葉食用



Vitis mallissima WALL

オオミツバブドウ

(ブドウ科)

地方名
産地
性状用途

ラコム・ガヂヤ(馬)
タイ、マライ、インドシナ、フィリピン
蔓、葉やや厚く光、粗剛、葉裏短毛、果は大、肉色、果は熟すれば僅に甘く殆どエグミなし、果はタマリンド果泥と煮ればエグ味を失ひ食用として可なり

194

食	藥						

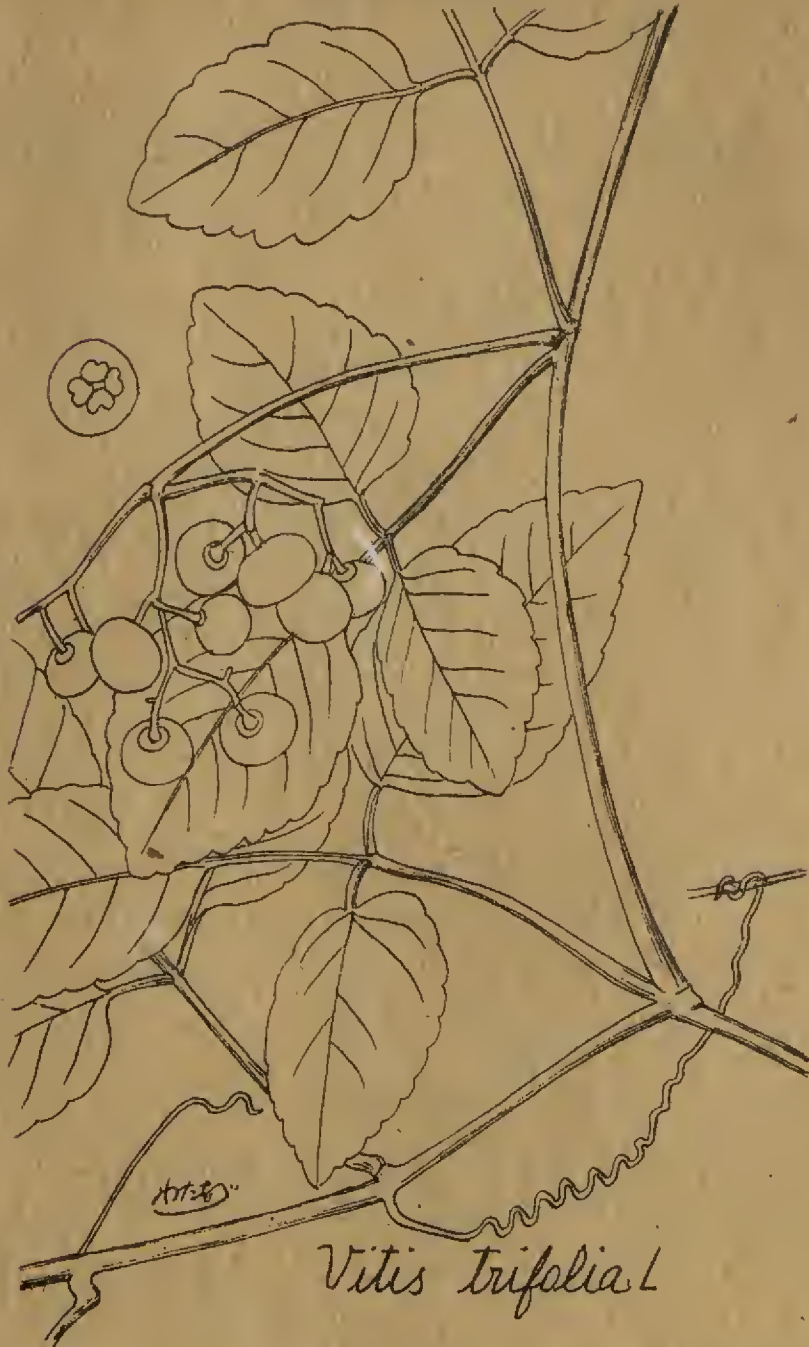


カググキブドウ

(ブドウ科)

地方名
産地
性状用途

バターワラン(馬)カンカウ(泰)
東洋熱帯栽培(原産インド)
草、茎は多肉四角柱、若葉葉食用、酸味あり、全草健胃、月經閉止、リウマチに内用、葉を骨折に懸布するがマダナヒに近いものならん

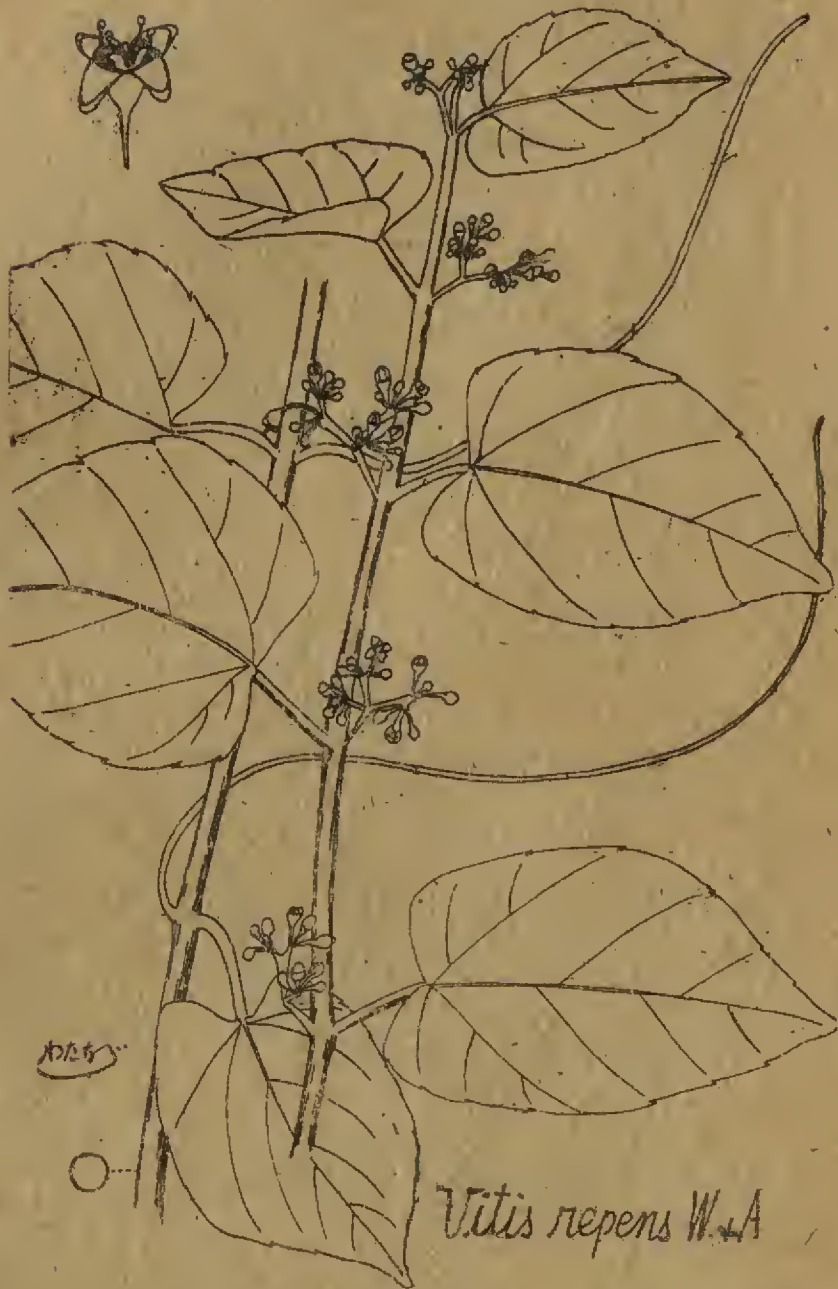


ハヒカツラ

(ブドウ科)

地方名 ラコム・ブーラン(馬)
 産地 インドよりジャワ迄
 性状用途 蔓、葉は食用

(15)



Vitis repens W. & A.

ミツバブドウ

(ブドウ科)

地方名 ラクム(馬)カオ、カン(タイ)

産地 東南アジア

性状用途 莖、果はエグミ強し。若葉は鹽でゆでエグミを去つて食用

植物									
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--



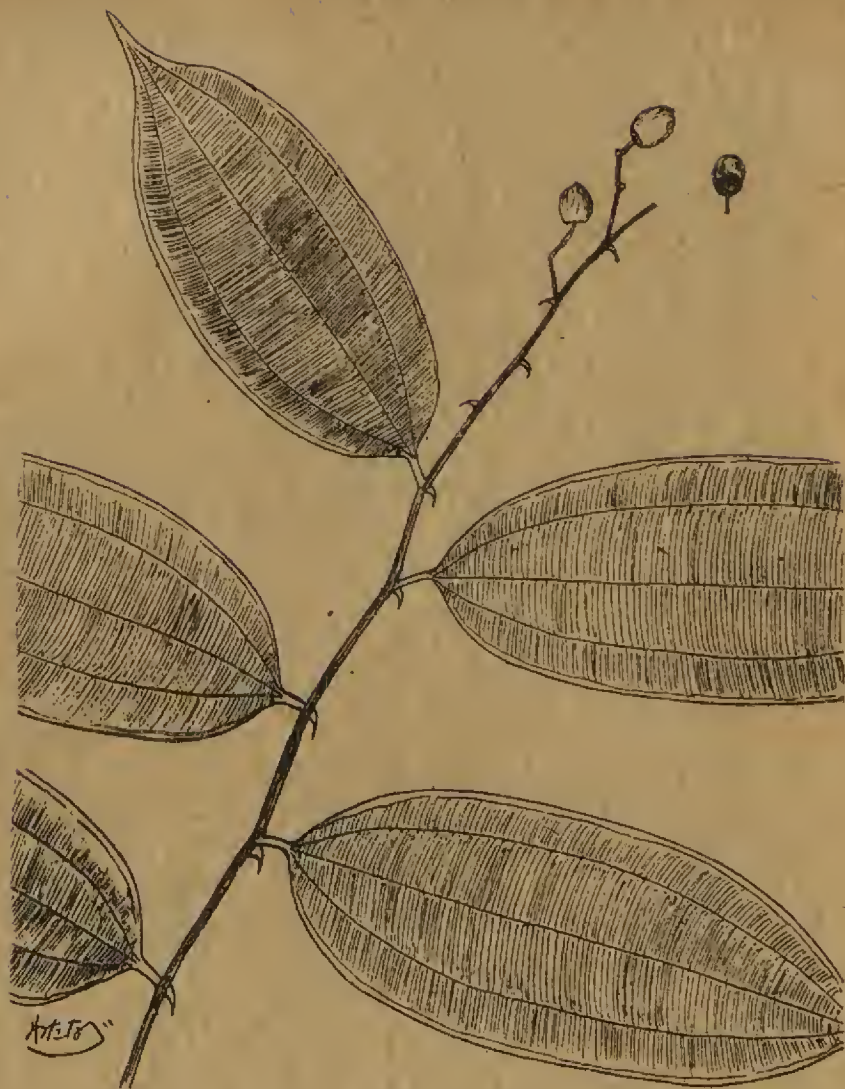
Colubrina asiatica BRONGN.

ナンヨウハマナツメ (ヤヘヤマハマナツメ) (クロウメドキ科)

地方名 フリヤ・ラウ (馬) フリヤ・バンタイ (馬)
 産地 瀬木、多刺、海岸、ウルウメドキに似て葉は光澤あり、花緑花繁貴。葉はニガウリの
 性状用途 香あり。葉を食用、美味。葉の煎汁は漿胎に、樹皮はナドニンを含み洗潔用、
 クロウメドキ科には毒のものはない

146

1									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Zizyphus calophylla WALL.

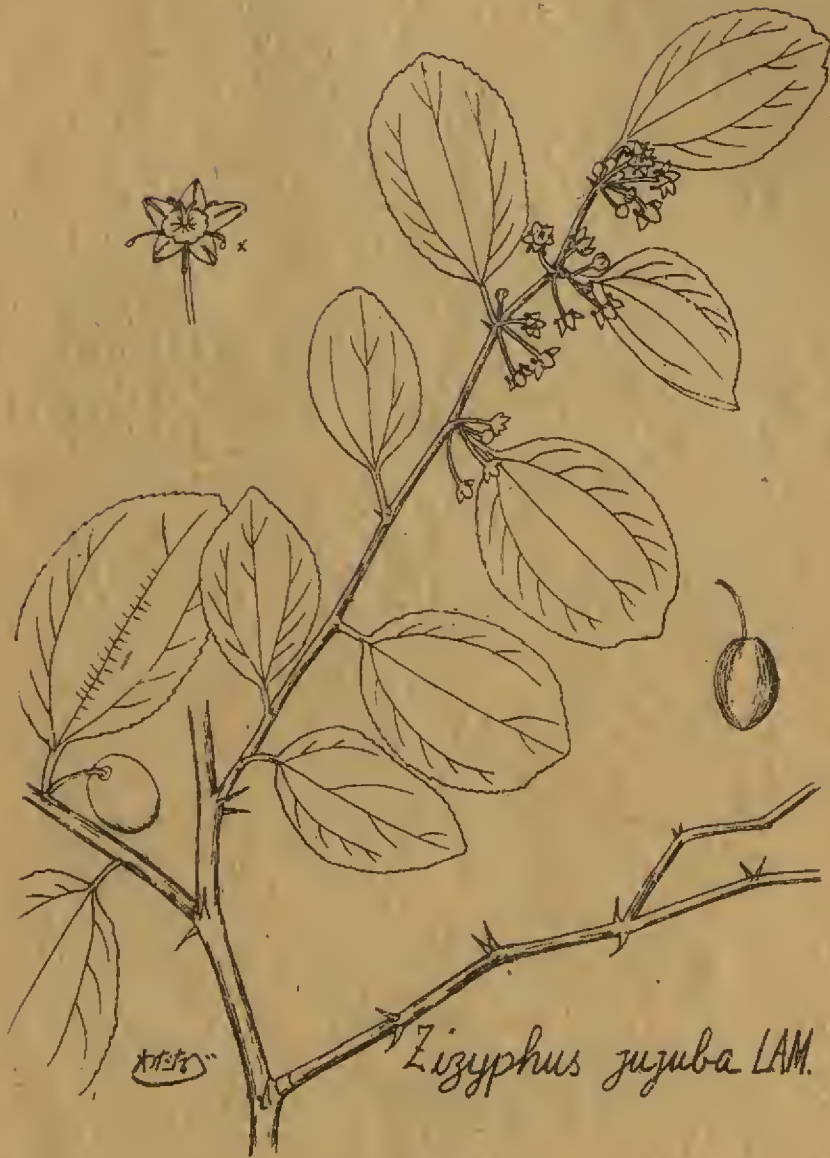
カカラナツメ (クロウノモドキ科)

地方名 クク・ラン・リンバ (馬)

地産 マライ、スマトラ

性狀用途 蔓性灌木、多刺、サルトリイバラの如し、果は橙色、甘く食用

食	藥								



インドナツメ (イヌナツメ) (クロウメモドキ科)

地方名
産地
性状用途

ブダラ(馬)プトサー(泰)
東洋熱帯(栽培)(原産インド)
灌木、果樹、葉裏淡剛毛、花黄緑、果は橙熟、果の大きさは品種により種々、生食す、種子、樹皮の煎汁は下痢、赤痢、胃病に内用、樹皮は鞣皮にも用ふ。

食	藥								
									朝



Impatiens balsamina L.

ホウセンクワ

(ホウセンクワ科)

地方名 イナイ、アヤ (馬)

産地 温熱帯 (栽培) (原産インド)

性状用途 草、観賞用、バリでは葉を食すと云ふ、至早ノドの魚骨等を抜くに飲む、野生の別種は熱帯に多し

長									



Argyrea littoralis BL.

アリテラ

(ムクロジ科)

地方名
産地
性状用途

クラユ、イタム (馬)

アンダマン、タイ、インドシナ、マライ半群島

海岸の喬木、果は橙色、常時あり、芳香、果肉を食用し得

ムクロジ科の種子にはサポニンを含むものが多いため果肉を食し

ても種子は注意すべきものが少ない

食	藥								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



Cardiospermum halicacabum L

フウセンカツラ

(ムクロジ科)

地方名 プリヤ・ブーラン (馬) ヨーカアウム (秦)
 地産地産 温熱帯 (栽培、野化)
 性状用途 蔓草、観賞用、花白、果は袋状で三角形、葉はゆでて食す、但全
 草サポニンを含む、根は利尿、催吐、葉の汁は眼病に外用

食	藥				
	材				



Erioglossum
rubiginosum BL.
 = *E. edule* BL

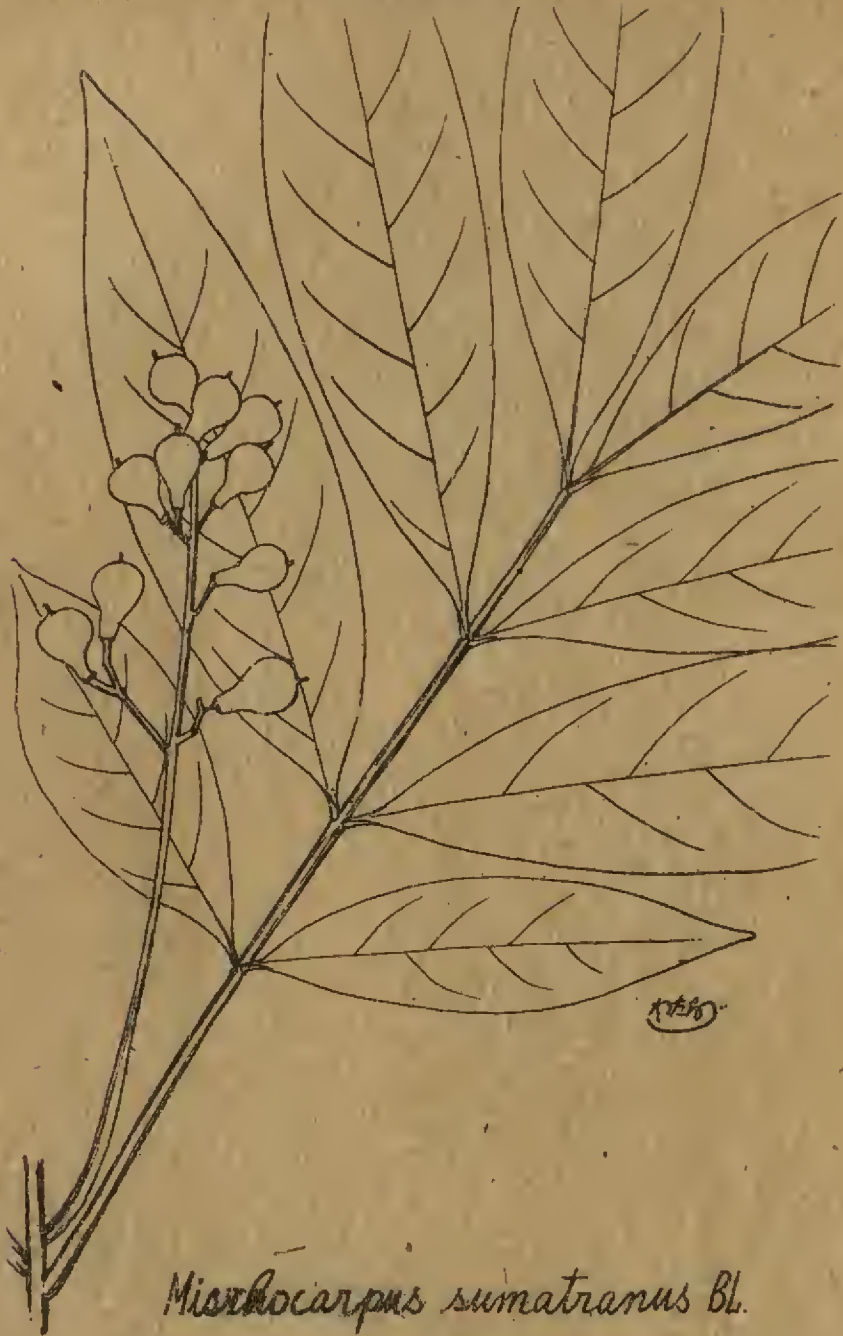
マタチャムノキ

(ムクロジ科)

地方名 ムルタジャム(馬) カムサム(泰)

産地 熱帯アジアより濠洲迄

性状用途 喬木、果は赤より黒熟す、種衣を食用、若葉も食用、根の煎汁はシブク解熱用、種子の煎汁は咳止、材は赤く堅重、稻打のツチに作る



Microcarpus sumatranus Bl.

ブカノキ

(ムクロジ科)

地方名 ブカ(馬)
産地 インド・マライ半群島
性状用途 喬木、果はバハン州では食用とする

有	毒	性	味	効	用	地	産

Nephelium lappaceum L.



ランボタン

(ムクロジ科)

地方名 ランボタン(馬)
 産地 マライ、スマトラ、ジャワ
 性状用途 樹木、時に灌木あり、葉は赤紫。種子の周の肉部は甘く生食。種子は酸味性あり、カ
 カオ脂の如き常温で固形、熱すると液化する脂を多量に含む。根の煎汁は解熱用。葉は冠
 希薬。樹皮は収斂性で舌の炭に用ふ。果皮樹皮のタンニンに染色に用ふ
 レイン、ラウダンは亞熱帯の産で熱帯では結實せず

150



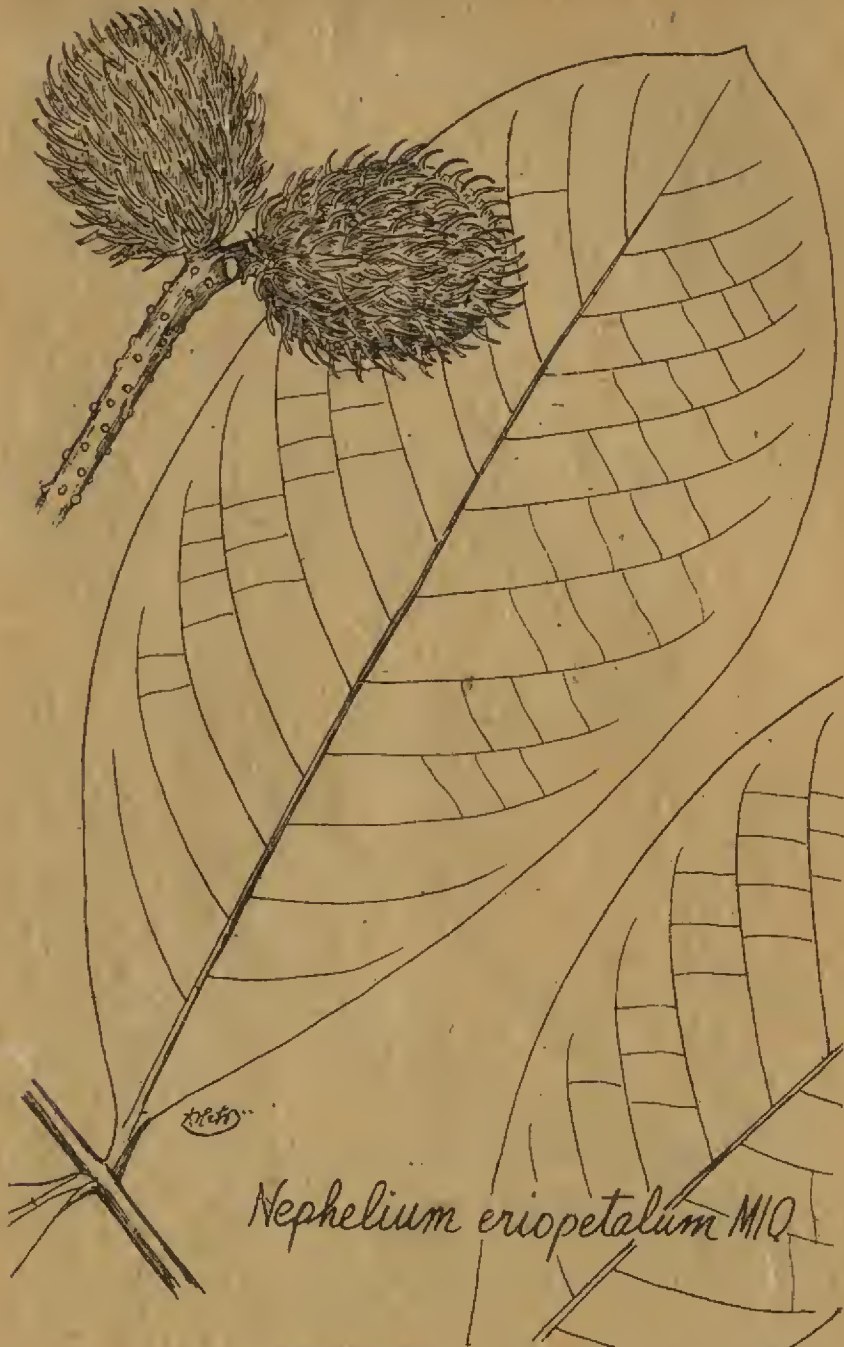
Nephelium mutabile Bl.

ブラサン

(ムクロジ科)

地方名 プラサン(馬)ランブタン・カプリ(馬)
 産地 マライ、スマトラ、ジャワ(栽培)(原産フィリピン)
 性状用途 小木、果は暗赤に熟す、果は甘く生食、種子は煮又は炒つてココア代用、種子は脂を含み(融点40-42度)此の脂は食用、根の煎汁は驅虫、解熱

②							
---	--	--	--	--	--	--	--



Nephelium eriopetalum MIQ.

オオバランボタン

(ムクロジ科)

地方名 ラムブタン・ウタン(馬)
 産地 マライ、スマトラ(野生、時に栽培)
 性状用途 喬木、葉片は巨大、果は酸味あるがランボタンと同様に食す

--	--	--	--	--	--	--	--

Nephelium malaiense GRIFF.



馬

ネコノメダマ

(ムクロジ科)

地方名 マタ・クチン(馬)
 産地 マライ
 性状用途 喬木、葉裏やや有毛。果は褐色で斑點あり、果皮は薄く半透明の肉の中に紫色の種子あり、此の肉は、甘く芳香あり生食

食									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Nephelium glabrum MORONHA
 = *N. maingayi* HIERN

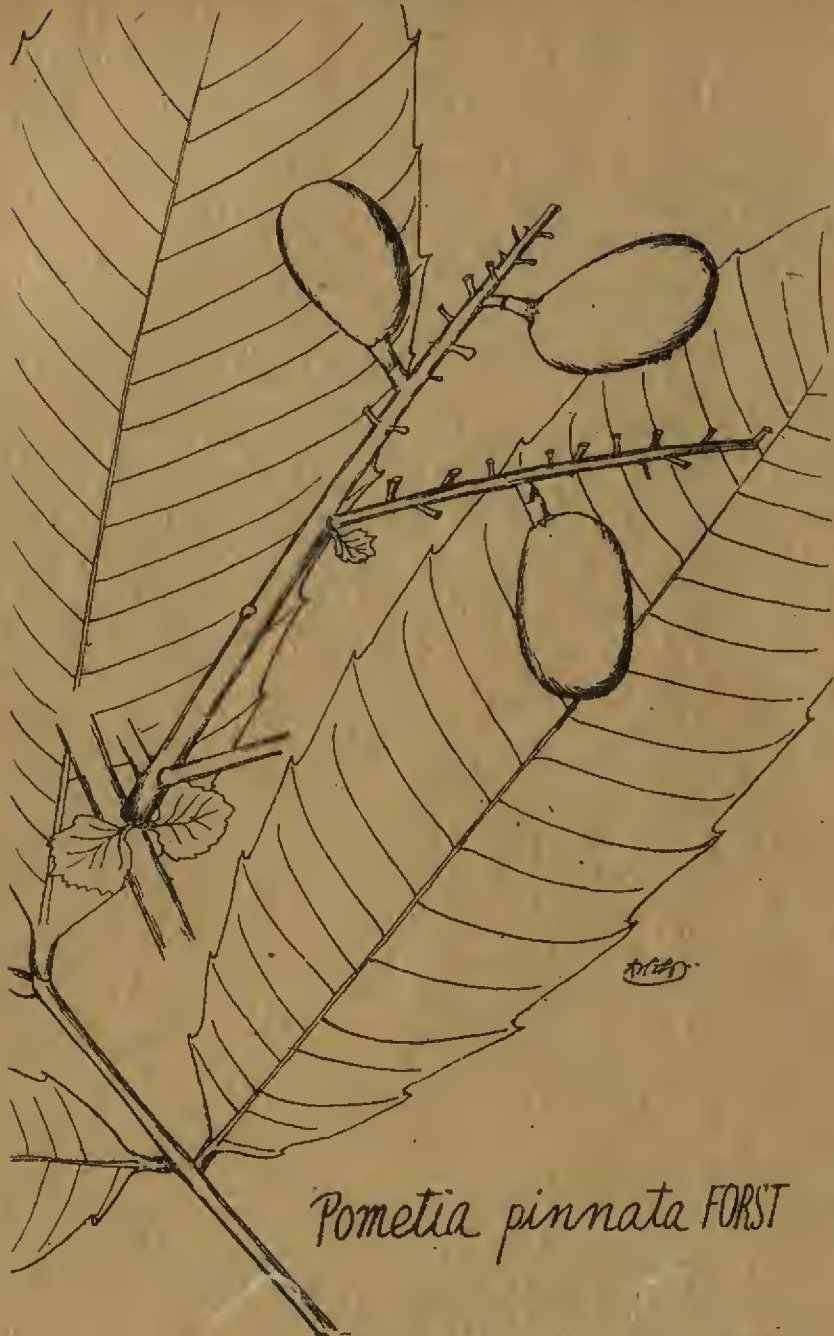
レ ダ ン

(ムクロジ科)

地方名 レダン(馬)
 産 地 マライ南部
 性状用途 誘木、果肉は食用

152

食	標						
		材					

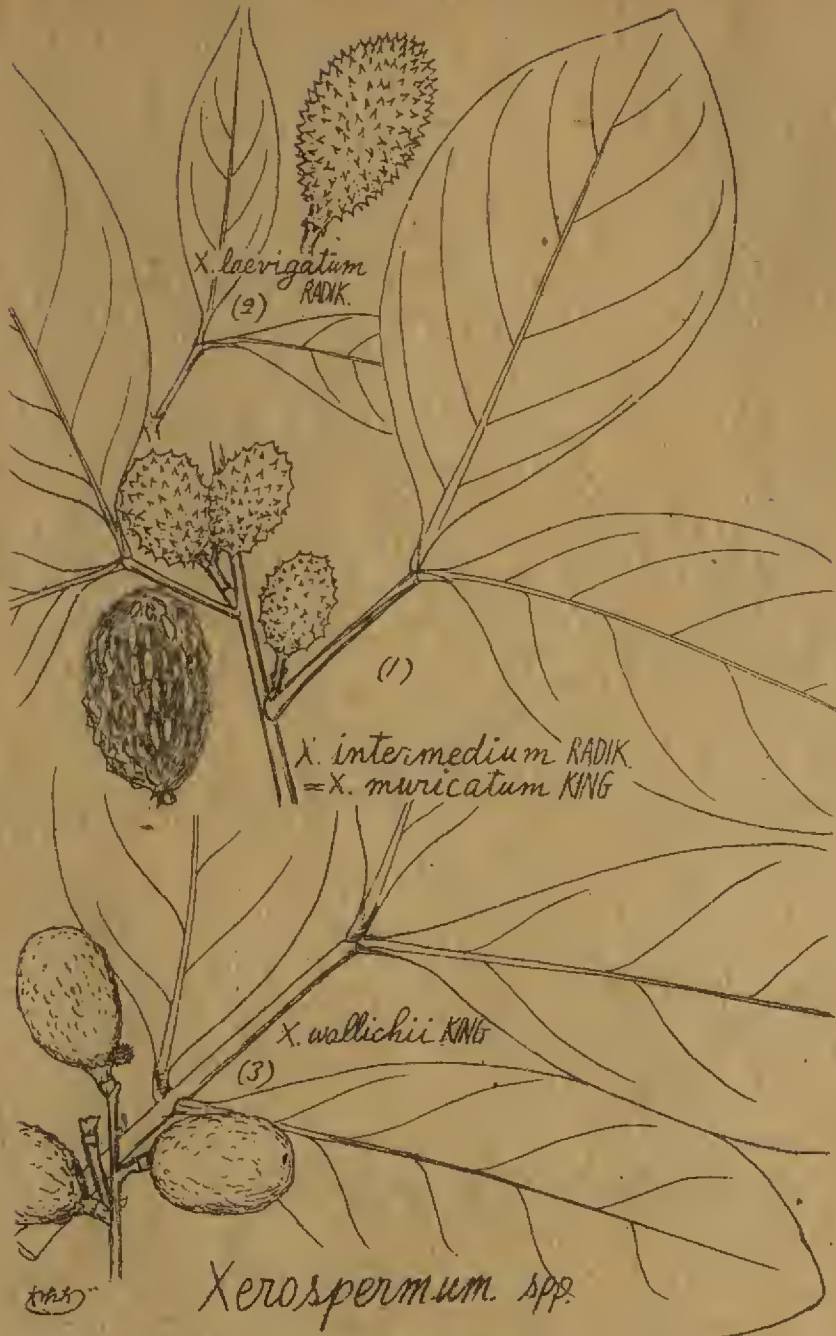


Pometia pinnata FORST

カサイノキ

(ムクロジ科)

地方名 カサイ(馬)
 産地 マライ半群島、太平洋諸島
 性状用途 喬木、海岸、果肉は食用し得べし、種子も焼けば食し得べし、樹皮は皮膚病に用ふ、材は堅く強靱、農具の柄にす



X. laevigatum
RADIK.
(2)

(1)

X. intermedium RADIK.
= *X. muricatum* KING

X. wallichii KING
(3)

Xerospermum spp.

レイシモドキ属 (ムクロジ科)

- 山地の喬木、果肉を食用、芳香
- (1) レイシモドキ地、ランブタン、パチヤ(馬)カウヒヤ(蔡)産、ビルマ、タイ、マライ
 - (2) コベンレイシモドキ地、ランブタン、パチヤ(馬)産マライ
 - (3) トゲナシレイシモドキ地、ランブタン、パチヤ(馬)パロン、アヤム(馬)産マライ

53

図									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Kururumia parvialata HALL

ナンヨウマサキ

(ニシキギ科)

地方名 ブク、ブク(馬)
 産地 インド、ビルマ、タイ、マライ、スマトラ、ボルネオ
 性状用途 中喬木、葉は厚し、果は食用

金									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Salacia grandiflora KURZ

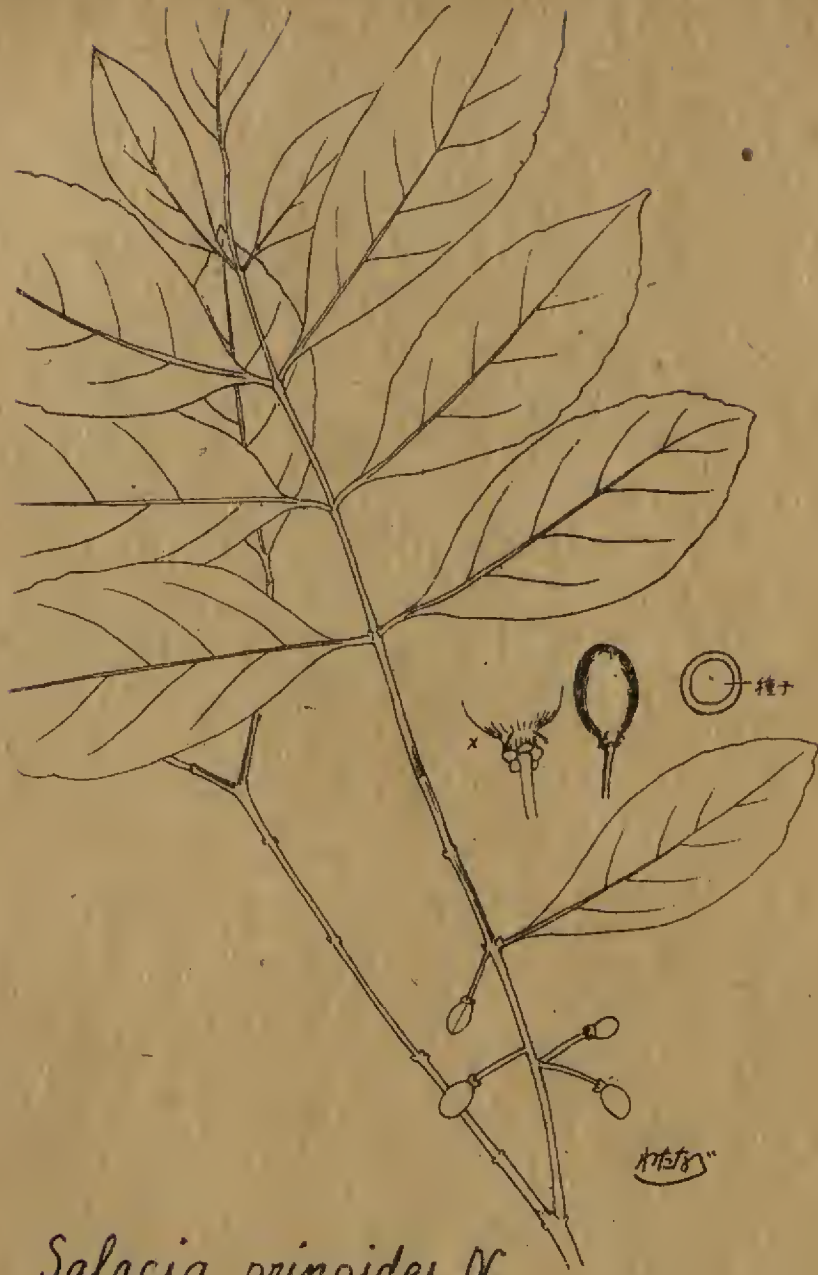
シロバナナンヨウニシキギ (ニシキギ科)

地方名 ウムブダール・アヤチ(馬)
 産地 ビルマ、タイ、マライ
 性狀用途 灌木、枝垂性、花白、花盤暗緑、果は橙色、果肉は甘く食用可なり、
 根は月経促進用

(2) ベニバナナンヨウニシキギ地ウムブダールイテ(馬)カブンナン(泰)花
 橙色、他は(1)に同じ

754

夜藥



Salacia prunoides DC.

ラカニシキギ

(ニシキギ科)

地方名 ラカ、キチル(馬)ルムノオ(泰)
 産地 インド、ビルマ、タイ、マライより濠洲迄
 性狀用途 灌木、枝垂性、果は食用し得、根は收斂性で煎汁は月經促進、噴
 胎に用ふ

種名	マカデミア	科名	ウルシ科
学名		和名	



Anacardium occidentale L

マガタマノキ

(ウルシ科)

地方名 カデヌス (馬) ジャムブ・オ・モコエ (馬) ヤーコイ (馬)
 産地 熱帯 (栽培 原産アメリカ)

性状用途 小木、果樹、果梗が肥大して真、橙色の生食用果部をなし、真の果は褐色マガタマ状で先に着く、此の方はカブレる故炒つて皮を去り食す。ラッカセイに似たり若葉は少で食す。マガタマの皮汁は布にシメルンをするに用ふ。樹液は痰取用、製本防腐用。樹皮は下痢止、臭便の汁は吐氣止、又口内炎にウガとする

ウルシ科はカブレ性のものが多いが有毒のものは少い

食	藥								



Bouea macrophylla GRIFF.

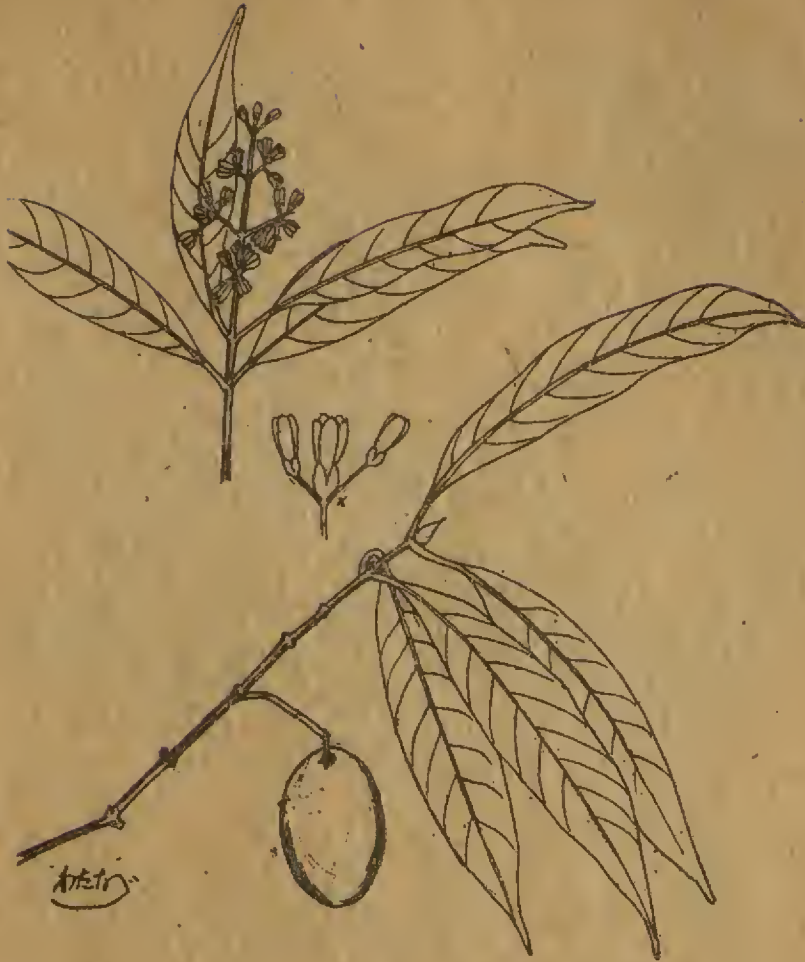
アカサネノキ

(ウルシ科)

地方名
地産
性状用途

ルムニア(馬)
マライ、スマトラ、ジャワ(栽培)
小喬木、葉はマンゴの如く花は黄色より褐色になる
果黄熟、甘酸、テルペンの香、未熟果はウメボン代用、料理用、
熟果は生食、ジャム用、若葉も食用、葉汁は傷口瘡にウガヒする

食									



Bouea microphylla GRIFF.

ヒメアカサネノキ

(ウルシ科)

地方名 ルムニア・ブツール(馬)
 産地 マライ
 性状用途 小木、果樹、葉は滑光、花黄、果鹹、未熟果をウメボシ代用料理用



Buchanania sessilifolia BL

オタウダンノキ

(ウルシ科)

地方名	オタ・ウダン (馬)
産地	ビルマ、タイ、マライ、スマトラ
性状用途	喬木、果酸、食用

食	藥								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



Dracontomelum mangiferum BL

イホモモ (ウルシ科)

地方名 チュンクリング(馬)
 産地 東南アジア
 性状用途 喬木、花梗赤、花白、果は五突起あり、料理用、酢代用、花、葉も酸く食用、樹皮は赤痢に用ふ。

157

食	材	毒
---	---	---



Gluta renghas L

レンガスウルシ

(ウルシ科)

地方名 レンガス(馬)
 産地 マライ半群島
 性状途用 香水、葉滑光、果綱、種子は炒食、樹の乳液はカブレ、タダレを起す、又矢毒、材赤く堅美、ハカリの桿等にする



ビンジャイマンゴウ

(ウルシ科)

地方名 ビンジャイ (馬)
 産地 マライ、スマトラ、ジャワ
 性状用途 喬木、幹直、灰白色、葉硬、花ウスアツキ色、果黄褐色強香。酸
 或は甘、生食、料理用、若葉、種子も食用。樹液と若果汁はカブ
 し性、材の煙も鼻を刺戟す

食									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Mangifera foetida LOUR K. Stry

ウママンゴウ (ウルシ科)

地方名 マチヤン(馬)
 産地 マライ、スマトラ、ジャワ
 性状用途 喬木、葉はマンゴウより厚く凹形に曲る、花桃色、萼、花序赤、果は熟すと強香を發すが綠色、生食、鹽漬、料理用、未熟果汁はクダレを起す、樹液はカブレ性

食	藥				
茶	學	研			



Mangifera indica L.

ゆたけ

マンゴウ

(ウルシ科)

地方名
産地
性狀用途

マンガ(馬)
熱帯アジア(栽培)(原産インド)
小木、果は扁球、品種多し、若果はウメ科に代用、果は生食、
花、若葉(赤紫色垂下中のもの)は食用、花は下痢に、種子は驅
虫、下痢、瘰に用ふ、樹皮はサウマチに、樹皮結液は赤痢に用ふ、
葉を食はせた牛の尿はからベオリ(インド黄)を得、インデゴ藍と
併用して緑染色を行ふ、樹は黄褐染料、樹皮を傷つけて出る液は
アムロサイムに用ふ

59



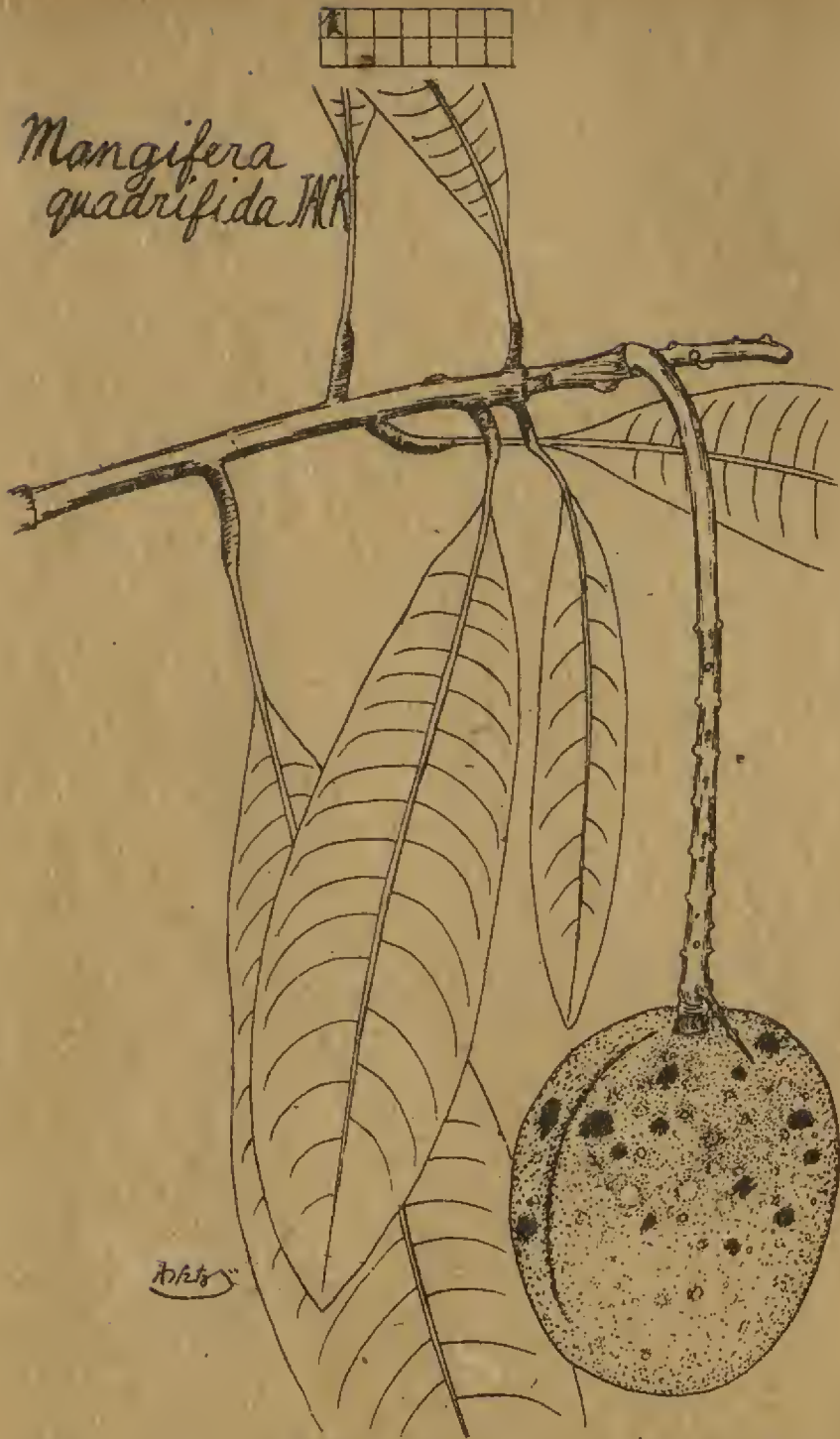
Mangifera odorata GRIFF.

クキニマンゴウ

(ウルシ科)

地方名 クキニ(馬)
 産地 マライ、スマトラ
 性状用途 喬木、葉ウママンゴに似てゐるが葉柄上側に凹溝なし。果はテルヘン香、果肉黄、甘、多繊維、生食、料理用、鹽漬用、樹液はカブレ性

Mangifera
quadrifida JACK



アサママンゴウ

(ウルシ科)

地方名 アサム・クンバン (馬)

産地 マライ

性状用途 喬木、葉はウママンゴウに似てゐるが花黄、熟果は紫地に黄と黒の斑あり、果は酸、食用

食	飼		
材	料		



Odina wodier ROXB
= *Lannea grandis* ENGL

ウダノキ

(ウルシ科)

地方名 カユ・ケダ (馬) オイ・ナヤン (泰) ウダ (ケニル)
 産地 熱帯 (民衆) 原産インド)
 性狀用途 喬木、常葉性、若葉食用、老葉飼料。枝は薬味性、樹皮は傷、ウガレに用ふ。幹の傷口から出る結液(タンニンとアラビヤガム様物の混合)はサラチ染料料。洗滌劑、糊塗料に用ふ。サシトにより屑を作る

頁	薬								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



Pentaspadon officinalis HOLMES
 = *P. motleyi* HOOK.

ブラジャウノキ

(ウルシ科)

地方名 ブロン(馬) ブラジャウ(島)
 産地 マライ、スマトラ、ボルネオ
 性状用途 喬木、種子及び其の油は食用、樹脂はダマルの一種でタナ、ブラジャウと云ひ、皮膚殺虫薬但刺激性

161

R							
---	--	--	--	--	--	--	--



Spondias cytherea SONN

タマゴノキ

(ウルシ科)

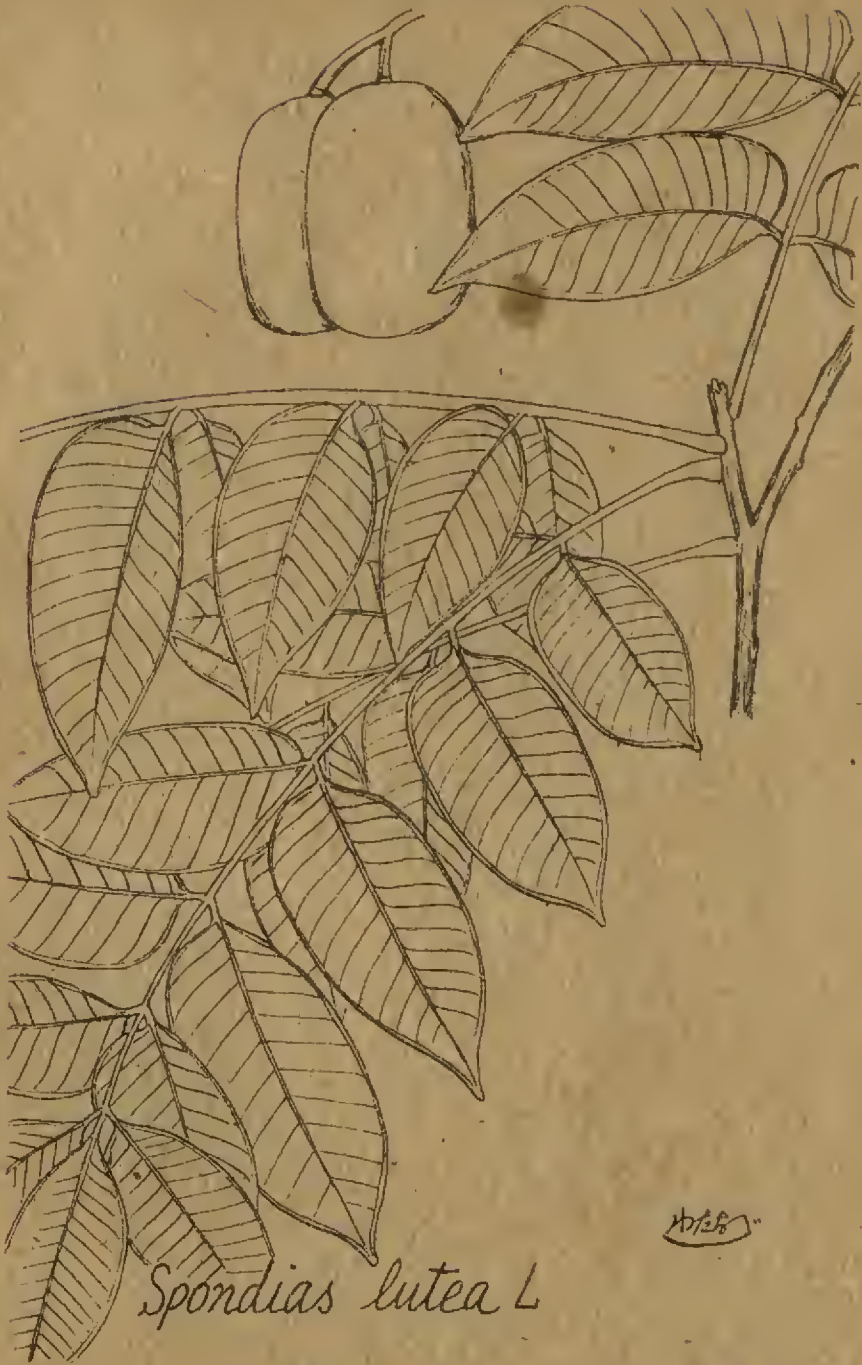
地方名 クドシドン・ジャワ

産地 熱帯 (栽培) (原産東太平洋諸島)

性状用途 小木、葉光、果黄、但綠色のうち販賣す、芳香、料理用、ジャム用、若葉も食用

162

食
果



Spondias lutea L

テリハタマゴノキ

(ウルシ科)

地方名 カドンドン チナ(馬)

産地 熱帯(栽培)(原産アメリカ)

性状用途 喬木、果酸く食用、又果より飲料を作る、樹皮にタンニンあり

食	藥						
培							



Spondias pinnata KURZ
= *S. mangifera* WILLD.

アムラタマゴノキ (ウルシ科)

地方名 カドンドン (馬) ブア・アムラ (馬) マカウ (泰)
 産地 インドよりモルツカ迄 (マライにて栽培)
 性状用途 小木、果樹。果酸く古リンゴの香、食用、鹽漬、料理用、花、若
 葉も酸く食用、樹皮は流く赤痢に用ふ、葉は酸性染色用

食	藥						
---	---	--	--	--	--	--	--



Acalypha indica L.

キダチアミガサ

(大戟科)

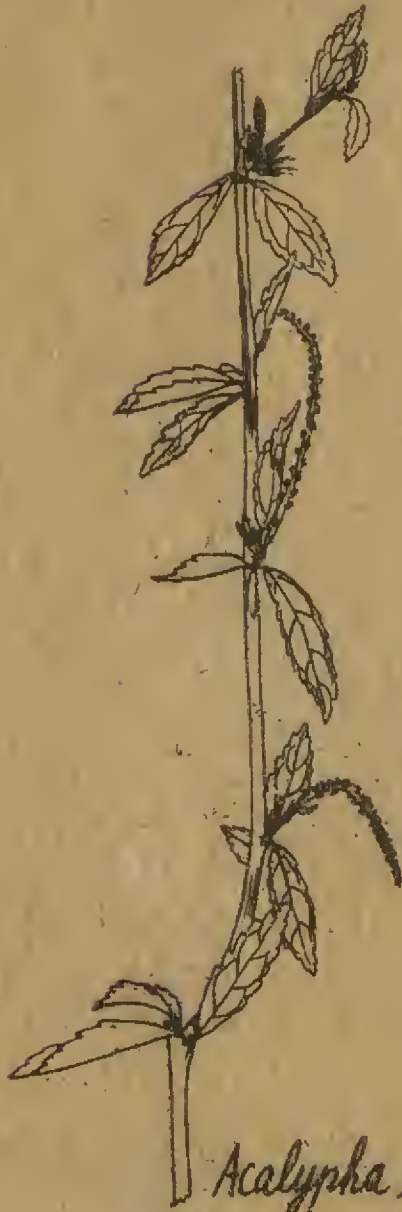
地名方 チカマス (馬) クパメニヤ (印)

産地 熱帯

性状用途 草。葉は食用。又薬虫。下剤に用ふ

大戟科は有毒と食用と相半する

4	葉						

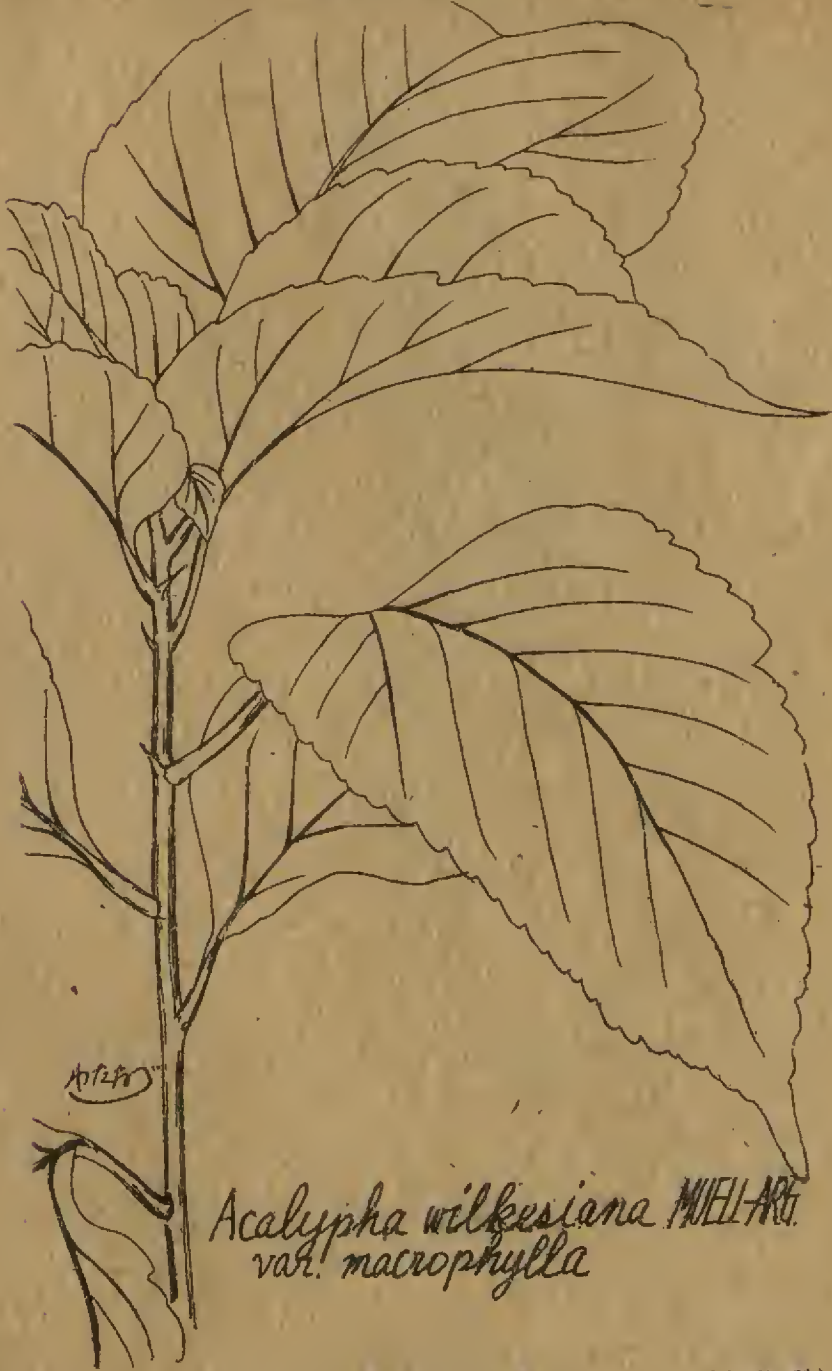


Acalypha siamensis OLIV

タイチャノキ (大戟科)

地方名 テー・ウタン (馬) テー・カンボン (馬) チャールシー (泰)
 産地 南ビルマ、タイ、マライ
 性状用途 灌木、垣根用、乾葉を茶として飲み又腎臓病に用ふ

食 龍



Acalypha wilkesiana MUELL-ARG.
var. *macrophylla*

アカバノキ

(大戟科)

地方名 ナシ
 産地 熱帯(栽培)
 性状用途 灌木、葉は赤色のもの多し、垣に作る、若葉を食用

1									



Actephila excelsa MUELL. ARG

アクテフィラ

(大戟科)

地方名 ナシ

産地 インドよりマライ半群島迄

性狀用途 小木。葉はアルカロイドと含まず粘液を含む。ヒマラヤ地方では葉と茶として飲む

食	薬	油					
---	---	---	--	--	--	--	--



Aleurites moluccana WILLD.

グクイノキ

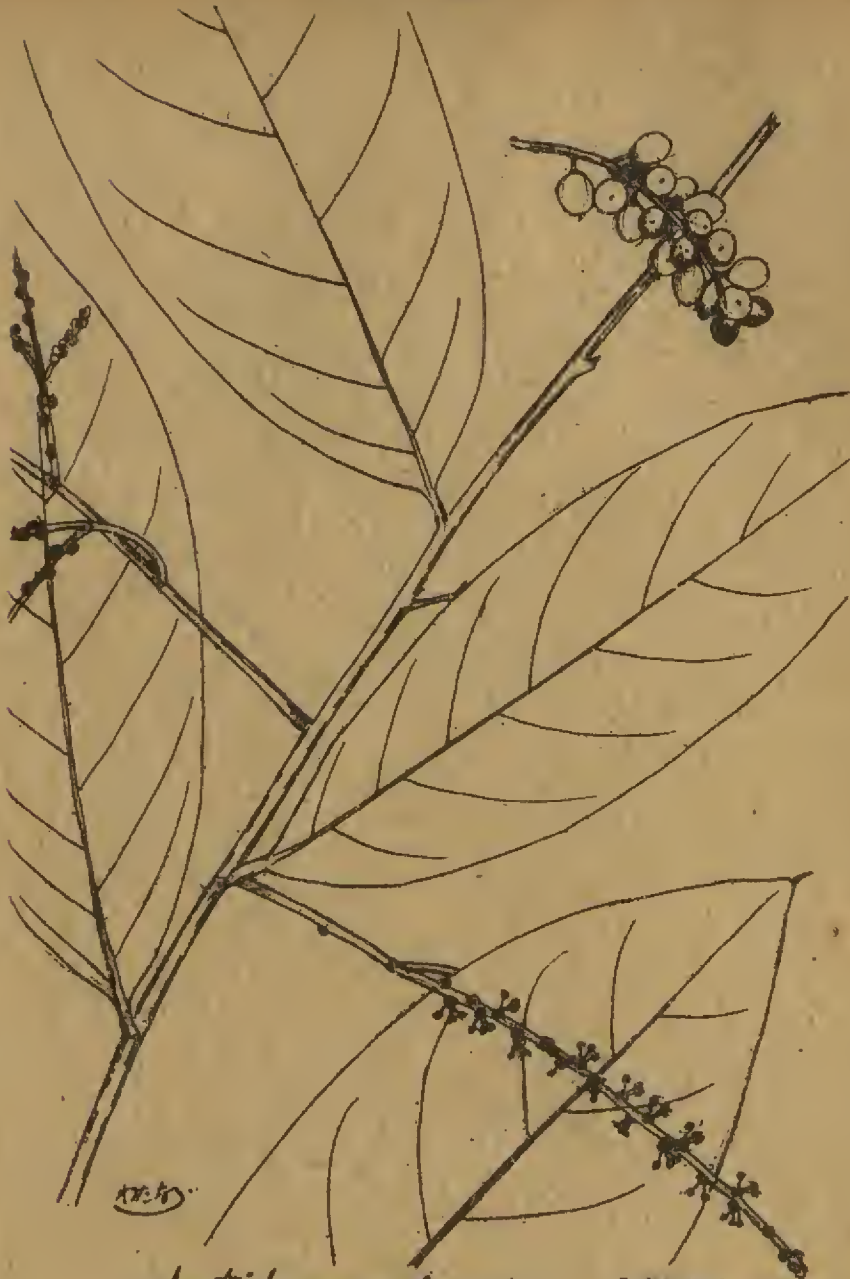
(大戟科)

地方名 プア クラエ (馬) カンドルナット (英)

産地 マライ半群島

性状用途 薄木。花白。種子はクルミ状、焼いて食品にするがやや有毒故少量を用ふ。葉は淋病に樹皮はタンニン性で赤褐色、下痢の收斂薬。膏液、有毒蛋白に注意して推つた種子油は下痢、種子はココヤシのロップラと綿毛と砕きてローソクに作る

大葉							



Antidesma bunius SPRENG

ブニノキ

(大戟科)

地方名 ブニ(馬)

産地 東南アジア(栽培野生)

性状用途 小木、果は赤より黒褐色生食、料理用、若葉も食用、樹皮はアルカロイドと含み有毒で、發汗、バイ毒に用ふ。



Antidesma montanum Bl



かたじけなく

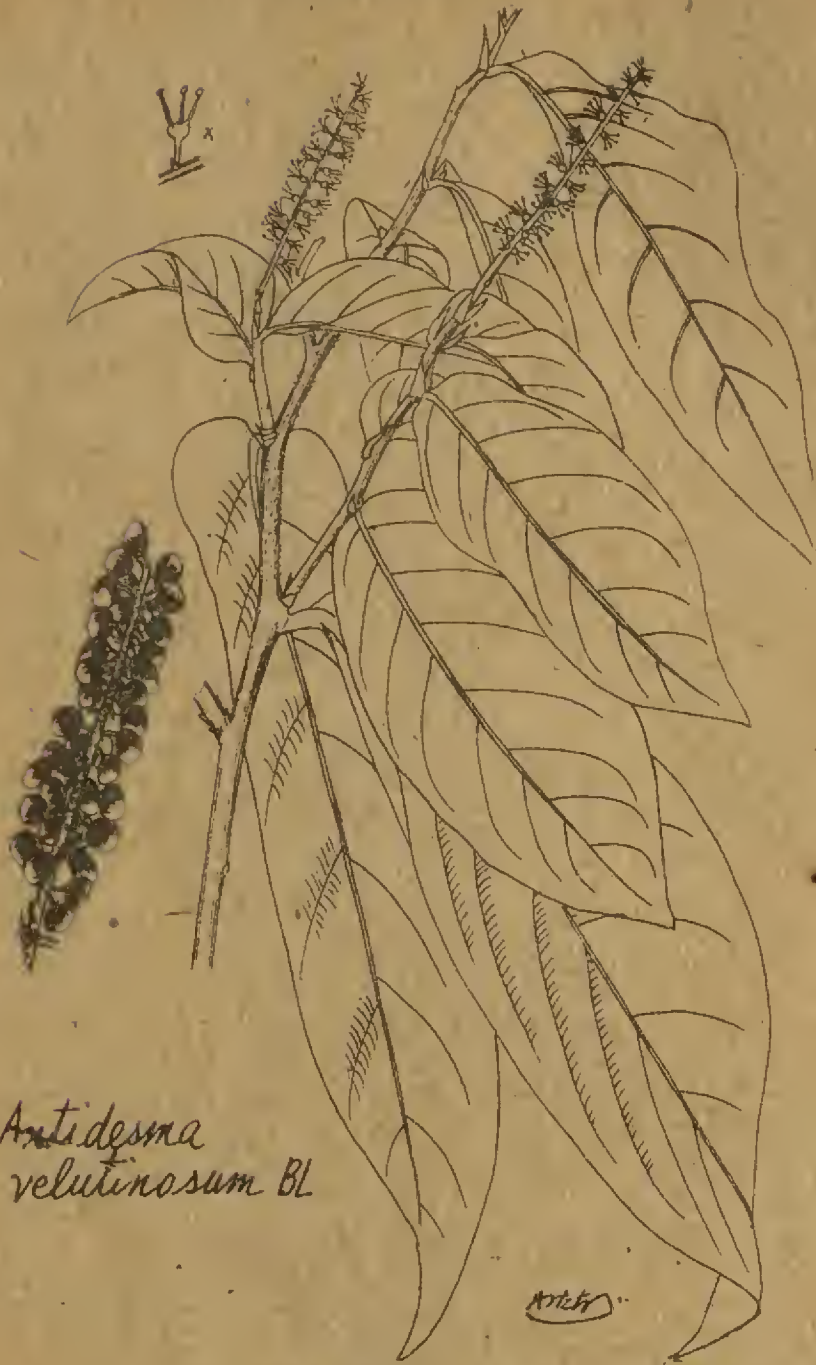
ヤマホマメノキ

(大戟科)

地方名 グンチヤン(馬)

産地 南支、マライ、ホルネオ、ジャワ

性状用途 小木、葉滑、若葉裏面紅紫色、果生食、若葉も食し得べし



*Antidesma
velutinosum* BL

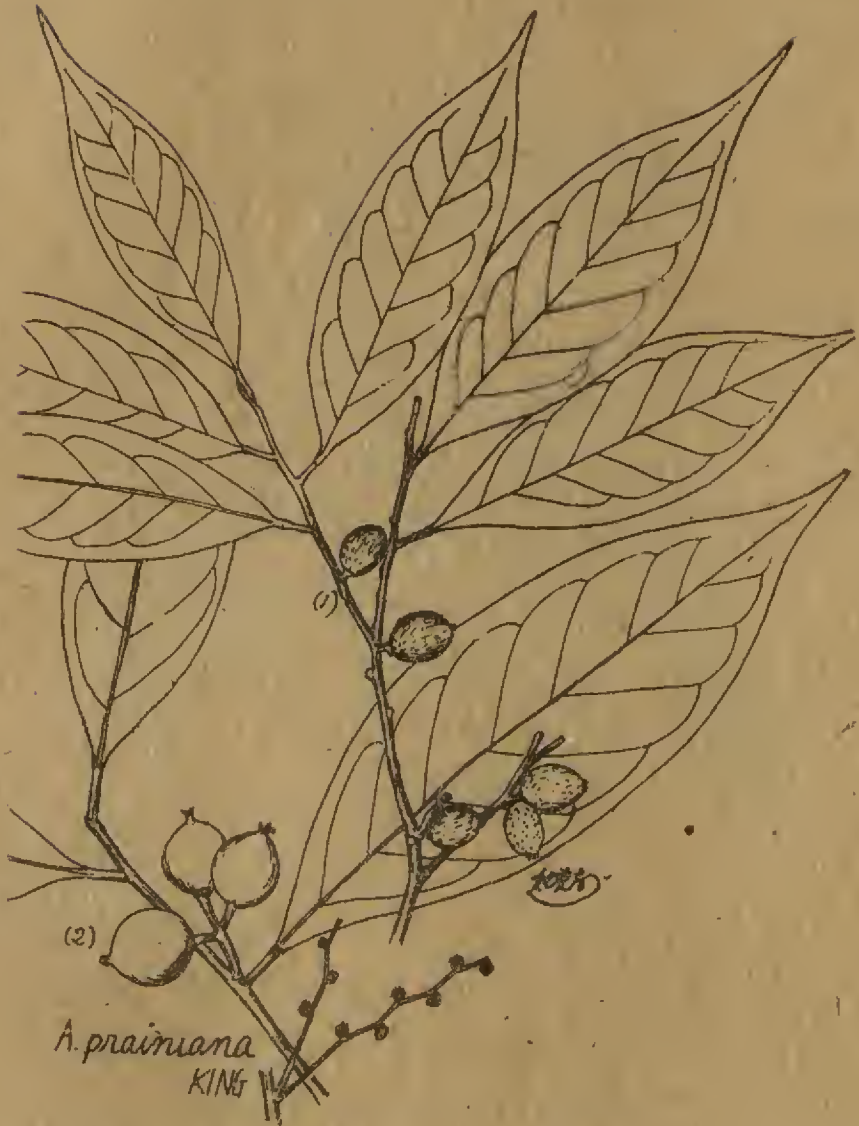
ホマメノキ

(大戟科)

地方名 ムンブナイ・ブキツト(馬)
 産地 ビルマ、タイ、マライ半群島
 性状用途 灌木、莖有毛、果赤熟、食用、若葉はゆでて食し得べし

167

食									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Apolosa maingayi HOOK.f.

ア、ボ、ロ、サ

(大戟科)

地方名 ブラス・ブラス (馬) カンコン・ウダン (馬)

産地 南マライ
性状用途 小木、葉は食用

(2) オオミアボロサ 地ブラス、ブラス、ウタン (馬) 産マライ、果は食用
(恐らく兩種共果、葉は食用し得べし)



*Baccaurea
brevipes* HOOK. f.

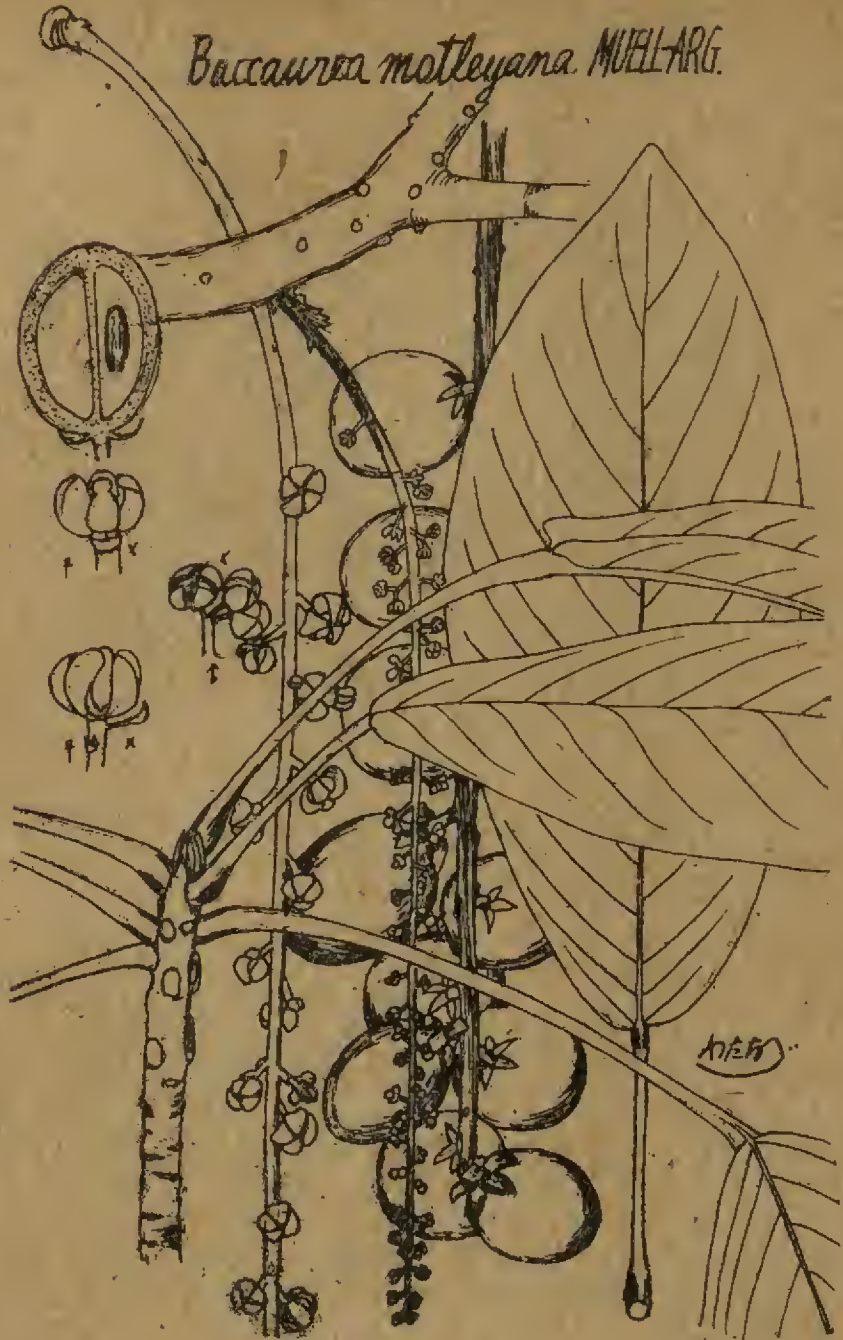
ヤマランバイ

(大戟科)

地方名 ランバイ・アヤム(馬)ランバイ・ウタン(馬)
 産地 マライ、ボルネオ
 性状用途 小木、果白く肉紫。食用。葉は月経調節に内用

食	藥						
法							

Baccaurea motleyana MUELL-ARG.



ランバイ

(大戟科)

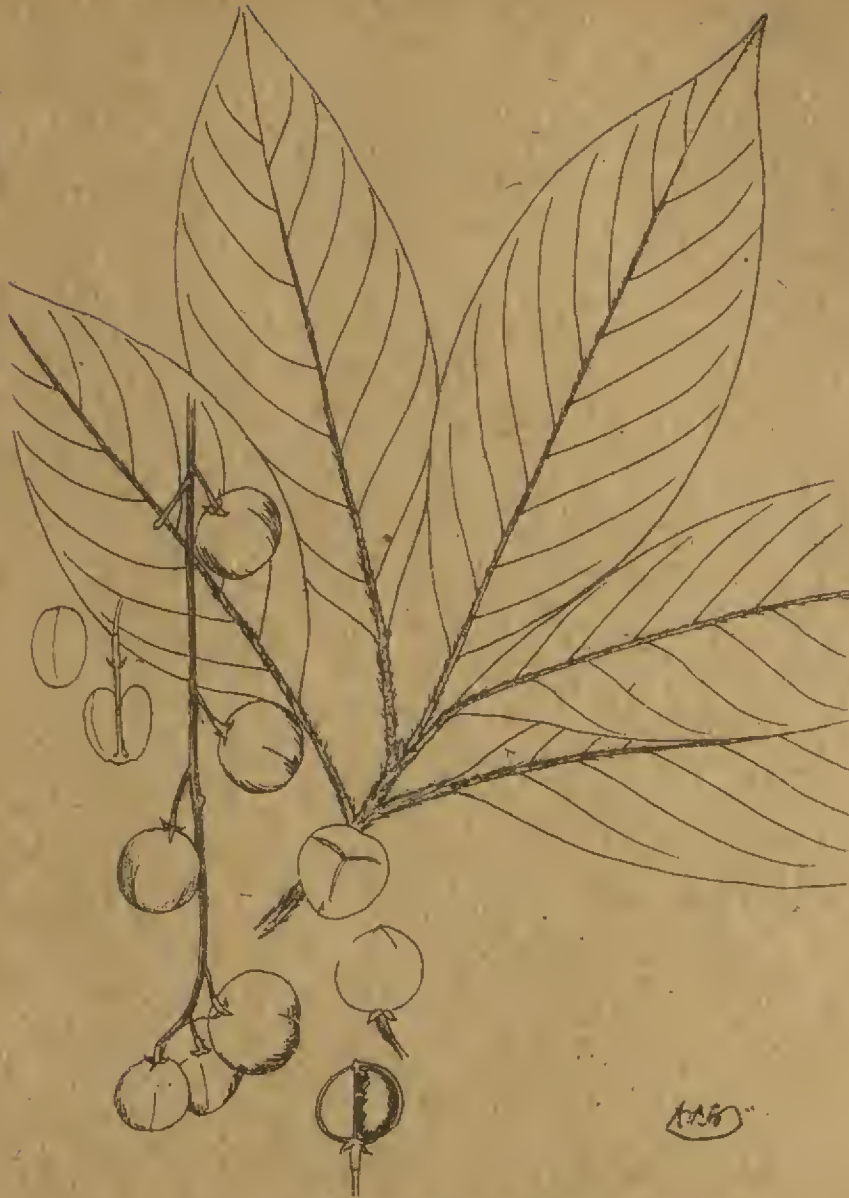
地方名
産地
性状用途

ランバイ(馬)

マライ、スマトラ

喬木。果總狀下垂。白黄より橙色に熟す。種衣酸澁。生食、料理用。醗酵して酢に作る。樹皮は眼病薬とし又スワウ其他の染色の固定用。幹より黒色樹脂(ダマルの一種)を流出す

食									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Baccaurea polynaura HOOK. f.

ジンテ

(大戟科)

地方名 ジンテ・ジンテ(馬)

産地 マライ

植物用途 喬木。若葉、葉脈は剛毛密布。果は垂下、褐色で熟すと裂開す。

所産褐色、甘、生食

169

食									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

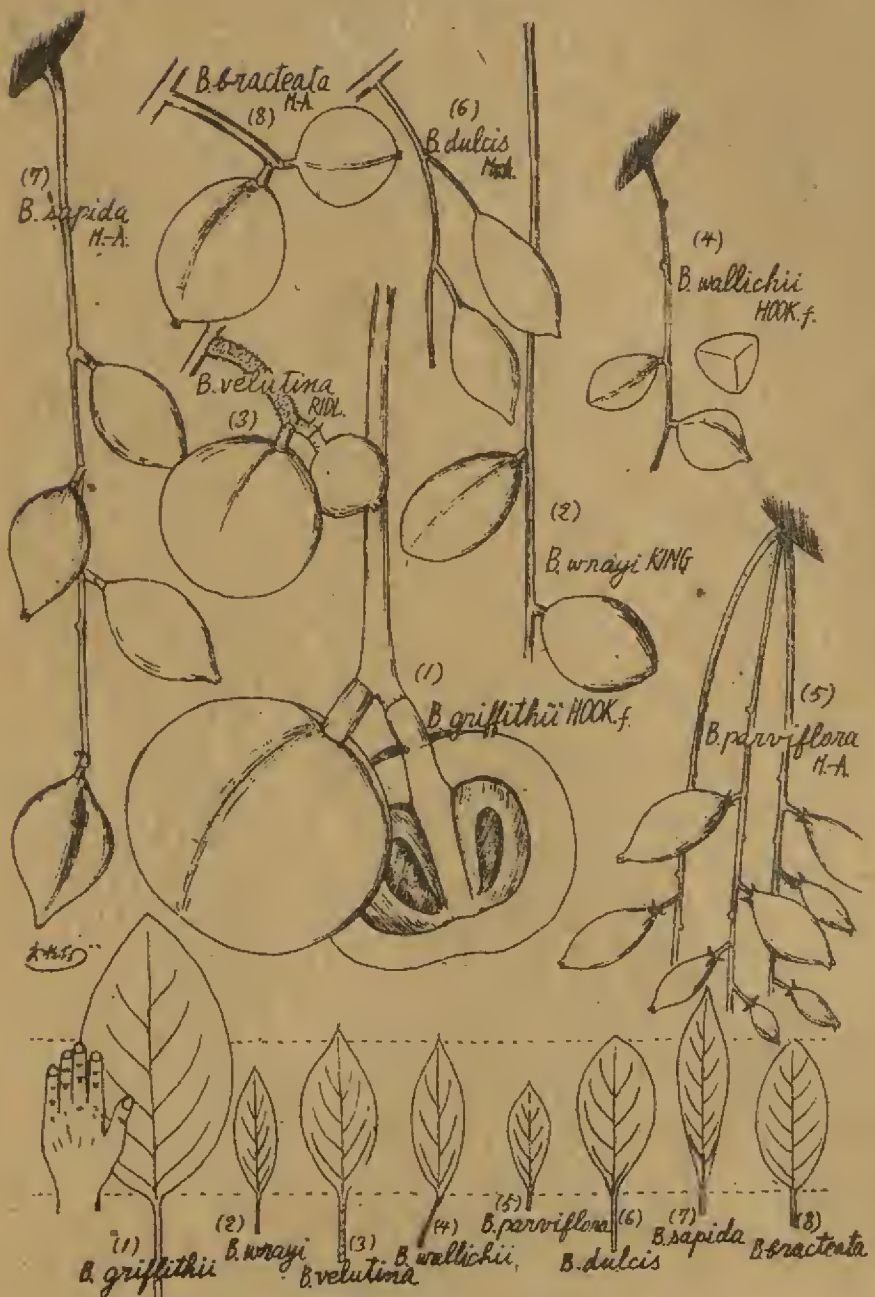
Baccaurea reticulata HOOK. F.



タムボイ

(大戟科)

地方名 タムボイ(馬)
 産地 マライ、スマトラ
 性状用途 喬木、葉脈細し、果は垂下、褐色、壓すと裂開す、種衣白、甘く生食。



Baccaurea spp.

ランバイ屬數種 (大戟科)

喬木。小形で果の食用となるもの多し
木の節し

(1) ランバイ ウブン (マライ) (2) スタムブン (マライ) 果赤 (3) タムポイ、ツンガク (マライ)、
(4) ランバイ、アヤム (マライ トルネオ) 果橙色 (5) スタムブン クララン (マライ ス
マトラ) (6) ランバイ ツバ (マライ ジャヤ栽培 スマトラ野生) (7) (2)に殆ど同じ (8) タム
ポイ、ツンガ (マライスマトラ) 果暗赤

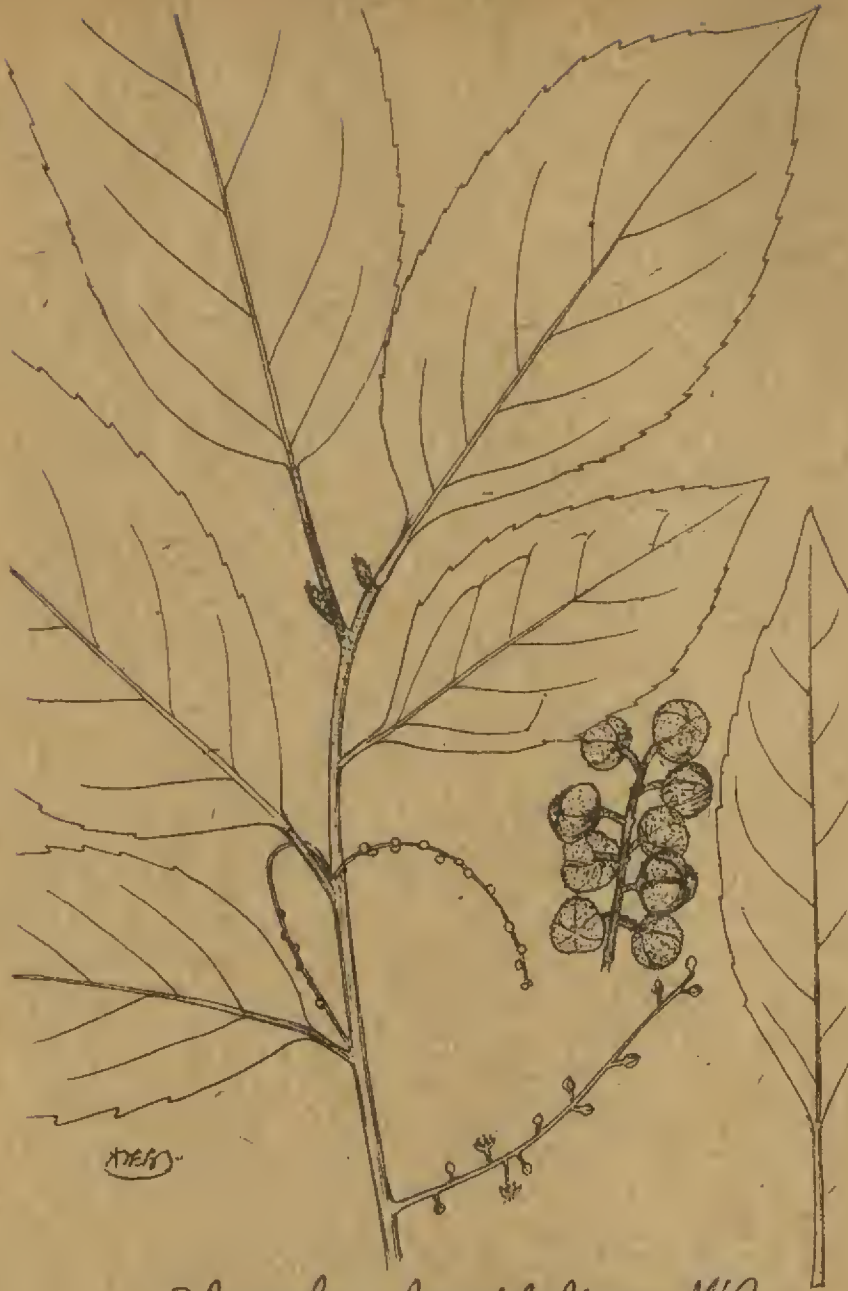
食	藥								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



Cicca acida NRR = *Phyllanthus distichus* ^{M.A.}

チユルマイ (大戟科)

地方名 チユルマイ (馬) マヨム (タイ)
 産地 マライ半島 (栽培) (原産不明)
 性状用途 小木、葉は淡緑でピランピン葉に似たり、未熟果は酸くウメボシ
 代用、料理用、根の少量を浸出して喘息に内用



Claoxylon longifolium MIQ.

ナガヤワラバノキ

(大戟科)

地方名
産地
性状方途

サヨル、サラング (馬)

ビルマ、マライ半羣島

小木。葉は極めて軟て放置すれば皺になる。葉柄は長短あり、葉は食用



Claoxylon palat MERR.
= *C. indicum* HASSK.

ヤワラバナキ

(大戟科)

地方名 チヤバ・バツ (馬) ジヤラ・カユ (馬) シンダン・ブンカオ (タイ)
産地 マライ半群島、タイ、インドシナ南支
性状用途 小木、成長速。全株短毛密布。葉柄の上部に腺点二個あり、葉は軟でクサギの如し、葉をゆでて食用、又サウスに作る、但葉は下劑性

食	薬								
									朝



Codiaeum variegatum Bl.

カワリバケロトン

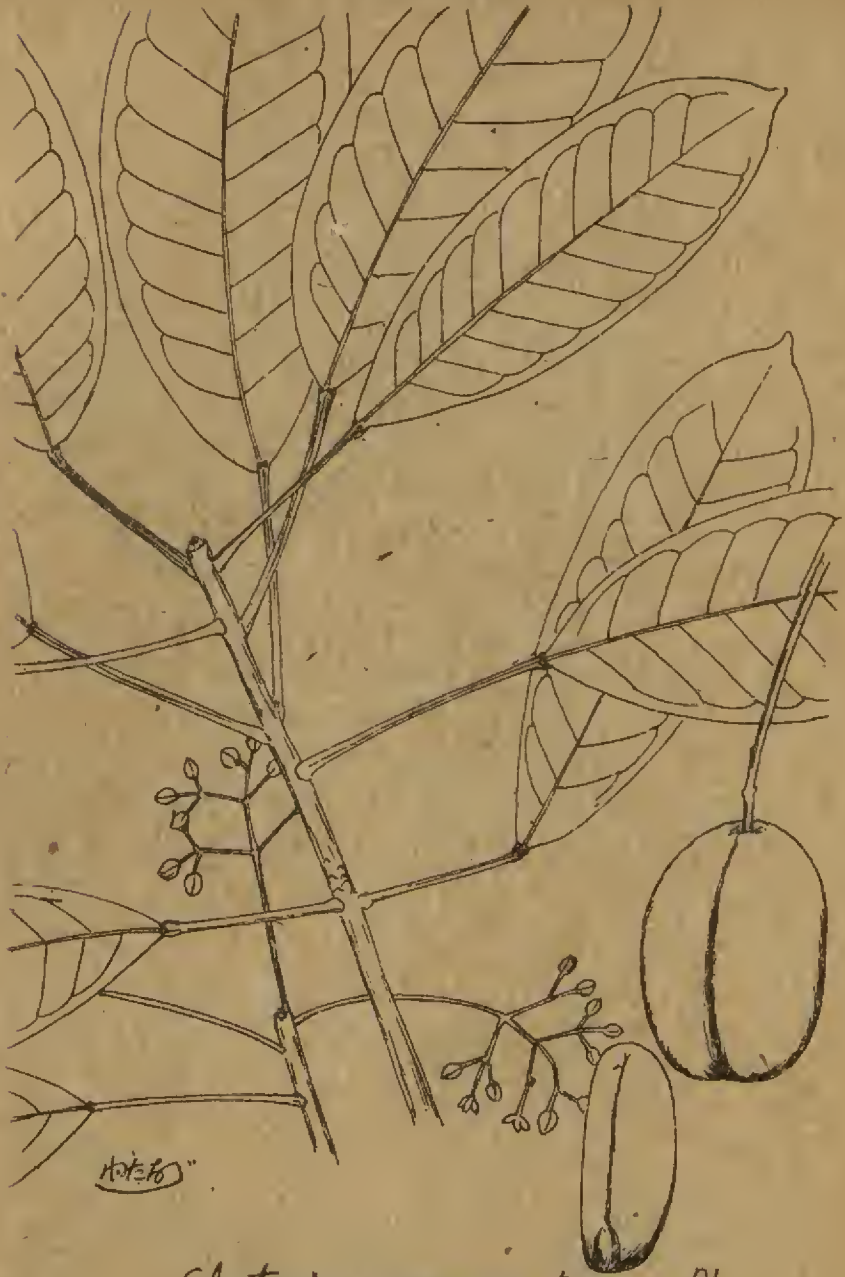
(大戟科)

地方名 フランダ (馬) コーロン (泰)

産地 熱帯 (栽培) (原産太平洋諸島)

性狀用途 灌木、葉色、形は種々、觀賞用。一般にエグミあり但黄葉種の若芽はゆでて食用とする
乳汁は下痢、腫痛に用ひ又皮膚癬毒に塗布。乳汁にはタンニンも含む

食	油								
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--



Elateriospermum tapos BL

ブラノキ

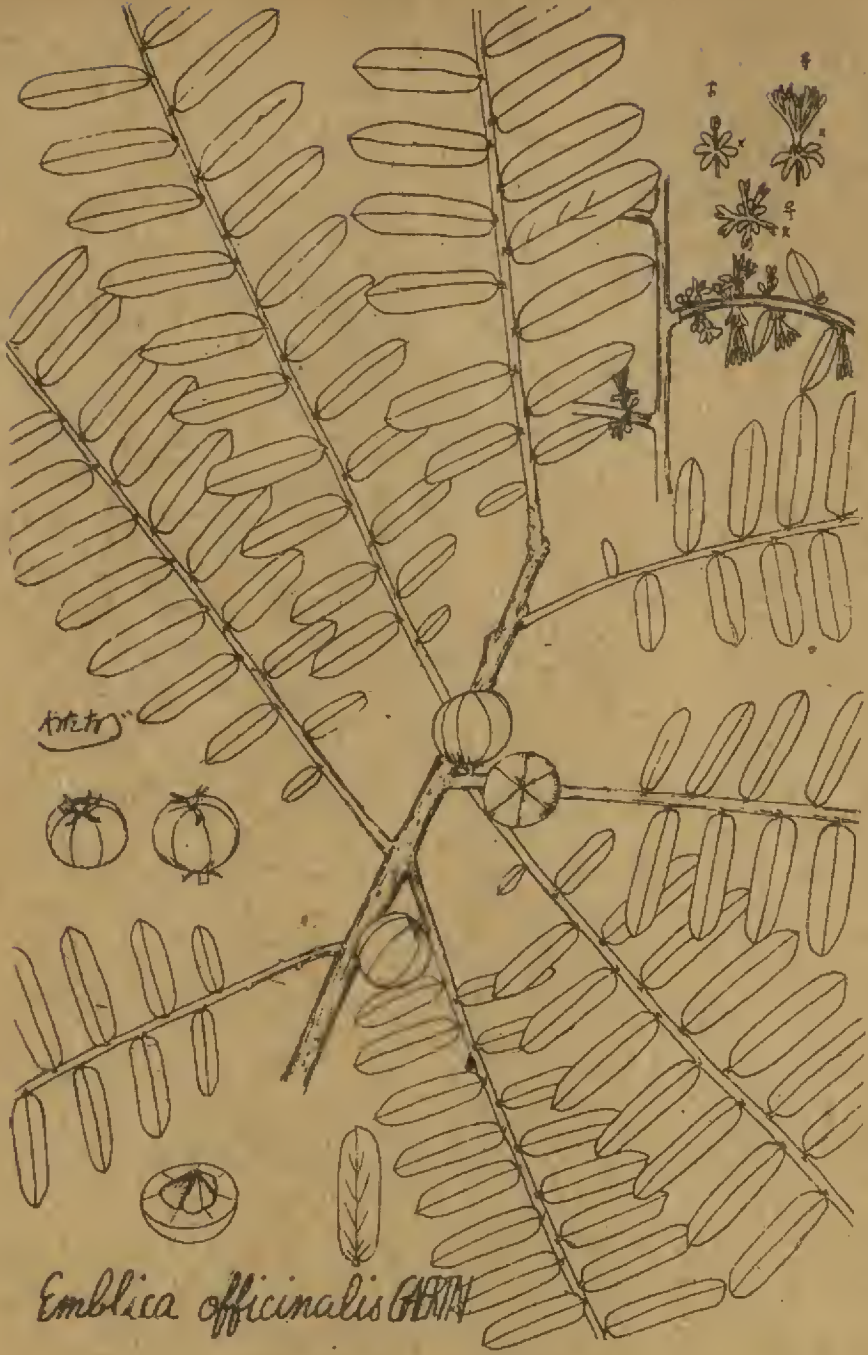
(大戟科)

地方名 プア・ツラー(馬)

産地 マライ、スマトラ、ジャワ、ボルネオ

性状用途 山地の喬木、葉と葉柄の境に二箇の腺あり。種子は大、油を含むが毒性があるので少しく有毒、但山地では重要な食品で、ゆでるか焼くか蒸籠にするか砕いて土中で醗酵させるかして食す種子の油は黄色で食用

復染



木札

Emblica officinalis GERTN

マラカノキ

(大戟科)

地方名 プア・ムラカ(馬)カム・クウ(茶)
 産地 熱帯アジア
 性状用途 小水、落葉性。葉裏粉白、果液緑半透明、直径一寸位の品種もあり、球形で縦にヒビ状隙が透て見える
 種子緑、果は醜くクマゲシ代用、料理用、乾果は赤痢に、果汁は消化不良、利尿に、根は吐瀉、葉、樹皮はアナンジンあり、根皮料、湯、黒染料、杆赤く堅く耐水性

食薬									



Euphorbia hirta L.

タイワンニシキサウ

(大戟科)

地方名 グラン・スス(馬)
 産地 熱帯
 性状用途 根莖、白乳あり、若果をゆでて少量食す、茎草や中毒性、乳液を結膜炎、角膜炎等
 腫病に用ひ又タムシ、外傷(特に海産多毛類の刺傷)に塗布
 利尿性あり、淋病に内用、喘息にも用ふ

食									



Euphorbia pulcherrima WILLD

シヨウジヨウボク

(大戟科)

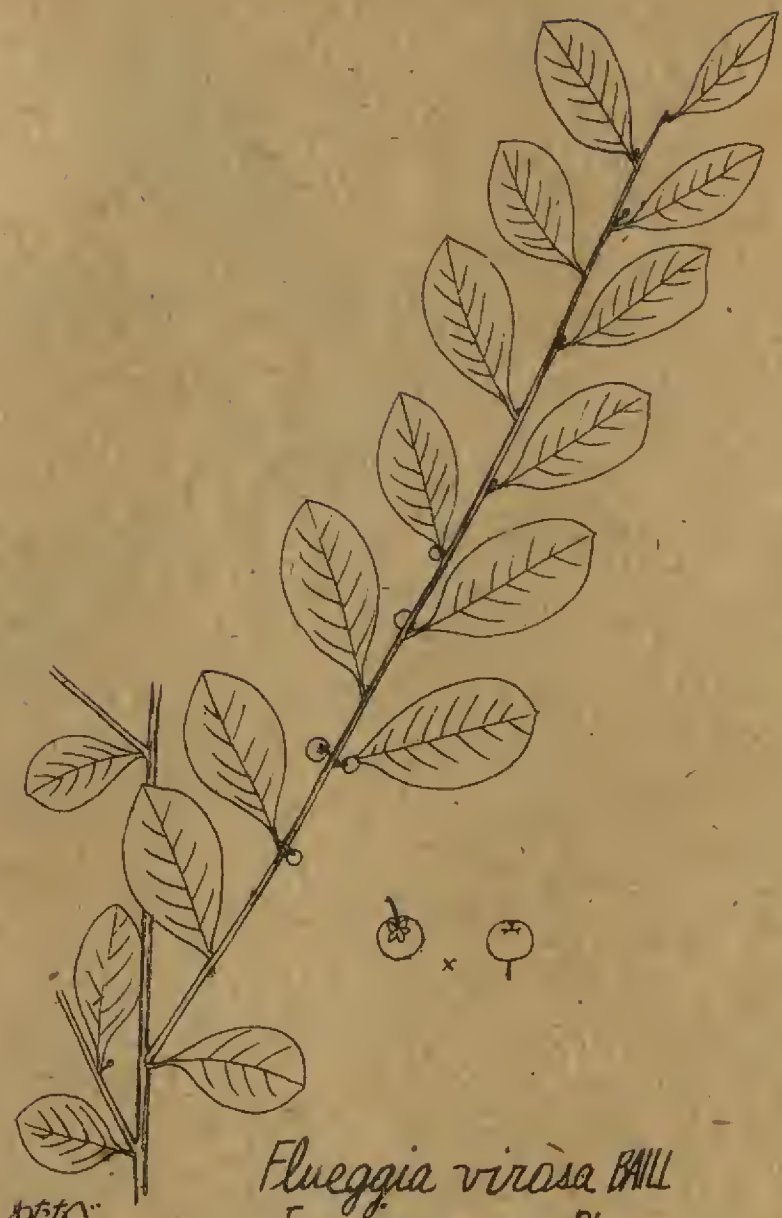
地方名
産地
性状用途

プリン・ブンガラ(瓜)ポインセチヤ(英)

熱帯(栽培)(原産アメリカ)

灌木、上方の葉は赤色、觀賞用、乳液は有毒で飲めば口を害し致死すと云ふが之は誤で、ジャワでは若葉を食す、但種子は有毒なるべし

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10



Flueggia virosa BAILL
= *F. microcarpa* BL

シラタマハギ (大戟科)

地方名 プテイ・アエル(馬)ラチアム(爪)カーン・プラー(泰)
 産地 熱帯アジア、アフリカ
 性状用途 灌木、原野、河岸、葉と莖はハギに似たり、葉裏やや粉白、果白、果は食用、樹皮はタンニンあり黒色染料

食									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Glochidion rubrum BL

ベニカンコノキ

(大戟科)

地方地 ウバー・メラ(馬)
 産地 マライ半群島
 性状用途 灌木、果は桃色、若葉はゆでて食用

125

食	油	飼			



パラゴムノキ

(大戟科)

地方名 ポコ・グタ・パラ(馬)
 産地 熱帯(栽培)(原産南米)
 性状用途 中喬木、種子鶏卵、若葉、種子の油は食用、油粕は飼料、種子は少量の青酸あり皮を去り数日本洗して食用、又皮を去り炒食も可(十個迄)種子はブタ、ヤギの飼料、幹の乳液はゴムとして重要、種子油は塗料

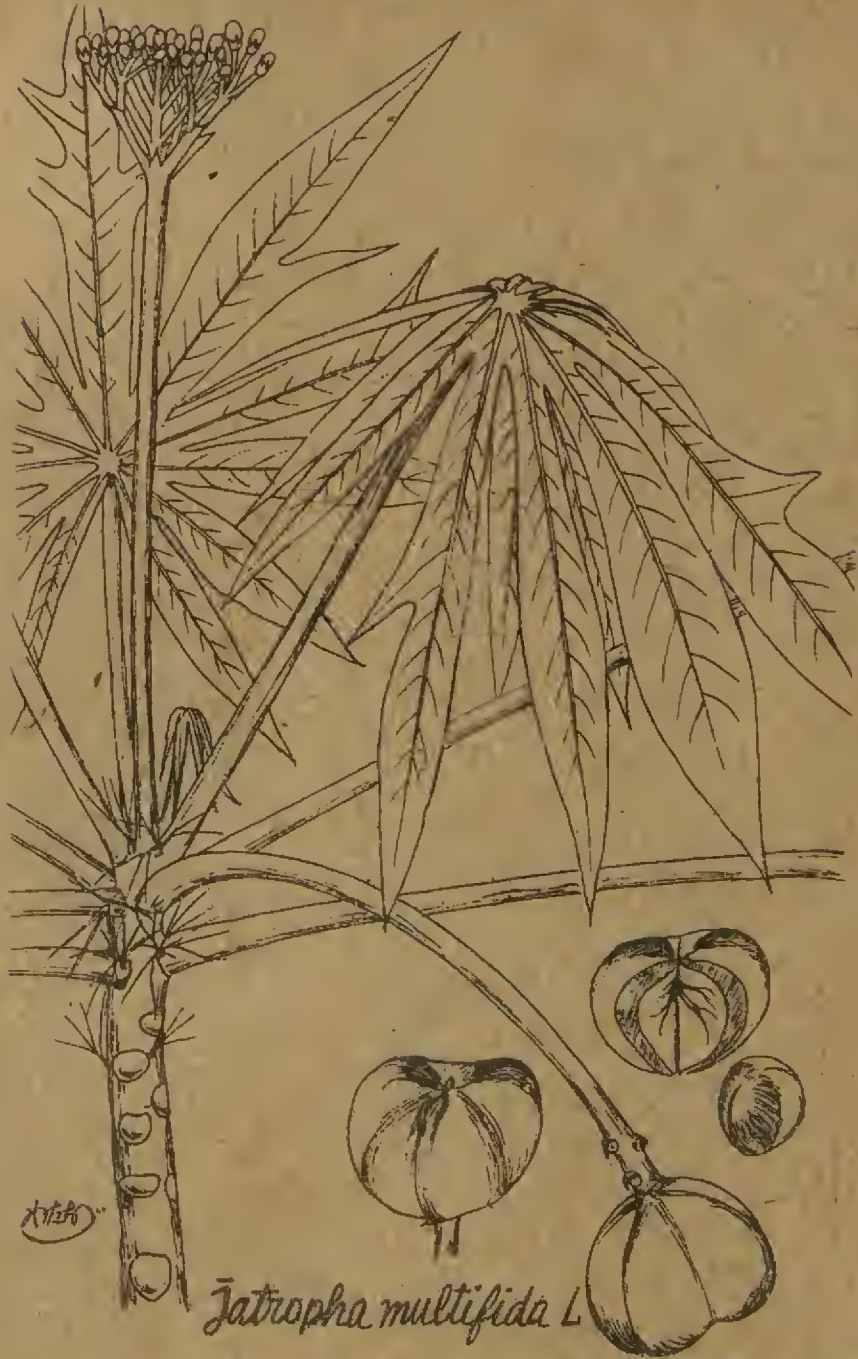
食	藥	油							
毒									



ナンヨウアブラギリ

(大戟科)

地方名 ジャロバガール(馬) サブダム(泰)
 産地 熱帯(栽培) (原産アメリカ)
 性状用途 灌木 畑に作る 果黒熟 若葉は少まで食用 種子は黒 芳香 カーカス油(カザン)あり有毒(カザン量?) 種子油は燈下 漿汁は腫物 潰瘍に 葉はカユミ止 潰瘍、シラマナに外用 又燈用 石ケン 紡績用 茎葉の汁は魚毒 タンニンあり 樹皮は暗青染料 葉柄はハミダキョウジ代用



Jatropha multifida L.

サケバヤトロバ

(大戟科)

- 地方名 ジアラ・チナ (瓜)
 産地 熱帯 (栽培) (原産アメリカ)
 性状用途 灌木、花赤、観食用根は澱粉を含み焼いて食用すと云ふ(?)、極く若葉はゆでて食用、老葉は下劑、種子は強烈な下劑でむしろ有毒とすべきである

復									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

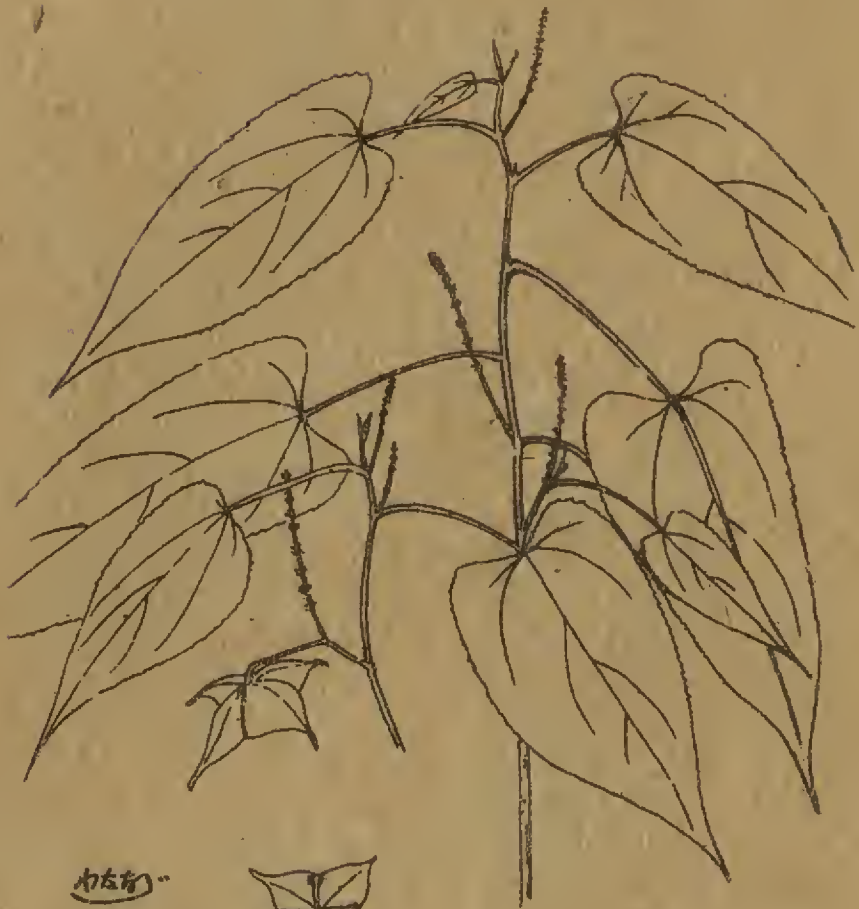


タビオカ

(大戟科)

地方名 ウビ・カユ(馬)マン・サム・バラシ(泰)キヤナバ(英)
 産地 熱帯(栽培) (原産アメリカ)
 性状用途 灌木 開花後のみ分枝す 花白 芽は澱粉あり 食用 若葉も食用 葉は苧ひモヤシを
 作つて食す 葉をサンキして繁殖 成熟半年より一年 早生種は四月(早生種は葉柄と
 若葉は同じ 黄綠色、托葉は上方の葉の葉以下では脱落 晩生種は若葉は葉柄より濃緑
 托葉は早落ならず) 芽中の青酸は加熱すれば逸散して全く無毒となる

食							
---	--	--	--	--	--	--	--



やなわ



Pterococcus corniculatus PAX & HOFFM.
 = *P. glaberrimus* HASSK. = *Plukenetia corniculata* SMITH

ピナピナカツラ

(太戟科)

地方名 アカール・ピナピナ (馬)
 産地 インドよりマライ半群島迄 (栽培 野生)
 性状用途 蔓草 全株ミドリ 葉は甘 食用



Ricinus communis L.

ヒマ(トウゴマ)

(大戟科)

地方名 ジヤラ(馬) マブン(泰)

産地 各地(栽培) (原産アフリカ)

性状用途 名葉は1で食用種子の油はヒマシ油として下劑 潤滑油とするが種子中には有毒蛋白
リシンあり食す可らず(致配量四割?)但蒸ればリシンは幾分分解し 115度で一時間半放
置すれば全く分解す油前は此法により飼料とし得

食							
	材						



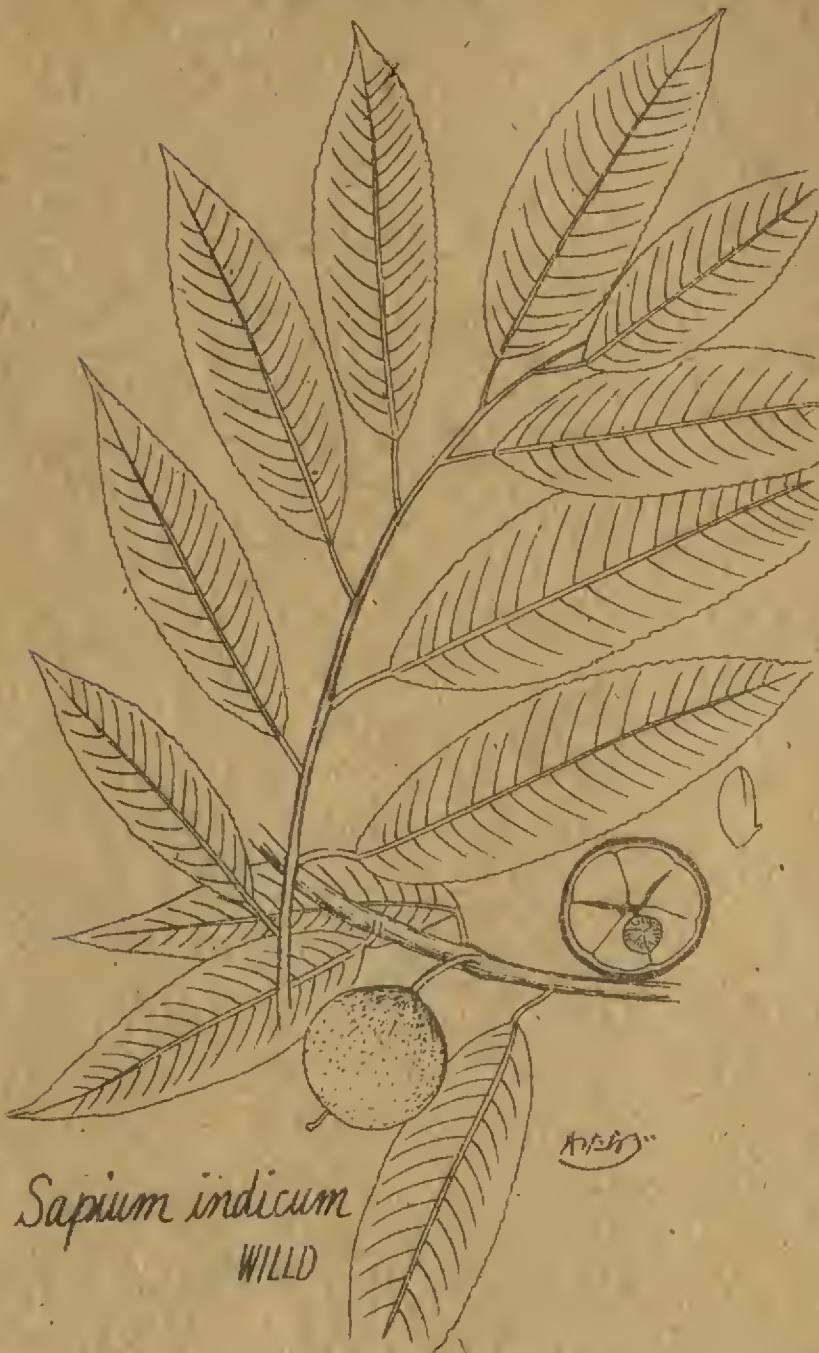
Sapium baccatum Roxb

ブドウナンキンハゼ

(大戟科)

地方名 ルダイ(馬)
 産地 インド 南支 マライ半群島間
 性状用途 喬木 葉裏粉白 果ブドウ色 種子黒 果はは甘 生食 煮食
 材は軽く板用

果	花				
葉					花

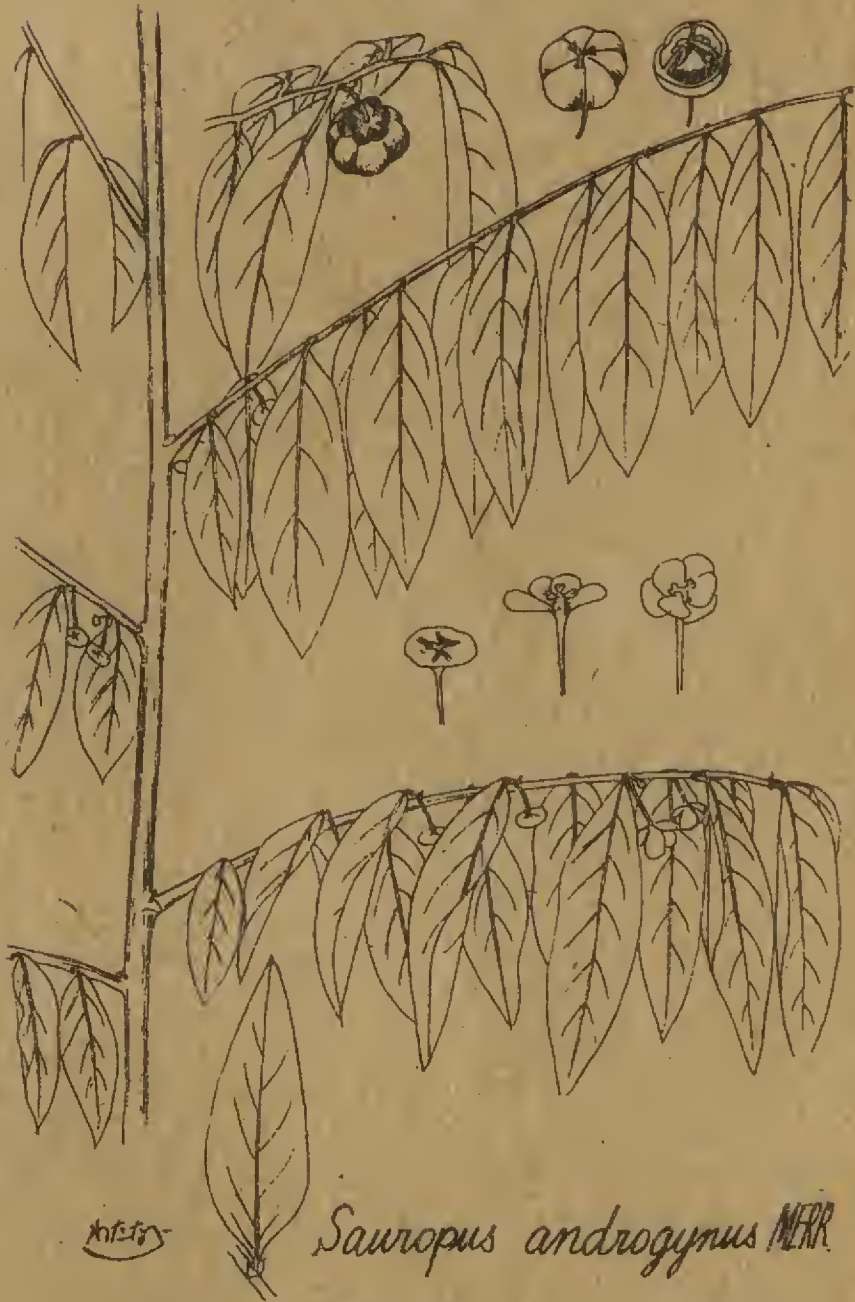


Sapium indicum
WILLD

モチバナキンハセ

(大戟科)

地方名 グラア (馬) クラア (泰)
 産地 インド・マライ半群島
 性状用途 海岸の小木、葉はコバンモチの如く濃緑光、主脈白、葉柄赤褐、
 熟した種子は食用、但果皮の白乳液は口に入るべからず、果魚毒、
 種子は乾性油あり、葉は黄緑染料



Sauropus androgynus MERR.

アマメシバ

(大戟科)

地方名 チロル マロス (馬) バツ (泰)

産地 インド、マラバール群島(北緯野生)

性状用途 小灌木、葉面黄緑色、圓滑、葉脈維で厚く時に白粉あり、花序赤・果白又は黄色、葉は少しく甘、ビタミンA、Cを含むこと多く野菜として有用、果は糖漬、根の煎汁は解熱、尿道狭窄に内用、葉汁は眼病に外用、脚氣に内用

尺									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



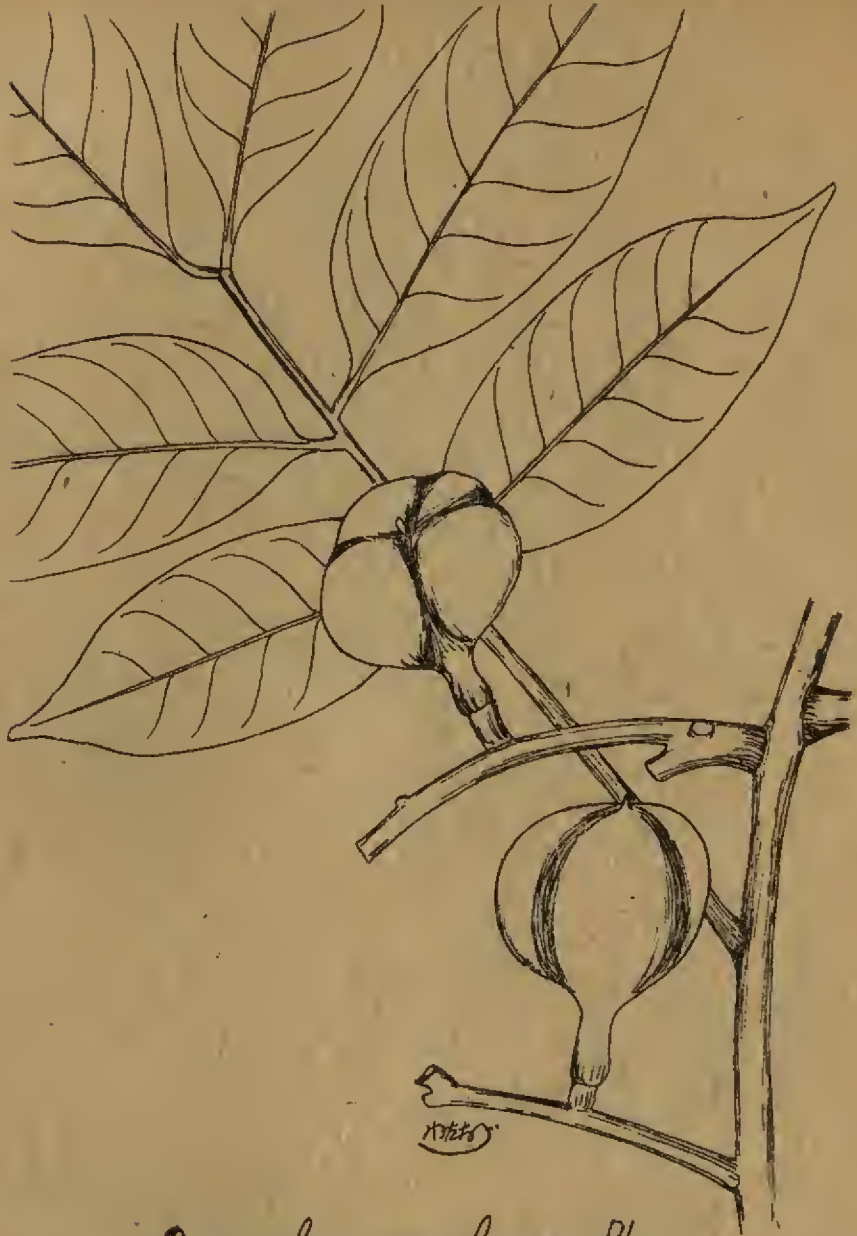
Aglaia spp

ジュラン属

(センダン科)

- ランサに近似の喬木で果肉を食用とす、例へば
- (1) オオミジュラン地、ナムラン、リマ(馬)産、南マライ、北ボルネオ花芳香
 - (2) バサジュラン地、バサ、リンガ(馬)産、南マライ
 - (3) ナガミジュラン産、マライ恐らく果は食し得べし
- センダン科には有毒のものもある

180



Dysoxylon excelsum Bl.
= *D. macrothyrsum* Miq.

クリムノキ

(センダン科)

地方名 クリム(馬)
産地 マライ・スマトラ、ジャワ
性状用途 喬木、果食用

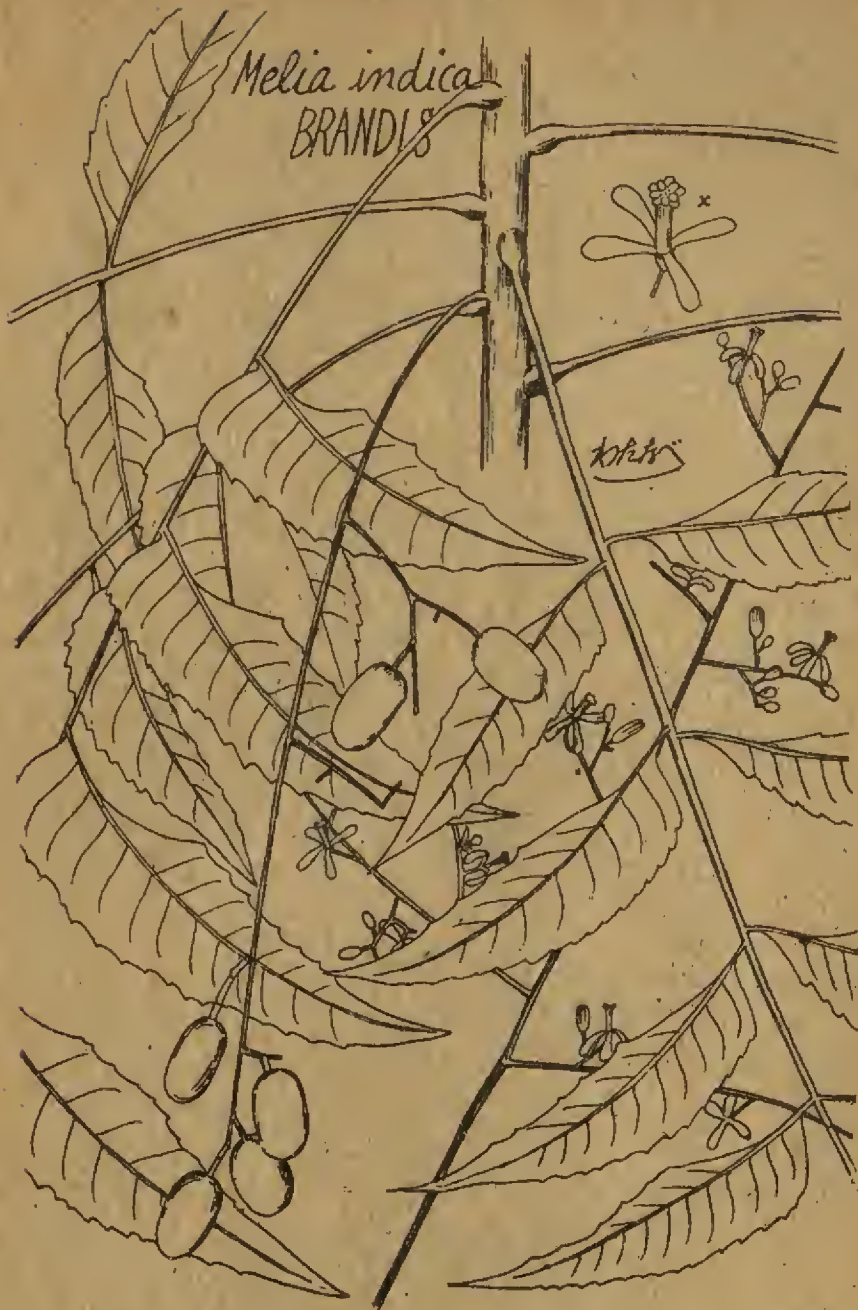


Lansium domesticum JACK
var. *langsai* JACK

ランサ

(センダン科)

地方名 ランサ(馬)
 産地 マライ、スマトラ、ジャワ
 性状用途 小木、果淡褐、密集した房をなす、種衣を食す、汁、樹皮、種子はツクと同じ薬用、果皮はツクより芳香で蚊イブシ用



インドセンダン

(センダン科)

地方名 ナド(馬) ナツオ(泰)
 産地 熱帯アロア(栽培)(原産インド)
 性状用途 喬木。花白 全株アマダラン マルゲシムあり苦し 葉 花 熟果は食用 幹より採る粘液は醗酵せさてニム酒とする 葉 樹皮 根皮 若果は煎熱(マラヤにも)に内用 消毒用として他に外用 種子は驅虫方あり信じられてゐる 葉は産物の防虫 材は家具



Sandoricum nervosum Bl
= *S. koetjape* MERR. v.

ケチャビ

(センタン科)

地方名 ケチャビ (馬)
産地 マライ半群島
性状用途 喬木、果樹、葉はピロウド状、花緑、果橙、白色の種衣は酸甘、食用、葉の煎汁は下痢に、煎汁は皮膚病に用ふ、樹皮は網染川



Canarium commune L.

ヒトツサネカンラン

(カンラン科)

地方名 クナリ(馬)
 産地 マライ群島東部(マライでは栽培)
 性状用途 喬木、葉柄縦條、街路樹、種子は脂肪、蛋白を含み生食、炒食、
 種子油は食用、人造牛乳用、樹脂はマニラエレミ代用、線香にも
 作る
カンラン科は果を食用



Canarium kadondon BENN

クドンドン (カンラン科)

地方名 クドンドン・クル(馬)カチ(馬)カムラン(支)
 産地 マライ、スマトラ、ボルネオ
 性状用途 喬木、葉裏無毛、核中に三種子あり之を食す

表



Camarium purpurescens BENN

マツヤニカンラン

(カンラン科)

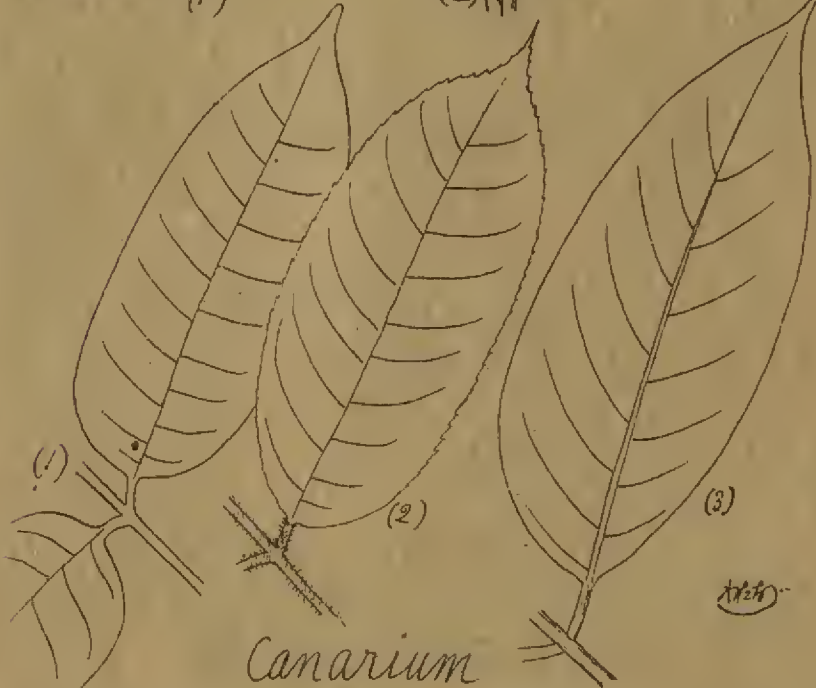
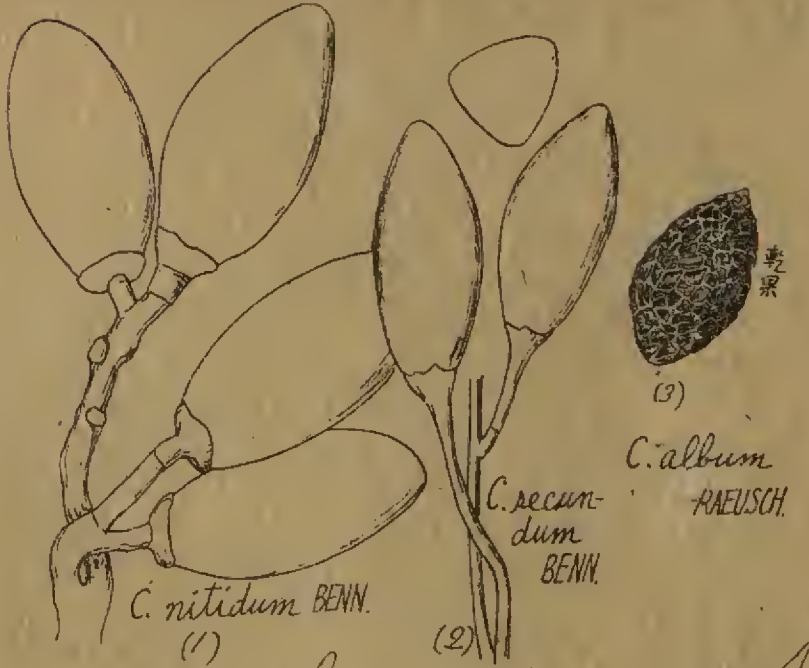
地方名
産地
性状用途

ブア・カワ(馬)

マライ

喬木、葉裏短毛、果肉は食用、マツバの香あり、噛めは初め苦く
後甘

頁									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



カンラン屬數種 (カンラン科)

- 喬木、果肉又は種子を食べ
- (1) 地 クドンドンウタン(馬) 産 マライ、果肉は酸く食用
 - (2) 地 ダマル、キジヤイ(馬) 産 マライ 種子食用
 - (3) 地 カノ(アンナム)カンラン(支) 産 南支 インドシナ(栽培)果肉を食べ、芳香

食	藥						
							毒



Acronychia laurifolia Bl.
= *A. pedunculata* Miq.

オオバゲツケイ

(ミカン科)

地方名 ムントア・クムヤン(馬)カ・ウーアム(泰)
産地 インド、ビルマ、マライ、ジャワ
性狀用途 小木、葉は厚くチヨウジの香、若葉は食用、葉は浴用、根はリウマチに塗布、根は魚毒
ミカン科(芸香料)は有毒のものはないが香氣が強い



Aegle marmelos Correa

ベルノキ

(ミカン科)

地方名 ビラ(馬)マフォーム(茶)
 産地 熱帯アジア(英領) (原産インド)
 性状用途 小大、多刺。果球形又は随圓形、未熟果はツヤベツト。樹皮、マムレード用若葉食用、
 葉は右旋シロニンあり介鼠に、果はタンニン、マルノロシンあり性毒弱に、葉、根、
 樹皮はマノツマに用ふ。果の粘液は糊、水彩畫ニス、石灰と混して井戸ヒメントに用ふ、
 果皮には黄色染料あり

食	薬						



Citrus aurantifolia SWINGLE

ライム (ミカン科)

地方名 リマウ・ニビス (馬) ライム (英)
 産地 熱帯 (栽培)
 性状用途 灌木、果球形先端に切頭突起あり、皮薄くレモンの香あり果は料理用、飲料用、薬に香を與へるに用ふ

180

食	料					種



Citrus limon BURM

レモン

(ミカン科)

地方名 レモン (英)
 産地 温熱帯 (栽培) (原産インド)
 性状用途 灌木、シトロンに似てゐるが葉柄と葉は節で接してゐる點が異なる
 果は橢圓形、果は調味用、又レモン汁及びクエン酸採取用、果皮はレモン油原料

137



Citrus maxima MERR
 = *C. grandis* OSBECK
 = *C. decumana* L.

サボテン

(ミカン科)

地方名 リマウ・プサル (馬) ポメロ (英)
 産地 熱帯 (栽培) (原産インド)
 性狀用途 小木、果肉は白と紅とあり、果の大きさは人頭位より径四寸位のもの迄種々、果皮厚し、果肉食用

頁									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



フシユカン

(ミカン科)

地方名 ヒヨンイン (智縁) (支)
 産地 温熱帯 (栽培)
 性状用途 灌木、葉柄と葉の間は節無く移行する、果皮は芳香で砂糖漬として食す



Citrus microcarpa BUNGE
 = *C. medica* L. var. *limau kasturi*

シツキツ

(ミカン科)

地方名 リマウ・カスツリ(馬)
 産地 熱帯(栽培)
 性状用途 灌木、果小、果は剥ぎ易くジャコウの香あり、果は砂糖ツケ、
 鹽ツケ、料理用

尺									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



ナシ

Citrus sinensis OSBECK

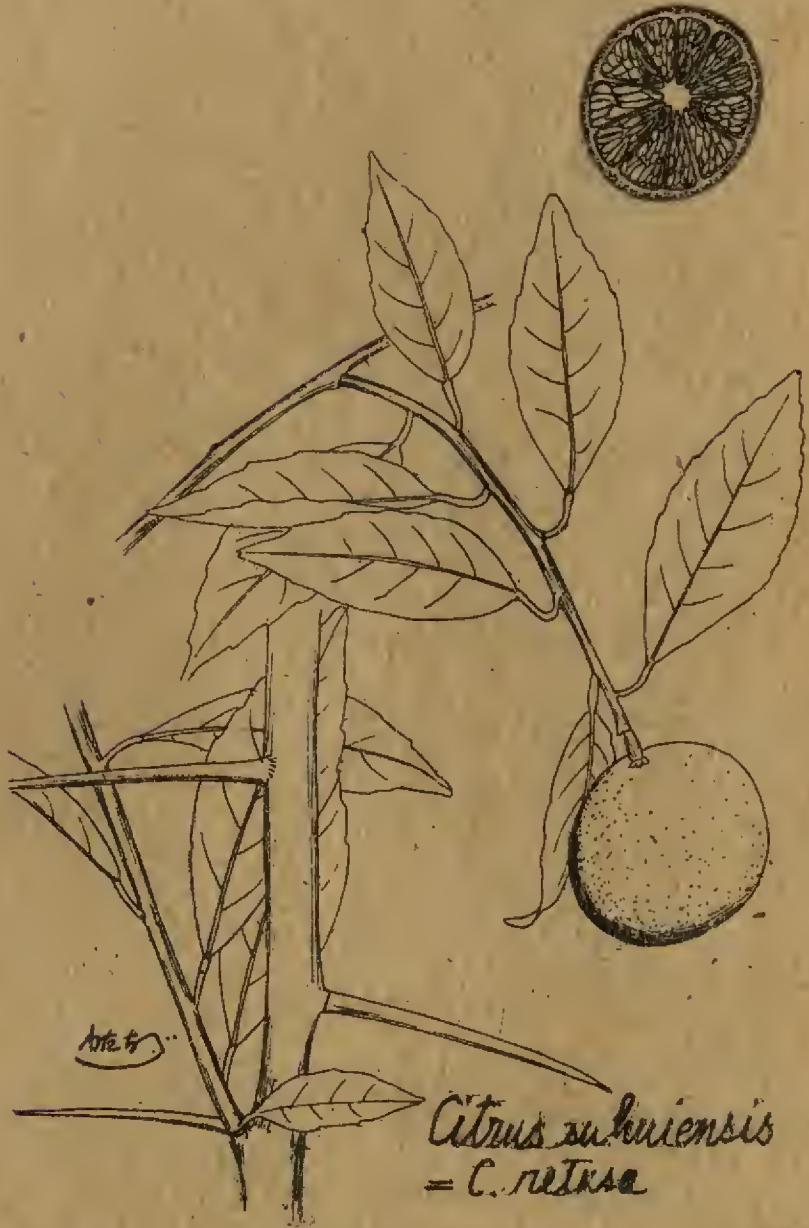
ヘソミカン

(ミカン科)

地方名 ナシ
 産地 熱帯 (栽培)
 性状用途 灌木、果扁球、肉は黄橙色、甘、生食用

189

頁									



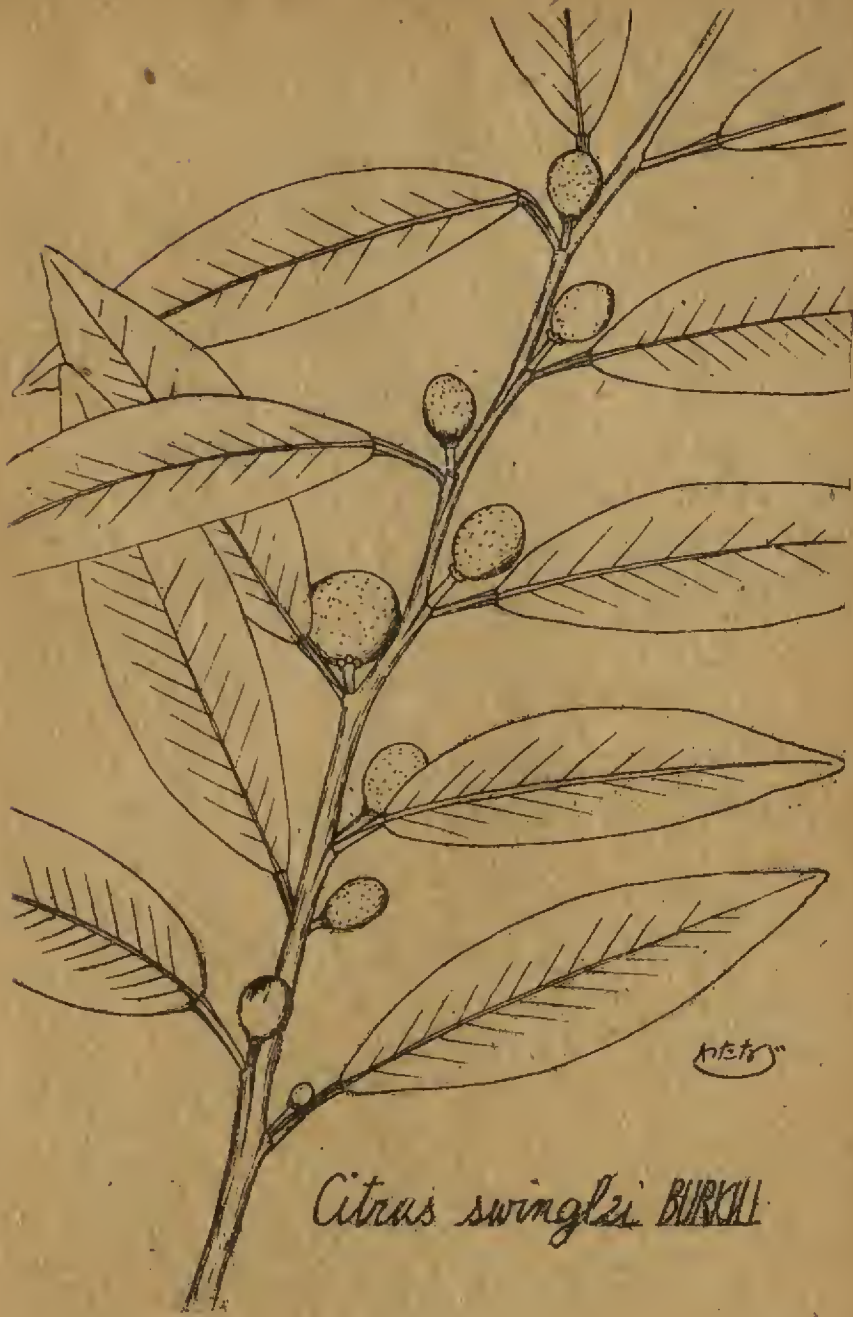
Citrus sulhaviensis
= *C. retusa*

ナガトゲミカン

(ミカン科)

地方名 リマウ・イジャウ(馬)
 産地 熱帯(栽培)
 性状用途 小木、直立性、葉柄に翼なし、果濃緑で滑光、果皮は剥ぎ易し、酸く料理用

食									

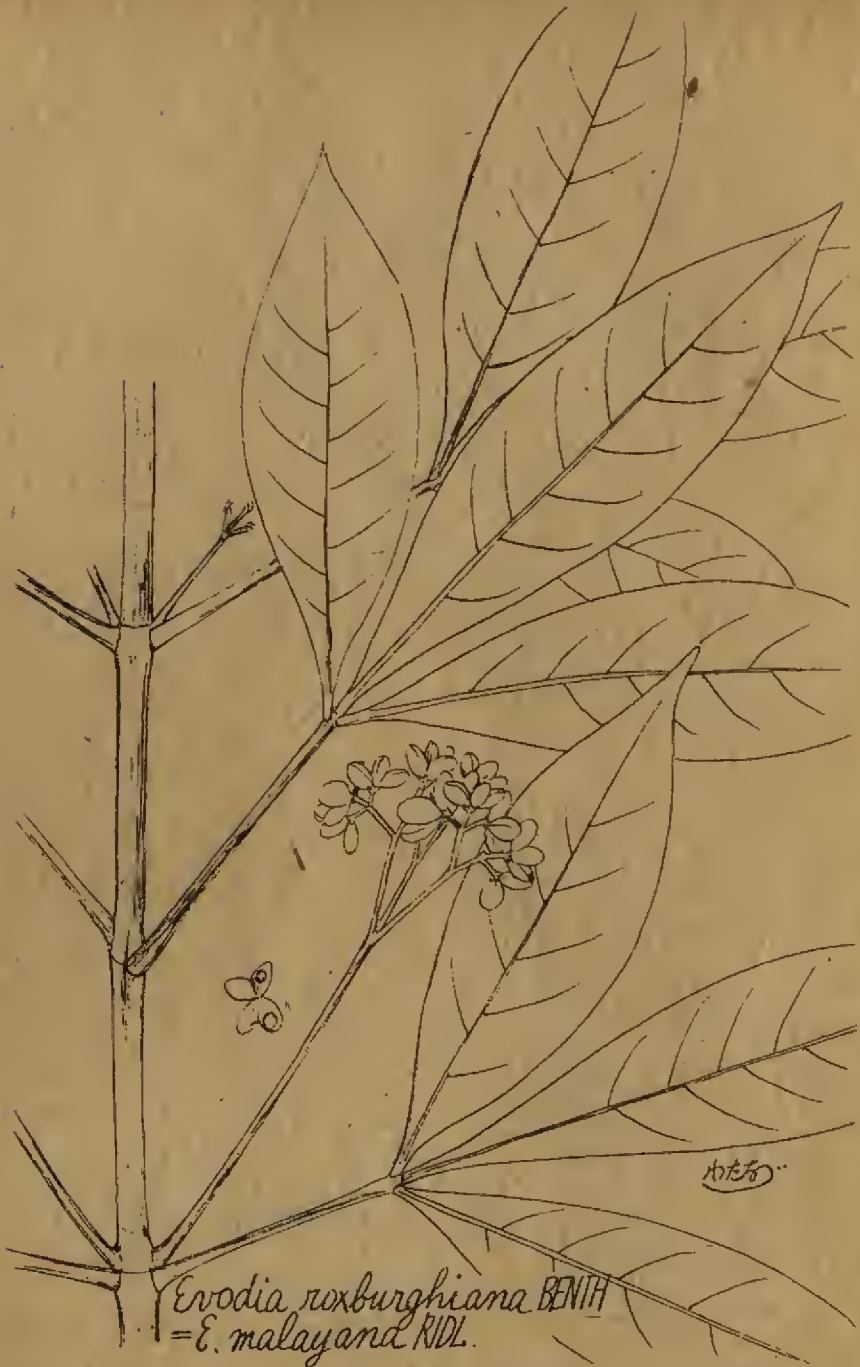


Citrus swingleyi BURKILL

カキネミカン

(ミカン科)

地方名 リマウ・バガール (馬)
 産地 マライ
 性状用途 灌木、果小、料理用



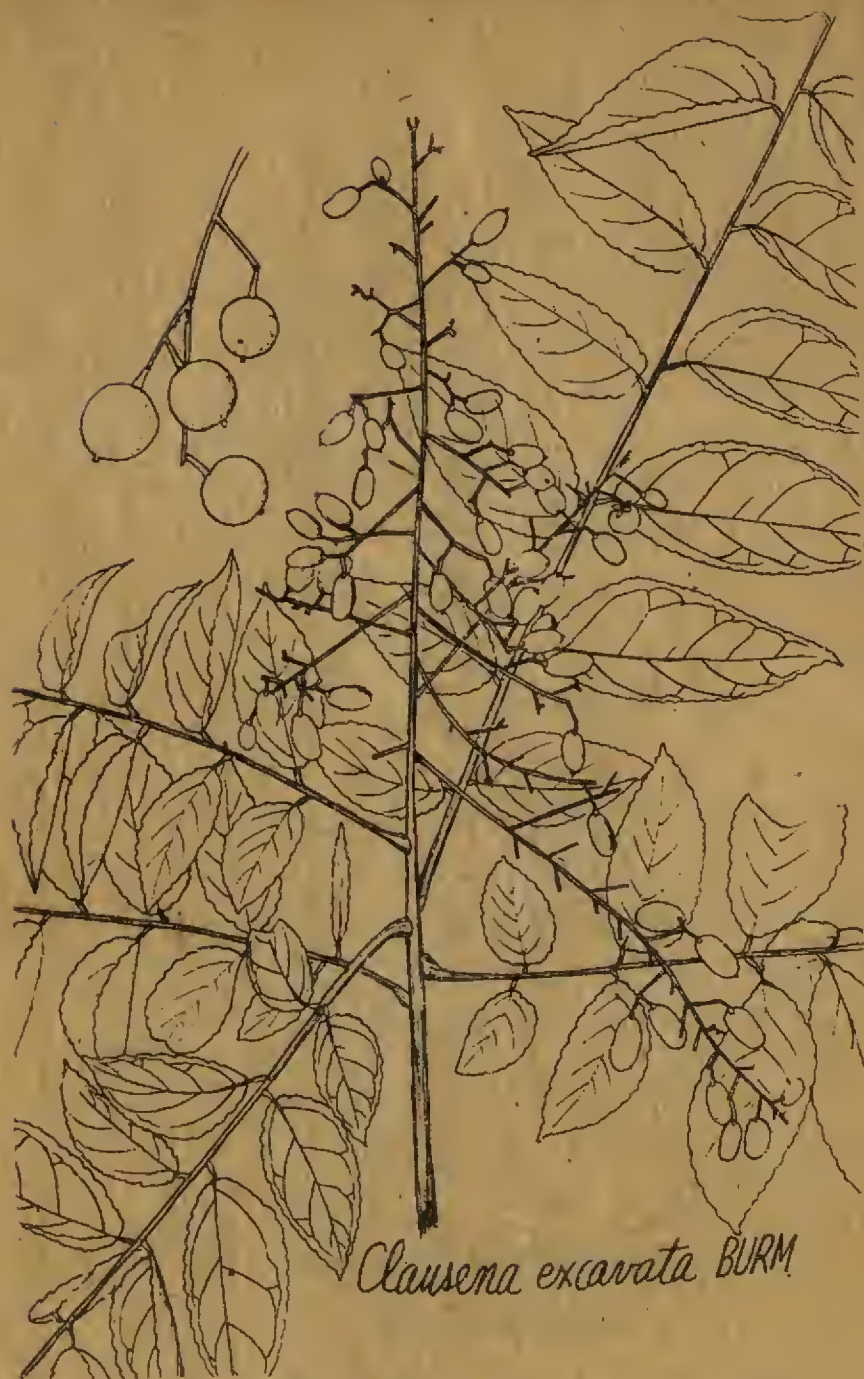
Evodia roxburghiana BENTH
= *E. malayana* RIDL.

オオバアハセンダン

(ミカン科)

地方名	ウンゲ・ブーロン (馬)	ウーアム (泰)
性 地	インド、マライ半群島	
性状用途	小木、葉は酸く、調味料	

元									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Clauseana excavata BURN

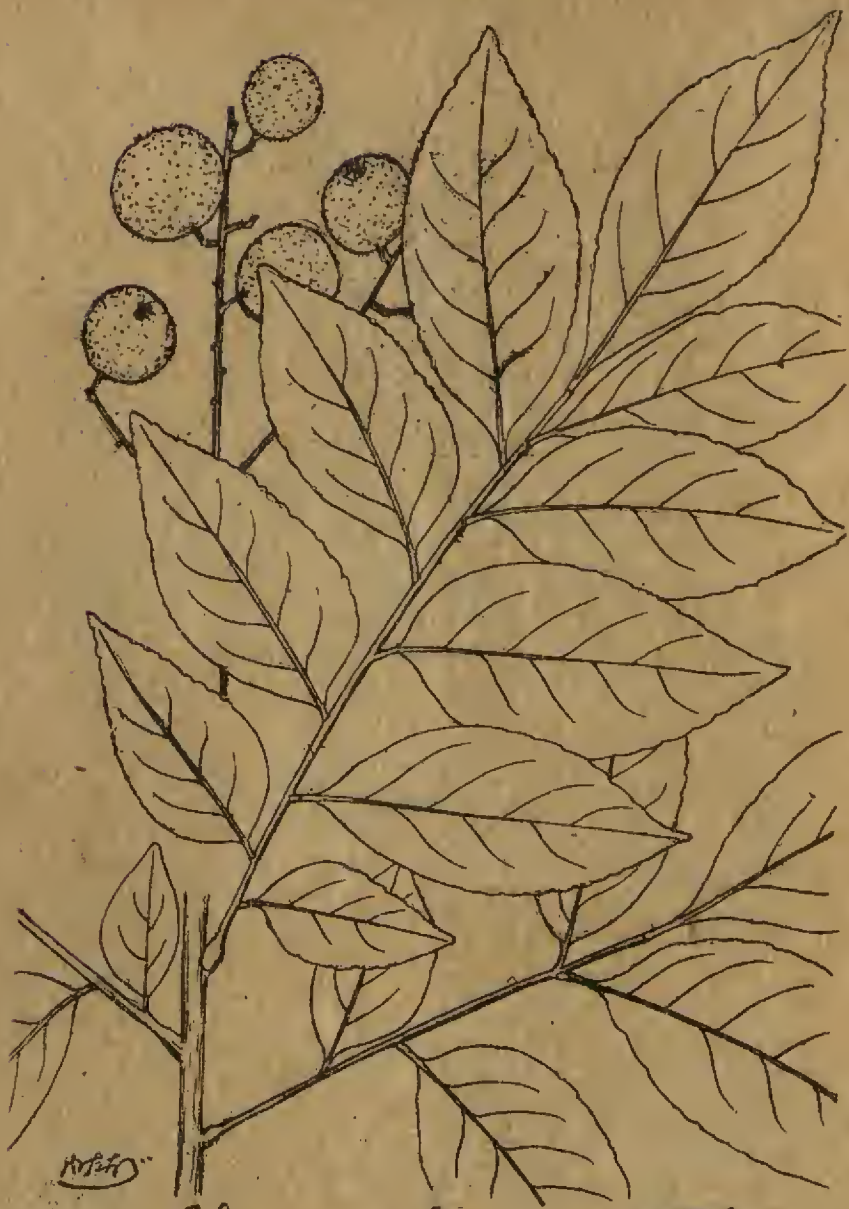
スメルノキ (ミカン科)

地方名 ポコ・クマントウ(馬)スメル(馬)ファイア ファーン(泰)

産地 インド、南支、マライ半群島

性状用途 小木、強臭、果は垂下、白又は桃色、食し得

食	藥								

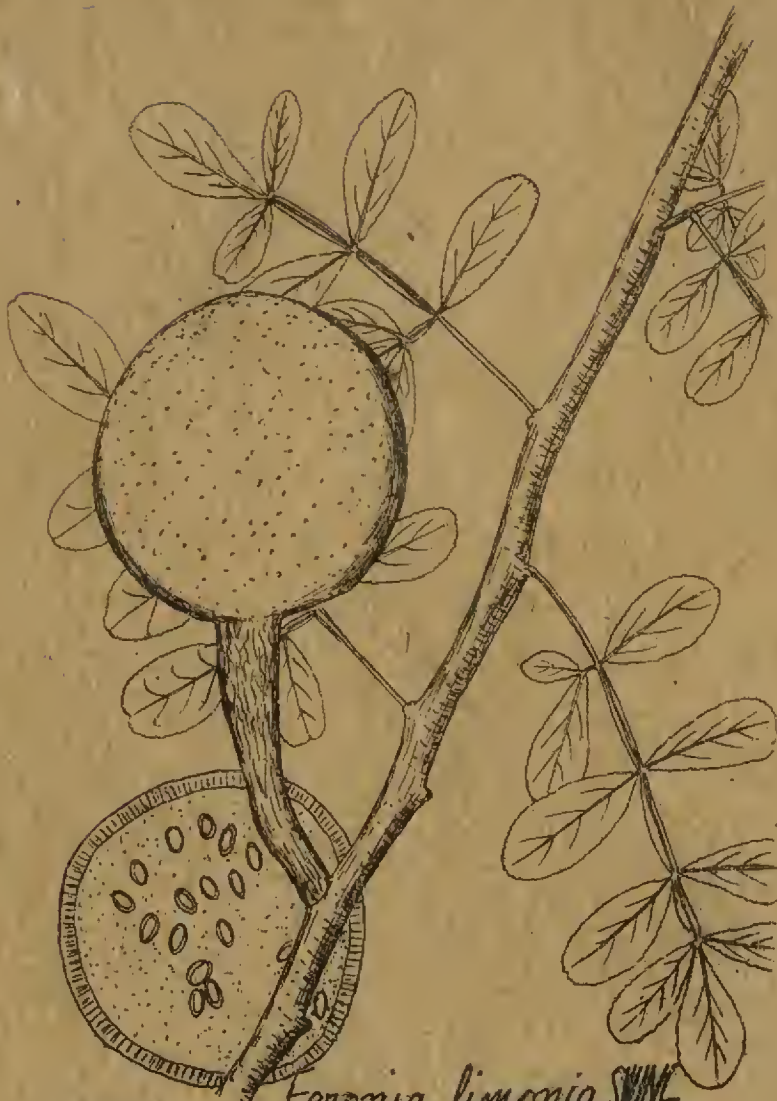


Clausena lansium SKEELS
 = *C. wampi* AL.

ワ ン ビ (ミカン科)

地方名 ワンビ (黄皮) (支)
 産地 熱帯アジア (栽培) (原産南支)
 性状用途 灌木、果は黄熟芳香、酸く生食、ジャム用、未熟果は、半切し乾して、気管支炎に内用

負	藥				
		綱			



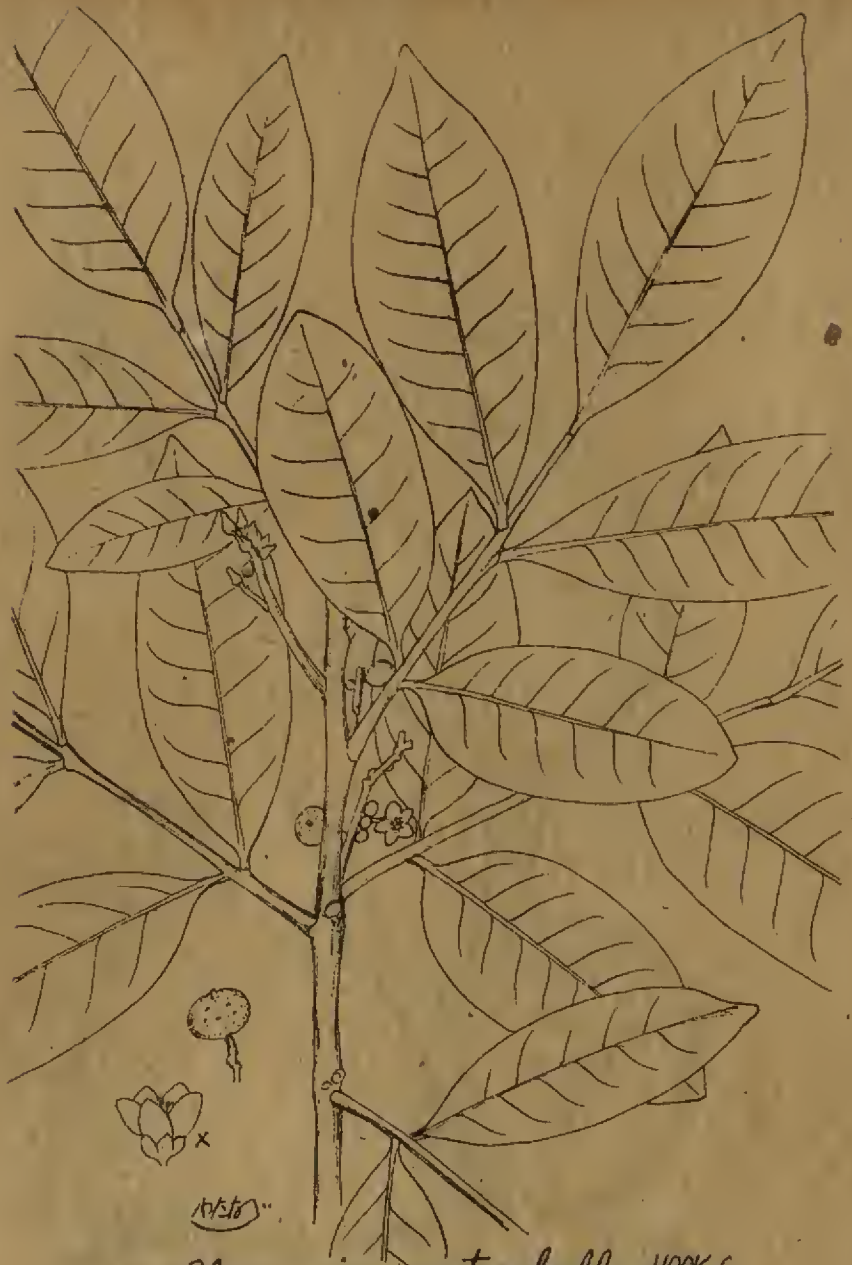
ナガエミカン

Feronia limonia SWING
= *F. elephantum* CORREA

ナガエミカン (ミカン科)

地方名 ブリングイ(馬)デイウール(印)ウッドアツブル(英)
 産地 インド、ビルマ、タイ、北マライ(栽培)(原産インド)
 性状用途 小木、果は白雲を被るもの多し、果はシャベツトとして健胃飲料、
 葉は消化不良に内用、幹の粘液をアラビヤゴム代用に醫用とする

192



Glycosmis pentaphylla HOOK. f.

ニクダチキンカン(ハナシンボウギ) (ミカン科)

地方名 ムラビ(馬)

産地 南支 マライ半群島

性状用途 灌木 葉はツヤの無い、ミカンの如く 花白 果は肉色で軟 食用

産							
	材						



Merrillia caloxylon SWINGLE
 = *Murraya caloxylon* RIDL.

サンショウミカン

(ミカン科)

地方名 チュママ(馬)クツンガー(馬)ケオキークワーイ(泰)
 産地 タイ 北マライ(栽培 野生)
 性状用途 小木 花緑 早落 果は大 葉は野菜とし 果はジャムとする
 材質 美 細工物とする



Micromelum hirsutum
OLIV

M. minutum SEEM
= *M. pubescens* Bl.

チユレノキ

(ミカン科)

地方名 チユレ(馬) チユママ(馬) キーブーン(泰)
 産地 タイ マライ
 性状用途 小木 葉裏多毛 果も毛あり 全株レモンの香あり 果赤熟
 食用し得べし
 (二) ヒメチユレノキ 地 チユレ プテ(馬) 産 インドシナ マライ
 半群島 やや無毛 果は食用し得べし

食					香



ナンヨウサンショウ (ミカン科)

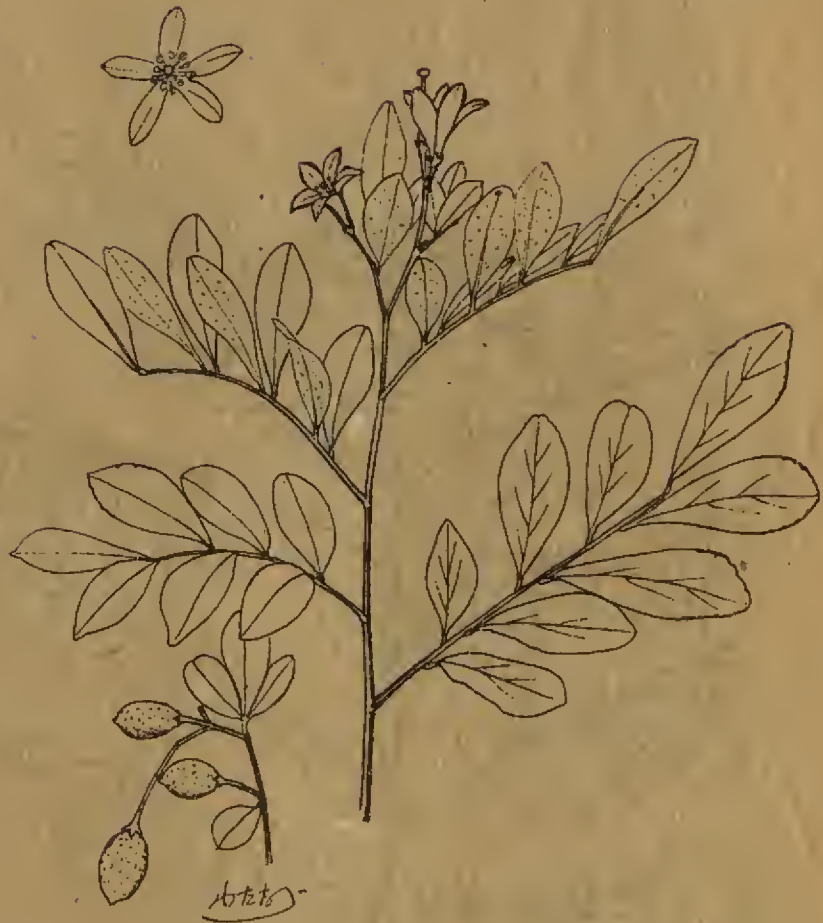
地方名 カラブレ (島)

産地 インド、ビルマ、タイ (マライでは栽培)

性状用途 灌木、サンショウに似たり、葉をサンショウと同様香味料とす、特に、ライスカレーに入れる、(葉は後に取り出す)

143

實	葉				種
		材			



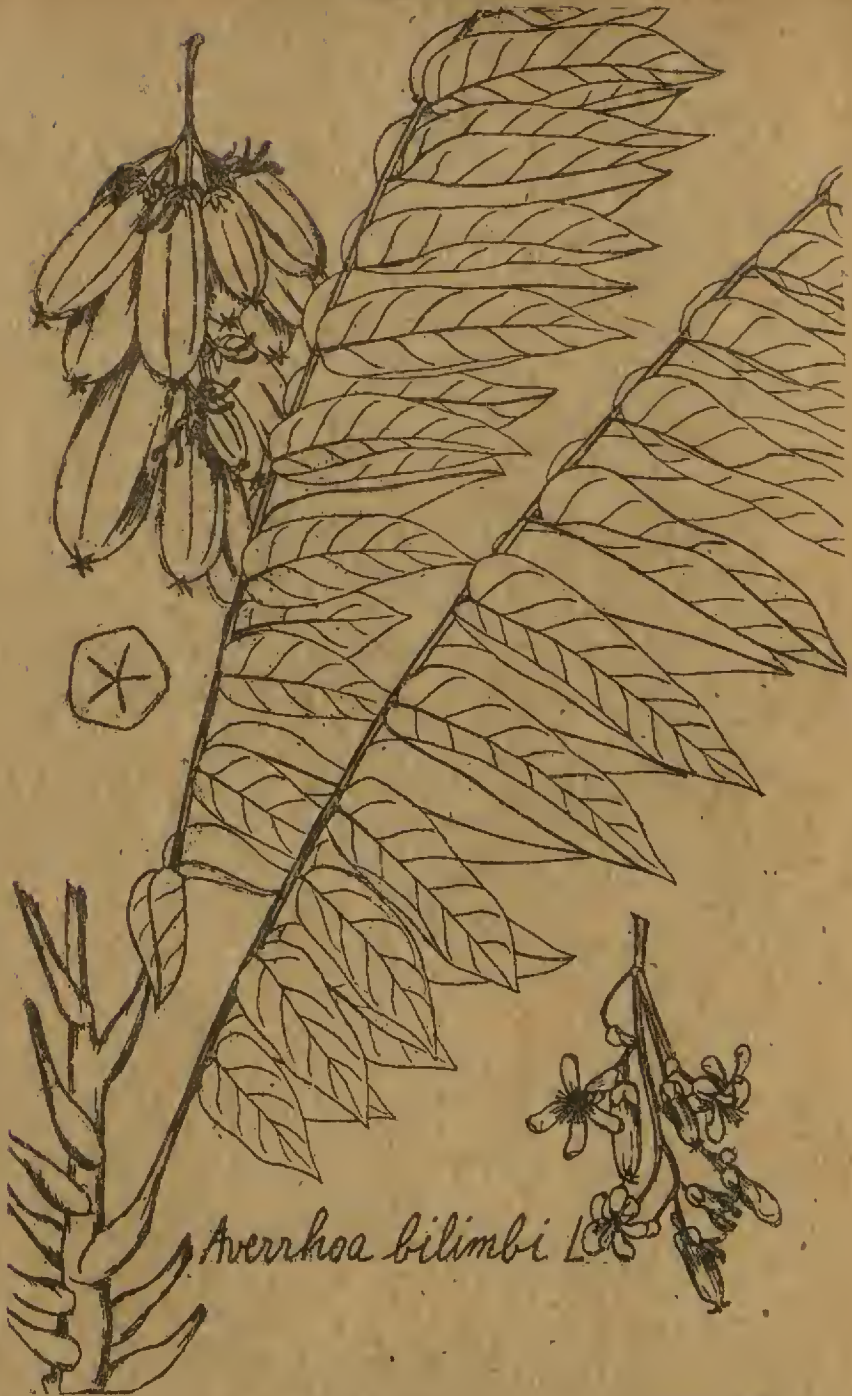
Murraya paniculata JACK

ゲツキツ

(ミカン科)

地方名 クムニン(馬)
 産地 熱帯アジア(栽培 野生)
 性状用途 灌木、花白、芳香、果赤熟、ミカンク香あり、果生食、ジャム用
 葉の煎汁：線虫駆除用、又歯痛のウガヒ用、樹皮、根：オンロイ
 用、材は黄、堅く割ればのでステツキ、刀柄にする、垣に作る

食	藥	部							
---	---	---	--	--	--	--	--	--	--



Averrhoa bilimbi L.

ビリンビン

(カクバミ科)

地方名 ビリンビン(馬)

産地 マラヤ、スマトラ、ジャバ

性狀用途 灌木、葉濃緑、花暗赤、果はマヤ黄熟、未熟果をクノボンにする。露酸あり酸味強し。果はマインキ節に用ひる。花の汁液は毒。口内炎に。果の漬物は脚氣、味に用ひる。カクバミ科には猛毒はなく葉も皆食用になるが露酸を多量に含むので注意すべし。

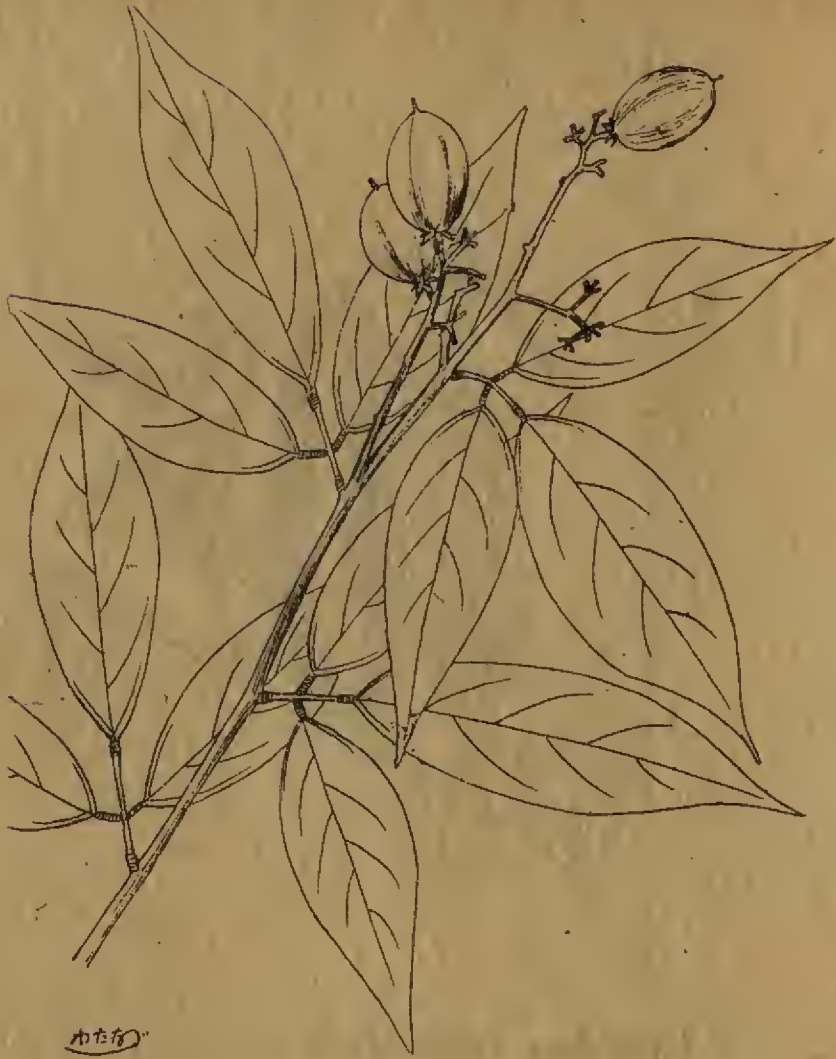


Averrhoa calambala L.

ゴレンシ

(カタバミ科)

地方名 ビリンビン・サギ(馬)五敏子・羊桃(支)
 産地 熱帯(栽培)(原産ジャワ)
 性状用途 灌木、花桃色、果黄熟、柑橘澁、果は生食、ジャム用、花もサラダとして食す、花は驅虫、葉、果の煎汁は止吐、果の煎汁は下痢止



Connaropsis griffithii PLANCH

ミツバカタバミノキ

(カタバミ科)

地方名 プボイ (馬)・クボイ (馬)

産地 マライ

性状用途 喬木、幹はサルスベリの如く赤褐、滑、上方迄板根が續く、葉は裏面粉白、枯葉は裏面赤褐になる、果赤熟、酸く料理用又鹽漬



Connaropsis monophylla PLANCH

ヒトツバカタバミノキ

(カタバミ科)

地方名 ビリムビン・ビシ(馬)

産地 マライ

性狀用途 喬木、葉厚く滑、裏面短毛、果赤熟、酸く料理用

(2) オオバカタバミノキ 地、プリムビン(馬)産マライ、灌木、果赤、食用

頁									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--



Oxalis barrelieri

L.

ハギカタバミ

(カタバミ科)

地方名 ナシ

産地 熱帯 (歸化) (原産アメリカ)

性状用途 雜草、花桃色、全株蓆酸あり酸く、ゆでて食用

食	葉						

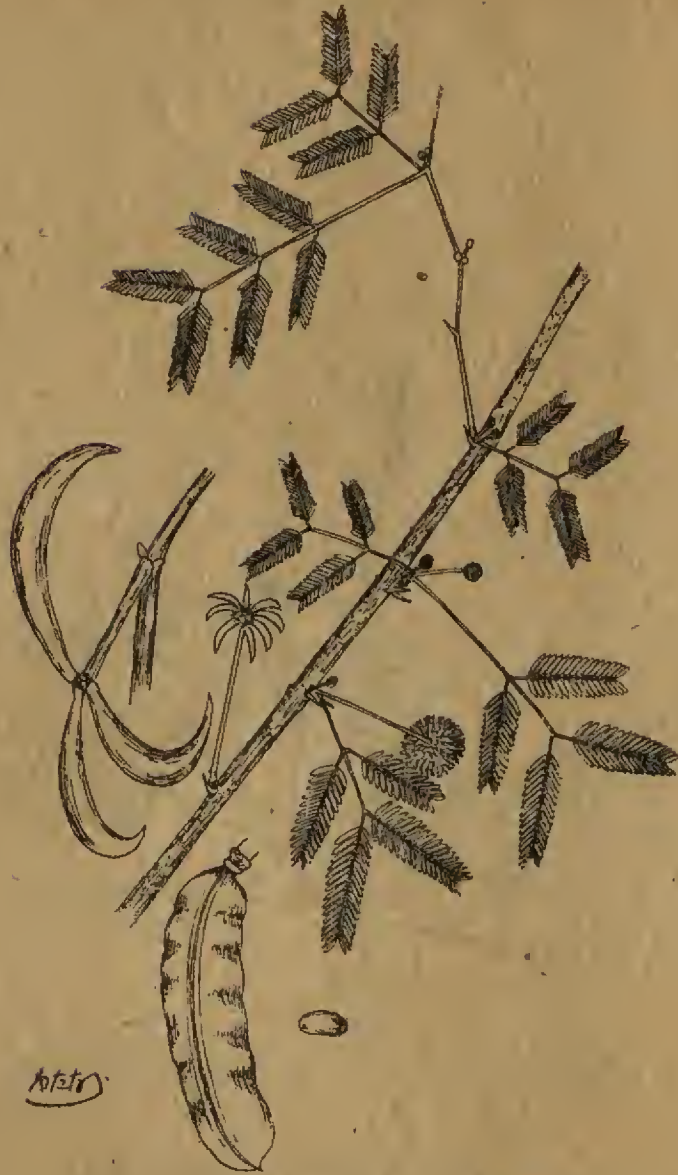


Oxalis

Oxalis corniculata L.
 = *O. nepens* THUNB. = *O. javanica* Bl.

カタバミ (カタバミ科)

地方名 シカフ・ダダ (馬)
 産地 全世界
 性状用途 匍匐草、花黄、蓇葖あり酸く食用、壊血病、熱、赤痢に内用



わたし

Acacia farnesiana Willd

キンゴウクワン

(マノ科)

地方名 アンガシム(馬) カチン・レート(毒)
 産地 熱帯(栽培)(原産アメリカ)
 性状用地 灌木、有刺、花黄、芳香、葉はママリンド代用に食す、又飼料。未熟果は収斂性粘液あり
 搾つてタゲレ目に用ふ。熟種子は、口内炎の含み薬。樹皮もタンニンあり収斂。熟果は
 種皮用。花は香水原料。果の粘液は陶器の接合用
 マノ科には有毒と無毒と相半する

長	原				種
尾	産	材			



Adenanthera pavonina L.

ナンバンアカアツキ (マノ科)

地方名 サゴ(馬)海紅豆(支)
 産地 熱帯(栽培)(原産インドより南支那)
 性状用途 喬木。落葉性、花黄、果曲。乾けば反卷、種子朱赤 滑膩 種子は蛋白 油あり 炒食 葉の煎汁はマウマチ、疝氣に、材は強壯滑、種子は皮膚病に塗布、樹皮リボニンあり 洗 髪用、心材より赤色素を採りシタン代用材に換る、心材は家具を作る

190

